

# 中原区区民アンケート

## 報告書

平成30年9月

川崎市中原区



---

<b>I 調査概要</b> .....	1
1. 調査の目的 .....	3
2. 調査の方法 .....	3
3. 調査の項目 .....	3
4. 回収状況 .....	3
5. この報告書の見方 .....	4
6. 回答者の属性 .....	5
<b>II 調査結果の詳細</b> .....	11
<b>1. 区民の定住性</b>	
(1) 居住年数 .....	13
(2) 以前の居住場所 .....	16
(3) 定住意向 .....	18
(4) 定住したい理由 .....	21
(5) 転出したい理由 .....	24
<b>2. 生活環境評価</b>	
(1) 生活環境の満足度 .....	25
(2) 生活環境全体の満足度 .....	32
(3) 住みよい環境についての意識 .....	35
<b>3. 区役所業務の評価・区のイメージ</b>	
(1) 満足している区役所の業務 .....	39
(2) 力を入れてほしい区役所の業務 .....	43
(3) 中原区のイメージ .....	47
<b>4. 中原区役所の広報</b>	
(1) 行政・地域情報の入手方法 .....	51
(2) 充実してほしい行政・地域情報の提供方法 .....	55
(3) 「かわさき市政だより」中原区版の閲覧状況 .....	59
(4) 充実してほしい行政・地域情報の種類 .....	62
<b>5. 中原区役所の環境</b>	
(1) 中原区役所の利用頻度 .....	66
(2) 中原区役所の環境・設備の満足度 .....	69
<b>6. 子育て支援</b>	
(1) 子育ての経験の有無 .....	73
(2) 利用したことがある子育て支援サービス .....	75
(3) 子育て支援サービスを知ったきっかけ .....	79

# 目次

---

## 7. 地域包括ケアシステム

- (1) 「地域包括ケアシステム」の認知度 ..... 81
- (2) 「地域包括ケアシステム」がすべての住民を対象としていることの認知度 ..... 84
- (3) 「地域包括ケアシステム」で取り組むべきこと ..... 87

## 8. 自立的な活動

- (1) 自由な時間があるときに過ごす場所 ..... 91
- (2) 外出する頻度 ..... 93
- (3) グループ活動への参加状況 ..... 95
- (4) グループ活動への参加頻度 ..... 97
- (5) グループ活動に参加していない理由 ..... 99

## 9. 地域の支え合い

- (1) 地域で支え合える人の有無 ..... 101
- (2) 日常生活で困っていること、将来困るだろうと思うこと ..... 104
- (3) 地域で支え合いを希望すること、将来的に頼みたいと思うこと ..... 106
- (4) 地域の支え合いに協力できること ..... 108
- (5) 「誰もが住み慣れた地域で、安心して最期まで暮らせるよう、支えあう地域づくり」  
についての考え ..... 110

## 10. 在宅療養

- (1) 最期までどのように住み続けたいか ..... 115
- (2) 実際に最期を迎えると思う場所 ..... 117
- (3) 在宅療養を考えた経験 ..... 119

## 11. 防災対策

- (1) 食料の備蓄状況 ..... 121
- (2) 食料を準備していない理由 ..... 123
- (3) 家具類の固定状況 ..... 125
- (4) 家具類を固定していない理由 ..... 127
- (5) 地域で行われる訓練への参加経験 ..... 129
- (6) 地域で行われる訓練に参加していない理由 ..... 131

## 12. ペットに関する防災対策

- (1) 犬や猫の飼育状況 ..... 133
- (2) 犬のための防災対策の状況 ..... 134
- (3) 猫のための防災対策の状況 ..... 135

## Ⅲ 質問と回答 ..... 137

# I 調査概要



## 1. 調査の目的

この調査は、区政に対する区民の意識、要望を、地域特性を踏まえて多面的に調査を行うことで明らかにし、調査結果を区政運営や地域課題の解決に係る基礎資料として活用することを目的として実施した。

## 2. 調査の方法

- (1) 調査地域 川崎市中原区全域
- (2) 調査対象 区内に在住する満18歳以上の男女（外国籍の区民を含む）
- (3) 標本数 2,000サンプル
- (4) 標本抽出方法 住民基本台帳に基づく単純無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送法
- (6) 調査期間 平成30年5月15日（火）～5月31日（木）
- (7) 調査委託機関 株式会社エスピー研

## 3. 調査の項目

- (1) 区民の定住性
- (2) 生活環境評価
- (3) 区役所業務の評価・区のイメージ
- (4) 中原区役所の広報
- (5) 中原区役所の環境
- (6) 子育て支援
- (7) 地域包括ケアシステム
- (8) 自立的な活動
- (9) 地域の支え合い
- (10) 在宅療養
- (11) 防災対策
- (12) ペットに関する防災対策

## 4. 回収状況

- (1) 調査票配布数 2,000
- (2) 有効回収数 1,135（有効回収率 56.8%）

## 5. この報告書の見方

- (1) 図表中の「 $n$ 」は、各質問の回答者数を示す。
- (2) 回答の比率（%）は、 $n$ を基数として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで示した。したがって、選択肢の中から1つだけ回答を選ぶ質問であっても、すべての選択肢の比率の合計が100.0%にならない場合がある。また、選択肢の中から複数の回答を選ぶ質問では、すべての選択肢の比率を合計すると通常100.0%を超える。
- (3) クロス集計による分析では、分析項目となる質問に無回答であった回答票も有効として扱い、全体の集計結果に含めている。しかし、分析項目となる質問に無回答であったものについてのクロス集計結果は、図表では割愛している。したがって、クロス集計の図表で示している属性すべての $n$ を合計しても、全体の $n$ には必ずしも一致しない。
- (4) クロス集計による分析では、属性によっては $n$ の値が小さい場合があり、原則として $n$ が20以下の属性については、比率のみかけ上顕著な違いがみられる場合であっても、図表の説明文中ではふれていない。
- (5) 今回調査と、平成28年、平成14年および平成5年に実施した「中原区区民アンケート」との共通の質問については、調査結果の比較を行った。なお、一部の質問では、平成5年の調査結果について、回答の比率を、小数点以下を四捨五入して整数で示した部分がある。
- (6) この調査は標本調査を行ったため、集計結果には標本誤差が生じる。単純無作為抽出法における標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、比率算出の基数（ $n$ ）および回答比率（ $P$ ）によって異なる。

$$b = \pm 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}}$$

$b$  = 標本誤差       $N$  = 母集団  
 $n$  = 比率算出の基数（サンプル数）  
 $P$  = 回答比率

$N$ は $n$ に対して非常に大きいため、 $\frac{N - n}{N - 1} \doteq 1$ とみなすことができるので、比率算出の基数（ $n$ ）および回答比率（ $P$ ）による標本誤差は、以下の早見表のように求められる。

回答比率(P) 基数(n)	10%または 90%	20%または 80%	30%または 70%	40%または 60%	50%
1,135	±1.78	±2.37	±2.72	±2.91	±2.97
1,000	±1.90	±2.53	±2.90	±3.10	±3.16
800	±2.12	±2.83	±3.24	±3.46	±3.54
600	±2.45	±3.27	±3.74	±4.00	±4.08
400	±3.00	±4.00	±4.58	±4.90	±5.00
200	±4.24	±5.66	±6.48	±6.93	±7.07

この早見表の見方は以下のとおりである。

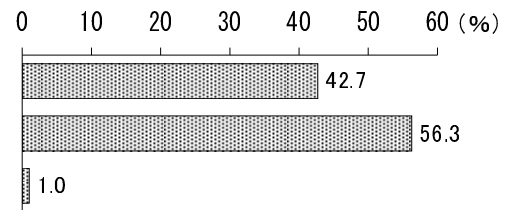
例えば、ある設問の回答者数が1,135人で、設問中のある選択肢の回答比率が30%であった場合、回答比率の標本誤差の範囲は最高でも±2.72%以内、すなわち27.28～32.72%の範囲にあるとみることができる。



## 6. 回答者の属性

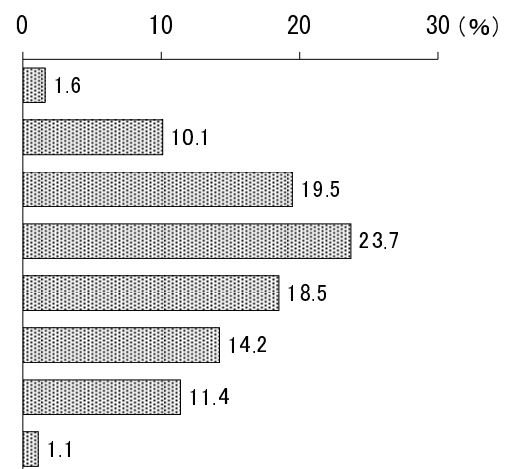
### (1) 性別

	基数	構成比
1 男性	485	42.7%
2 女性	639	56.3
(無回答)	11	1.0
合 計	1,135	100.0



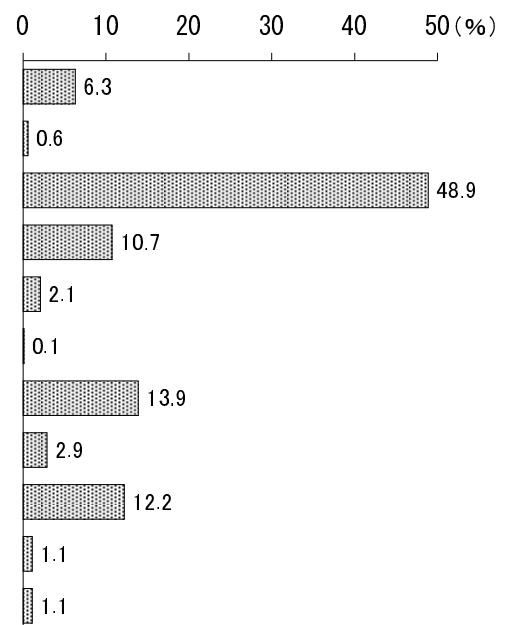
### (2) 年代

	基数	構成比
1 18～19歳	18	1.6%
2 20～29歳	115	10.1
3 30～39歳	221	19.5
4 40～49歳	269	23.7
5 50～59歳	210	18.5
6 60～69歳	161	14.2
7 70歳以上	129	11.4
(無回答)	12	1.1
合 計	1,135	100.0



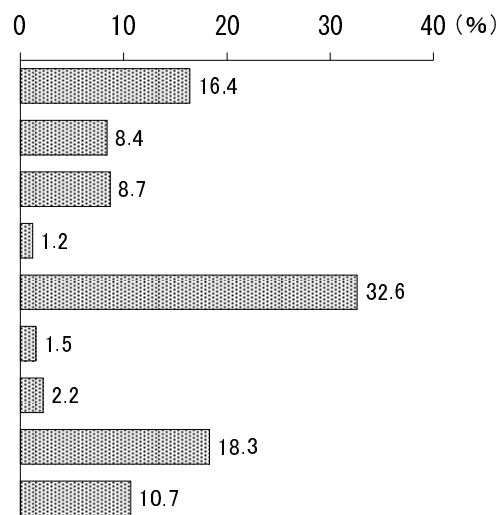
### (3) 職業

	基数	構成比
1 自営業	71	6.3%
2 家族従業 (家事手伝い)	7	0.6
3 勤め (全日)	555	48.9
4 勤め (パートタイム)	122	10.7
5 フリーアルバイト	24	2.1
6 内職	1	0.1
7 専業主婦	158	13.9
8 学生	33	2.9
9 無職	138	12.2
10 その他	13	1.1
(無回答)	13	1.1
合 計	1,135	100.0



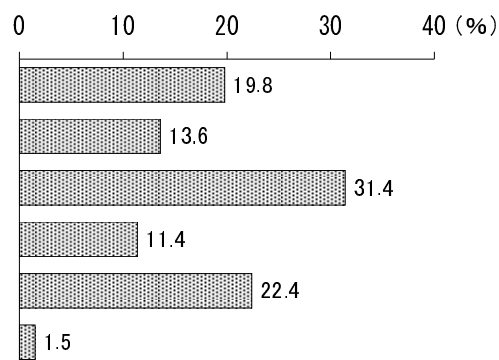
(4) 通勤・通学先

	基数	構成比
1 川崎市 (中原区)	186	16.4%
2 川崎市 (他の区)	95	8.4
3 横浜市	99	8.7
4 神奈川県内 (川崎、横浜以外)	14	1.2
5 東京都 (23区内)	370	32.6
6 東京都 (23区外)	17	1.5
7 その他	25	2.2
8 通勤・通学していない	208	18.3
(無回答)	121	10.7
合計	1,135	100.0



(5) 居住地区 (※)

	基数	構成比
1 小杉地区	225	19.8%
2 玉川地区	154	13.6
3 大戸地区	356	31.4
4 丸子地区	129	11.4
5 住吉地区	254	22.4
(無回答)	17	1.5
合計	1,135	100.0

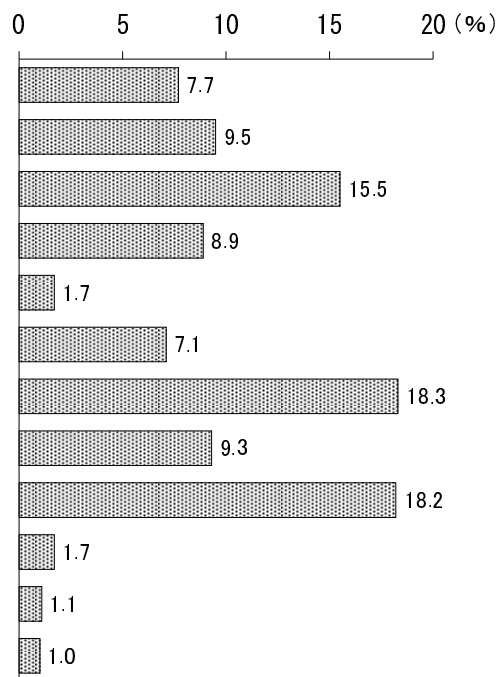


(※) 居住地区の分類

地区名	町丁名
小杉地区	市ノ坪、今井上町、今井仲町、今井西町、今井南町、小杉、小杉御殿町1・2丁目、小杉陣屋町1・2丁目、小杉町1～3丁目、等々力
玉川地区	上平間、北谷町、下沼部、田尻町、中丸子
大戸地区	上小田中1～7丁目、上新城1・2丁目、下小田中1～6丁目、下新城1～3丁目、新城、新城1～5丁目、新城中町、宮内1～4丁目
丸子地区	上丸子、上丸子山王町1・2丁目、上丸子天神町、上丸子八幡町、新丸子東1～3丁目、新丸子町、丸子通1・2丁目
住吉地区	井田1～3丁目、井田三舞町、井田杉山町、井田中ノ町、大倉町、荻宿、木月1～4丁目、木月伊勢町、木月祇園町、木月住吉町、木月大町、西加瀬

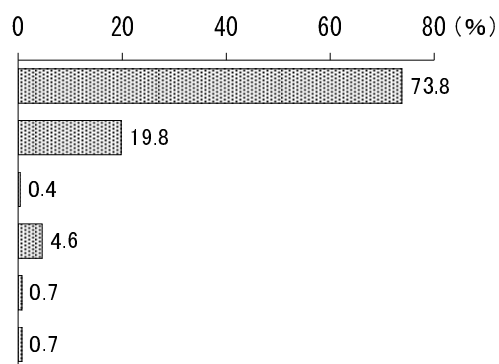
(6) よく利用する駅

	基数	構成比
1 J R 武蔵小杉 (南武線)	87	7.7%
2 J R 武蔵小杉 (横須賀線)	108	9.5
3 J R 武蔵中原	176	15.5
4 J R 武蔵新城	101	8.9
5 J R 向河原	19	1.7
6 J R 平間	81	7.1
7 東急武蔵小杉	208	18.3
8 東急新丸子	105	9.3
9 東急元住吉	207	18.2
10 東急日吉	19	1.7
11 その他	13	1.1
(無回答)	11	1.0
合 計	1,135	100.0



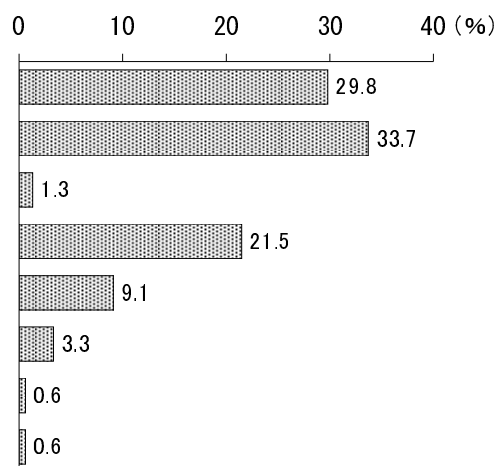
(7) よく利用する駅までの交通手段

	基数	構成比
1 徒歩のみ	838	73.8%
2 自転車で	225	19.8
3 バイクで	4	0.4
4 バスで	52	4.6
5 車で	8	0.7
(無回答)	8	0.7
合 計	1,135	100.0



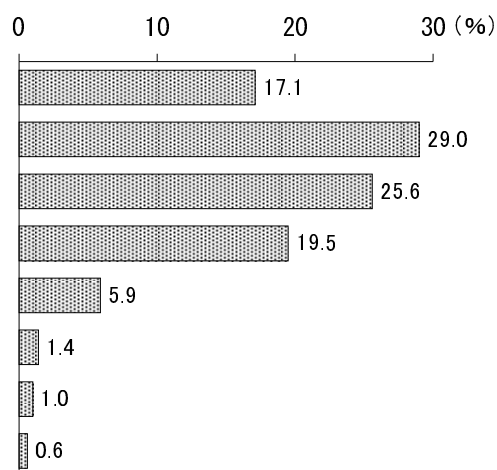
(8) 住居形態

	基数	構成比
1 持家 (一戸建)	338	29.8%
2 持家 (マンション・団地)	383	33.7
3 借家 (一戸建)	15	1.3
4 借家 (マンション・団地)	244	21.5
5 民間アパート	103	9.1
6 社宅・寮・公務員住宅	38	3.3
7 その他	7	0.6
(無回答)	7	0.6
合 計	1,135	100.0



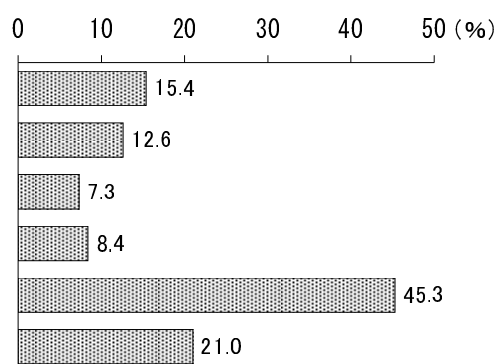
(9) 家族人数

	基数	構成比
1 1人	194	17.1%
2 2人	329	29.0
3 3人	290	25.6
4 4人	221	19.5
5 5人	67	5.9
6 6人	16	1.4
7 7人以上	11	1.0
(無回答)	7	0.6
合計	1,135	100.0



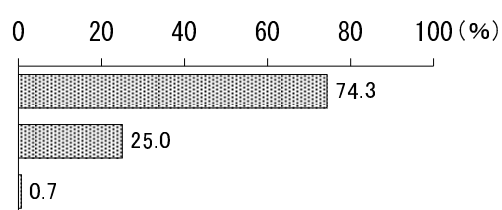
(9-1) 高校生以下の家族との同居 (複数回答、(9)で「2人」～「7人以上」と回答した方に対する質問)

	基数	構成比
1 未就学児	144	15.4%
2 小学生	118	12.6
3 中学生	68	7.3
4 高校生	78	8.4
5 いない	423	45.3
(無回答)	196	21.0
合計	934	100.0



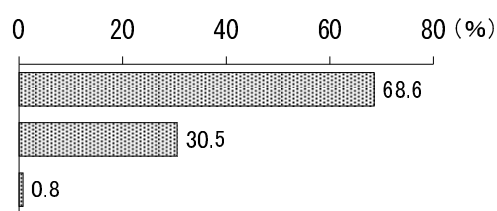
(9-2) 同居している未就学児の人数 ((9-1)で「未就学児」と回答した方に対する質問)

	基数	構成比
1 1人	107	74.3%
2 2人	36	25.0
3 3人	1	0.7
合計	144	100.0



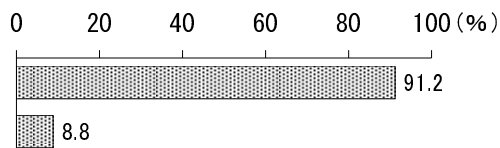
(9-3) 同居している小学生の人数 ((9-1)で「小学生」と回答した方に対する質問)

	基数	構成比
1 1人	81	68.6%
2 2人	36	30.5
3 3人	1	0.8
合計	118	100.0



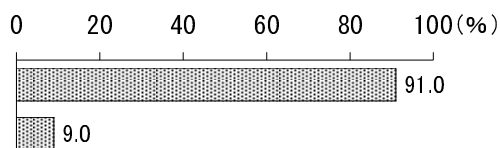
(9-4) 同居している中学生の人数 ((9-1) で「中学生」と回答した方に対する質問)

	基数	構成比
1 1人	62	91.2%
2 2人	6	8.8
合計	68	100.0



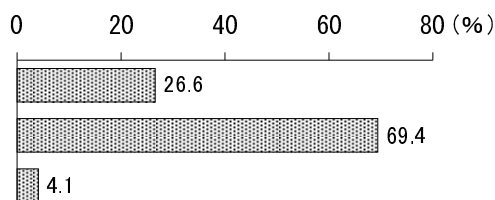
(9-5) 同居している高校生の人数 ((9-1) で「高校生」と回答した方に対する質問)

	基数	構成比
1 1人	71	91.0%
2 2人	7	9.0
合計	78	100.0



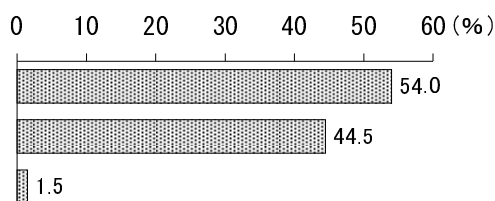
(9-6) 65歳以上の家族との同居 ((9) で「2人」～「7人以上」と回答した方に対する質問)

	基数	構成比
1 いる	248	26.6%
2 いない	648	69.4
(無回答)	38	4.1
合計	934	100.0



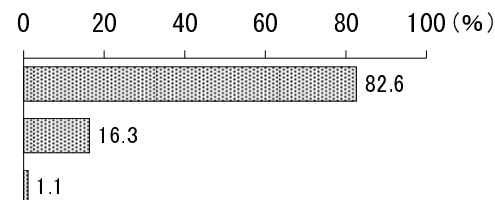
(10) 町内会・自治会の加入状況

	基数	構成比
1 加入している	613	54.0%
2 加入していない	505	44.5
(無回答)	17	1.5
合計	1,135	100.0



(11) インターネットの利用状況

	基数	構成比
1 利用している	938	82.6%
2 利用していない	185	16.3
(無回答)	12	1.1
合計	1,135	100.0





## II 調査結果の詳細



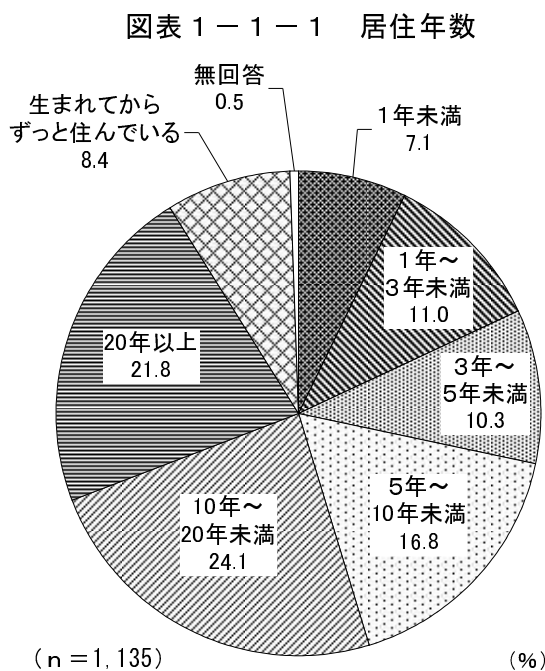


# 1. 区民の定住性

## (1) 居住年数

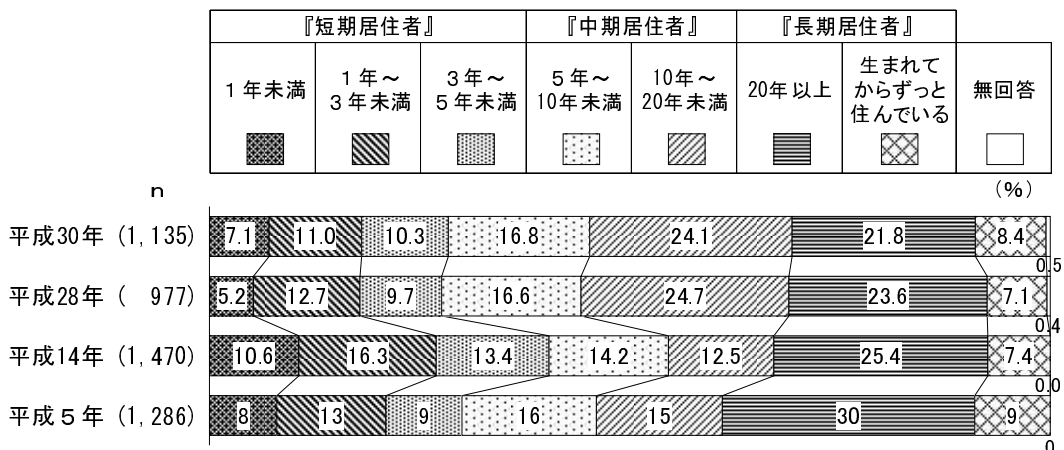
問1 今の所にお住みになって何年になりますか。(○は1つだけ)

居住年数を聞いたところ、「5年～10年未満」(16.8%)と「10年～20年未満」(24.1%)の2つを合わせた『中期居住者』(40.9%)が約4割と高くなっている。「1年未満」(7.1%)、「1年～3年未満」(11.0%)、「3年～5年未満」(10.3%)の3つを合わせた『短期居住者』(28.4%)は3割近くで、「20年以上」(21.8%)と「生まれてからずっと住んでいる」(8.4%)の2つを合わせた『長期居住者』(30.2%)は3割となっている。(図表1-1-1)



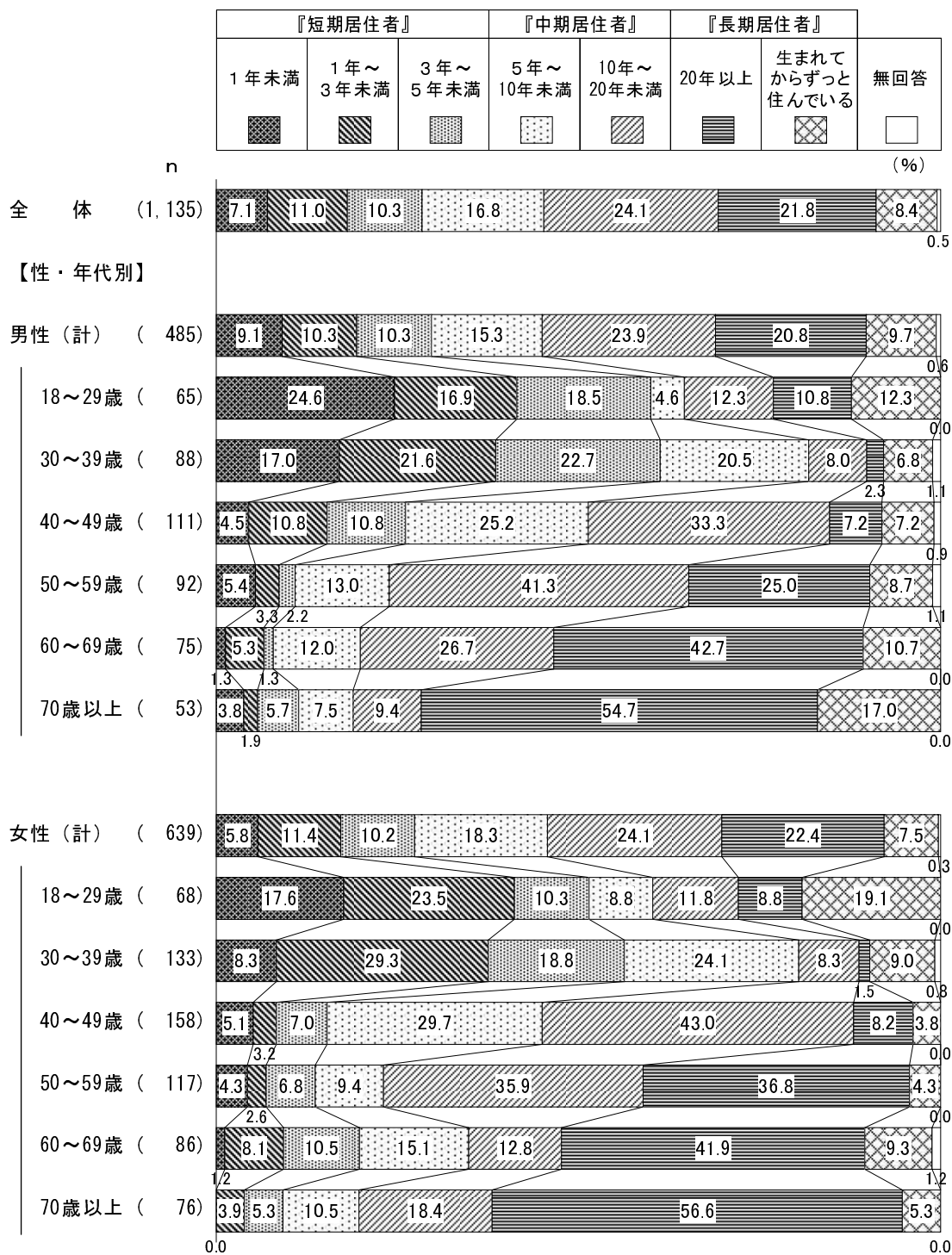
過去の調査と比較すると、『長期居住者』は平成5年以降減少傾向にある。(図表1-1-2)

図表1-1-2 居住年数—過去の調査との比較



性・年代別にみると、『短期居住者』は男性18～29歳（60.0%）と男性30～39歳（61.3%）で6割台と高くなっている。『中期居住者』は女性40～49歳（72.7%）で7割を超えて高くなっている。『長期居住者』は男性70歳以上（71.7%）で7割を超えて高くなっている。（図表1-1-3）

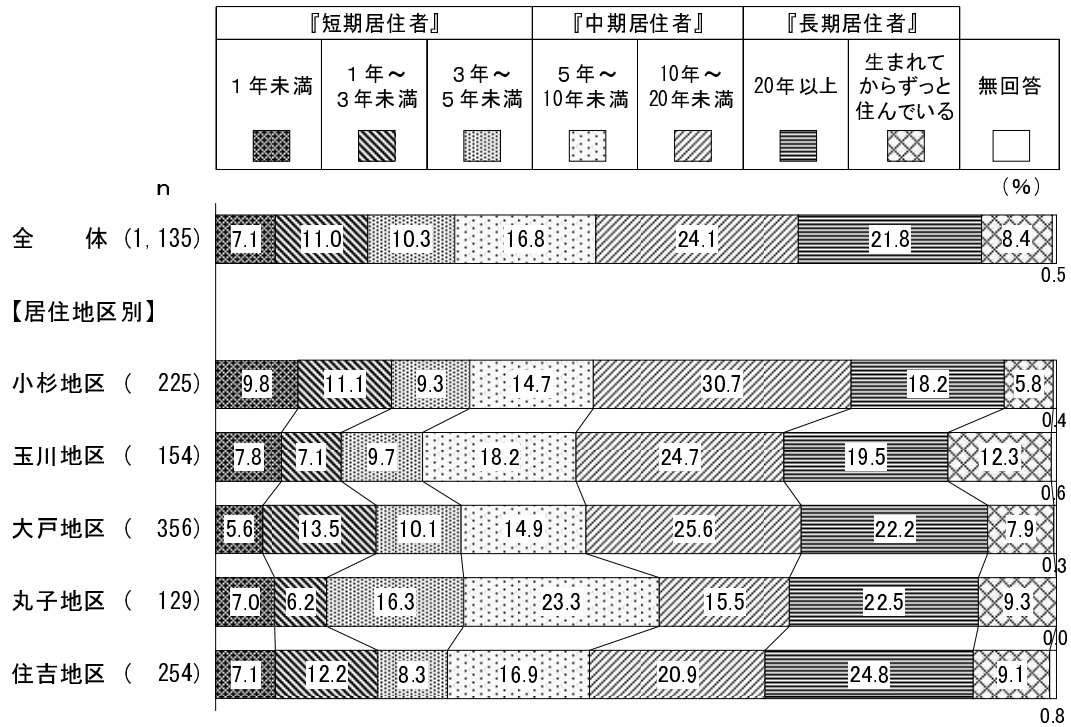
図表1-1-3 居住年数一性・年代別



居住地区別にみると、『中期居住者』は小杉地区（45.4%）で4割半ばと高くなっている。

（図表1-1-4）

図表1-1-4 居住年数-居住地区別

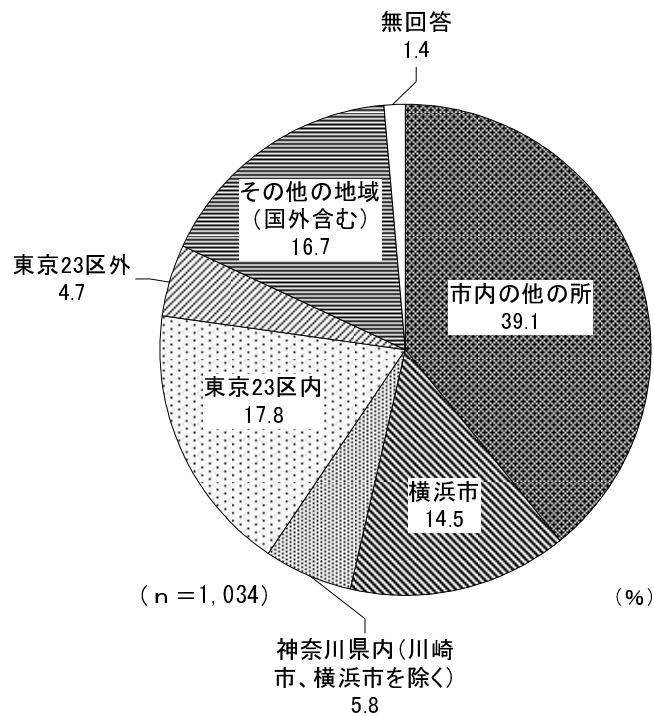


## (2) 以前の居住場所

(問1で、「生まれてからずっと住んでいる」以外と回答した方に)  
問1-1 今の所に住む以前はどちらにお住まいでしたか。(〇は1つだけ)

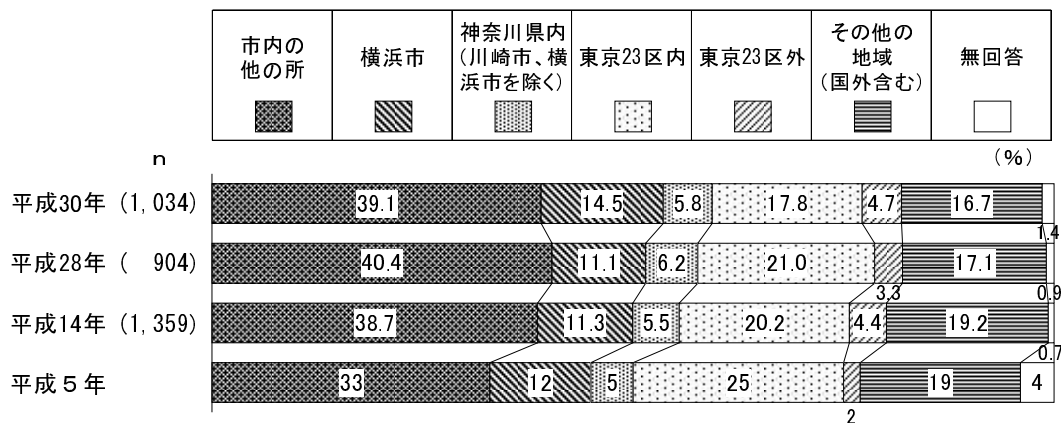
今の所に「生まれてからずっと住んでいる」以外と回答した方(1,034人)に、以前の居住場所を聞いたところ、「市内の他の所」(39.1%)が約4割で最も高く、次いで「東京23区内」(17.8%)、「その他の地域(国外含む)」(16.7%)、「横浜市」(14.5%)となっている。(図表1-2-1)

図表1-2-1 以前の居住場所



過去の調査と比較すると、「横浜市」は平成28年より3.4ポイント増加している。一方、「東京23区内」は平成28年より3.2ポイント減少している。(図表1-2-2)

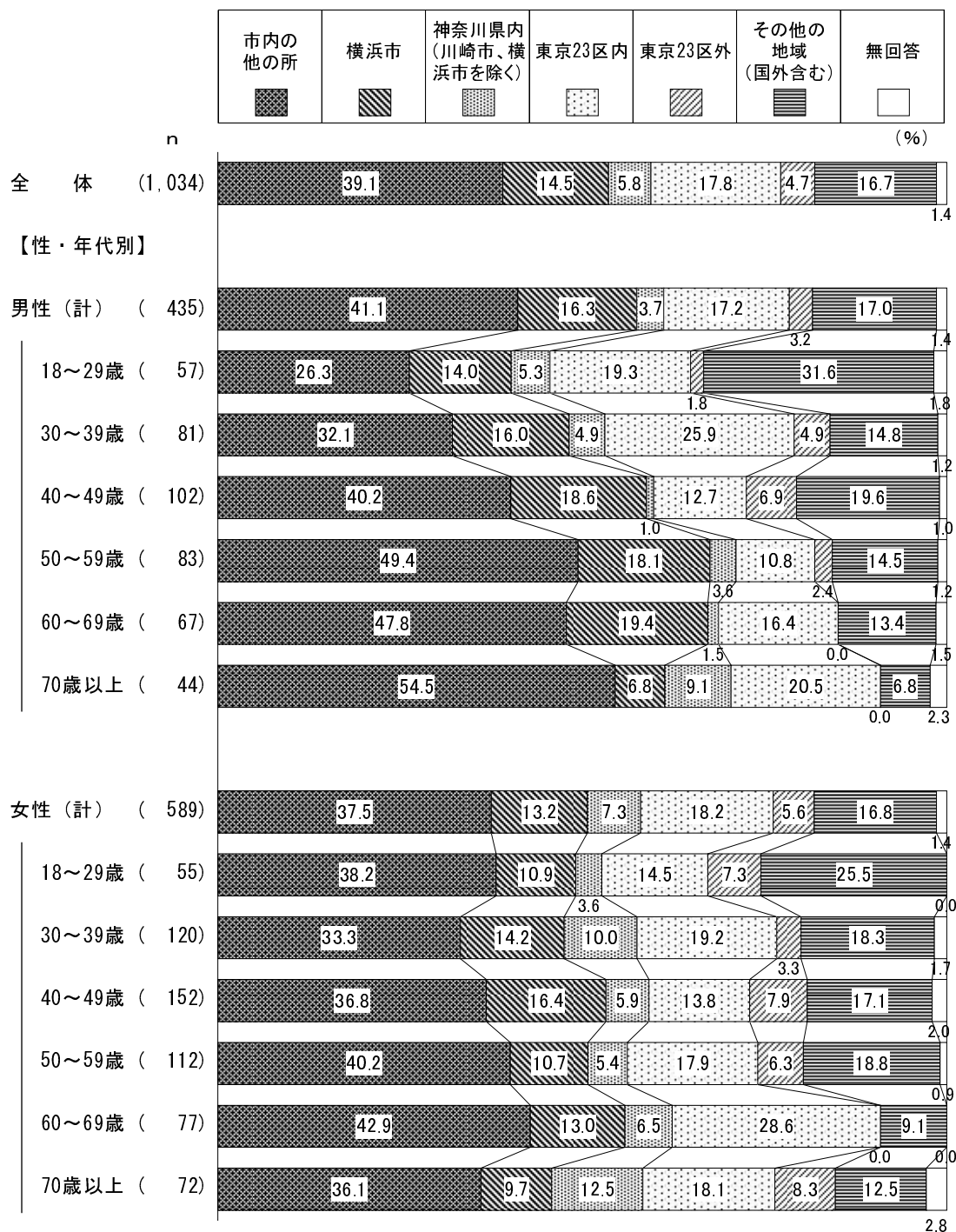
図表1-2-2 以前の居住場所—過去の調査との比較



※平成5年調査の基数(n)は不明なため、記載していない。

性・年代別にみると、「市内の他の所」は男性70歳以上（54.5%）で5割半ばと高くなっている。「東京23区内」は女性60～69歳（28.6%）で3割近くと高くなっている。「その他の地域（国外含む）」は男性18～29歳（31.6%）で3割を超えて高くなっている。（図表1-2-3）

図表1-2-3 以前の居住場所－性・年代別



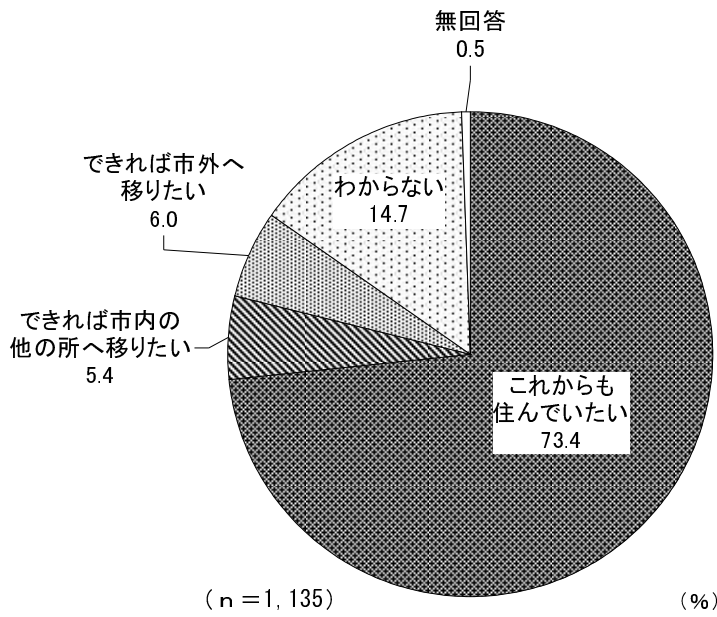
(3) 定住意向

問2 これからも今の所にお住まいになる予定ですか。(○は1つだけ)

定住意向を聞いたところ、「これからも住んでいたい」(73.4%)が7割を超え、これに「できれば市内の他の所へ移りたい」(5.4%)を合わせた『市内に住みたい』(78.8%)が8割近くで高くなっている。一方、「できれば市外へ移りたい」(6.0%)は1割未満となっている。

(図表1-3-1)

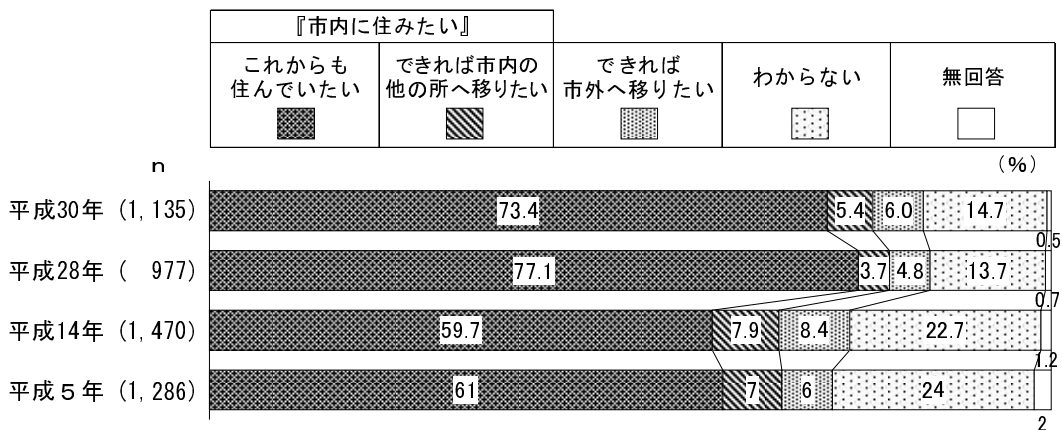
図表1-3-1 定住意向



過去の調査と比較すると、「これからも住んでいたい」は平成28年より3.7ポイント減少している。

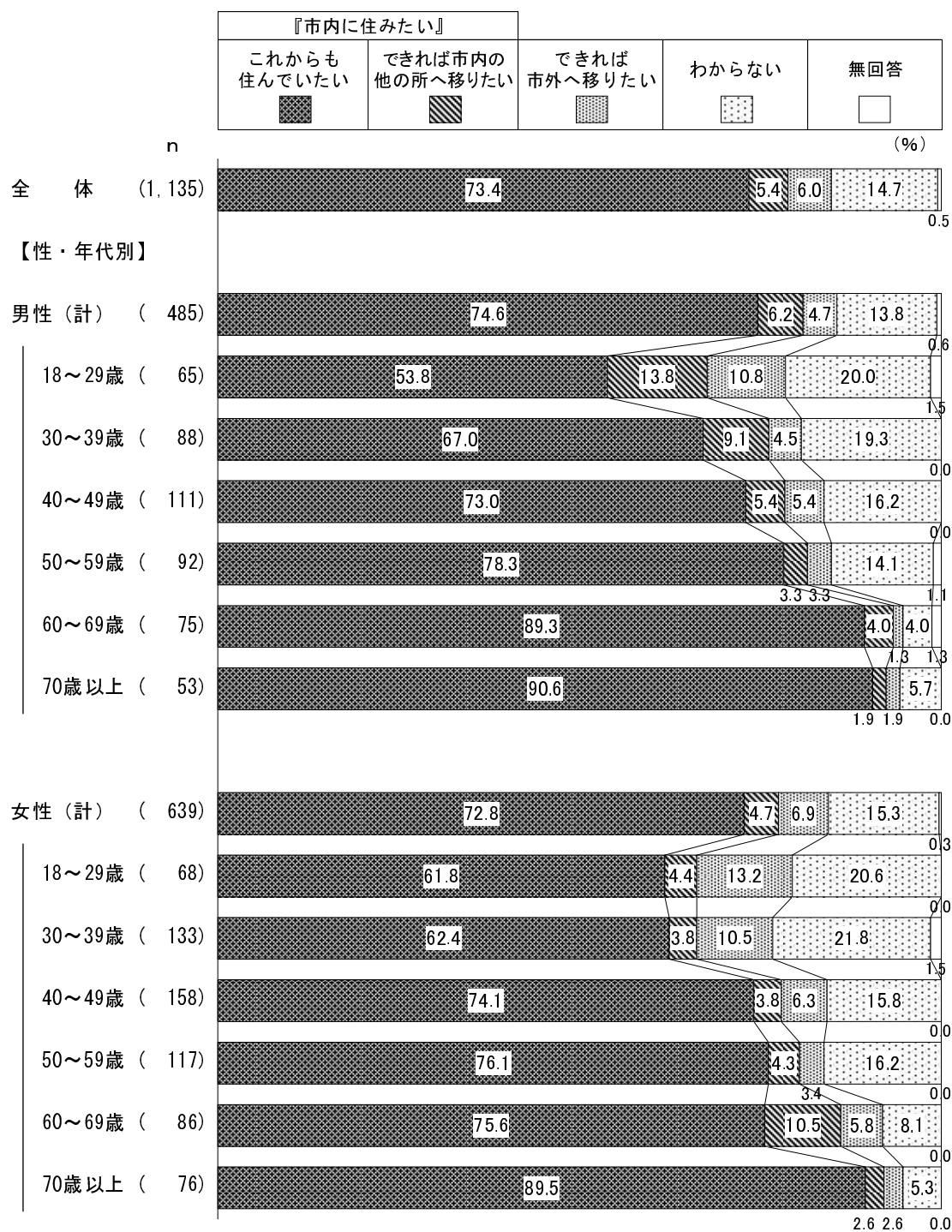
(図表1-3-2)

図表1-3-2 定住意向—過去の調査との比較



性・年代別にみると、「これからも住んでいたい」は男女ともにおおむね年代が上がるほど割合が高く、男性60～69歳（89.3%）、男性70歳以上（90.6%）、女性70歳以上（89.5%）で9割前後と高くなっている。（図表1-3-3）

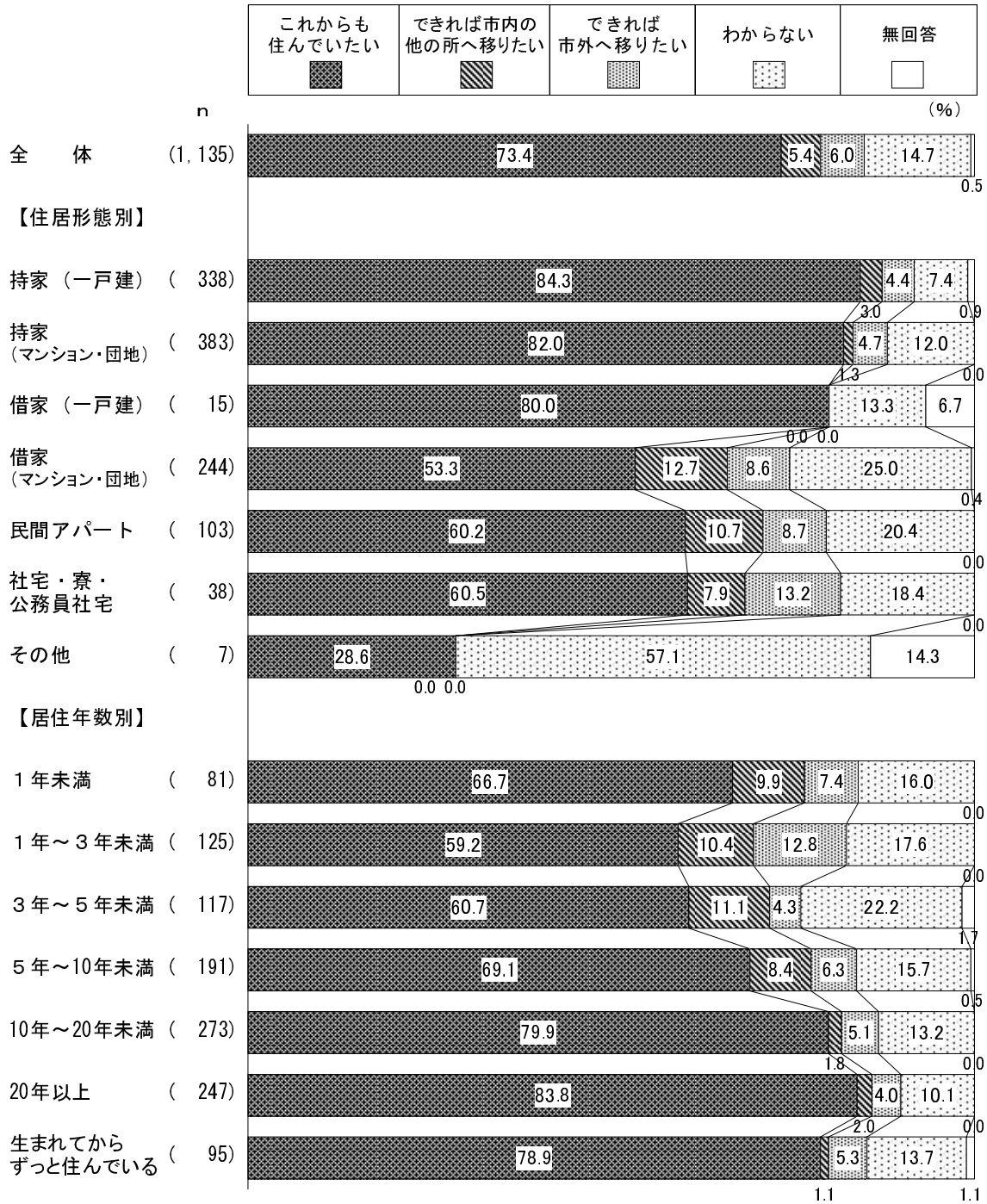
図表1-3-3 定住意向一性・年代別



住居形態別にみると、「これからも住んでいたい」は持家（一戸建）（84.3%）と持家（マンション・団地）（82.0%）で8割台と高くなっている。

居住年数別にみると、「これからも住んでいたい」は居住年数20年以上の人（83.8%）で8割を超えて高くなっている。（図表1-3-4）

図表1-3-4 定住意向－住居形態別・居住年数別





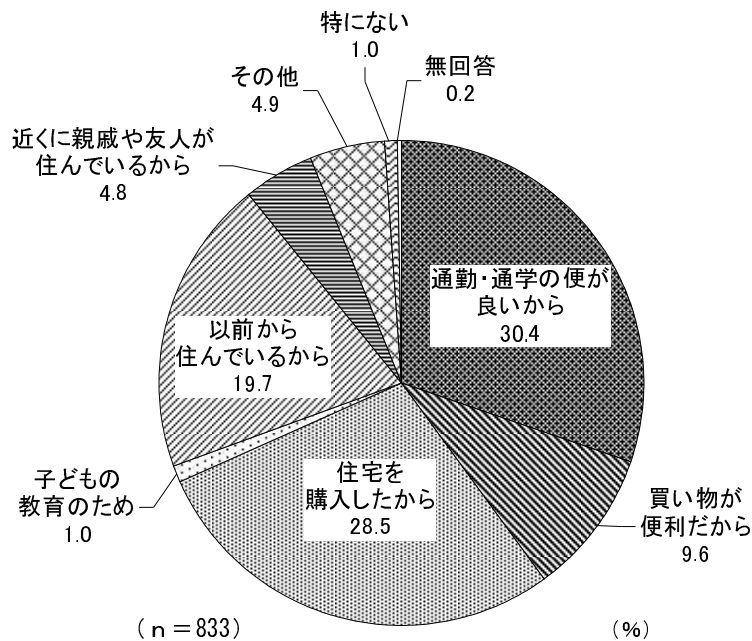
#### (4) 定住したい理由

(問2で、「これからも住んでいたい」と回答した方に)  
 問2-1 今の所に住んでいたい主な理由は何ですか。(○は1つだけ)

今の所に「これからも住んでいたい」と回答した方(833人)に、その理由を聞いたところ、「通勤・通学の便が良いから」(30.4%)が3割で最も高く、次いで「住宅を購入したから」(28.5%)、「以前から住んでいるから」(19.7%)、「買い物が便利だから」(9.6%)となっている。

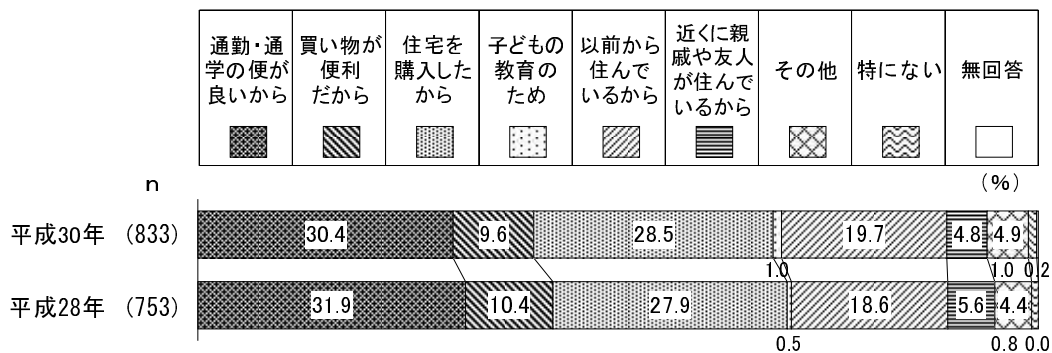
(図表1-4-1)

図表1-4-1 定住したい理由



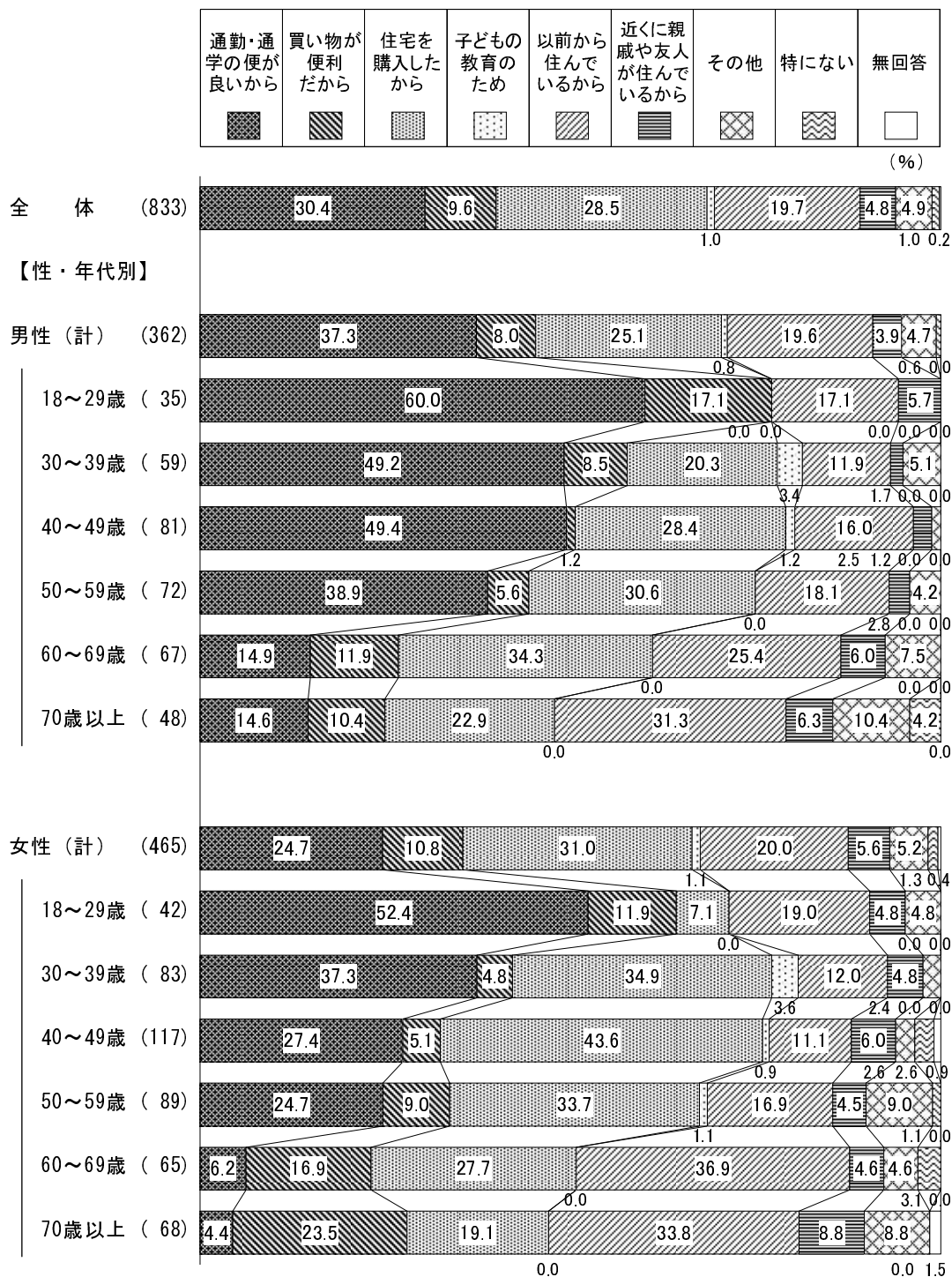
前回の調査と比較すると、大きな違いはみられない。(図表1-4-2)

図表1-4-2 定住したい理由—前回の調査との比較



性・年代別にみると、「通勤・通学の便が良いから」は男女ともにおおむね年代が下がるほど割合が高く、男性18～29歳（60.0%）で6割、女性18～29歳（52.4%）で5割を超えて高くなっている。「住宅を購入したから」は女性40～49歳（43.6%）で4割を超えて高くなっている。「以前から住んでいるから」は女性60～69歳（36.9%）で4割近くと高くなっている。（図表1-4-3）

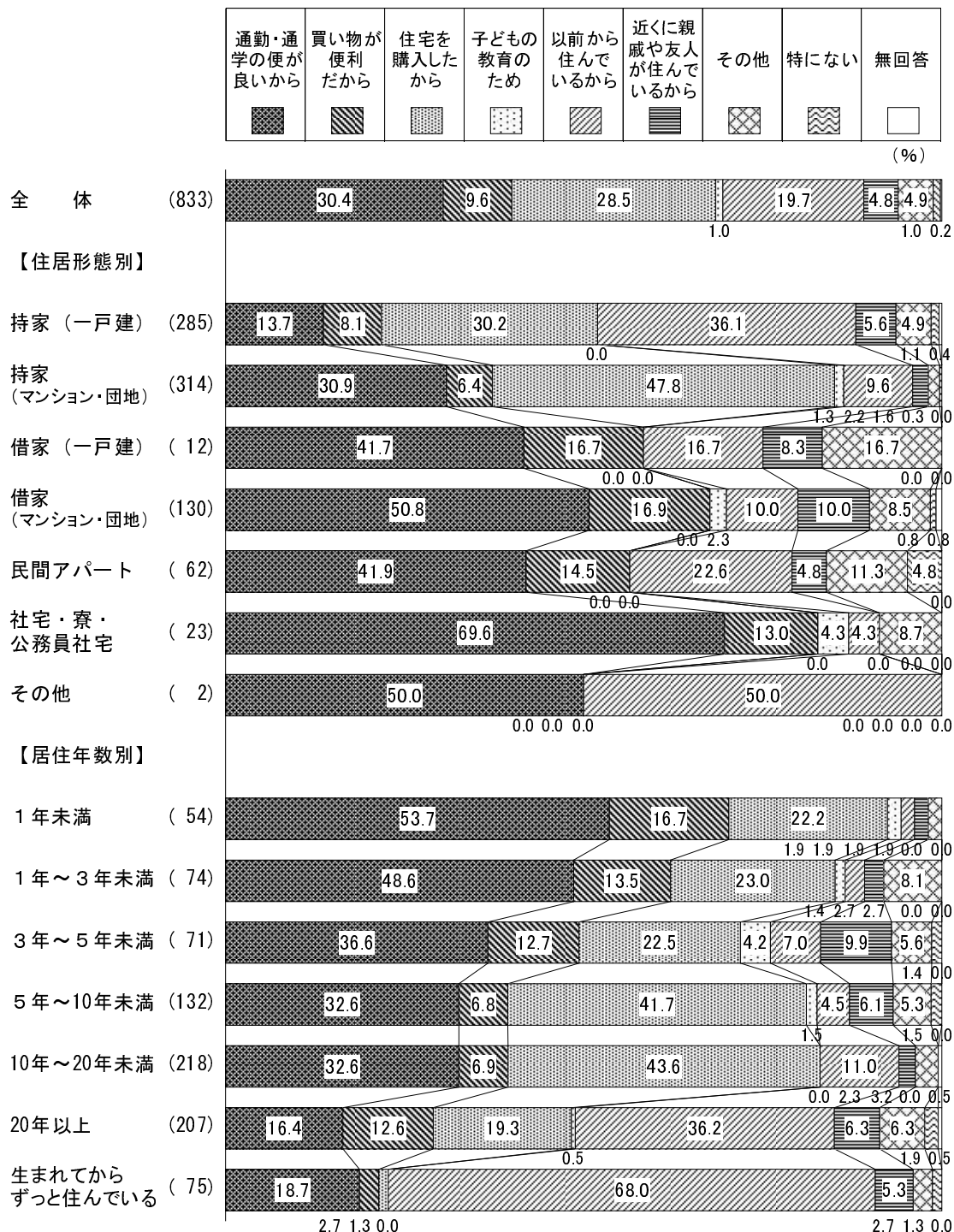
図表1-4-3 定住したい理由－性・年代別



住居形態別にみると、「通勤・通学の便が良いから」は社宅・寮・公務員住宅（69.6%）で7割と高くなっている。「住宅を購入したから」は持家（マンション・団地）（47.8%）で5割近くと高くなっている。

居住年数別にみると、「通勤・通学の便が良いから」は居住年数1年未満の人（53.7%）で5割を超えて高くなっている。「住宅を購入したから」は居住年数5年～10年未満の人（41.7%）と居住年数10年～20年未満の人（43.6%）で4割を超えて高くなっている。「以前から住んでいるから」は生まれてからずっと住んでいる人（68.0%）で7割近くと高くなっている。（図表1-4-4）

図表1-4-4 定住したい理由－住居形態別・居住年数別

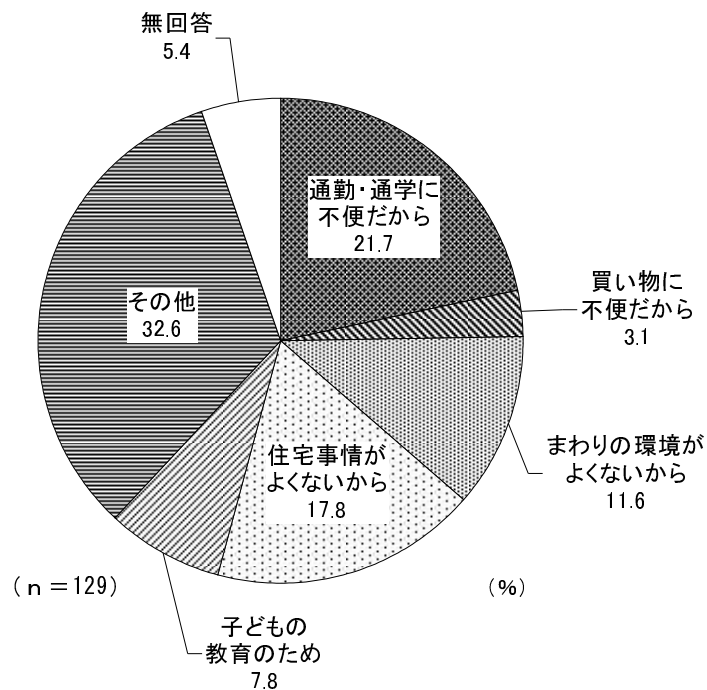


## (5) 転出したい理由

(問2で、「できれば市内の他の所へ移りたい」、「できれば市外へ移りたい」と回答した方に)  
問2-2 今の所から移りたいという主な理由は何ですか。(〇は1つだけ)

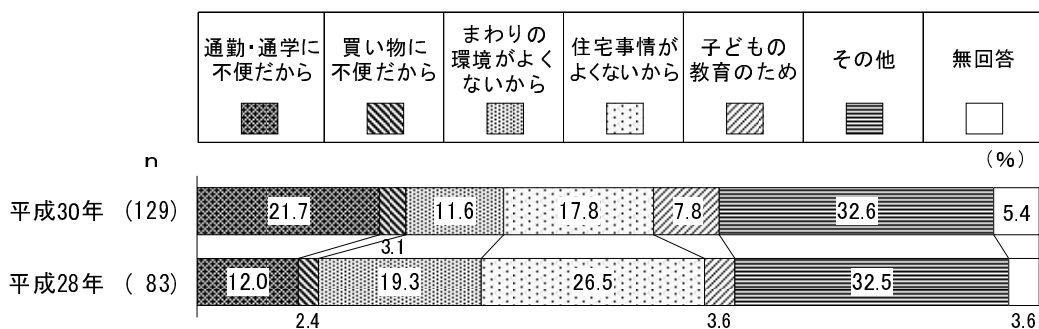
今の所から「できれば市内の他の所へ移りたい」、「できれば市外へ移りたい」と回答した方(129人)に、その理由を聞いたところ、「通勤・通学に不便だから」(21.7%)が2割を超えて最も高く、次いで「住宅事情がよくないから」(17.8%)、「まわりの環境がよくないから」(11.6%)となっている。(図表1-5-1)

図表1-5-1 転出したい理由



前回の調査と比較すると、「通勤・通学に不便だから」は9.7ポイント、「子どもの教育のため」は4.2ポイント、それぞれ増加している。一方、「住宅事情がよくないから」は8.7ポイント、「まわりの環境がよくないから」は7.7ポイント、それぞれ減少している。(図表1-5-2)

図表1-5-2 転出したい理由—前回の調査との比較



## 2. 生活環境評価

### (1) 生活環境の満足度

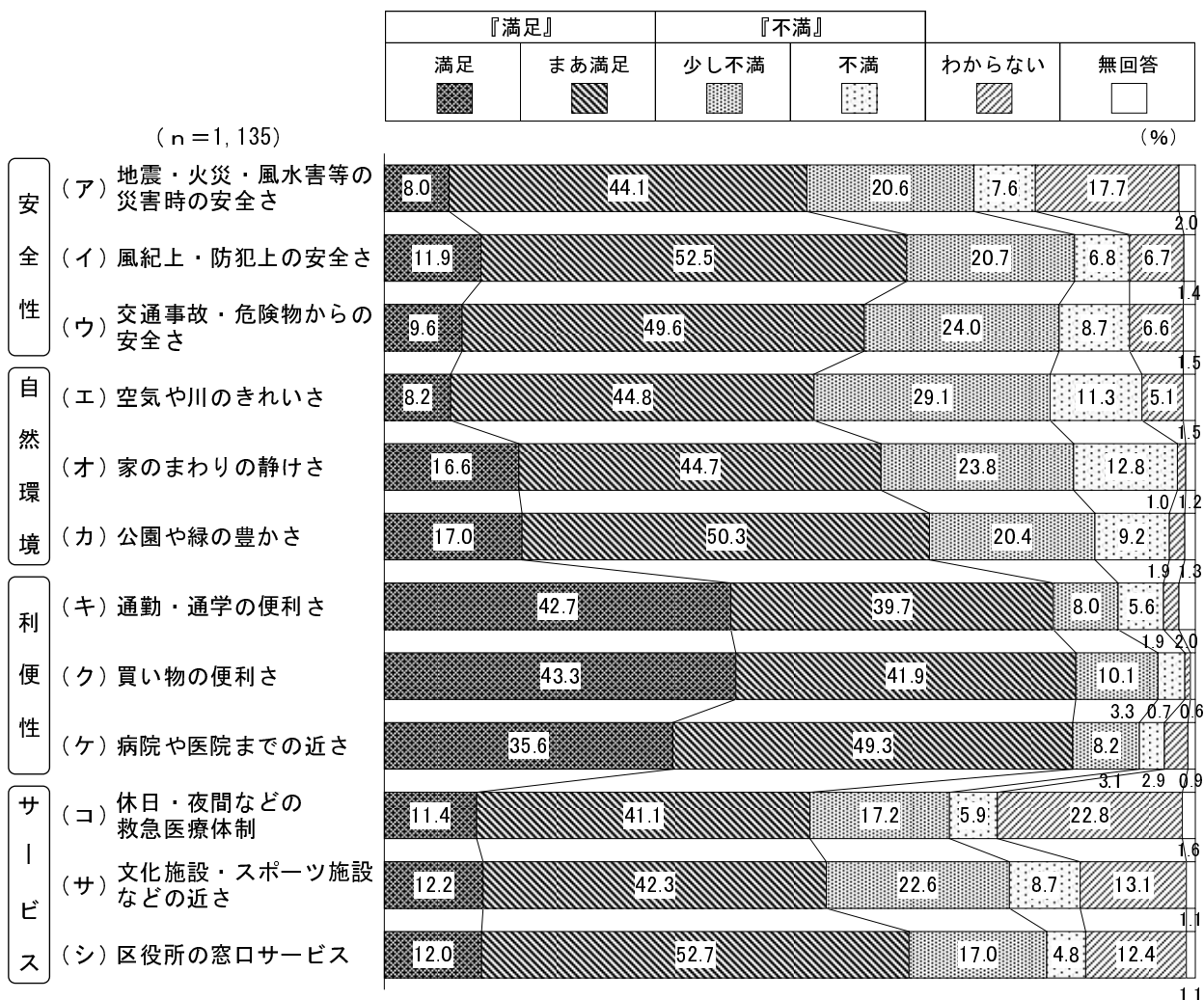
問3 あなたのお住まいのまわりの生活環境についてお伺いします。次にあげる(ア)から(シ)のそれぞれの項目についてどの程度満足していますか。各項目について1つずつ選んでください。(〇はそれぞれ1つ)

住まいの周辺の生活環境について、12項目に分けて満足度を聞いたところ、「満足」と「まあ満足」の2つを合わせた『満足』は、(ク)買い物の便利さ(85.2%)が8割半ばで最も高く、次いで(ケ)病院や医院までの近さ(84.9%)、(キ)通勤・通学の便利さ(82.4%)となっている。

一方、「少し不満」と「不満」の2つを合わせた『不満』は、(エ)空気や川のきれいさ(40.4%)が4割で最も高く、次いで(オ)家のまわりの静けさ(36.6%)、(ウ)交通事故・危険物からの安全さ(32.7%)、(サ)文化施設・スポーツ施設などの近さ(31.3%)となっている。

(図表2-1-1)

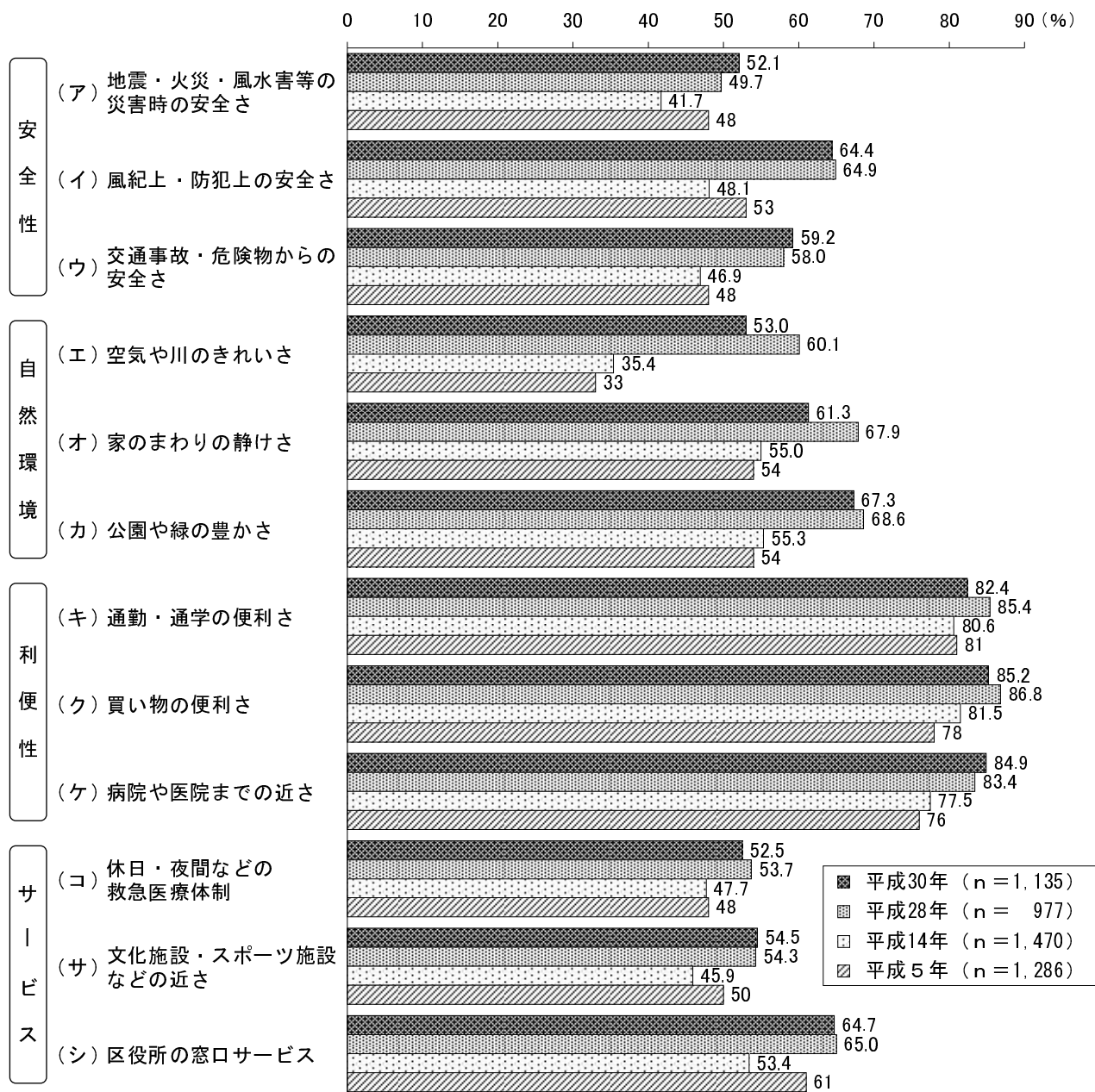
図表2-1-1 生活環境の満足度



「満足」と「まあ満足」の2つを合わせた『満足』を過去の調査と比較すると、(ケ) 病院や医院までの近さは平成5年以降増加傾向にある。一方、(エ) 空気や川のきれいさは平成28年より7.1ポイント、(オ) 家のまわりの静けさは平成28年より6.6ポイント、それぞれ減少している。

(図表 2-1-2)

図表 2-1-2 生活環境の満足度ー『満足』の過去の調査との比較



12項目にわたる生活環境の満足度の相互の比較をしやすいように、以下のような加重平均値の計算式を用いた評価点を算出した。

$$\text{評価点} = (\text{「満足」の回答者数} \times 2 \text{点} + \text{「まあ満足」の回答者数} \times 1 \text{点} + \text{「少し不満」の回答者数} \times -1 \text{点} + \text{「不満」の回答者数} \times -2 \text{点}) \div (\text{回答者数} - \text{無回答者数})$$

この計算方法では、評価点は+2.00点～-2.00点の間に分布し、+2点に近くなるほど満足度が高く、逆に-2点に近くなるほど満足度が低くなる。

評価点の計算結果および地区別の評価点の計算結果は、以下の図表2-1-3のとおりである。

図表2-1-3 生活環境の満足度の評価点一居住地区別

	中原区全体	小杉地区	玉川地区	大戸地区	丸子地区	住吉地区
(ア) 地震・火災・風水害等の災害時の安全さ	0.30	0.36	0.11	0.38	0.10	0.38
(イ) 風紀上・防犯上の安全さ	0.46	0.50	0.55	0.33	0.42	0.57
(ウ) 交通事故・危険物からの安全さ	0.30	0.16	0.43	0.27	0.24	0.38
(エ) 空気や川のきれいさ	0.10	0.18	-0.06	0.11	0.09	0.11
(オ) 家のまわりの静けさ	0.29	0.21	0.31	0.38	-0.06	0.39
(カ) 公園や緑の豊かさ	0.47	0.54	0.56	0.42	0.20	0.56
(キ) 通勤・通学の便利さ	1.10	1.22	1.25	0.78	1.54	1.16
(ク) 買い物の便利さ	1.13	1.17	0.81	1.11	1.34	1.22
(ケ) 病院や医院までの近さ	1.10	1.23	0.88	0.92	1.42	1.22
(コ) 休日・夜間などの救急医療体制	0.46	0.63	0.43	0.36	0.61	0.41
(サ) 文化施設・スポーツ施設などの近さ	0.31	0.50	0.09	0.41	0.43	0.10
(シ) 区役所の窓口サービス	0.58	0.77	0.47	0.51	0.61	0.52

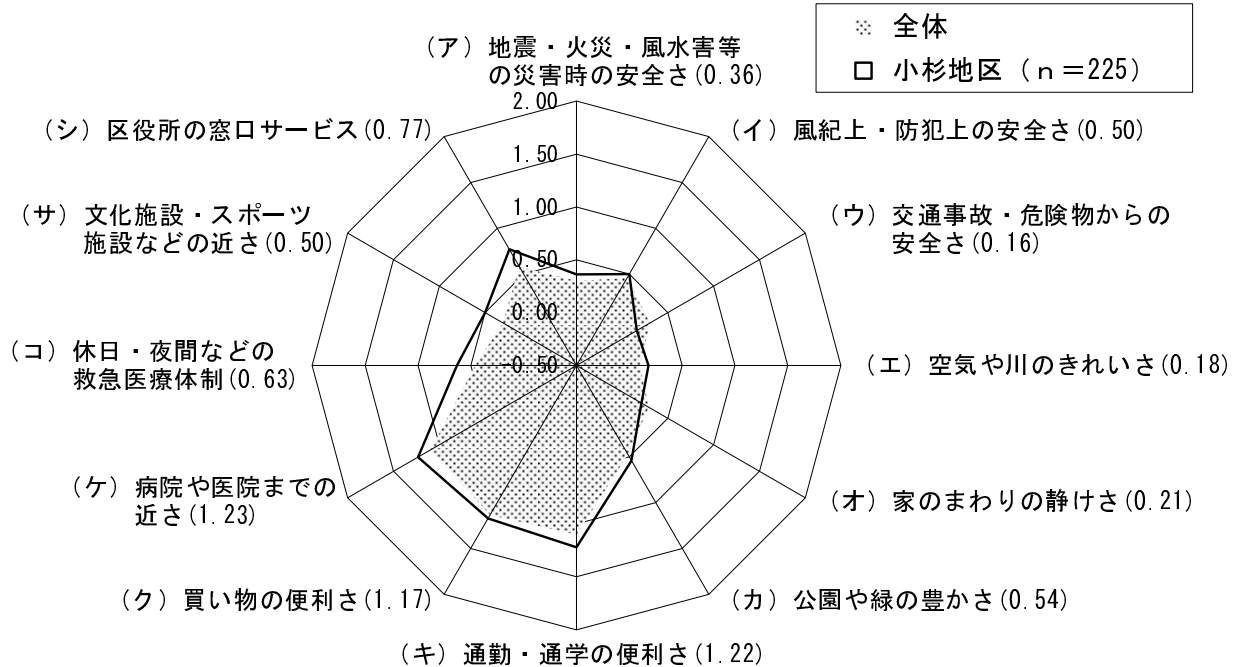
※図表中の網かけは、各項目で中原区全体と比べて低い値であることを示す。

また、以下の図表2-1-4～図表2-1-8において、各居住地区の生活環境の満足度の評価点を、中原区全体と比較して示した。

さらに、以下の図表2-1-9と図表2-1-10において、問2（定住意向）の質問で「これからも住んでいたい」と答えた人と、「できれば市内の他の所へ移りたい」または「できれば市外へ移りたい」と答えた人の間で、どの項目で生活環境の満足度の評価の違いが大きいか、中原区全体と比較して示した。

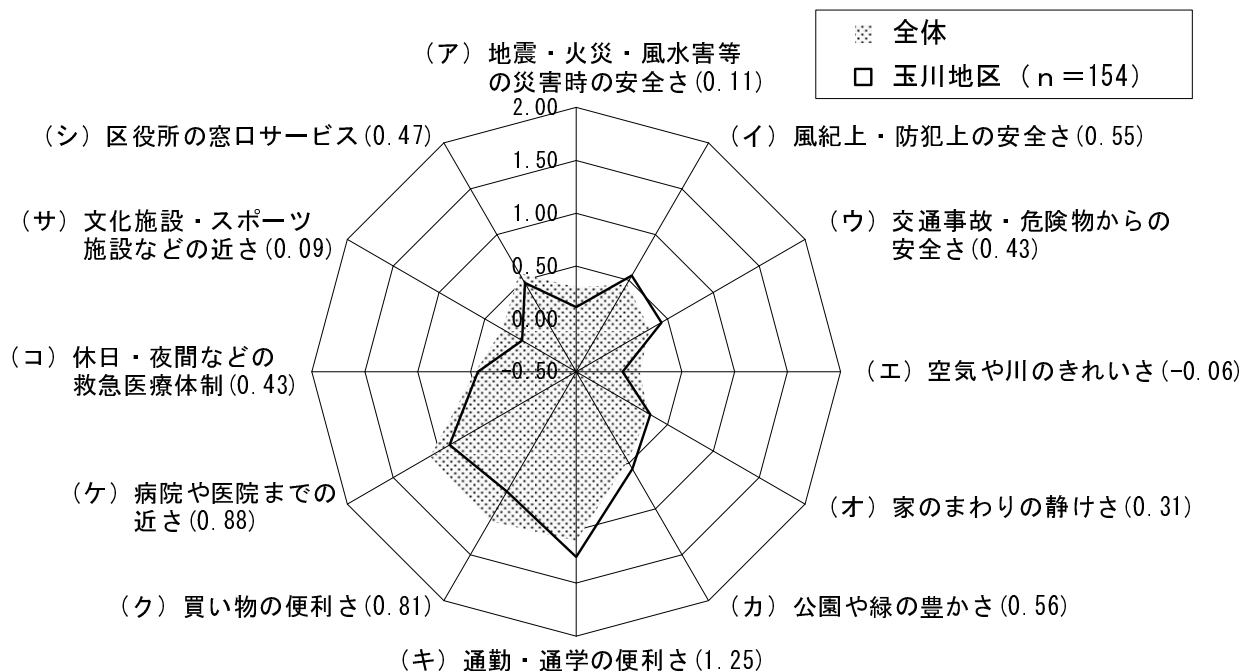
小杉地区で中原区全体と比べて評価が高い項目は、(サ)文化施設・スポーツ施設などの近さ(+0.19)、(シ)区役所の窓口サービス(+0.19)など計10項目となっている。一方、中原区全体と比べて評価が低い項目は、(ウ)交通事故・危険物からの安全さ(-0.14)、(オ)家のまわりの静けさ(-0.08)の2項目となっている。(図表2-1-4)

図表2-1-4 生活環境の満足度の評価点—小杉地区



玉川地区で中原区全体と比べて評価が高い項目は、(キ)通勤・通学の便利さ(+0.15)、(ウ)交通事故・危険物からの安全さ(+0.13)など計5項目となっている。一方、中原区全体と比べて評価が低い項目は、(ク)買い物の便利さ(-0.32)、(ケ)病院や医院までの近さ(-0.22)、(サ)文化施設・スポーツ施設などの近さ(-0.22)など計7項目となっている。(図表2-1-5)

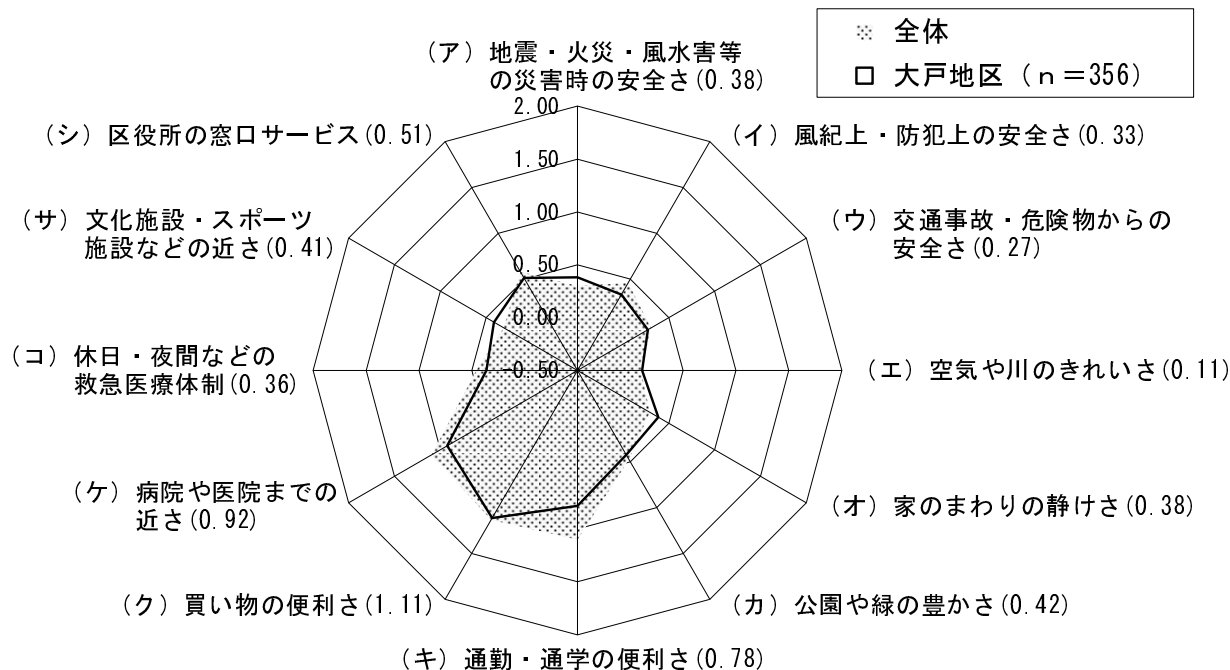
図表2-1-5 生活環境の満足度の評価点—玉川地区





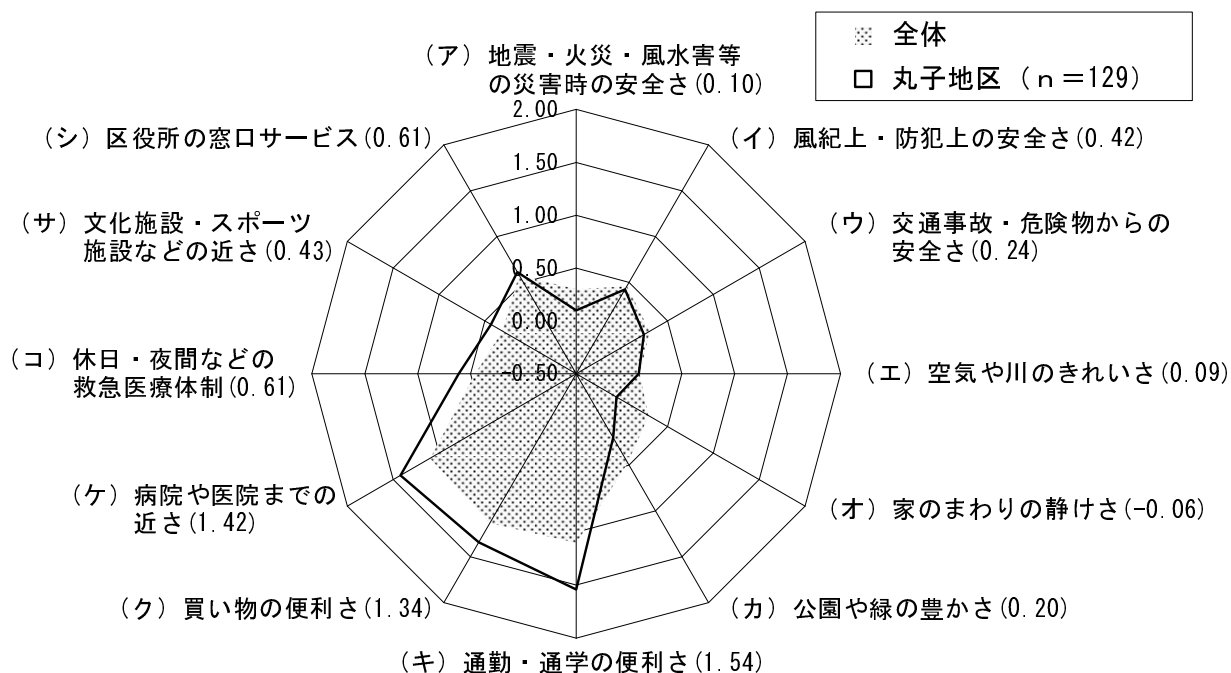
大戸地区で中原区全体と比べて評価が高い項目は、(サ)文化施設・スポーツ施設などの近さ(+0.10)、(オ)家のまわりの静けさ(+0.09)など計4項目となっている。一方、中原区全体と比べて評価が低い項目は、(キ)通勤・通学の便利さ(-0.32)、(ケ)病院や医院までの近さ(-0.18)など計8項目となっている。(図表2-1-6)

図表2-1-6 生活環境の満足度の評価点—大戸地区



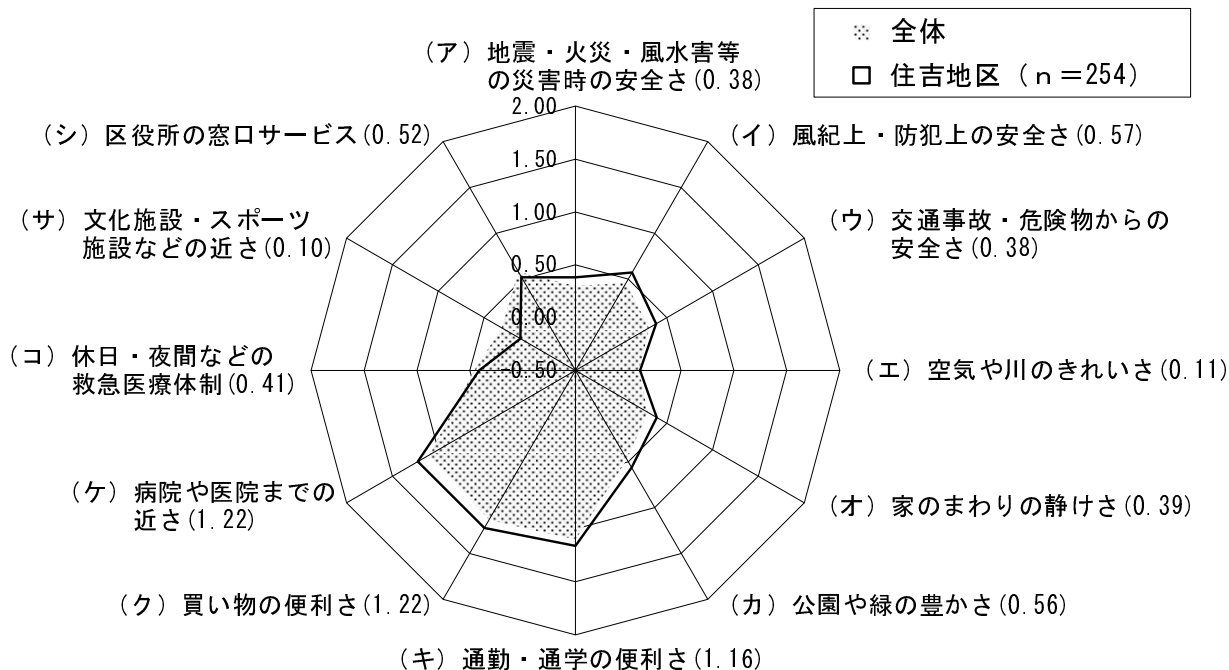
丸子地区で中原区全体と比べて評価が高い項目は、(キ)通勤・通学の便利さ(+0.44)、(ケ)病院や医院までの近さ(+0.32)など計6項目となっている。一方、中原区全体と比べて評価が低い項目は、(オ)家のまわりの静けさ(-0.35)、(カ)公園や緑の豊かさ(-0.27)など計6項目となっている。(図表2-1-7)

図表2-1-7 生活環境の満足度の評価点—丸子地区



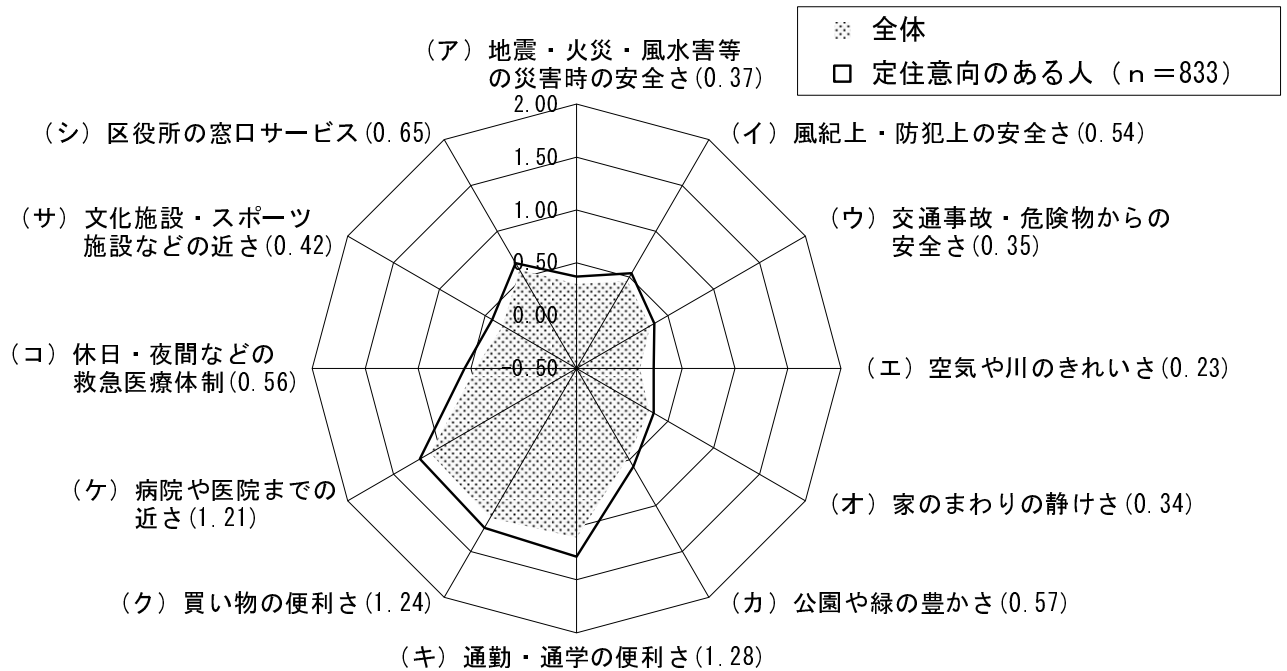
住吉地区で中原区全体と比べて評価が高い項目は、(ケ) 病院や医院までの近さ (+0.12)、(イ) 風紀上・防犯上の安全さ (+0.11) など計 9 項目となっている。一方、中原区全体と比べて評価が低い項目は、(サ) 文化施設・スポーツ施設などの近さ (-0.21)、(シ) 区役所の窓口サービス (-0.06) など計 3 項目となっている。(図表 2-1-8)

図表 2-1-8 生活環境の満足度の評価点—住吉地区



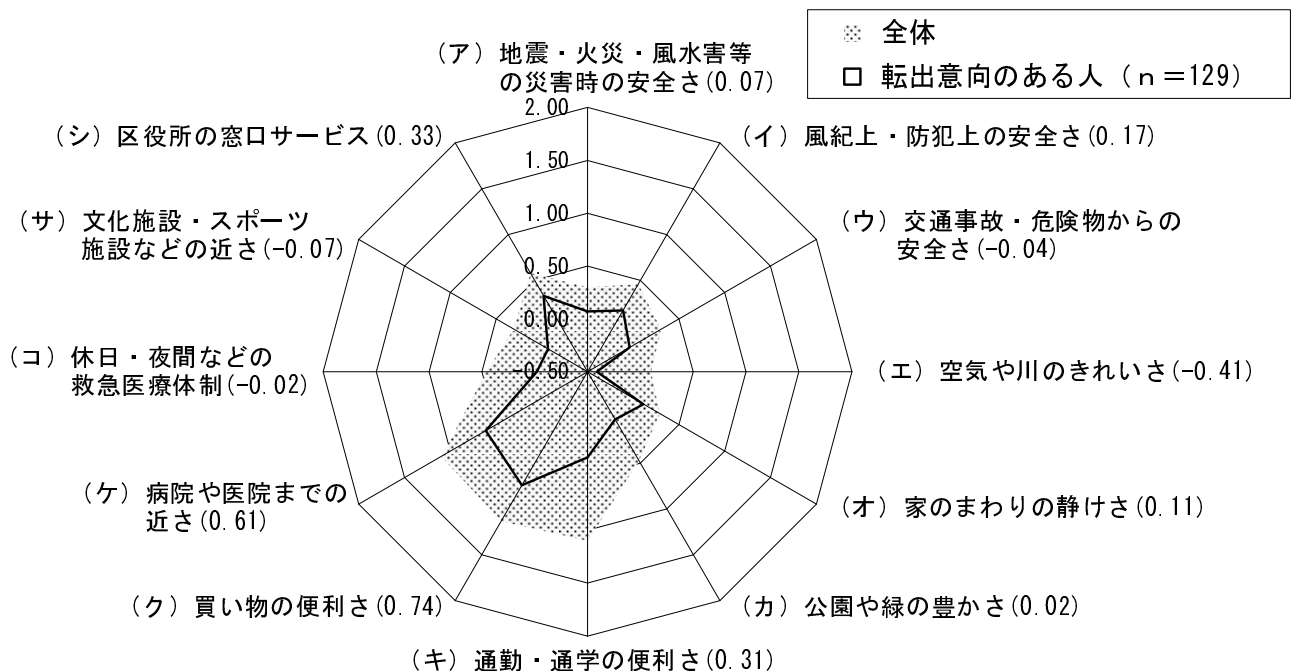
問2で、今の所に「これからも住んでいたい」と答えた、定住意向のある人（833人）でみると、すべての項目で中原区全体と比べて評価が高くなっており、特に（キ）通勤・通学の便利さ（+0.18）、（エ）空気や川のきれいさ（+0.13）の評価が高くなっている。（図表2-1-9）

図表2-1-9 生活環境の満足度の評価点—定住意向のある人



問2で、今の所から「できれば市内の他の所へ移りたい」または「できれば市外へ移りたい」と答えた、転出意向のある人（129人）でみると、すべての項目で中原区全体と比べて評価が低くなっており、特に（キ）通勤・通学の便利さ（-0.79）、（エ）空気や川のきれいさ（-0.51）、（ケ）病院や医院までの近さ（-0.49）の評価が低くなっている。（図表2-1-10）

図表2-1-10 生活環境の満足度の評価点—転出意向のある人

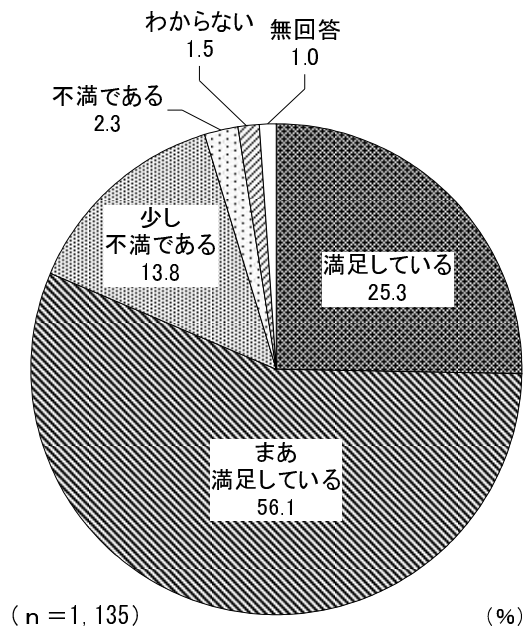


## (2) 生活環境全体の満足度

問4 地域の生活環境を総合的にみた場合、今住んでいる地域にどの程度満足していますか。  
(○は1つだけ)

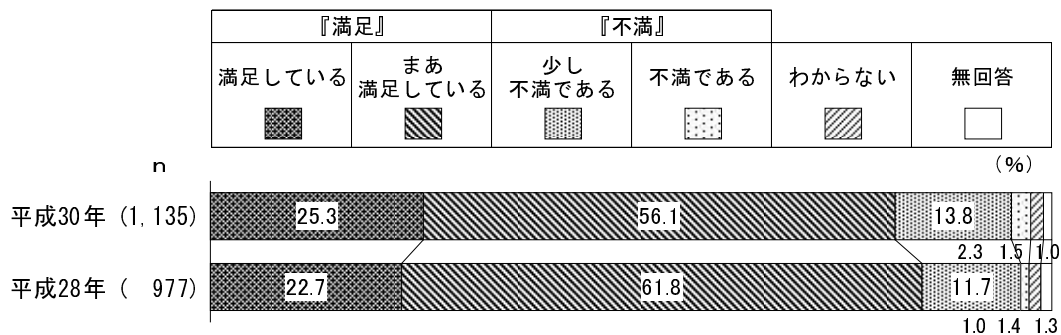
地域の生活環境を総合的にみた場合、今住んでいる地域にどの程度満足しているか聞いたところ、「満足している」(25.3%)と「まあ満足している」(56.1%)の2つを合わせた『満足』(81.4%)が8割を超えて高くなっている。一方、「少し不満である」(13.8%)と「不満である」(2.3%)の2つを合わせた『不満』(16.1%)は1割半ばとなっている。(図表2-2-1)

図表2-2-1 生活環境全体の満足度



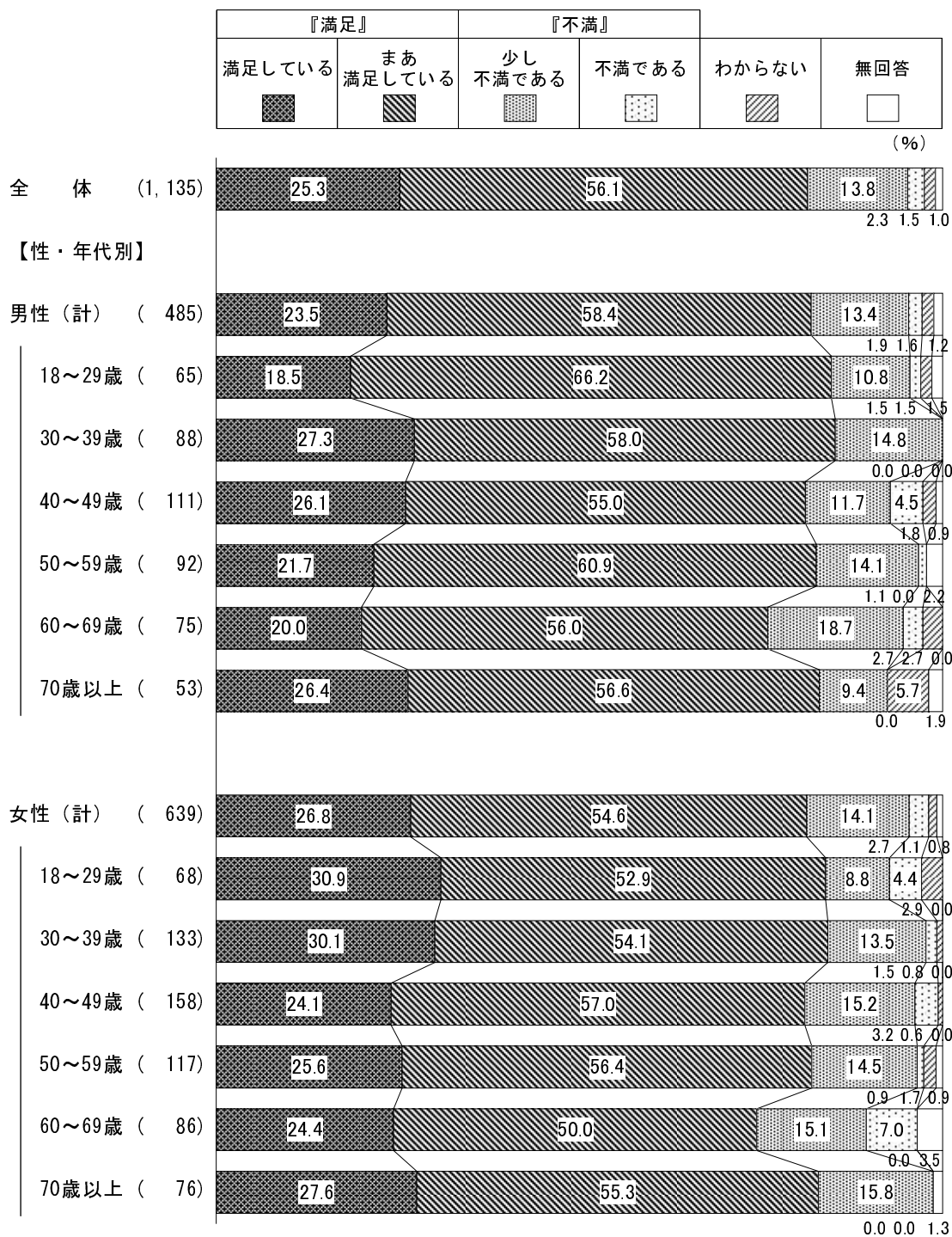
前回の調査と比較すると、『満足』は3.1ポイント減少している。(図表2-2-2)

図表2-2-2 生活環境全体の満足度—前回の調査との比較



性・年代別にみると、『満足』は男性18～29歳（84.7%）、男性30～39歳（85.3%）、女性30～39歳（84.2%）で8割半ばと高くなっている。一方、『不満』は女性60～69歳（22.1%）と男性60～69歳（21.4%）で2割を超えて高くなっている。（図表2-2-3）

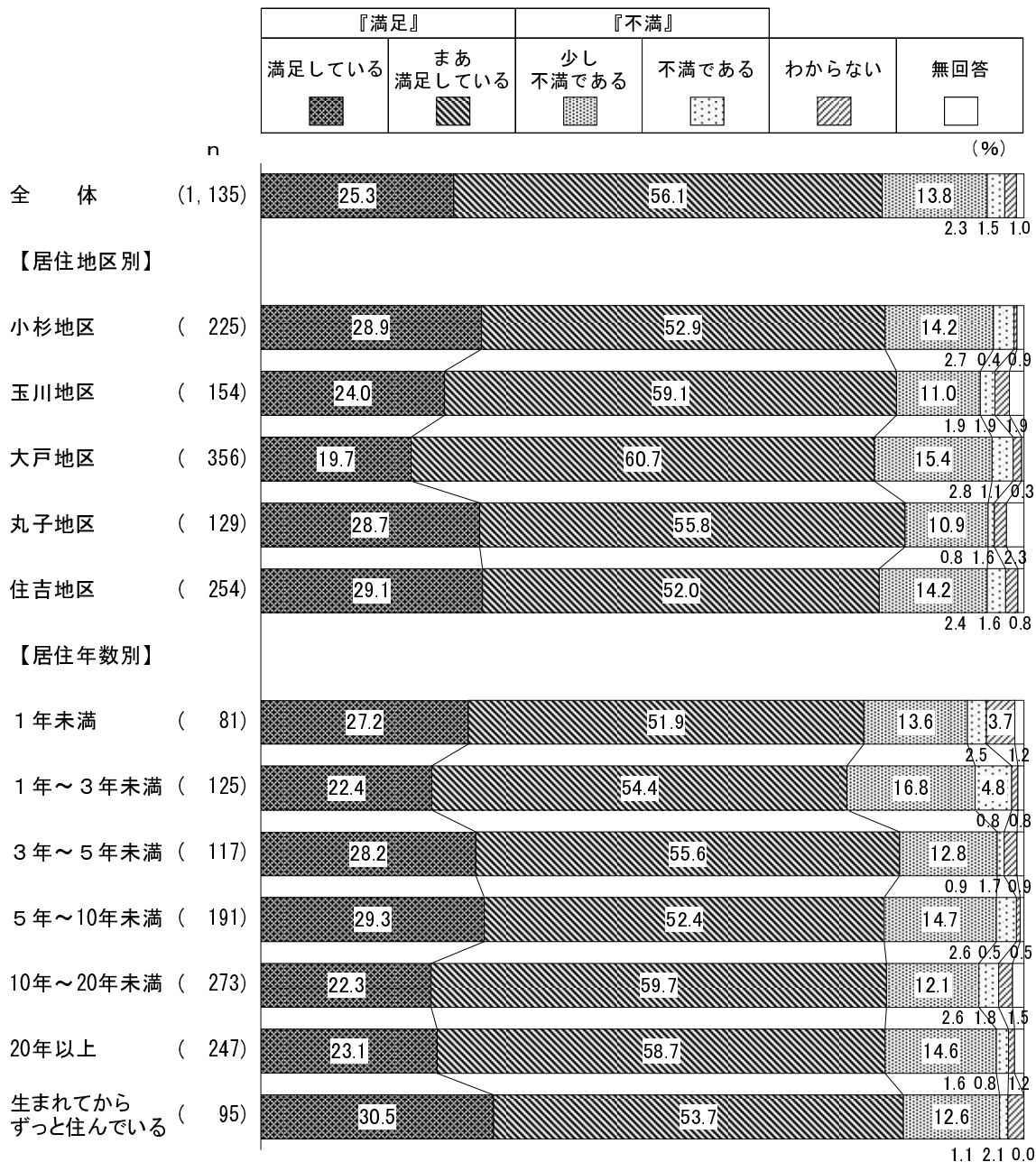
図表2-2-3 生活環境全体の満足度－性・年代別



居住地区別にみると、『満足』は丸子地区（84.5%）で8割半ばと高くなっている。

居住年数別にみると、『満足』は生まれてからずっと住んでいる人（84.2%）で8割半ばと高くなっている。一方、『不満』は居住年数1年～3年未満の人（21.6%）で2割を超えて高くなっている。（図表2-2-4）

図表2-2-4 生活環境全体の満足度－居住地区別・居住年数別

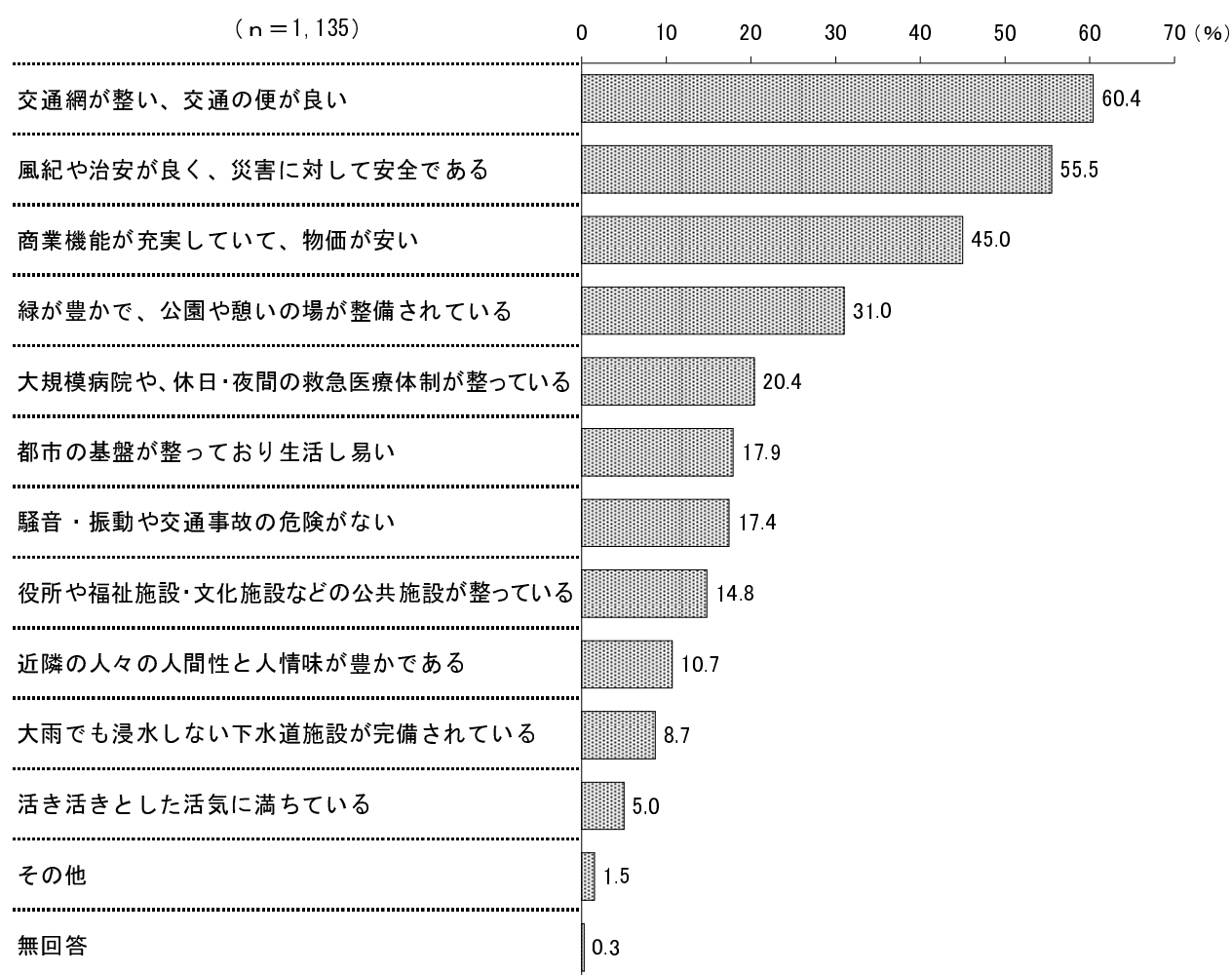


### (3) 住みよい環境についての意識

問5 住みよい環境とは、どのような所だと思いますか。(〇は3つまで)

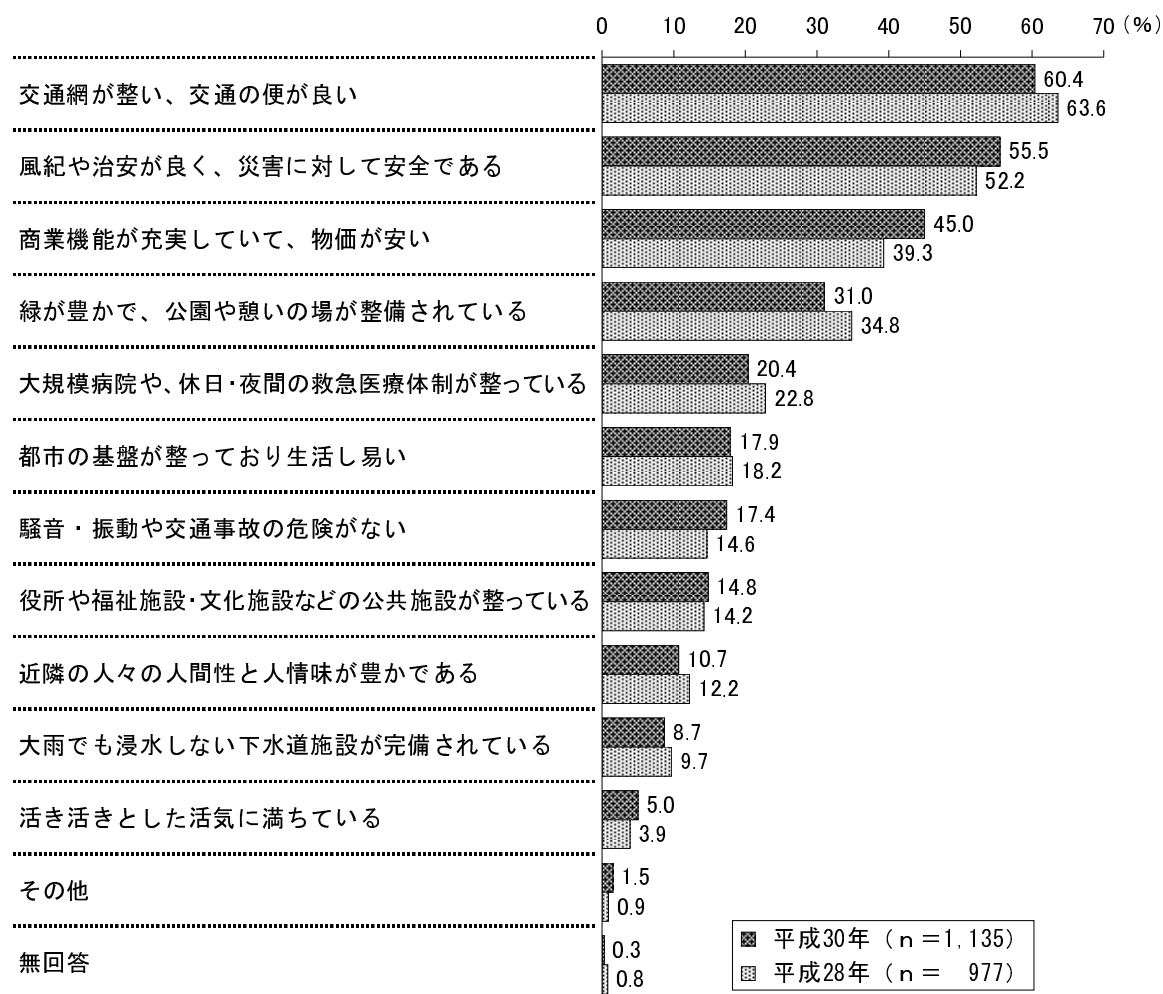
住みよい環境とは、どのような所だと思うか聞いたところ、「交通網が整い、交通の便が良い」(60.4%)が6割で最も高く、次いで「風紀や治安が良く、災害に対して安全である」(55.5%)、「商業機能が充実していて、物価が安い」(45.0%)、「緑が豊かで、公園や憩いの場が整備されている」(31.0%)、「大規模病院や、休日・夜間の救急医療体制が整っている」(20.4%)となっている。(図表2-3-1)

図表2-3-1 住みよい環境についての意識



前回の調査と比較すると、「商業機能が充実していて、物価が安い」は5.7ポイント、「風紀や治安が良く、災害に対して安全である」は3.3ポイント、それぞれ増加している。一方、「緑が豊かで、公園や憩いの場が整備されている」は3.8ポイント、「交通網が整い、交通の便が良い」は3.2ポイント、それぞれ減少している。(図表2-3-2)

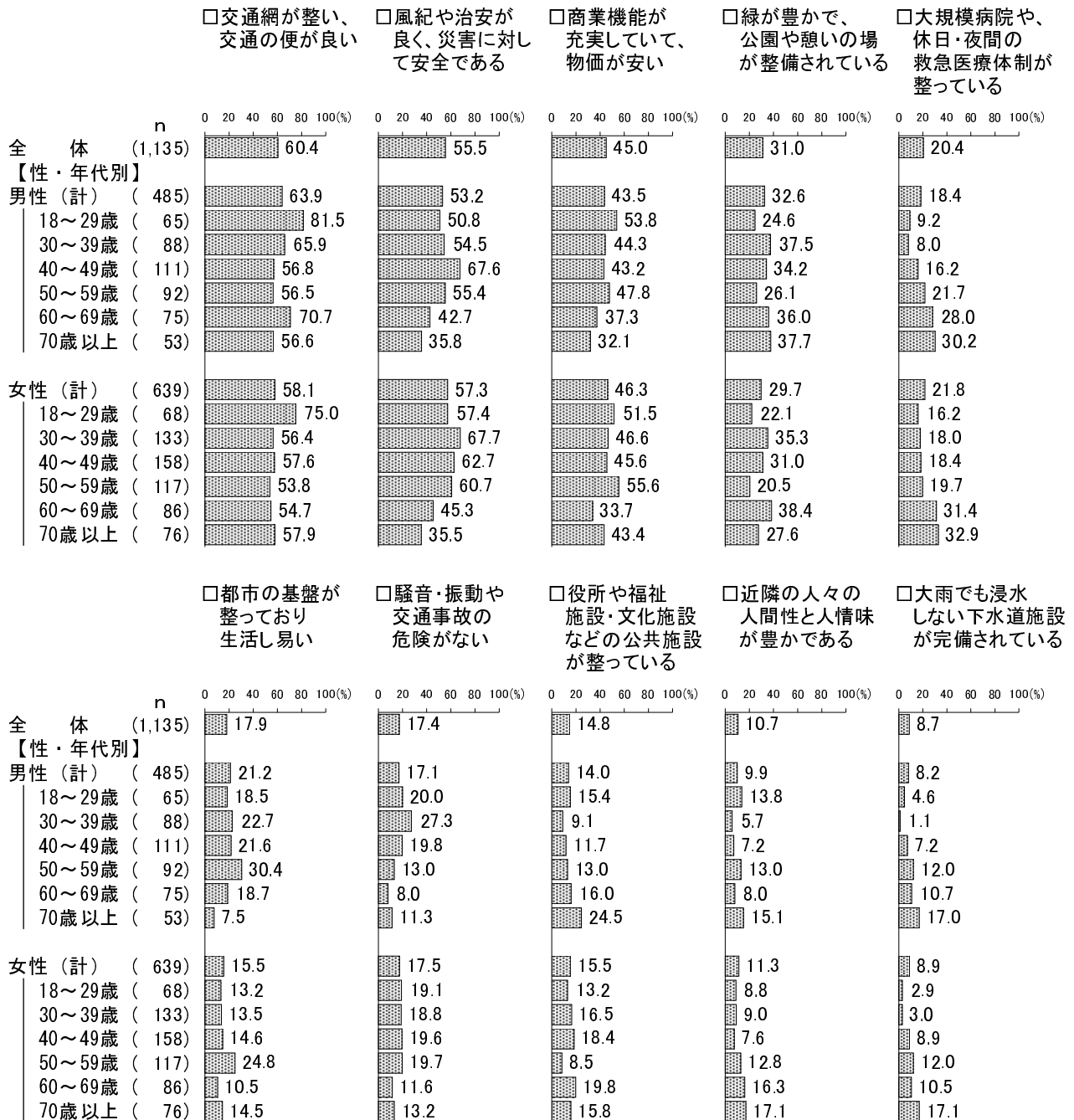
図表2-3-2 住みよい環境についての意識—前回の調査との比較





性・年代別にみると、「交通網が整い、交通の便が良い」は男性18～29歳（81.5%）で8割を超え、女性18～29歳（75.0%）と男性60～69歳（70.7%）で7割台と高くなっている。「風紀や治安が良く、災害に対して安全である」は女性30～39歳（67.7%）と男性40～49歳（67.6%）で7割近くと高くなっている。「商業機能が充実していて、物価が安い」は女性50～59歳（55.6%）で5割半ばと高くなっている。（図表2-3-3）

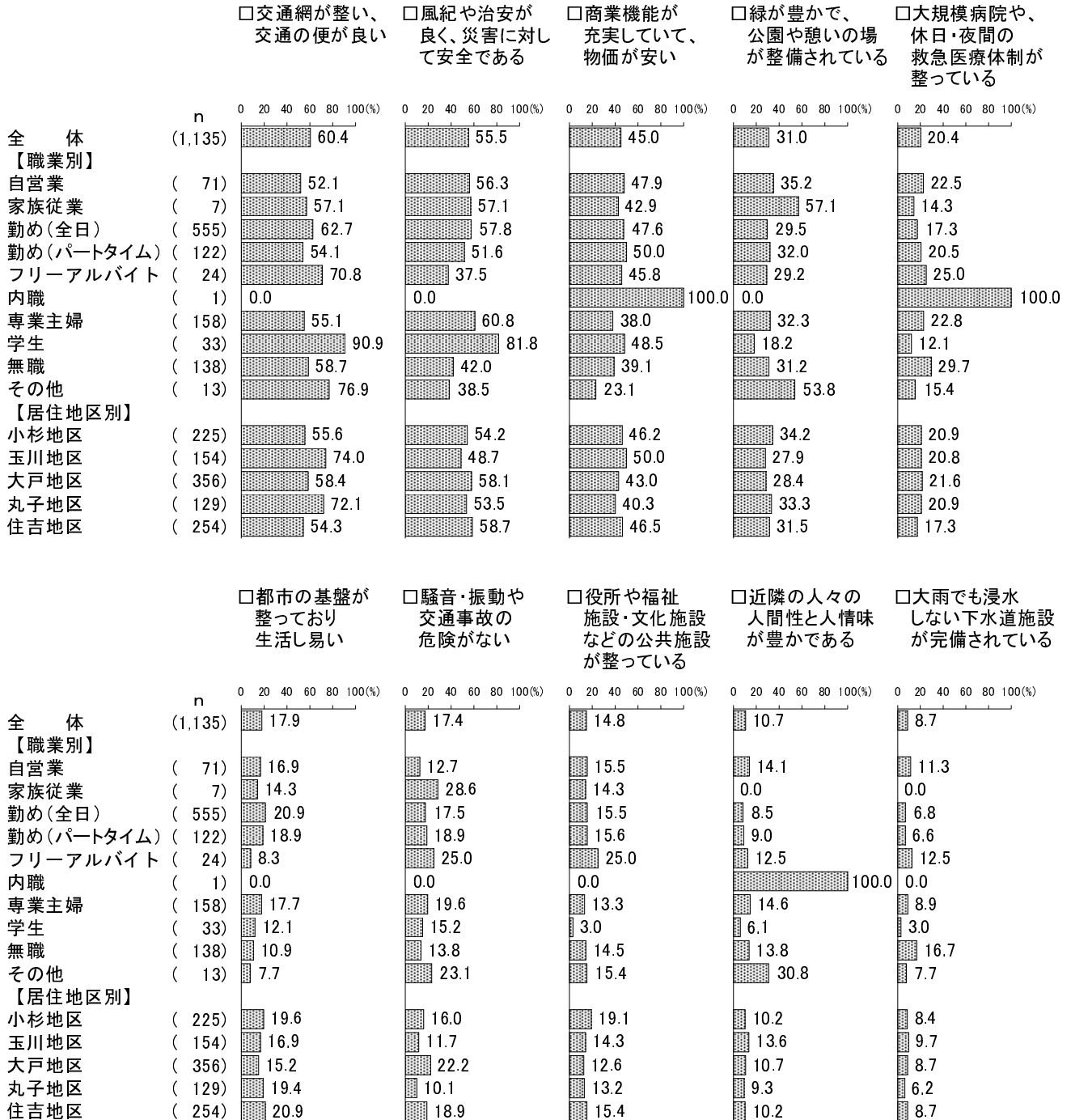
図表2-3-3 住みよい環境についての意識—性・年代別（上位10項目）



職業別にみると、「交通網が整い、交通の便が良い」は学生（90.9%）で約9割と高くなっている。「風紀や治安が良く、災害に対して安全である」は学生（81.8%）で8割を超えて高くなっている。

居住地区別にみると、「交通網が整い、交通の便が良い」は玉川地区（74.0%）と丸子地区（72.1%）で7割台と高くなっている。（図表2-3-4）

図表2-3-4 住みよい環境についての意識—職業別・居住地区別（上位10項目）



### 3. 区役所業務の評価・区のイメージ

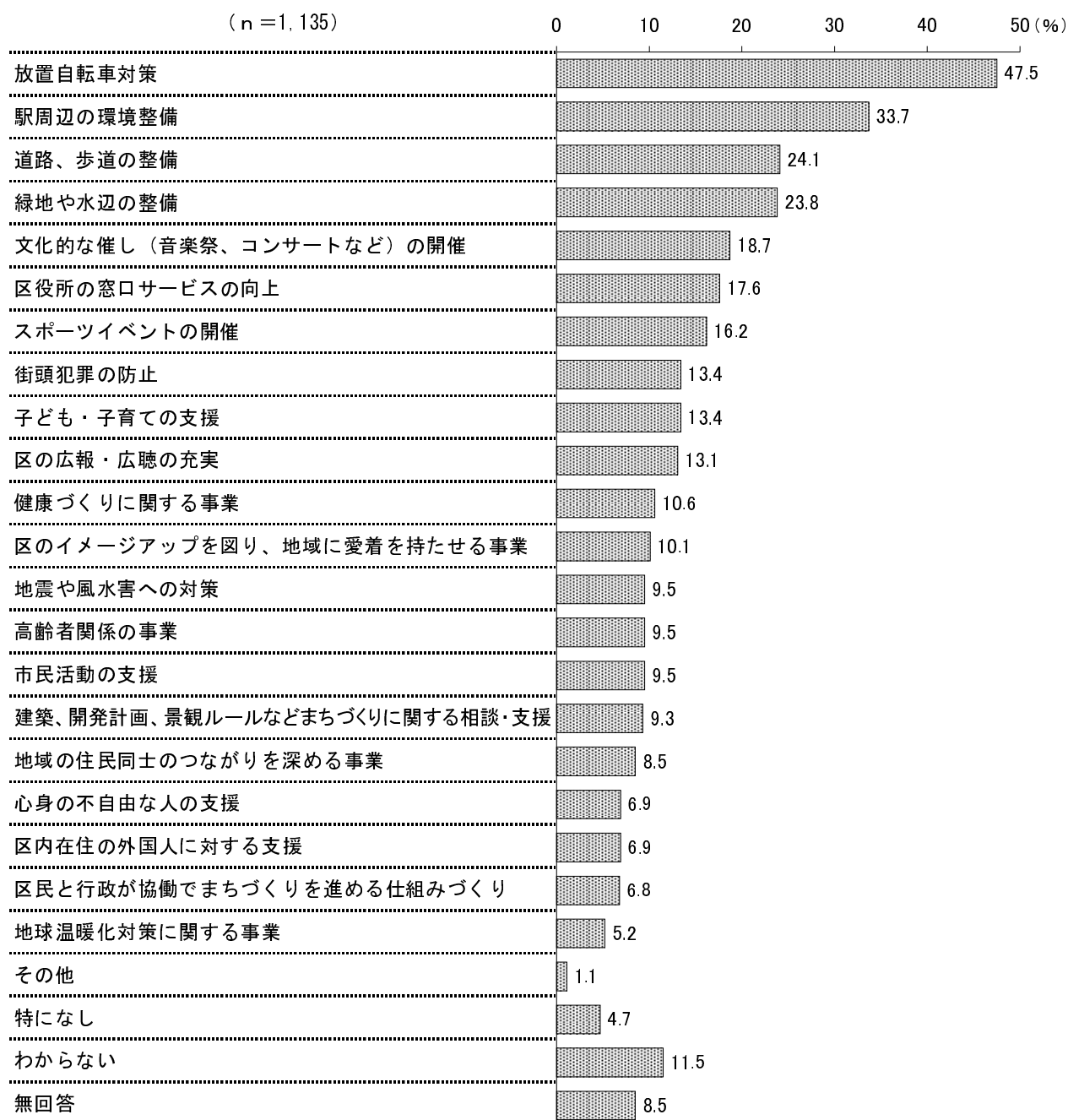
#### (1) 満足している区役所の業務

問6 次にあげる区役所の仕事で、よくやっていると思うものは、どれですか。

(○はいくつでも)

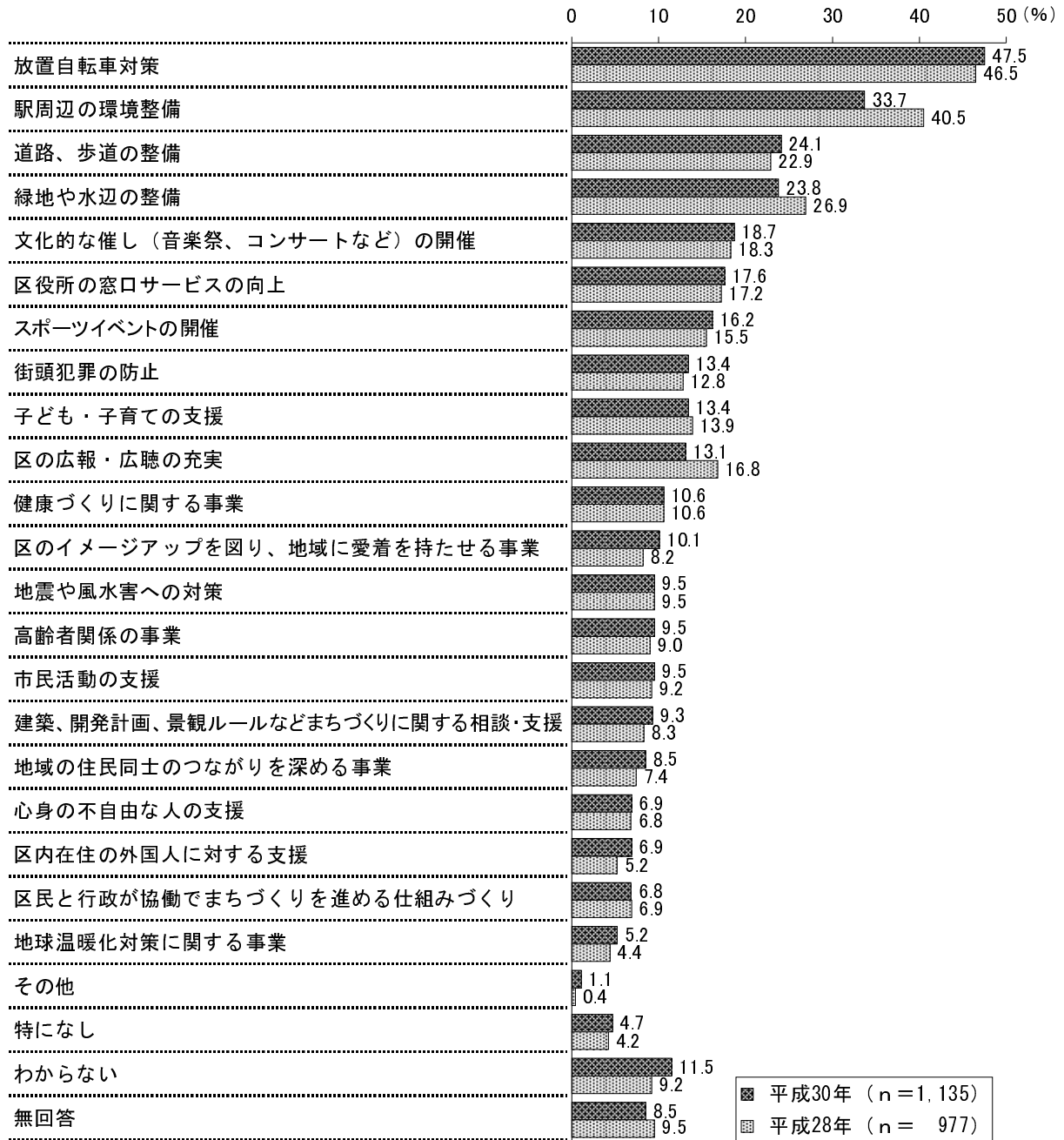
区役所の仕事で、よくやっていると思うものを聞いたところ、「放置自転車対策」(47.5%)が5割近くで最も高く、次いで「駅周辺の環境整備」(33.7%)、「道路、歩道の整備」(24.1%)、「緑地や水辺の整備」(23.8%)、「文化的な催し(音楽祭、コンサートなど)の開催」(18.7%)となっている。(図表3-1-1)

図表3-1-1 満足している区役所の業務



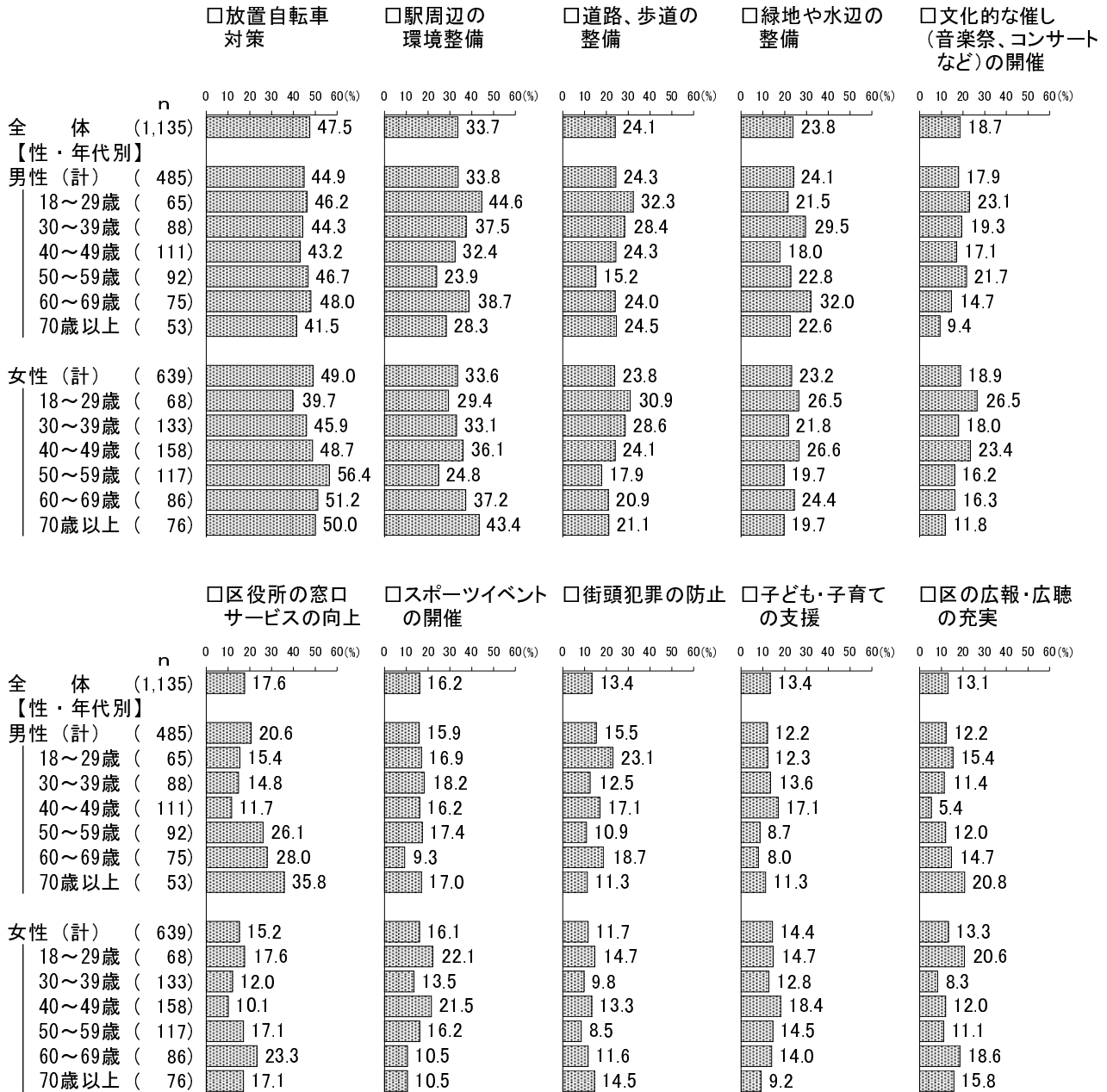
前回の調査と比較すると、「駅周辺の環境整備」は6.8ポイント、「区の広報・広聴の充実」は3.7ポイント、「緑地や水辺の整備」は3.1ポイント、それぞれ減少している。(図表3-1-2)

図表3-1-2 満足している区役所の業務—前回の調査との比較



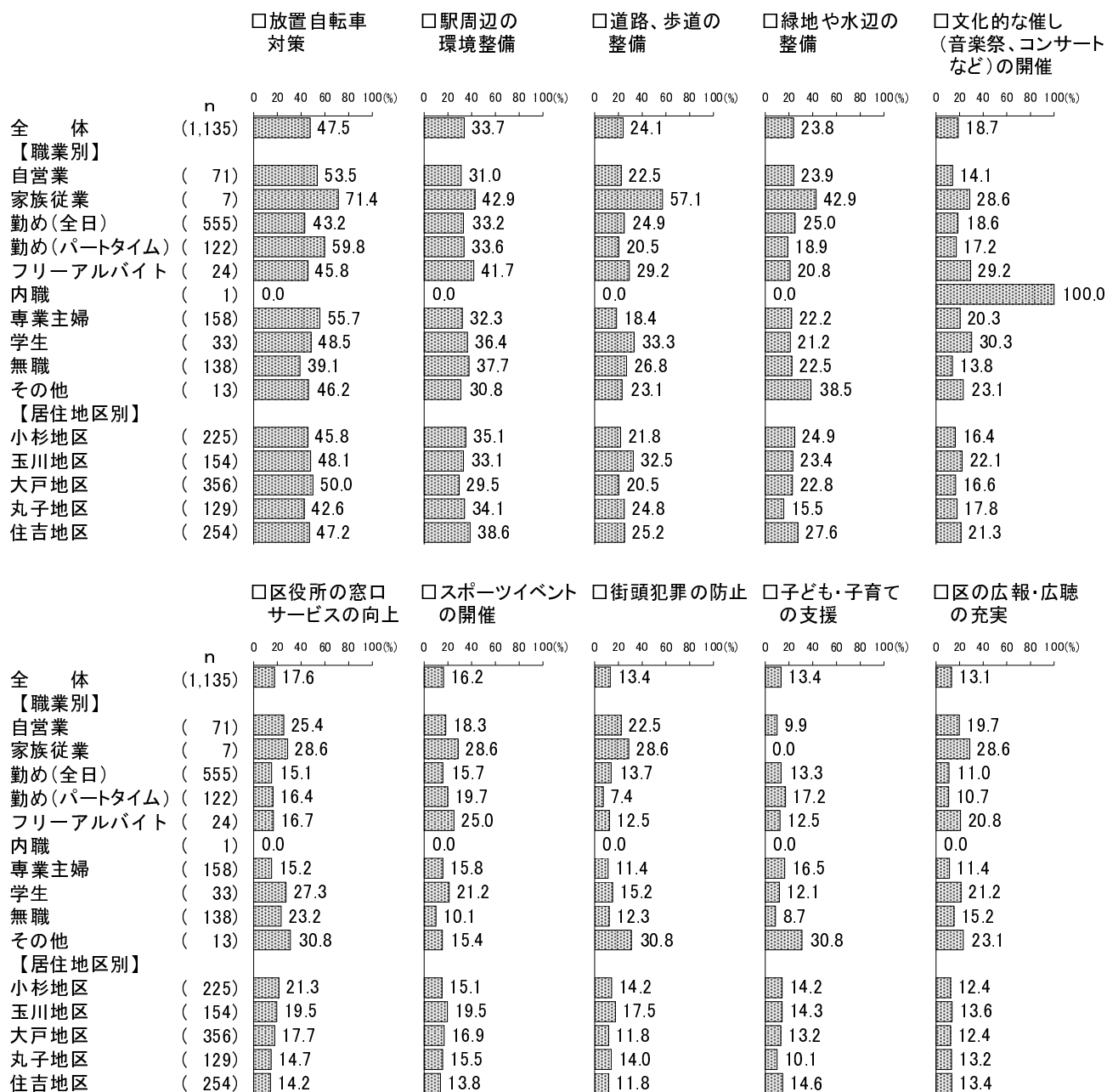
性・年代別にみると、「放置自転車対策」は女性50～59歳（56.4%）で5割半ばと高くなっている。「駅周辺の環境整備」は男性18～29歳（44.6%）で4割半ばと高くなっている。「区役所の窓口サービスの向上」は男性70歳以上（35.8%）で3割半ばと高くなっている。（図表3-1-3）

図表3-1-3 満足している区役所の業務一性・年代別（上位10項目）



職業別にみると、「放置自転車対策」は勤め(パートタイム)(59.8%)で6割と高くなっている。「駅周辺の環境整備」はフリーアルバイト(41.7%)で4割を超えて高くなっている。居住地区別にみると、「道路、歩道の整備」は玉川地区(32.5%)で3割を超えて高くなっている。(図表3-1-4)

図表3-1-4 満足している区役所の業務—職業別・居住地区別(上位10項目)

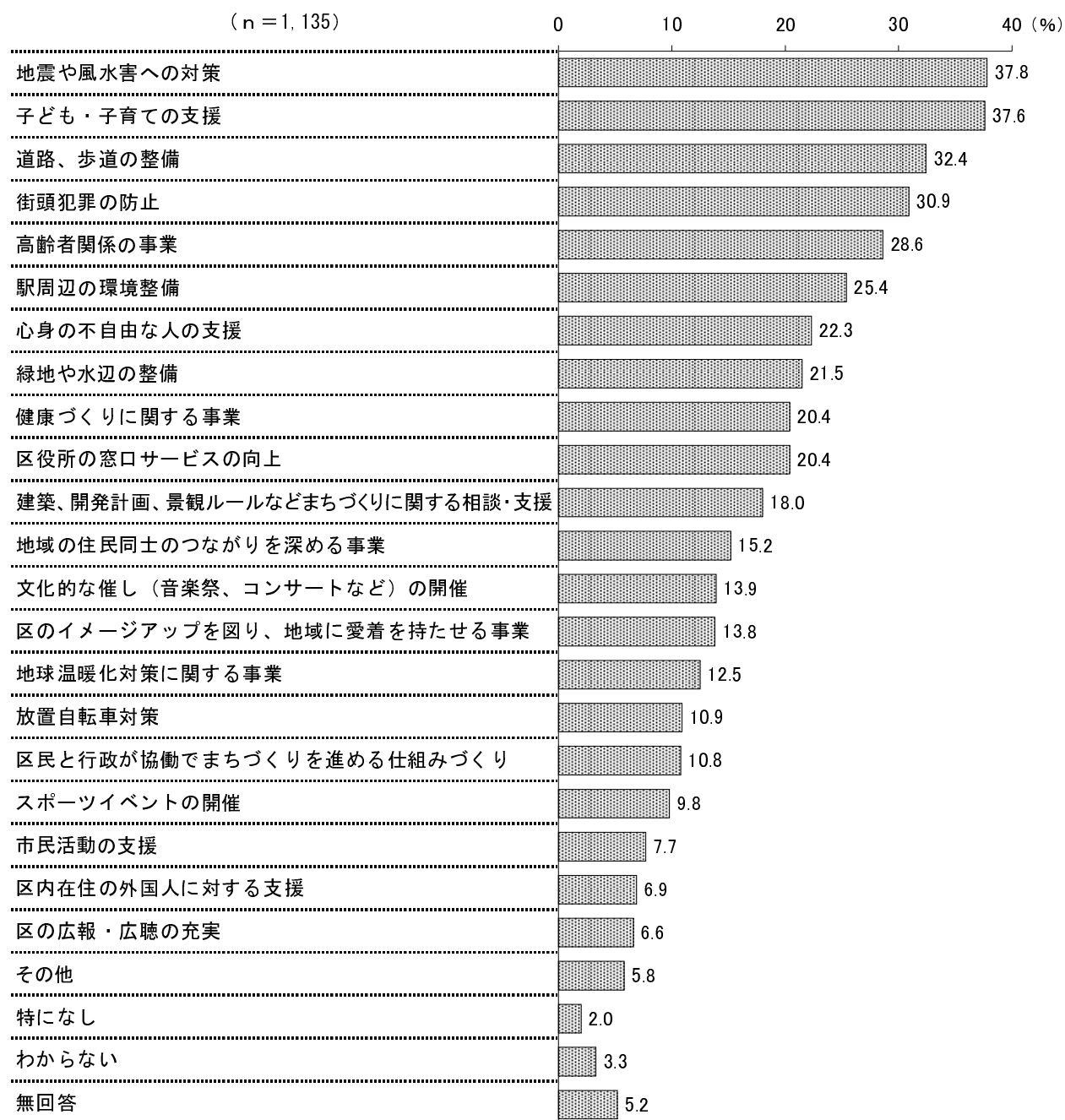


## (2) 力を入れてほしい区役所の業務

問7 今後、特に力を入れてほしいと思うものは、どれですか。(〇はいくつでも)

区役所の仕事で、今後、特に力を入れてほしいと思うものを聞いたところ、「地震や風水害への対策」(37.8%)と「子ども・子育ての支援」(37.6%)がともに4割近くで高く、次いで「道路、歩道の整備」(32.4%)、「街頭犯罪の防止」(30.9%)、「高齢者関係の事業」(28.6%)となっている。(図表3-2-1)

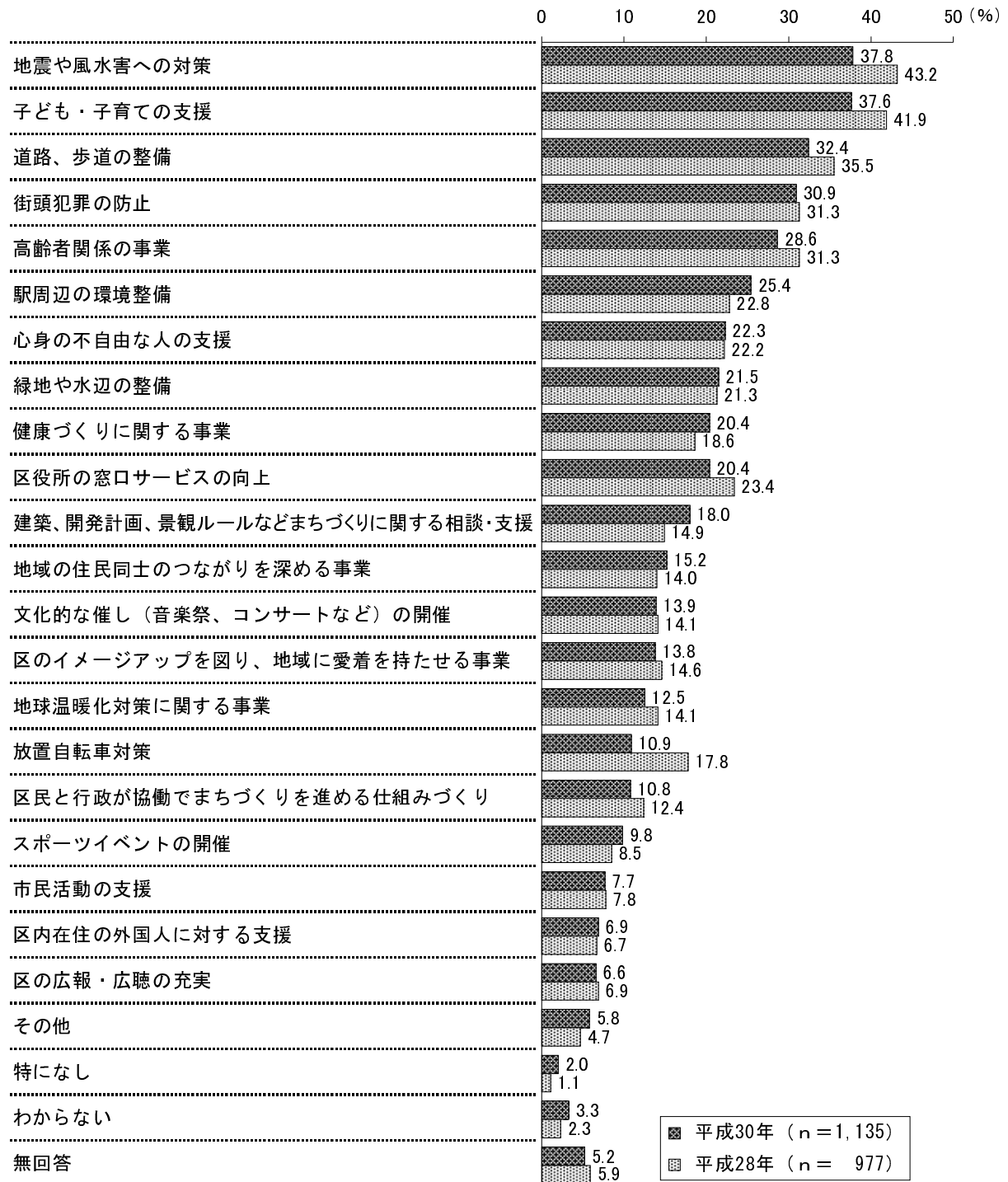
図表3-2-1 力を入れてほしい区役所の業務



前回の調査と比較すると、「建築、開発計画、景観ルールなどまちづくりに関する相談・支援」は3.1ポイント増加している。一方、「放置自転車対策」は6.9ポイント、「地震や風水害への対策」は5.4ポイント、「子ども・子育ての支援」は4.3ポイント、それぞれ減少している。

(図表3-2-2)

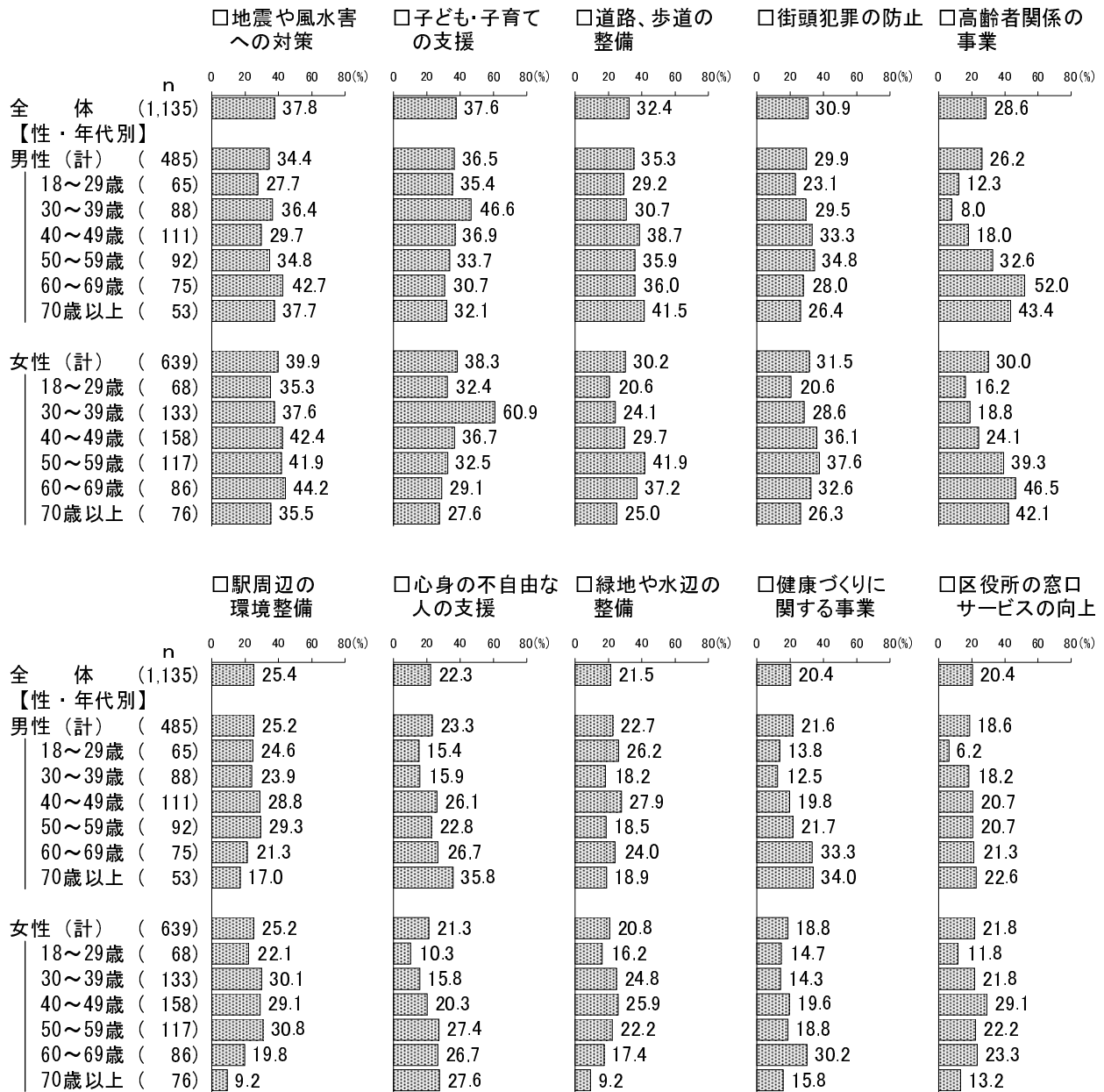
図表3-2-2 力を入れてほしい区役所の業務—前回の調査との比較





性・年代別にみると、「地震や風水害への対策」は女性60～69歳（44.2%）で4割半ばと高くなっている。「子ども・子育ての支援」は女性30～39歳（60.9%）で約6割と高くなっている。「高齢者関係の事業」は男性60～69歳（52.0%）で5割を超えて高くなっている。（図表3-2-3）

図表3-2-3 力を入れてほしい区役所の業務－性・年代別（上位10項目）

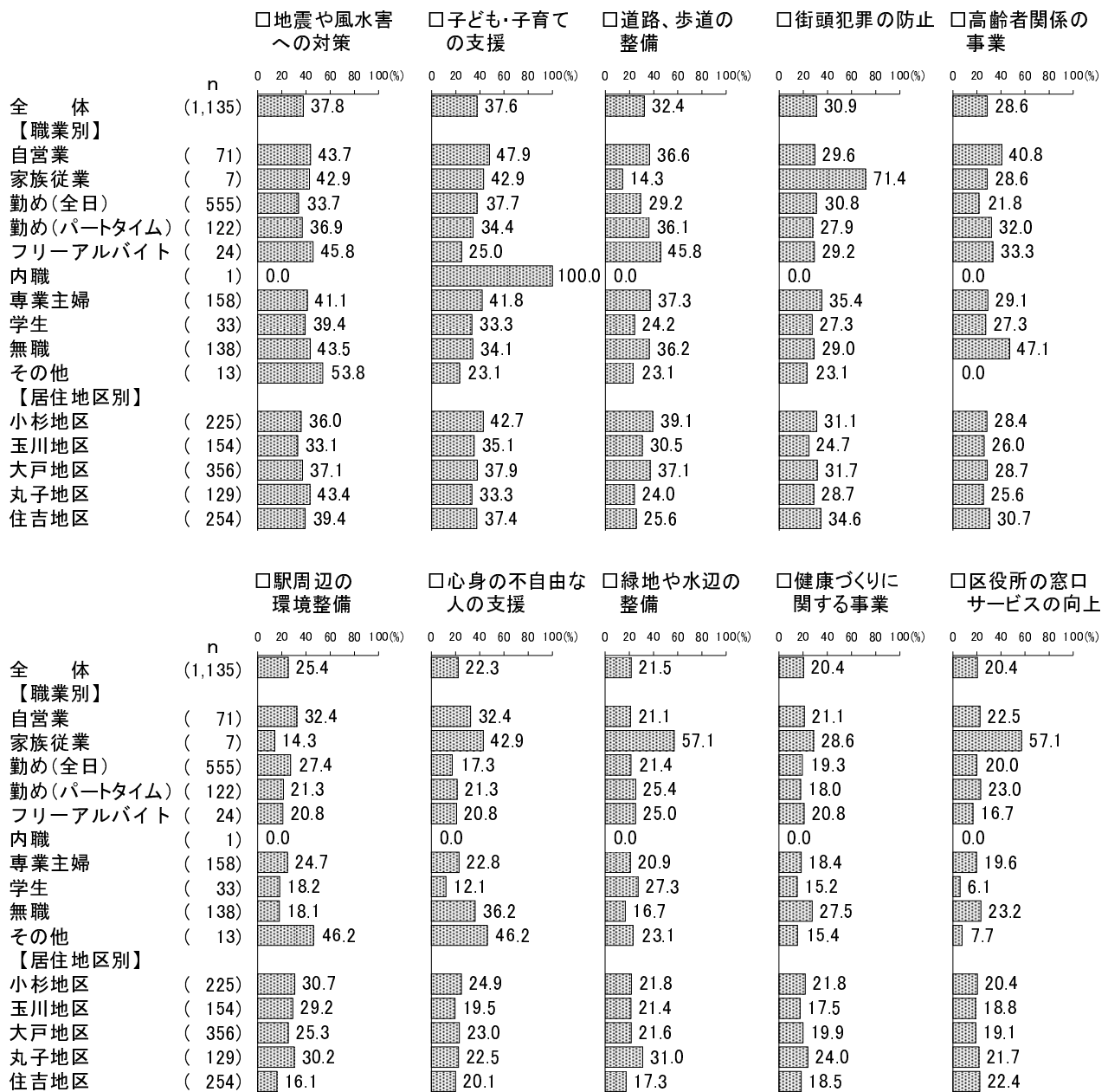


職業別にみると、「子ども・子育ての支援」は自営業（47.9%）で5割近くと高くなっている。「道路、歩道の整備」はフリーアルバイト（45.8%）で4割半ばと高くなっている。「高齢者関係の事業」は無職（47.1%）で5割近くと高くなっている。

居住地区別にみると、「地震や風水害への対策」は丸子地区（43.4%）で4割を超えて高くなっている。「子ども・子育ての支援」は小杉地区（42.7%）で4割を超えて高くなっている。

(図表3-2-4)

図表3-2-4 力を入れてほしい区役所の業務—職業別・居住地区別（上位10項目）

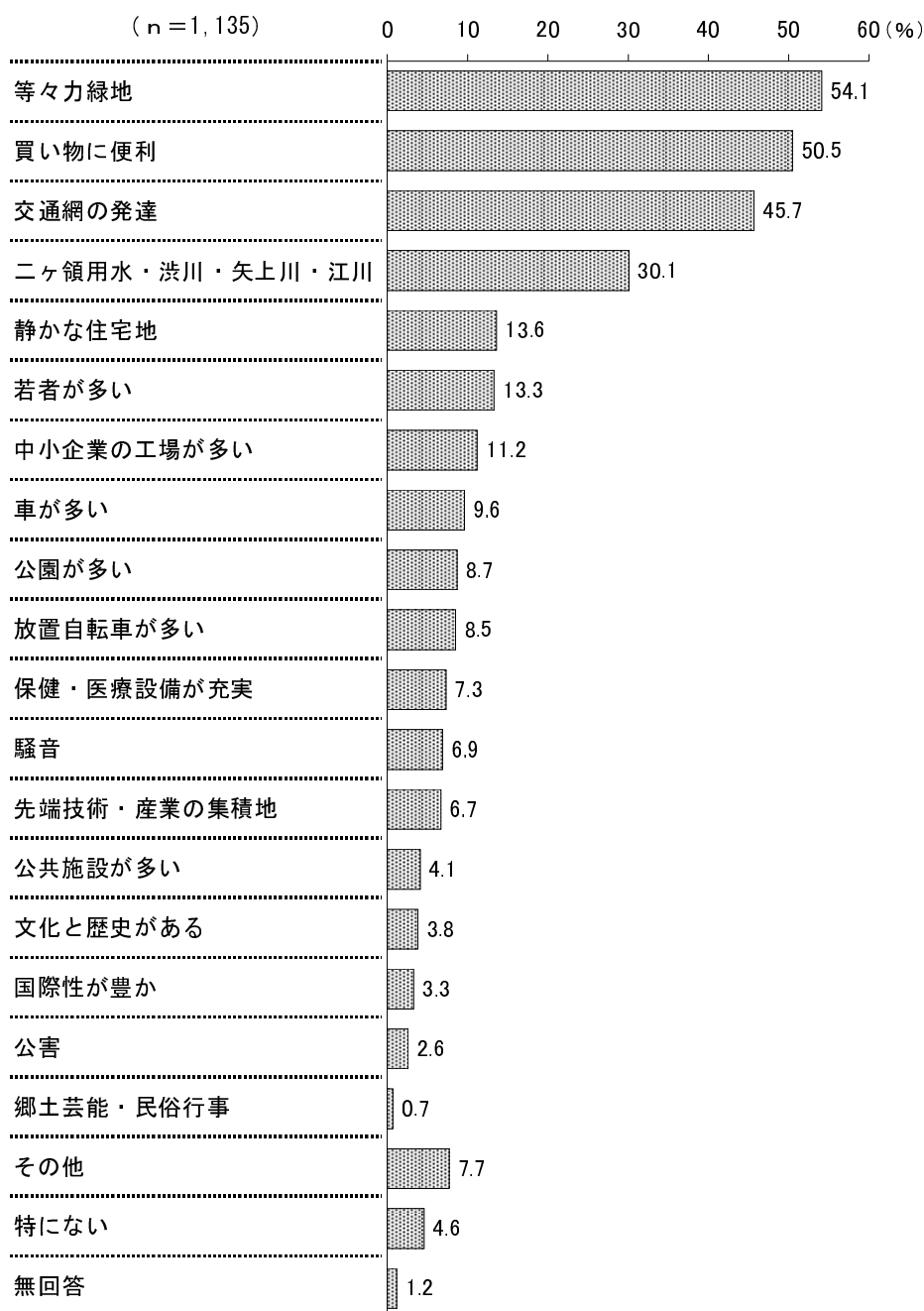


### (3) 中原区のイメージ

問8 中原区の「イメージ」として何を思い浮かべますか。(〇はいくつでも)

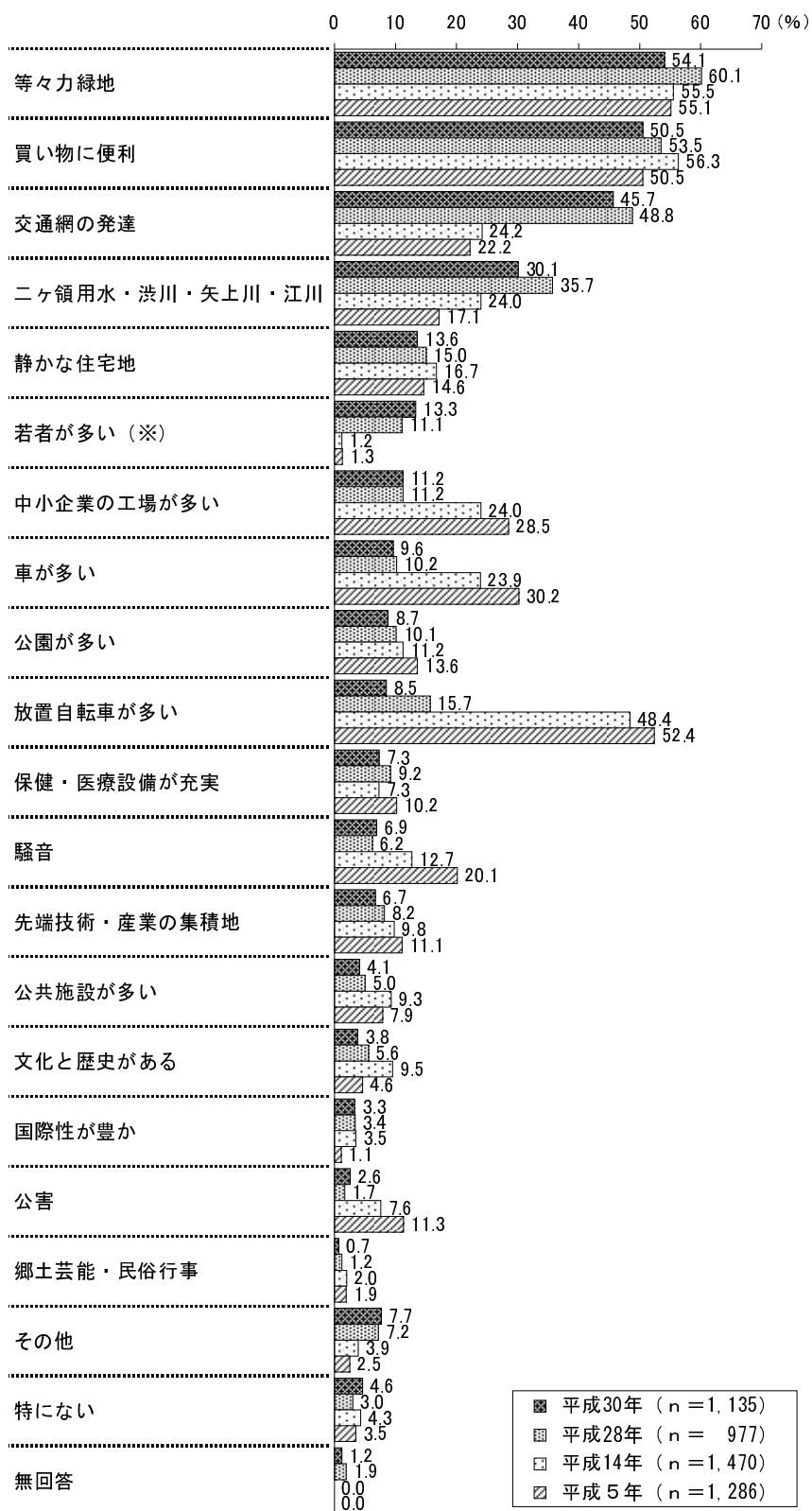
中原区の「イメージ」として何を思い浮かべるか聞いたところ、「等々力緑地」(54.1%)が5割半ばで最も高く、次いで「買い物に便利」(50.5%)、「交通網の発達」(45.7%)、「二ヶ領用水・渋川・矢上川・江川」(30.1%)となっている。(図表3-3-1)

図表3-3-1 中原区のイメージ



過去の調査と比較すると、選択肢が異なるため単純に比較はできないが、「放置自転車が多い」は平成28年より7.2ポイント、「等々力緑地」は平成28年より6.0ポイント、「二ヶ領用水・渋川・矢上川・江川」は平成28年より5.6ポイント、それぞれ減少している。また、「車が多い」、「公園が多い」、「放置自転車が多い」は平成5年以降減少傾向にある。(図表3-3-2)

図表3-3-2 中原区のイメージ過去の調査との比較



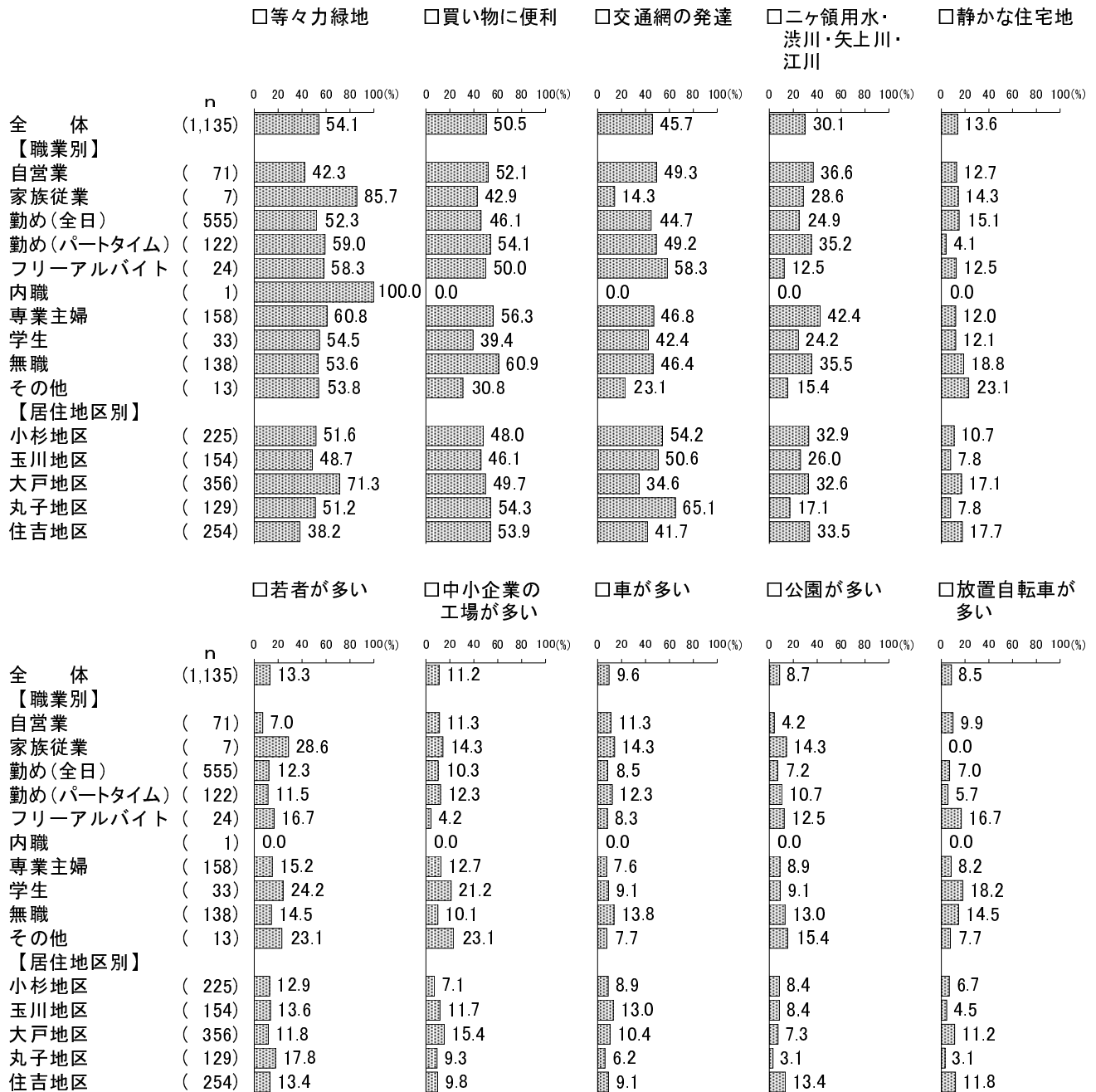
※「若者が多い」は、平成14年調査以前では「若者のまち」としていた。



職業別にみると、「買い物に便利」は無職（60.9%）で約6割と高くなっている。「交通網の発達」はフリーアルバイト（58.3%）で6割近くと高くなっている。「二ヶ領用水・渋川・矢上川・江川」は専業主婦（42.4%）で4割を超えて高くなっている。

居住地区別にみると、「等々力緑地」は大戸地区（71.3%）で7割を超えて高くなっている。「交通網の発達」は丸子地区（65.1%）で6割半ばと高くなっている。（図表3-3-4）

図表3-3-4 中原区のイメージ-職業別・居住地区別（上位10項目）



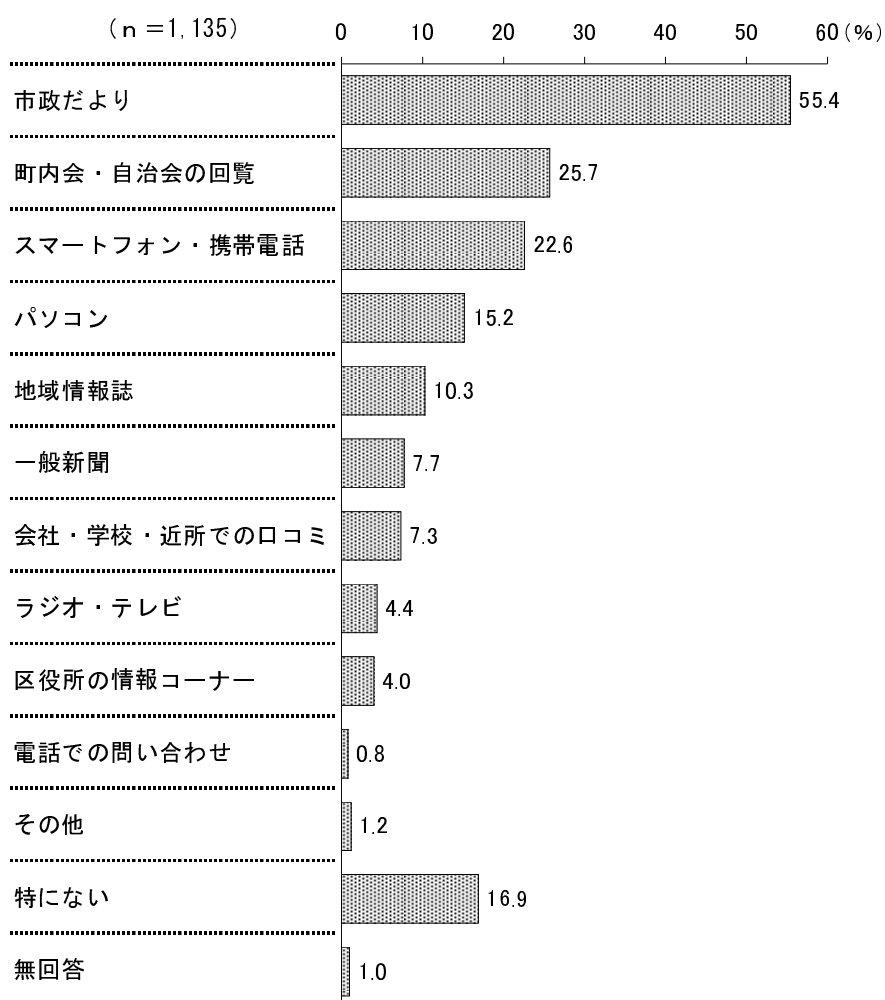
## 4. 中原区役所の広報

### (1) 行政・地域情報の入手方法

問9 普段、行政情報や地域情報を何から入手していますか。(〇はいくつでも)

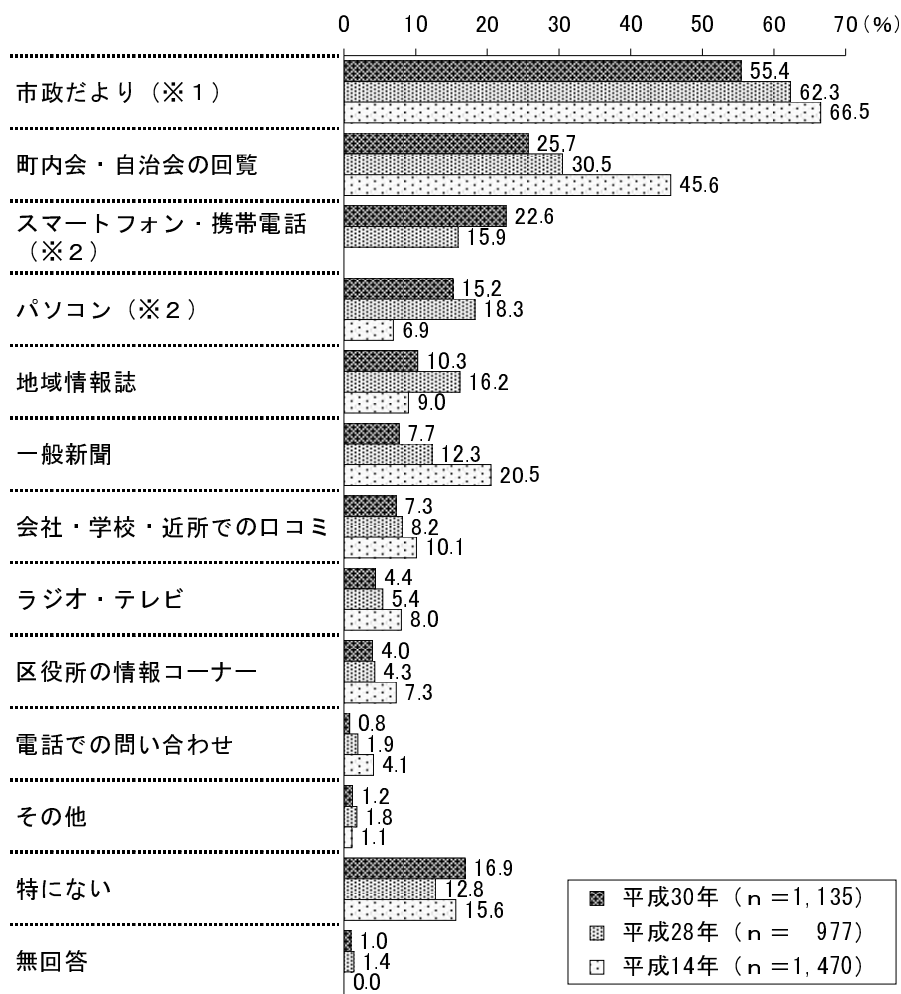
普段、行政情報や地域情報を何から入手しているか聞いたところ、「市政だより」(55.4%)が5割半ばで最も高く、次いで「町内会・自治会の回覧」(25.7%)、「スマートフォン・携帯電話」(22.6%)、「パソコン」(15.2%)、「地域情報誌」(10.3%)となっている。(図表4-1-1)

図表4-1-1 行政・地域情報の入手方法



過去の調査と比較すると、選択肢が異なるため単純に比較はできないが、「スマートフォン・携帯電話」は平成28年より6.7ポイント増加している。一方、「市政だより」、「町内会・自治会の回覧」など多くの項目で平成14年以降減少傾向にある。(図表4-1-2)

図表4-1-2 行政・地域情報の入手方法ー過去の調査との比較



※1) 「市政だより」は、平成14年調査では「市政だより (区版)」としていた。

※2) 「パソコン」と「スマートフォン・携帯電話」は、平成14年調査では1つの選択肢「インターネット」としていた。なお、作図の便宜上「パソコン」と並べて比較した。

※3) 平成14年調査で選択肢としていた「JR武蔵小杉駅前の総合案内板」(3.5%)は、平成28年調査以降では質問していない。

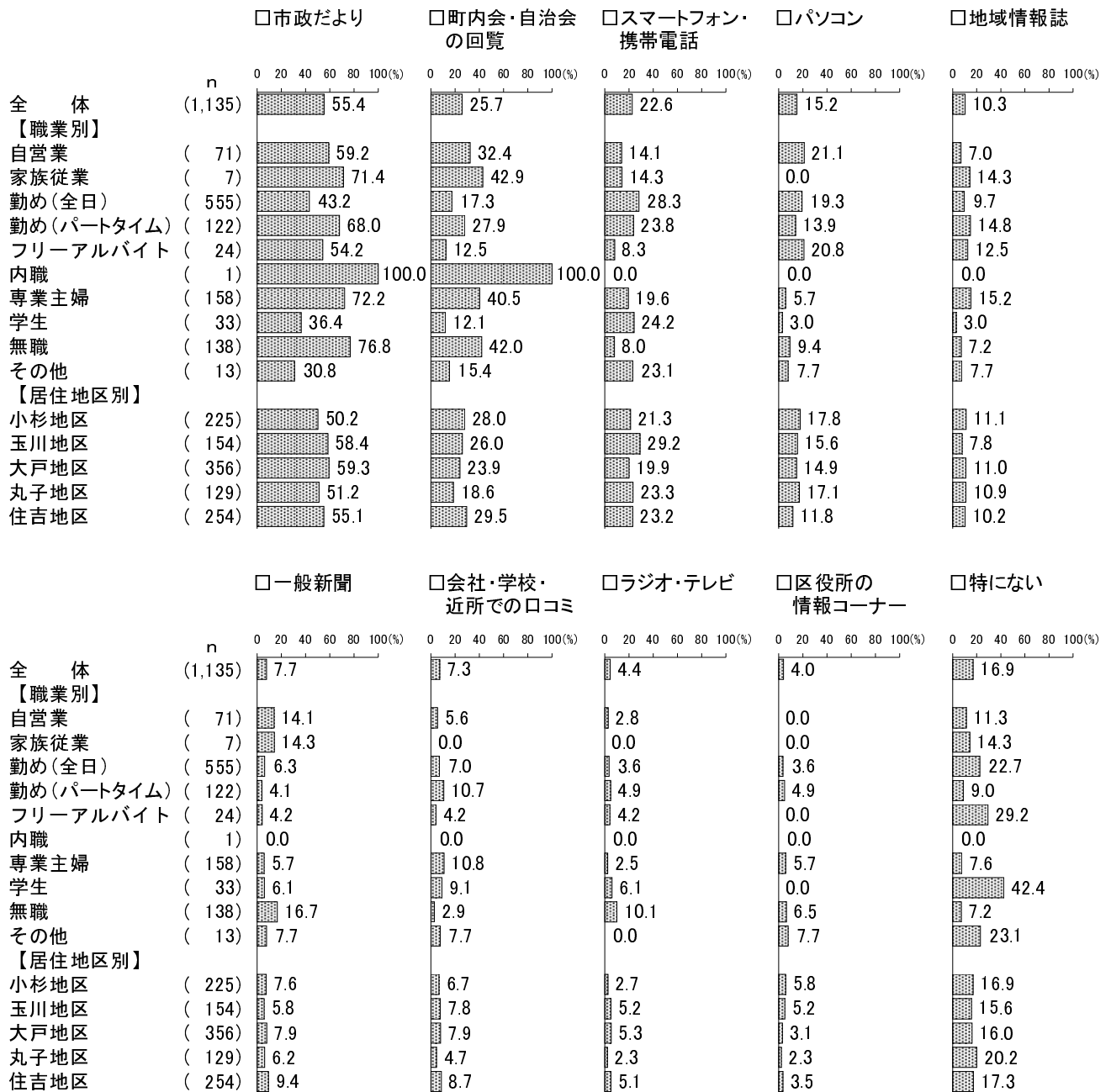




職業別にみると、「市政だより」は無職（76.8%）で8割近くと高くなっている。「町内会・自治会の回覧」は無職（42.0%）と専業主婦（40.5%）で4割台と高くなっている。

居住地区別にみると、「市政だより」は大戸地区（59.3%）で約6割と高くなっている。「スマートフォン・携帯電話」は玉川地区（29.2%）で約3割と高くなっている。（図表4-1-4）

図表4-1-4 行政・地域情報の入手方法—職業別・居住地区別（上位9項目+「特にない」）



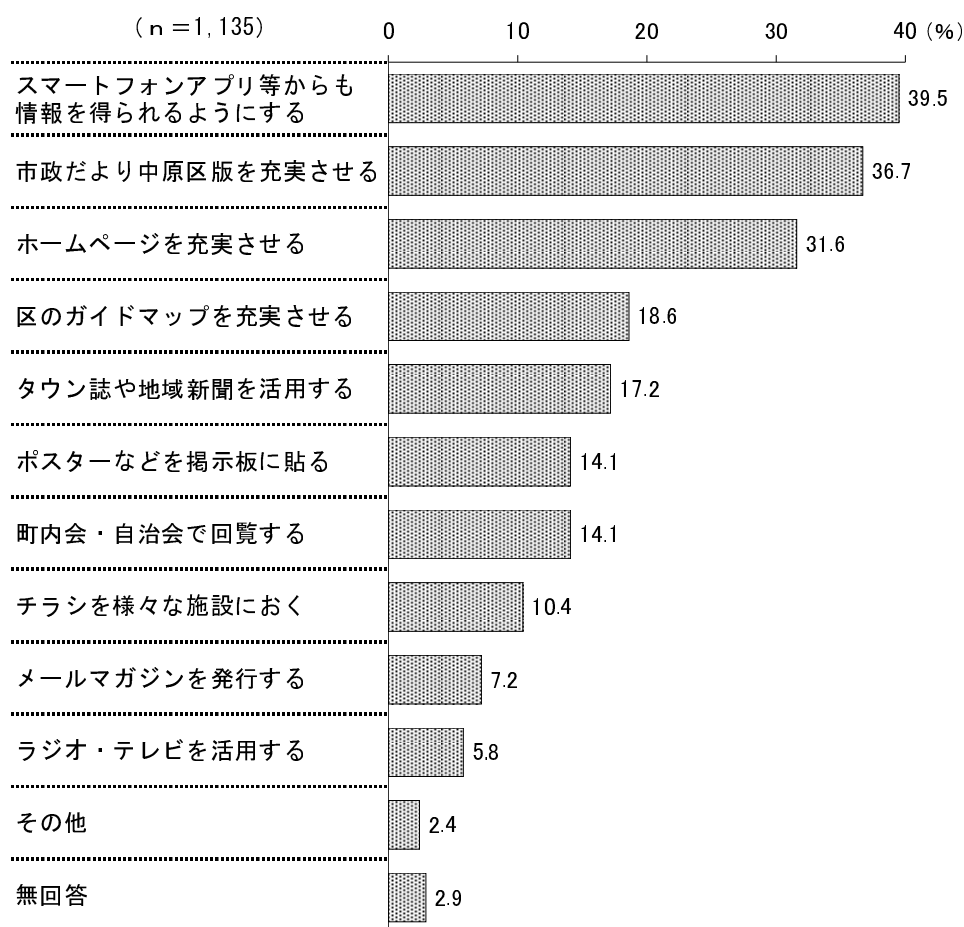
## (2) 充実してほしい行政・地域情報の提供方法

問10 行政情報や地域情報を提供するためには、どのような手法がよいでしょうか。

(○は3つまで)

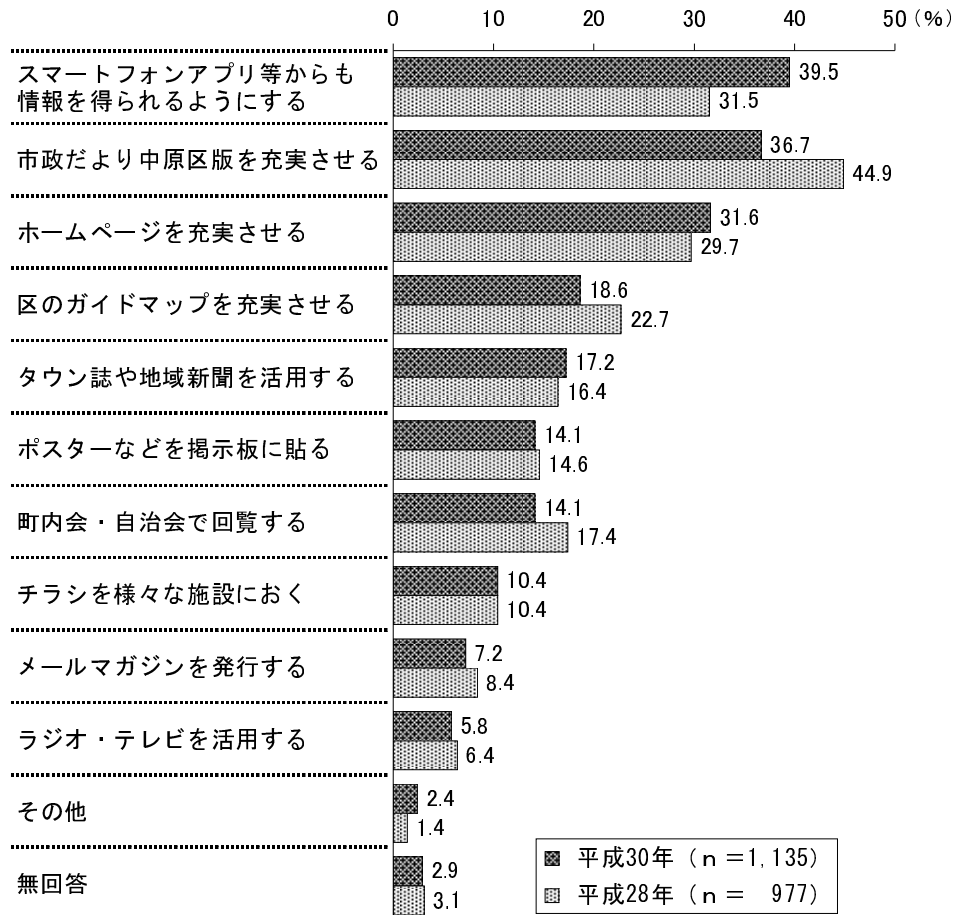
行政情報や地域情報を提供するためには、どのような手法がよいか聞いたところ、「スマートフォンアプリ等からも情報を得られるようにする」(39.5%)が4割で最も高く、次いで「市政だより中原区版を充実させる」(36.7%)、「ホームページを充実させる」(31.6%)、「区のガイドマップを充実させる」(18.6%)となっている。(図表4-2-1)

図表4-2-1 充実してほしい行政・地域情報の提供方法



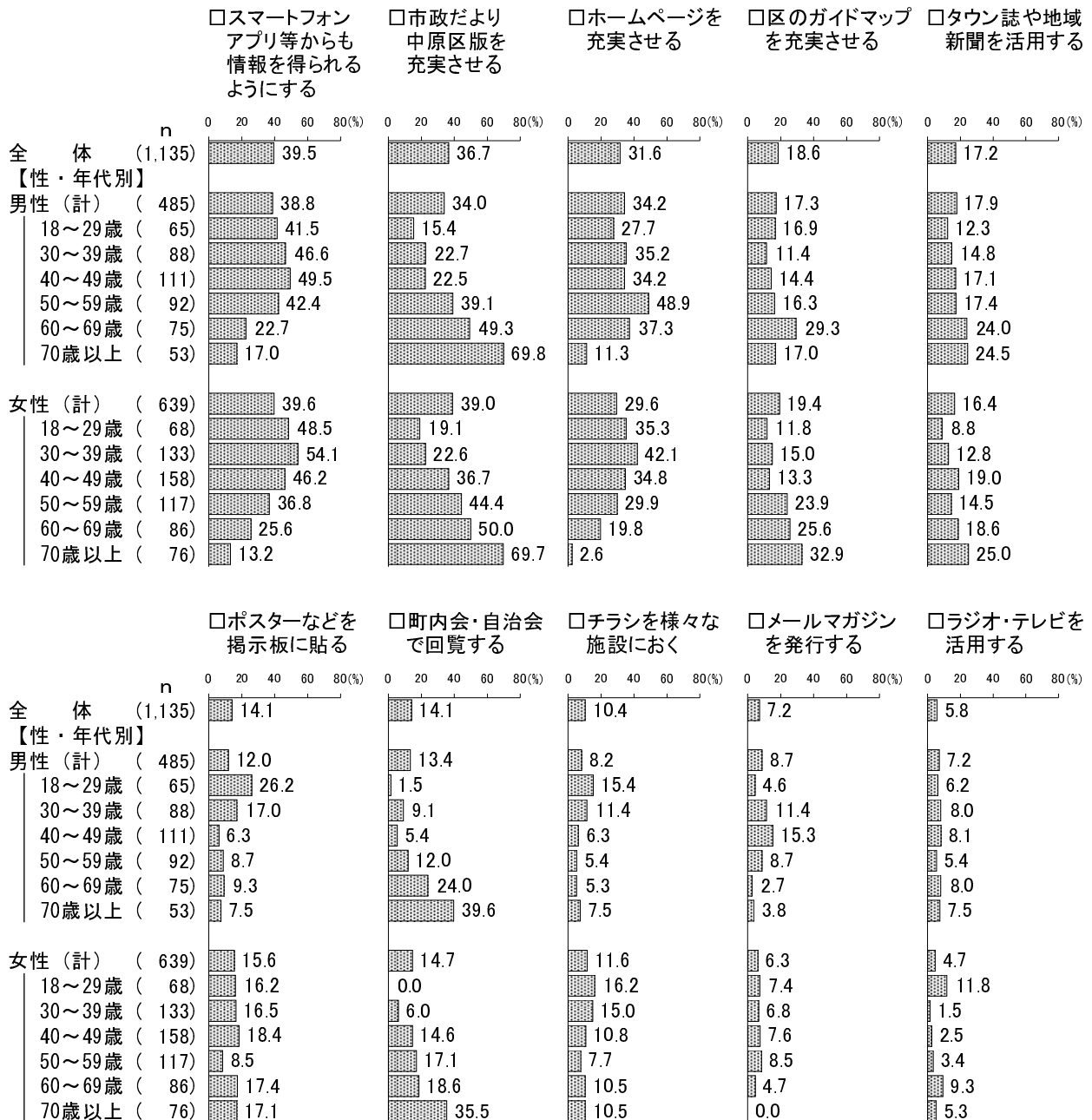
前回の調査と比較すると、「スマートフォンアプリ等からも情報を得られるようにする」は8.0ポイント増加している。一方、「市政だより中原区版を充実させる」は8.2ポイント、「区のガイドマップを充実させる」は4.1ポイント、それぞれ減少している。(図表4-2-2)

図表4-2-2 充実してほしい行政・地域情報の提供方法—前回の調査との比較



性・年代別にみると、「スマートフォンアプリ等からも情報を得られるようにする」は女性30～39歳（54.1%）で5割半ばと高くなっている。「市政だより中原区版を充実させる」は男女ともにおおむね年代が上がるほど割合が高く、男性70歳以上（69.8%）と女性70歳以上（69.7%）で7割と高くなっている。「ホームページを充実させる」は男性50～59歳（48.9%）で5割近くと高くなっている。（図表4-2-3）

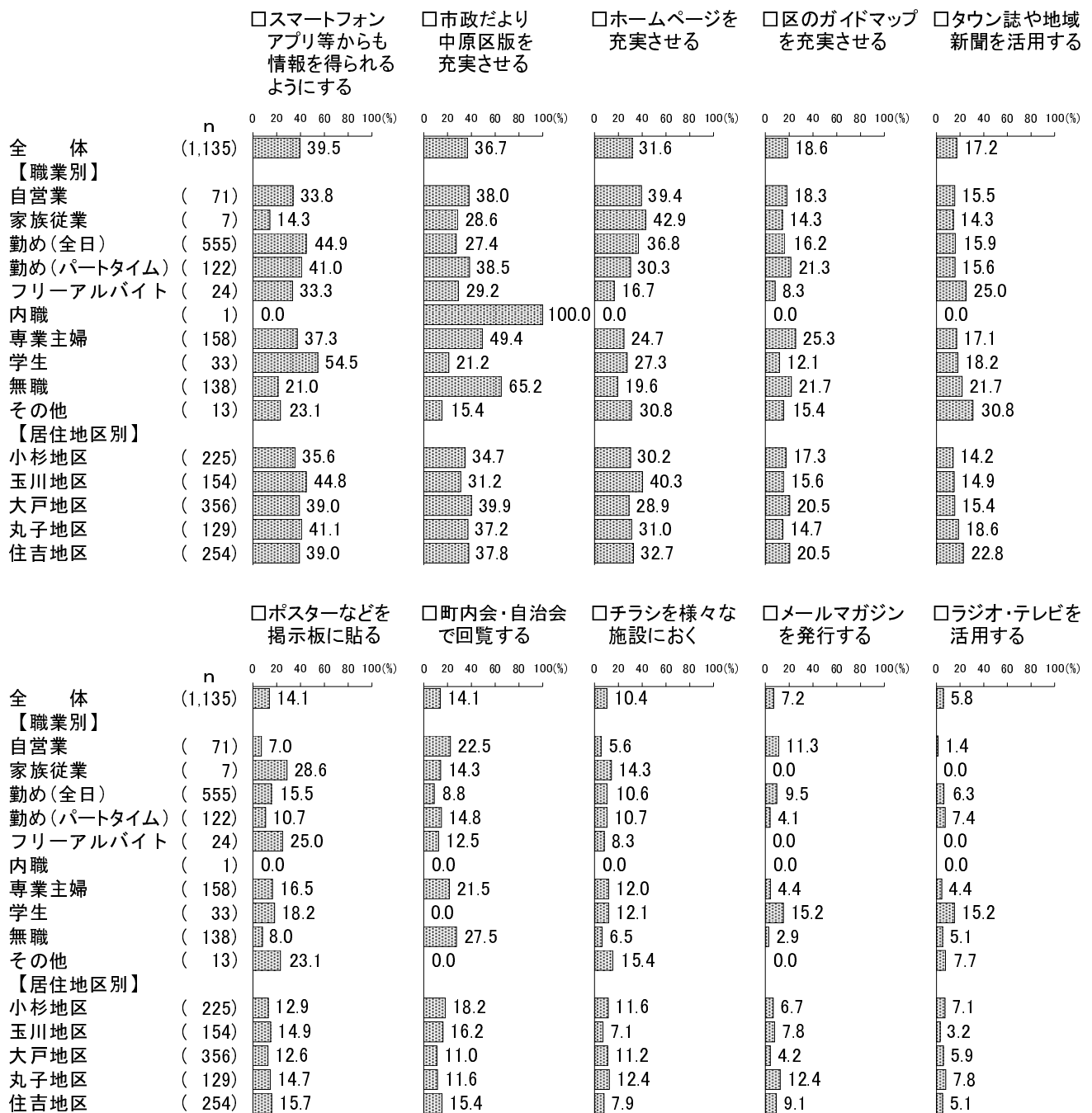
図表4-2-3 充実してほしい行政・地域情報の提供方法一性・年代別（上位10項目）



職業別にみると、「スマートフォンアプリ等からも情報を得られるようにする」は学生（54.5%）で5割半ばと高くなっている。「市政だより中原区版を充実させる」は無職（65.2%）で6割半ばと高くなっている。「ホームページを充実させる」は自営業（39.4%）で約4割と高くなっている。

居住地区別にみると、「スマートフォンアプリ等からも情報を得られるようにする」は玉川地区（44.8%）で4割半ばと高くなっている。「ホームページを充実させる」は玉川地区（40.3%）で4割と高くなっている。（図表4-2-4）

図表4-2-4 充実してほしい行政・地域情報の提供方法－職業別・居住地区別（上位10項目）

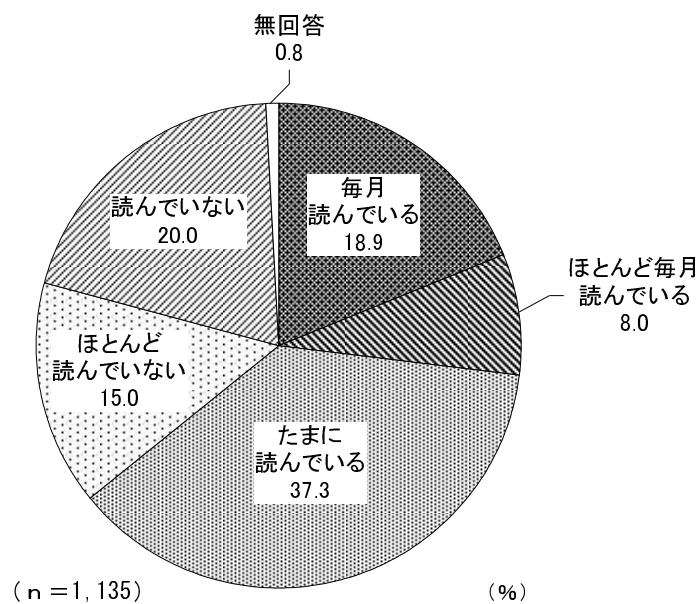


### (3) 「かわさき市政だより」 中原区版の閲覧状況

問11 現在、区の広報誌としては毎月1日発行の「かわさき市政だより」の中に中原区版（2ページ）がありますが、中原区版はお読みになっていますか。（○は1つだけ）

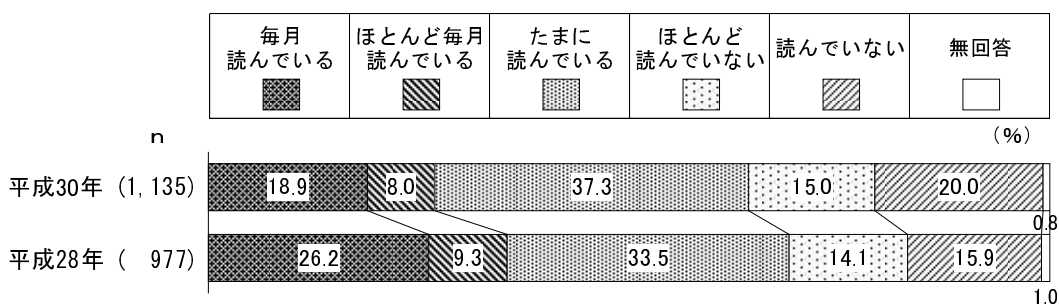
「かわさき市政だより」 中原区版の閲覧状況を聞いたところ、「毎月読んでいる」（18.9％）が2割近く、「ほとんど毎月読んでいる」（8.0％）は1割近く、「たまに読んでいる」（37.3％）は4割近くとなっている。一方、「ほとんど読んでいない」（15.0％）が1割半ば、「読んでいない」（20.0％）は2割となっている。（図表4-3-1）

図表4-3-1 「かわさき市政だより」 中原区版の閲覧状況



前回の調査と比較すると、「読んでいない」は4.1ポイント、「たまに読んでいる」は3.8ポイント、それぞれ増加している。一方、「毎月読んでいる」は7.3ポイント減少している。（図表4-3-2）

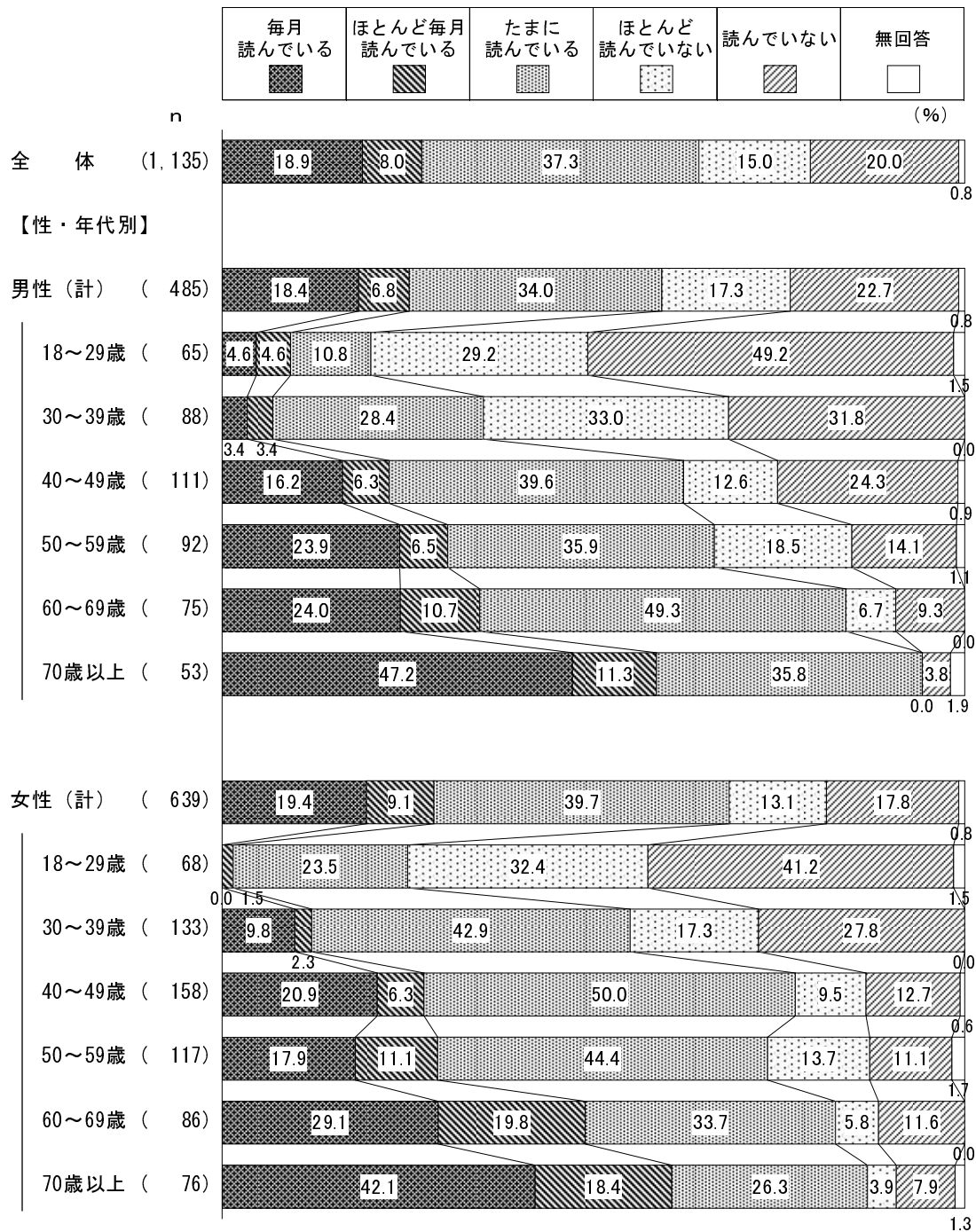
図表4-3-2 「かわさき市政だより」 中原区版の閲覧状況—前回の調査との比較



性・年代別にみると、「毎月読んでいる」は男女ともにおおむね年代が上がるほど割合が高く、男性70歳以上（47.2%）と女性70歳以上（42.1%）で4割台と高くなっている。「たまに読んでいる」は女性40～49歳（50.0%）と男性60～69歳（49.3%）で5割前後と高くなっている。「読んでいない」は男性18～29歳（49.2%）と女性18～29歳（41.2%）で4割台と高くなっている。

(図表4-3-3)

図表4-3-3 「かわさき市政だより」中原区版の閲覧状況－性・年代別

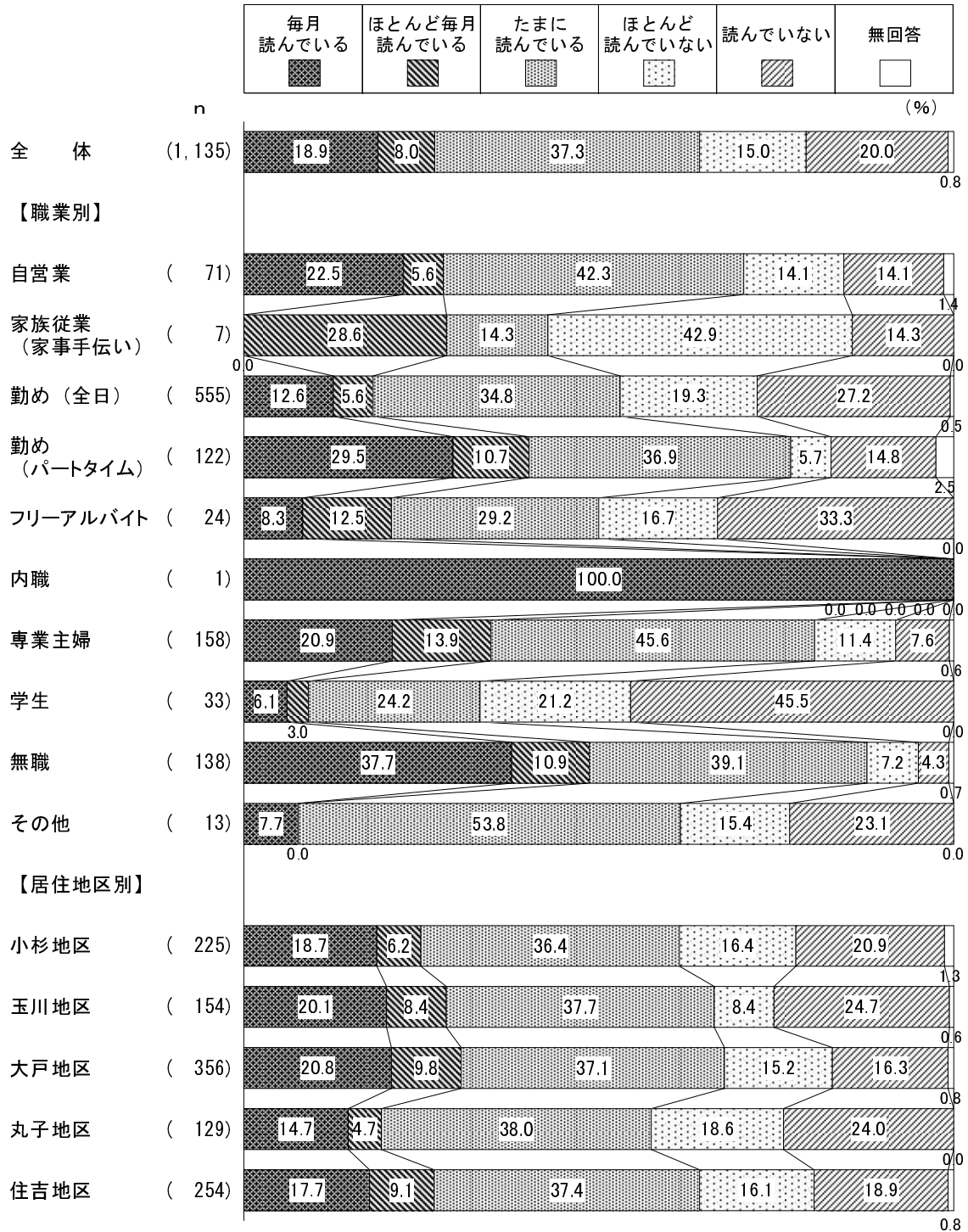




職業別にみると、「毎月読んでいる」は無職（37.7%）で4割近くと高くなっている。「読んでいない」は学生（45.5%）で4割半ばと高くなっている。

居住地区別にみると、「読んでいない」は玉川地区（24.7%）と丸子地区（24.0%）で2割半ばと高くなっている。（図表4-3-4）

図表4-3-4 「かわさき市政だより」中原区版の閲覧状況－職業別・居住地区別

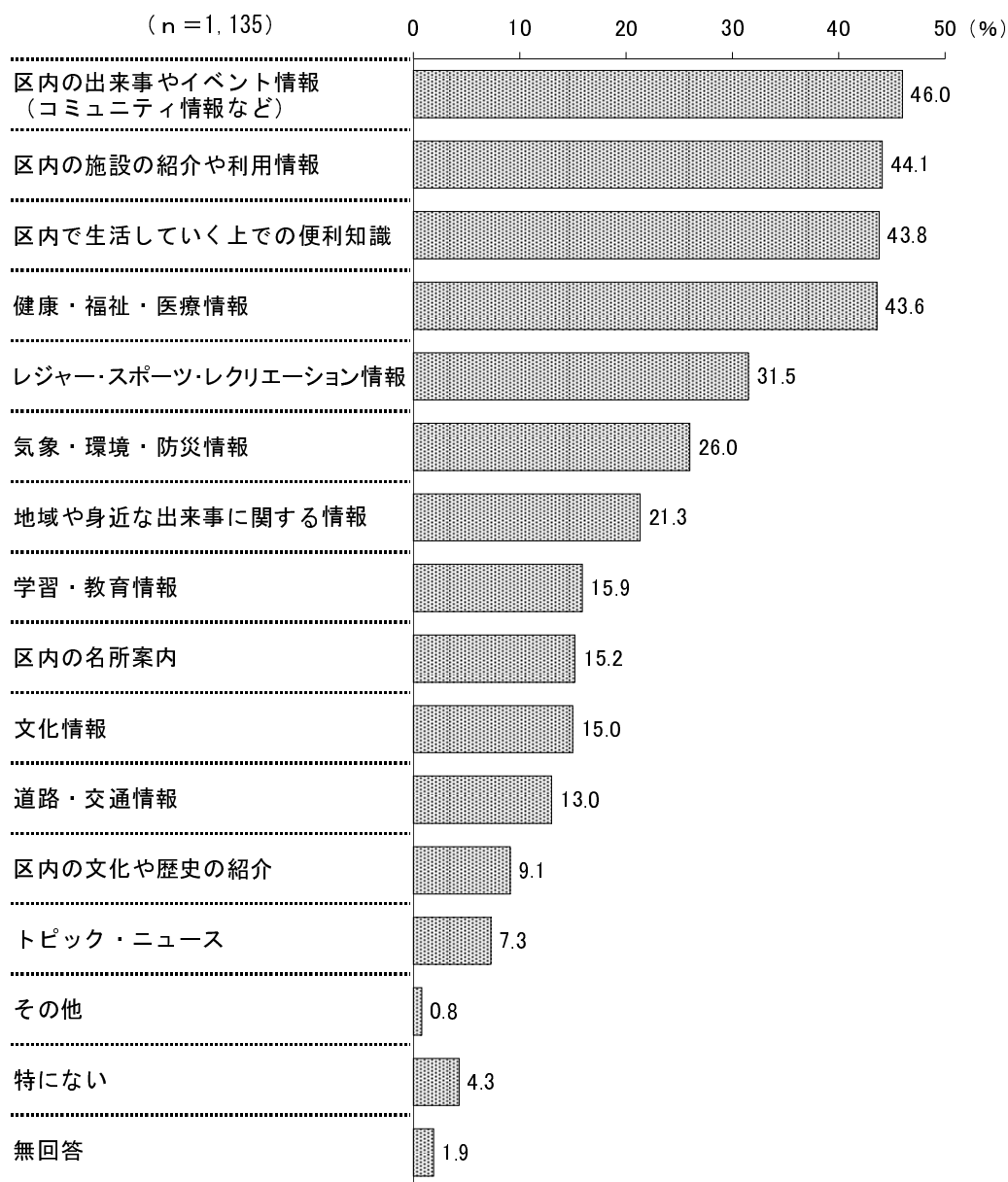


#### (4) 充実してほしい行政・地域情報の種類

問12 今後、区の広報を区民の皆さんの情報源として活かしていくには、どんな内容に重点をおいていくのが良いと思いますか。(〇はいくつでも)

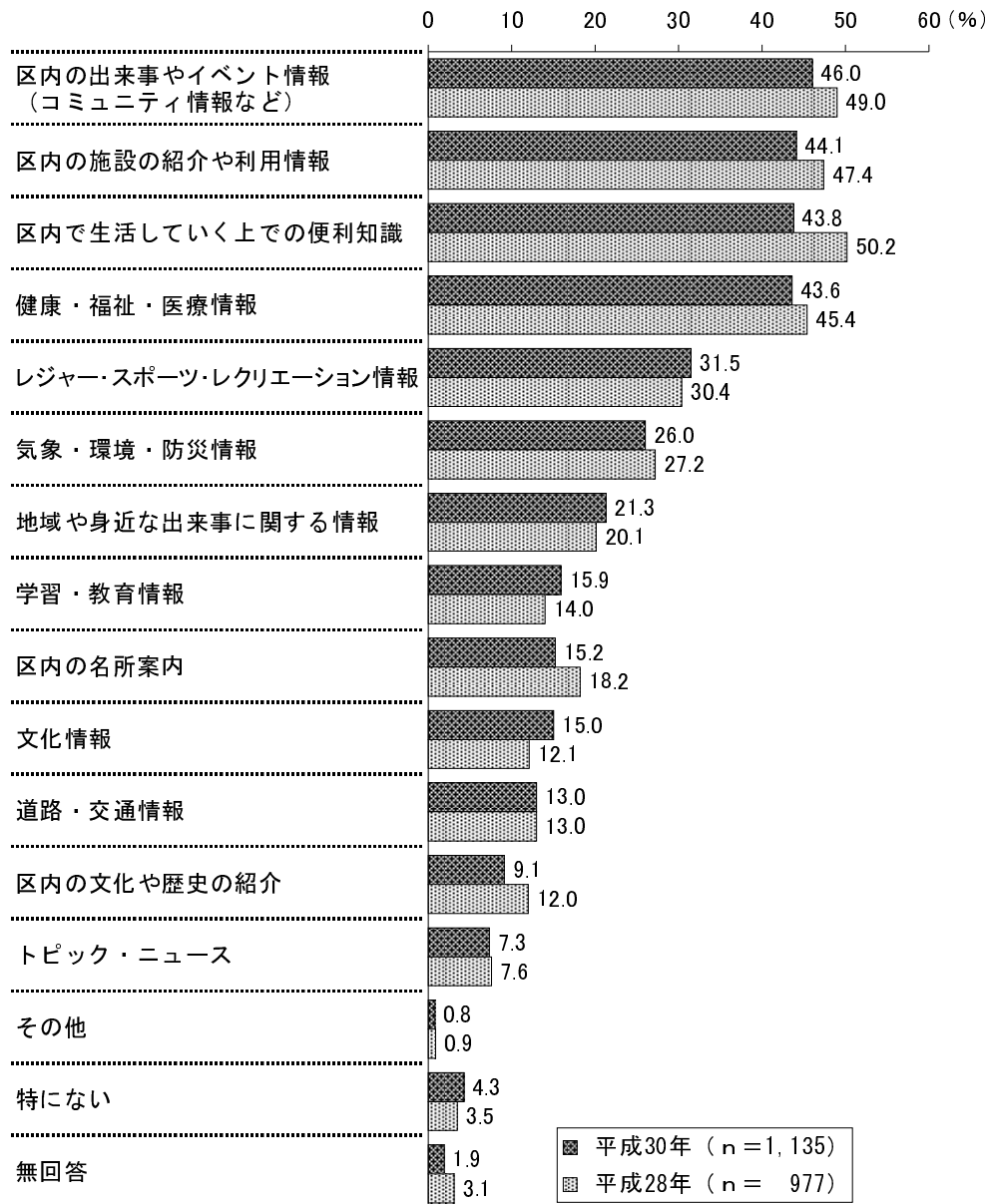
今後、区の広報を区民の情報源として活かしていくには、どんな内容に重点をおいていくのが良いと思うか聞いたところ、「区内の出来事やイベント情報（コミュニティ情報など）」（46.0%）と「区内の施設の紹介や利用情報」（44.1%）がともに4割半ばで高く、次いで「区内で生活していく上での便利知識」（43.8%）、「健康・福祉・医療情報」（43.6%）、「レジャー・スポーツ・レクリエーション情報」（31.5%）となっている。（図表4-4-1）

図表4-4-1 充実してほしい行政・地域情報の種類



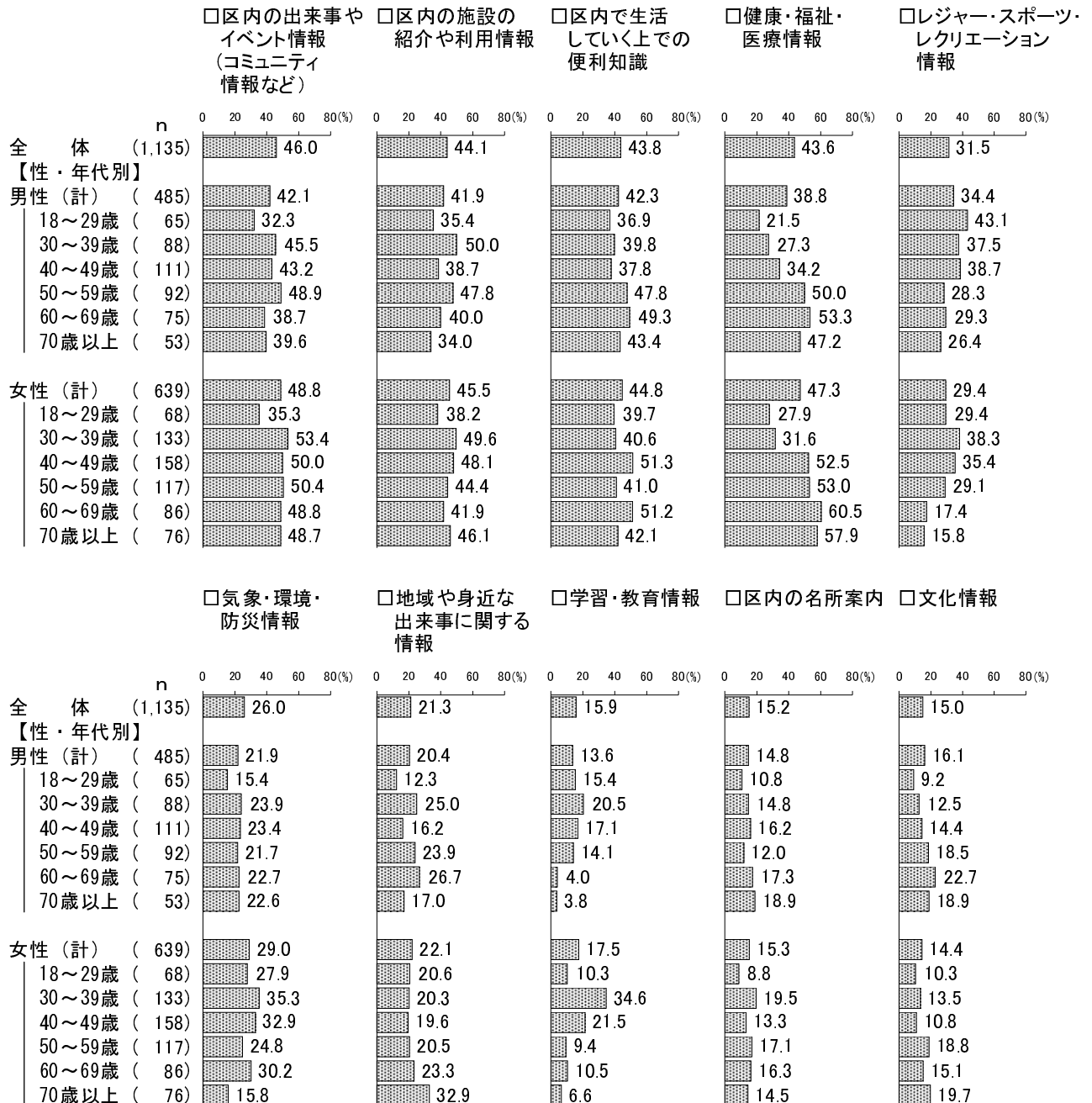
前回の調査と比較すると、「区内で生活していく上での便利知識」は6.4ポイント、「区内の施設の紹介や利用情報」は3.3ポイント、それぞれ減少している。(図表4-4-2)

図表4-4-2 充実してほしい行政・地域情報の種類—前回の調査との比較



性・年代別にみると、「区内で生活していく上での便利知識」は女性40～49歳（51.3%）と女性60～69歳（51.2%）で5割を超えて高くなっている。「健康・福祉・医療情報」は女性60～69歳（60.5%）で約6割と高くなっている。「レジャー・スポーツ・レクリエーション情報」は男性18～29歳（43.1%）で4割を超えて高くなっている。（図表4-4-3）

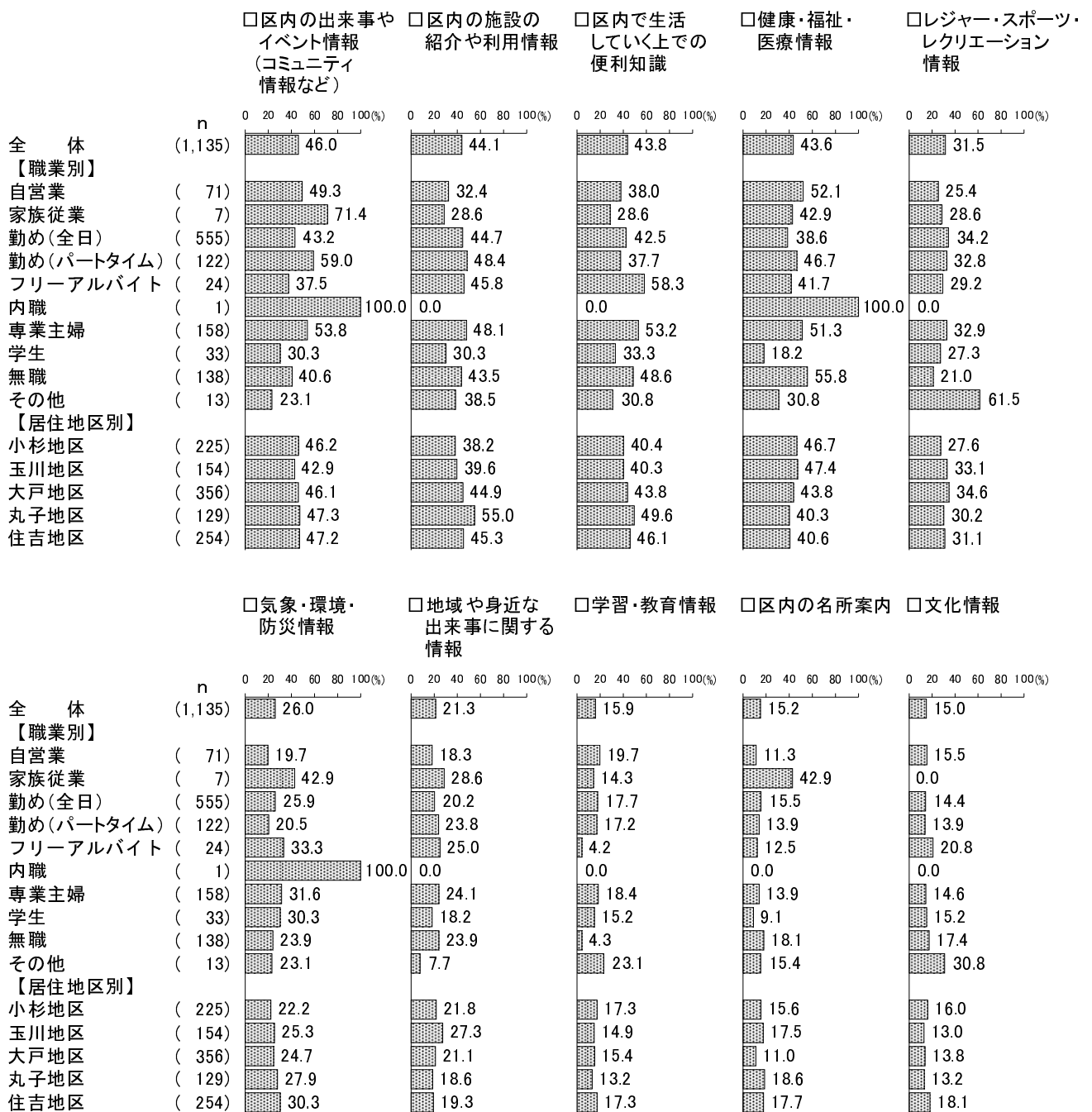
図表4-4-3 充実してほしい行政・地域情報の種類－性・年代別（上位10項目）



職業別にみると、「区内の出来事やイベント情報（コミュニティ情報など）」は勤め（パートタイム）（59.0%）で約6割と高くなっている。「区内で生活していく上での便利知識」はフリーアルバイト（58.3%）で6割近くと高くなっている。「健康・福祉・医療情報」は無職（55.8%）で5割半ばと高くなっている。

居住地区別にみると、「区内の施設の紹介や利用情報」は丸子地区（55.0%）で5割半ばと高くなっている。「区内で生活していく上での便利知識」は丸子地区（49.6%）で5割と高くなっている。（図表4-4-4）

図表4-4-4 充実してほしい行政・地域情報の種類－職業別・居住地区別（上位10項目）



## 5. 中原区役所の環境

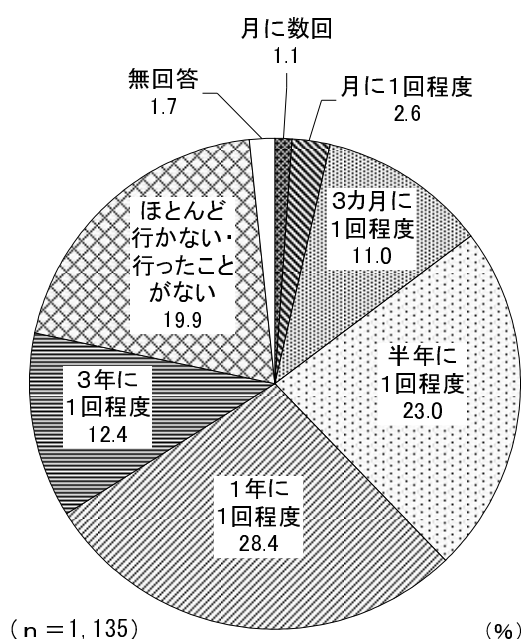
### (1) 中原区役所の利用頻度

問13 中原区役所をどの位の頻度で利用しますか。(○は1つだけ)

中原区役所の利用頻度を聞いたところ、「1年に1回程度」(28.4%)が3割近くで最も高く、次いで「半年に1回程度」(23.0%)、「3年に1回程度」(12.4%)、「3カ月に1回程度」(11.0%)となっている。一方、「ほとんど行かない・行ったことがない」(19.9%)は2割となっている。

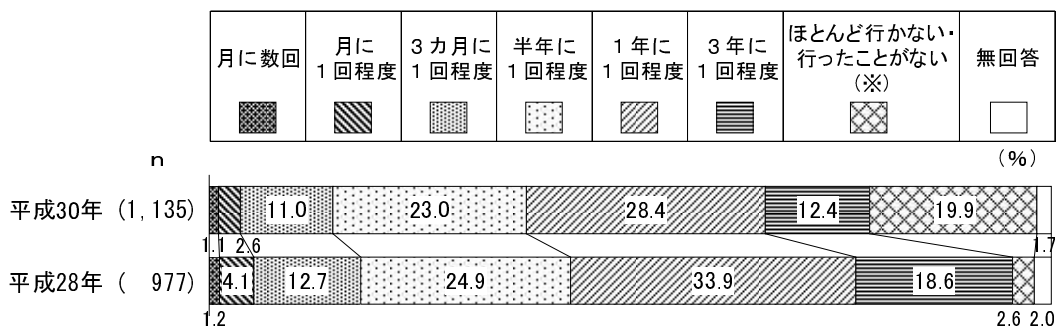
(図表5-1-1)

図表5-1-1 中原区役所の利用頻度



前回の調査との比較は、選択肢が異なるため、参考に図示する。(図表5-1-2)

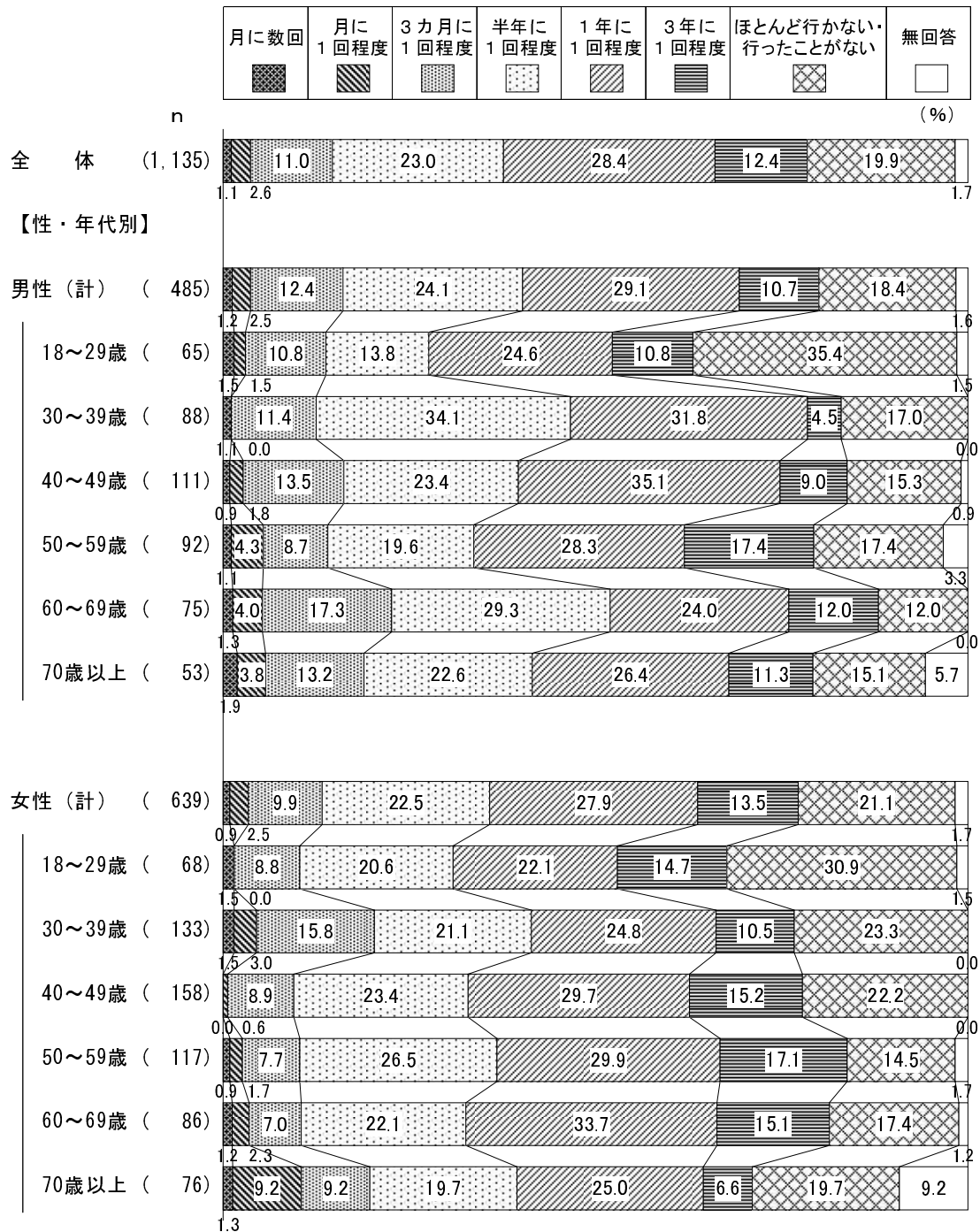
図表5-1-2 中原区役所の利用頻度—前回の調査との比較



※「ほとんど行かない・行ったことがない」は、平成28年調査では「行ったことがない」としていた。

性・年代別にみると、「半年に1回程度」は男性30～39歳（34.1%）で3割半ばと高くなっている。「ほとんど行かない・行ったことがない」は男性18～29歳（35.4%）と女性18～29歳（30.9%）で3割台と高くなっている。（図表5-1-3）

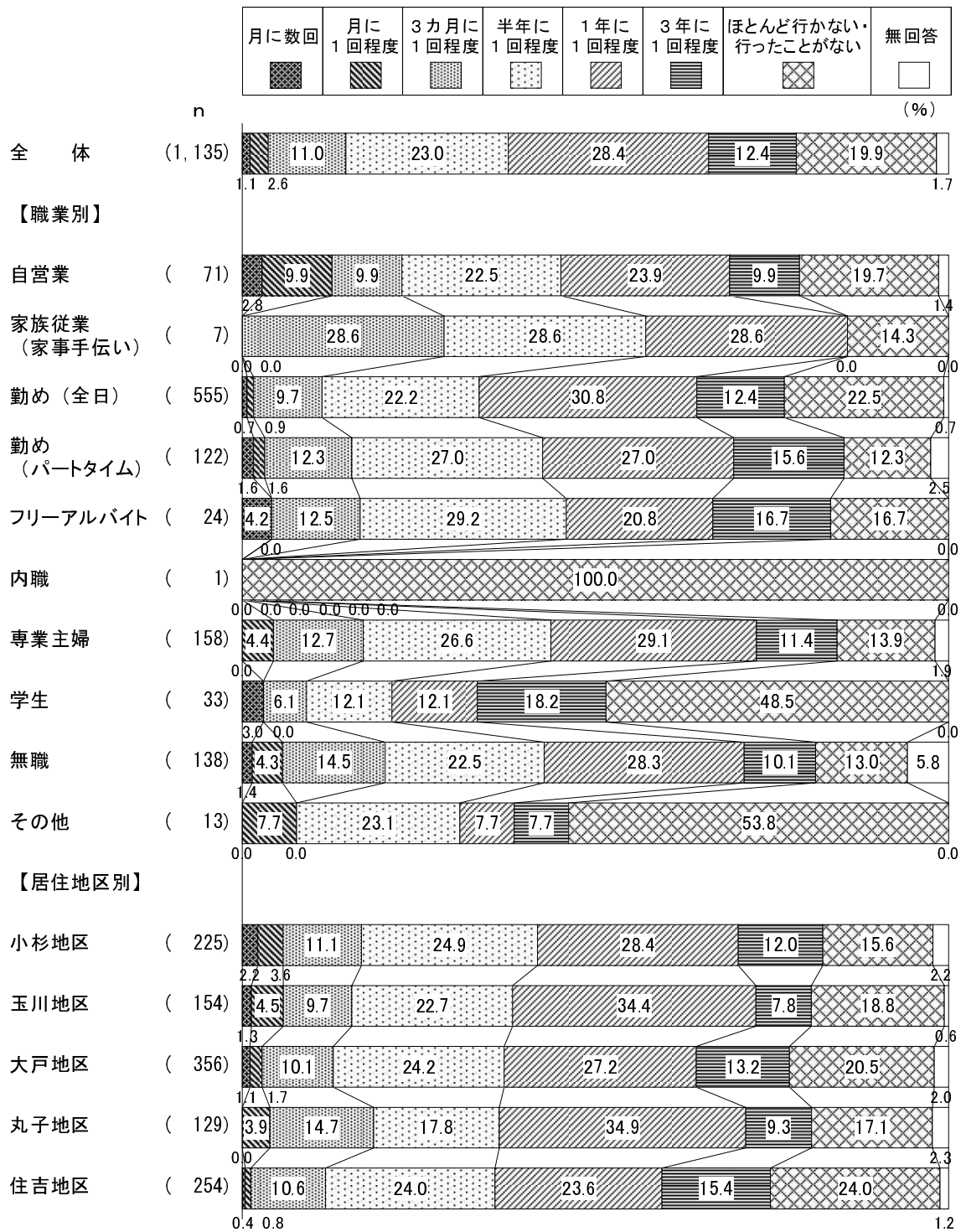
図表5-1-3 中原区役所の利用頻度－性・年代別



職業別にみると、「ほとんど行かない・行ったことがない」は学生（48.5%）で5割近くと高くなっている。

居住地区別にみると、「1年に1回程度」は丸子地区（34.9%）と玉川地区（34.4%）で3割半ばと高くなっている。「ほとんど行かない・行ったことがない」は住吉地区（24.0%）で2割半ばと高くなっている。（図表5-1-4）

図表5-1-4 中原区役所の利用頻度－職業別・居住地区別





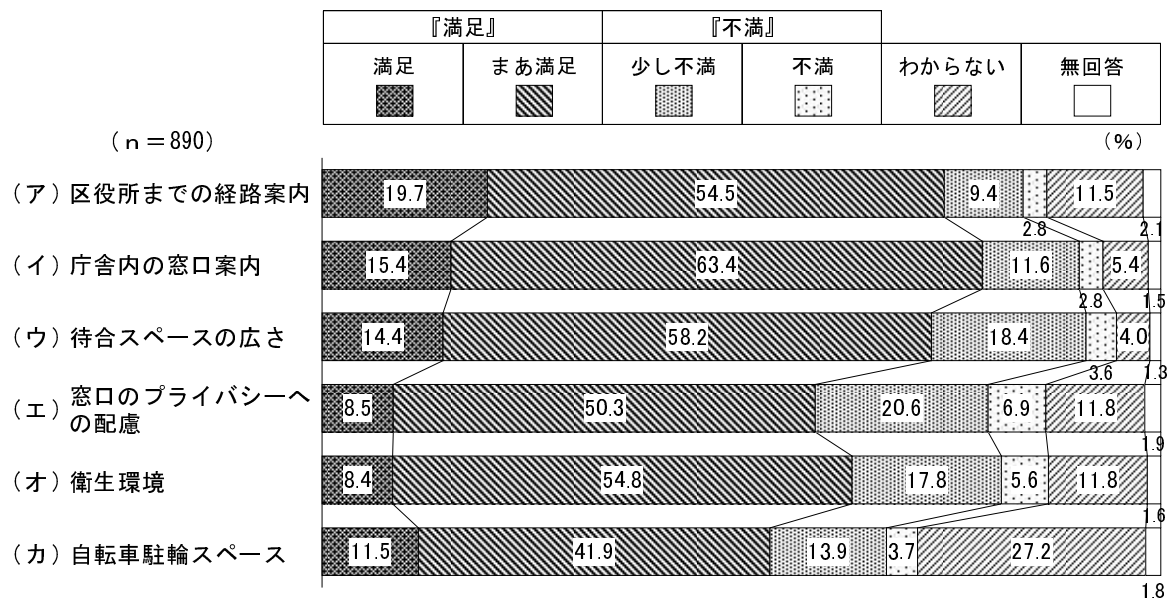
## (2) 中原区役所の環境・設備の満足度

(問13で、「ほとんど行かない・行ったことがない」以外と回答した方に)

問13-1 中原区役所庁舎についてお伺いします。次にあげる(ア)から(カ)のそれぞれの項目についてどの程度満足していますか。各項目について1つずつ選んでください。  
(○はそれぞれ1つ)

中原区役所の利用頻度で「ほとんど行かない・行ったことがない」以外と回答した方(890人)に、中原区役所の環境・設備について6項目に分けて満足度を聞いたところ、「満足」と「まあ満足」の2つを合わせた『満足』は、(イ)庁舎内の窓口案内(78.8%)が8割近くで最も高く、次いで(ア)区役所までの経路案内(74.2%)、(ウ)待合スペースの広さ(72.6%)となっている。一方、「少し不満」と「不満」の2つを合わせた『不満』は、(エ)窓口のプライバシーへの配慮(27.5%)が3割近くで最も高く、次いで(オ)衛生環境(23.4%)、(ウ)待合スペースの広さ(22.0%)となっている。(図表5-2-1)

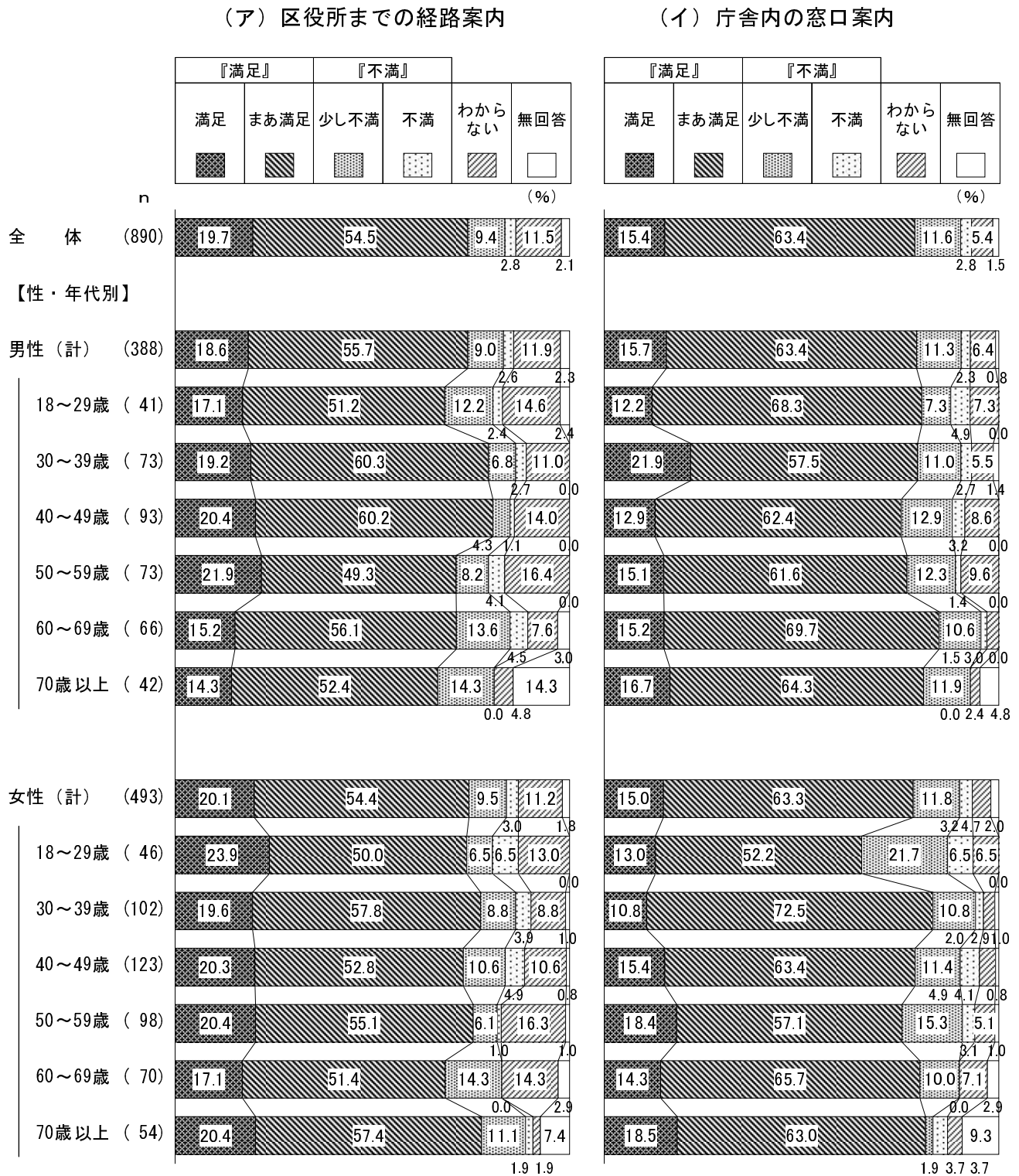
図表5-2-1 中原区役所の環境・設備の満足度



(ア) 区役所までの経路案内について性・年代別にみると、『満足』は男性30～39歳（79.5%）と男性40～49歳（80.6%）で8割前後と高くなっている。

(イ) 庁舎内の窓口案内について性・年代別にみると、『満足』は男性60～69歳（84.9%）で8割半ばと高くなっている。（図表5-2-2）

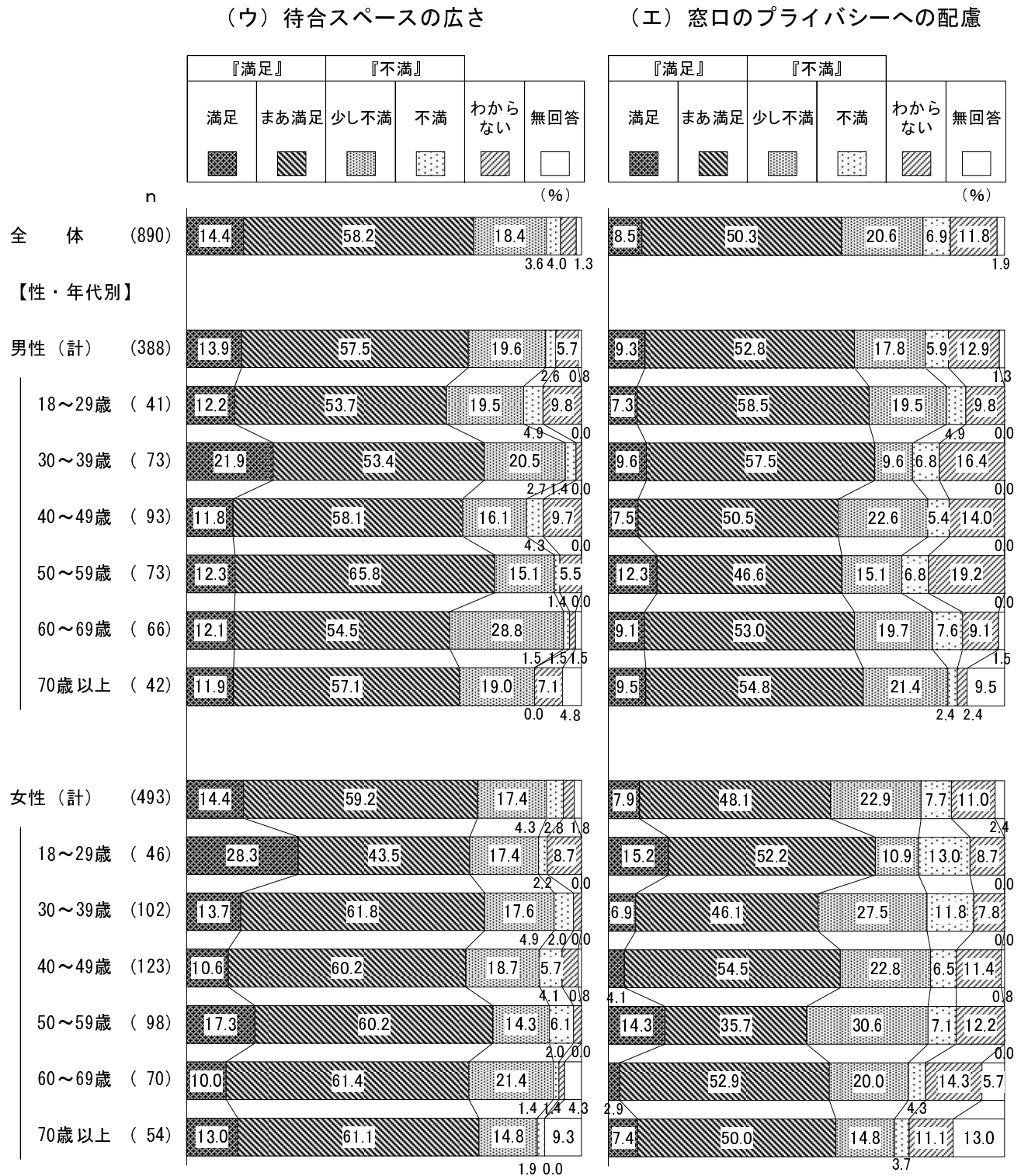
図表5-2-2 中原区役所の環境・設備の満足度一性・年代別



(ウ) 待合スペースの広さについて性・年代別にみると、『満足』は男性50～59歳（78.1%）と女性50～59歳（77.5%）で8割近くと高くなっている。一方、『不満』は男性60～69歳（30.3%）で3割と高くなっている。

(エ) 窓口のプライバシーへの配慮について性・年代別にみると、『満足』は女性18～29歳（67.4%）と男性30～39歳（67.1%）で7割近くと高くなっている。一方、『不満』は女性30～39歳（39.3%）で約4割と高くなっている。（図表5-2-3）

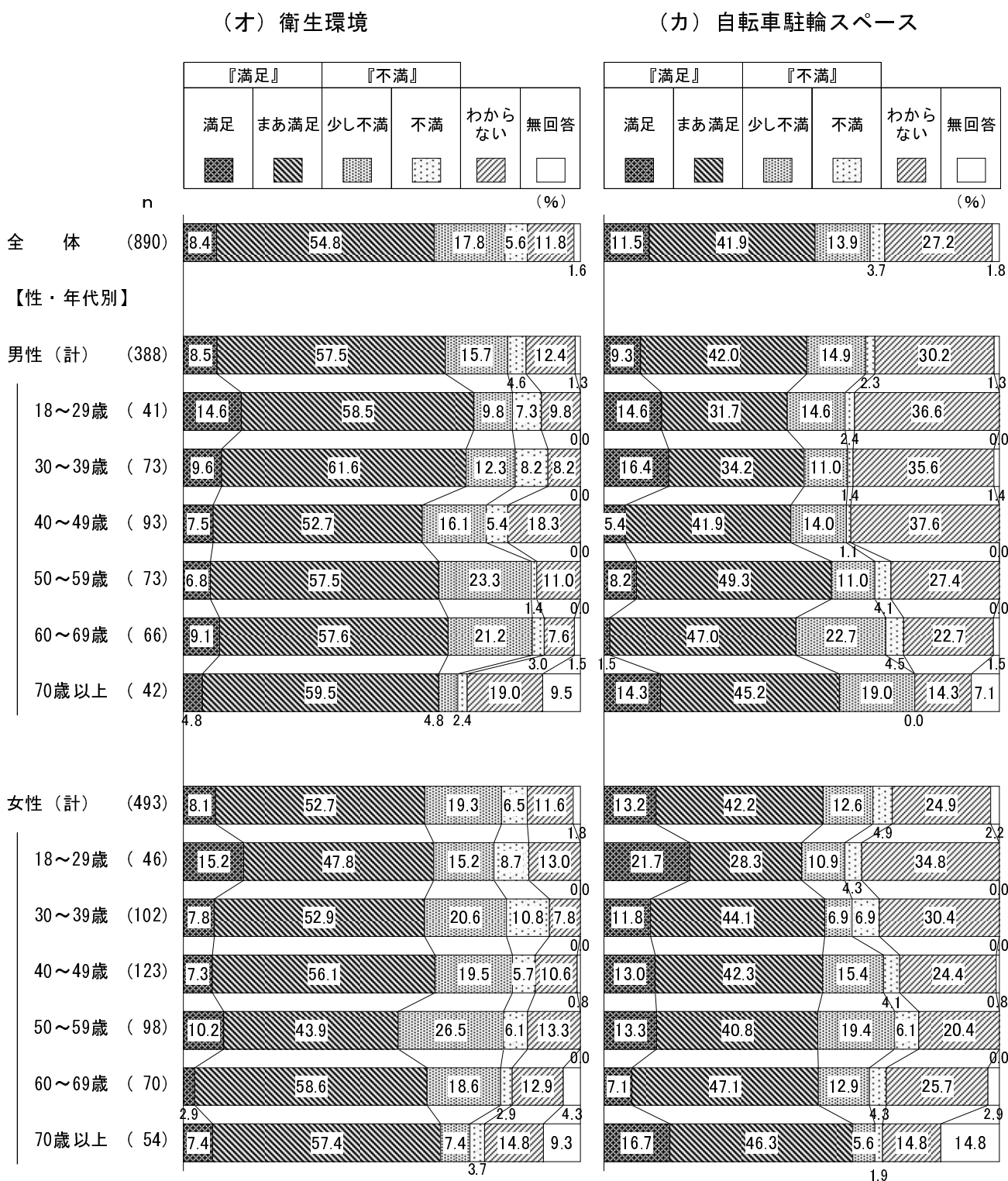
図表5-2-3 中原区役所の環境・設備の満足度一性・年代別



(オ) 衛生環境について性・年代別にみると、『満足』は男性18～29歳（73.1%）と男性30～39歳（71.2%）で7割を超えて高くなっている。一方、『不満』は女性30～39歳（31.4%）と女性50～59歳（32.6%）で3割を超えて高くなっている。

(カ) 自転車駐輪スペースについて性・年代別にみると、『満足』は女性70歳以上（63.0%）で6割を超えて高くなっている。（図表5-2-4）

図表5-2-4 中原区役所の環境・設備の満足度一性・年代別



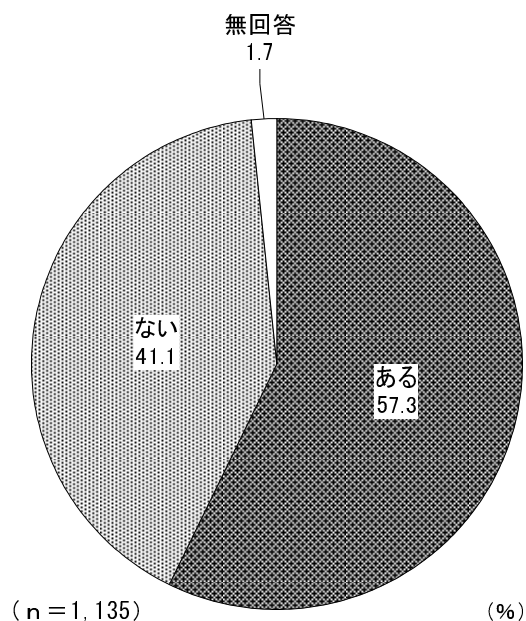
## 6. 子育て支援

### (1) 子育ての経験の有無

問14 あなたは子育ての経験がありますか。(○は1つだけ)

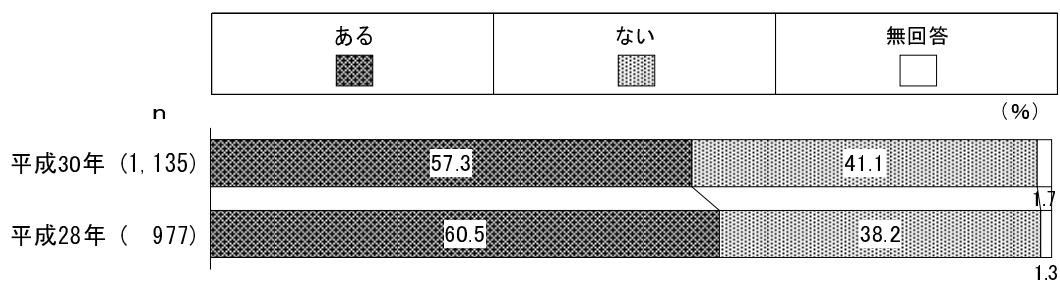
子育ての経験があるか聞いたところ、「ある」(57.3%)が6割近く、「ない」(41.1%)は4割を超えている。(図表6-1-1)

図表6-1-1 子育ての経験の有無



前回の調査と比較すると、「ある」は3.2ポイント減少している。(図表6-1-2)

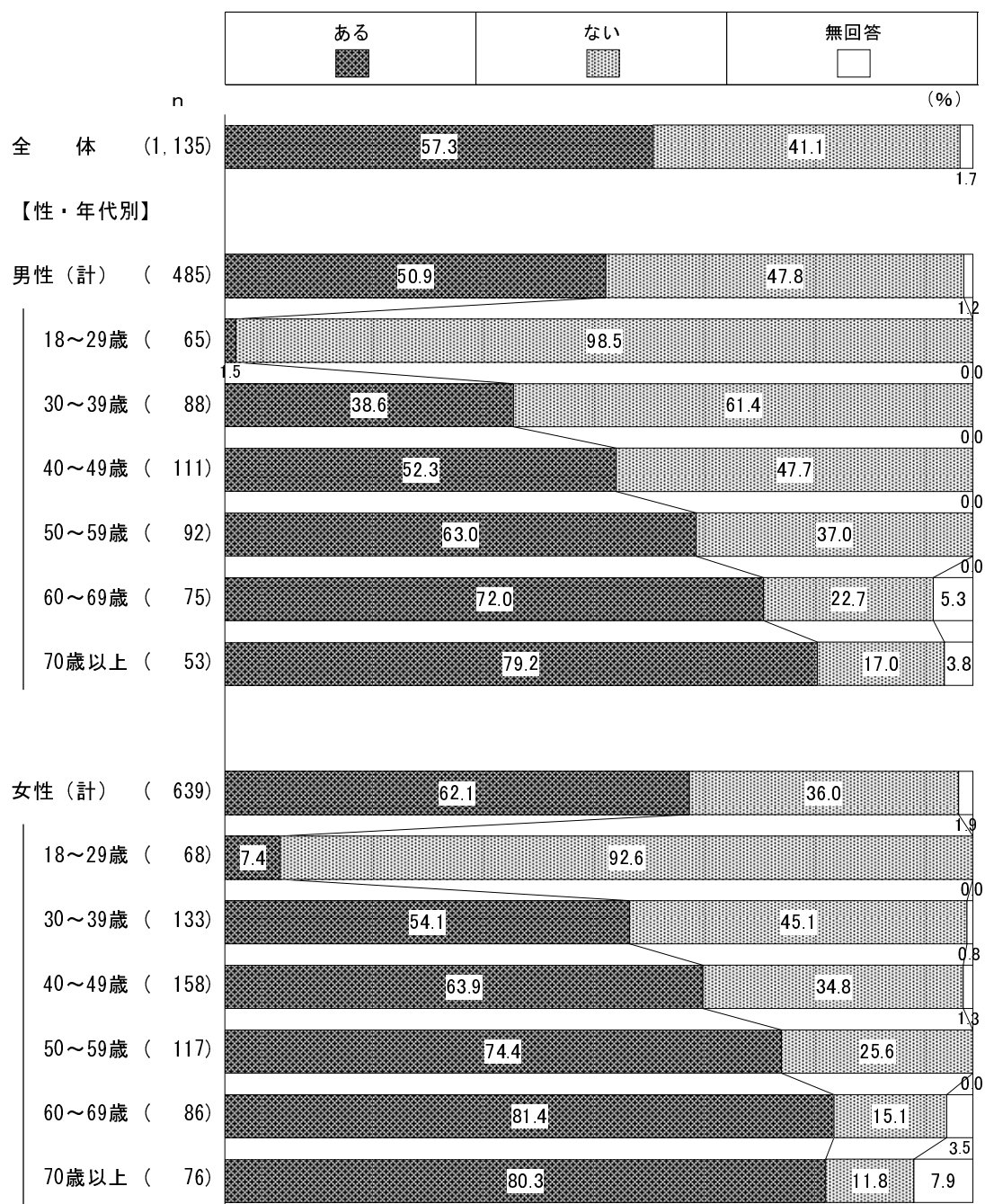
図表6-1-2 子育ての経験の有無—前回の調査との比較



性・年代別にみると、「ある」は男女ともにおおむね年代が上がるほど割合が高く、女性60～69歳（81.4%）、女性70歳以上（80.3%）、男性70歳以上（79.2%）で8割前後と高くなっている。

（図表6-1-3）

図表6-1-3 子育ての経験の有無—性・年代別



## (2) 利用したことがある子育て支援サービス

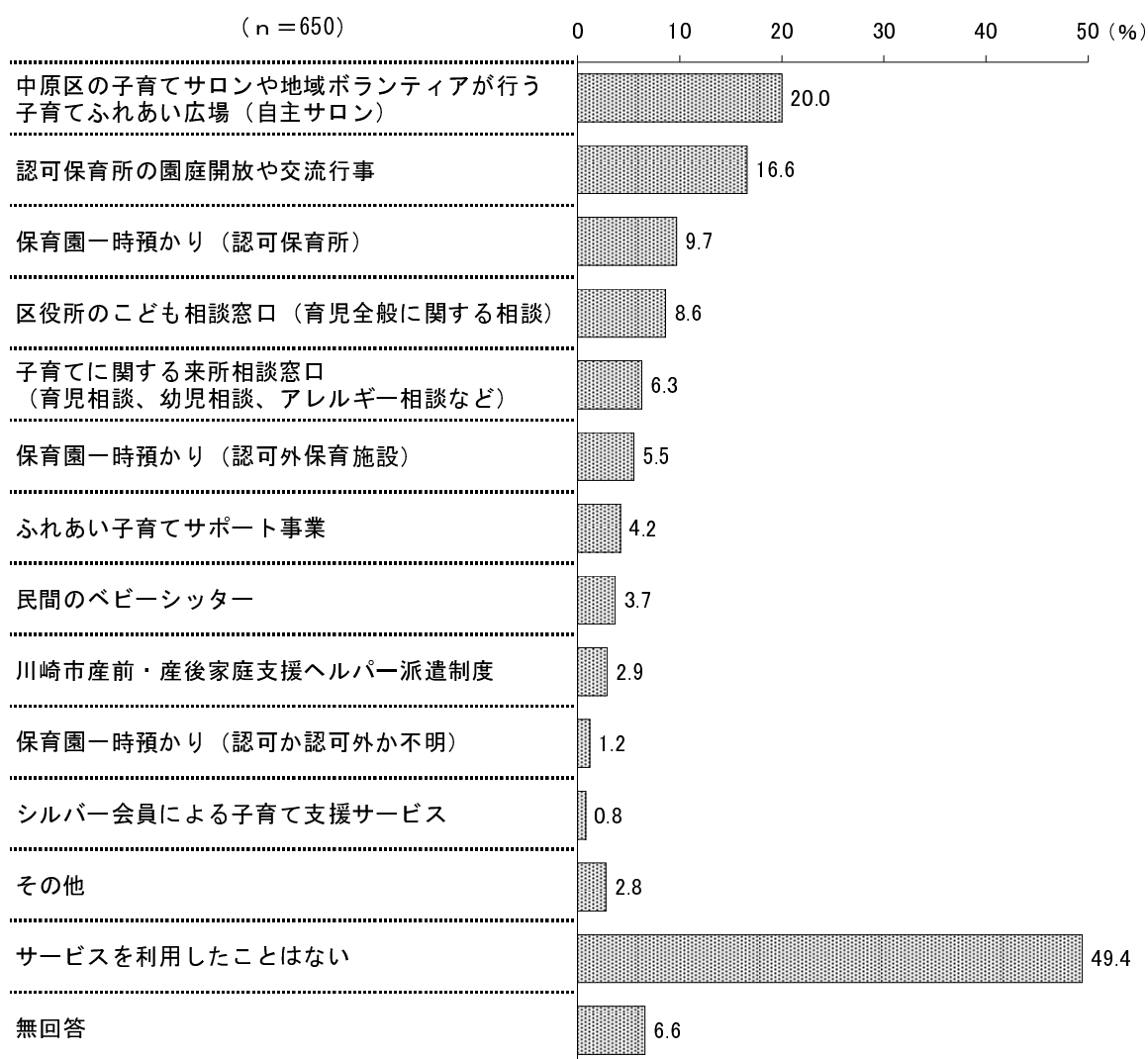
(問14で、「ある」と回答した方に)

問14-1 普段利用している、もしくは利用したことのあるサービスを教えてください。

(〇はいくつでも)

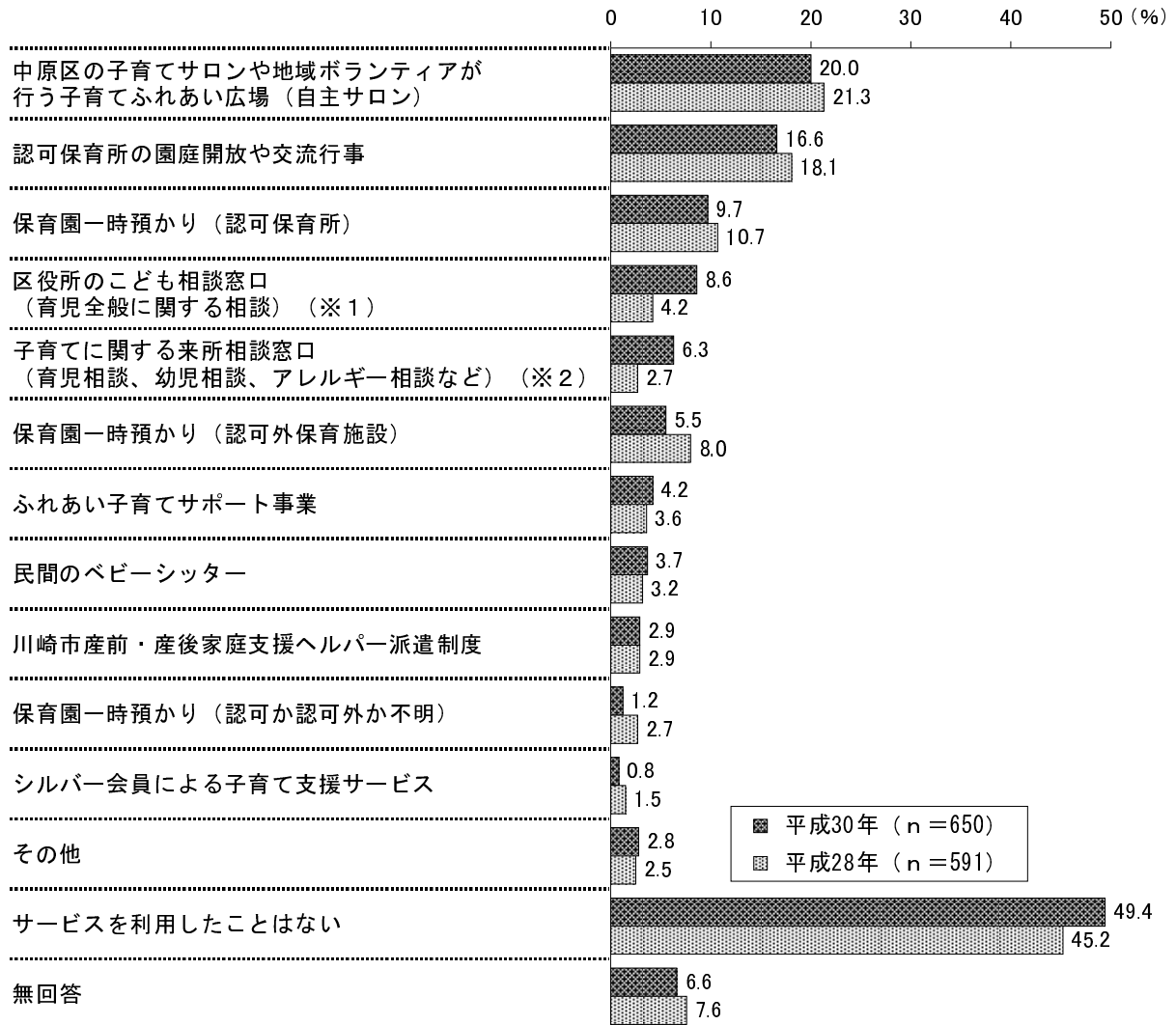
子育ての経験が「ある」と回答した方(650人)に、普段利用している、もしくは利用したことのあるサービスを聞いたところ、「中原区の子育てサロンや地域ボランティアが行う子育てふれあい広場(自主サロン)」(20.0%)が2割で最も高く、次いで「認可保育所の園庭開放や交流行事」(16.6%)、「認可保育所の園庭開放や交流行事」(16.6%)、「保育園一時預かり(認可保育所)」(9.7%)となっている。一方、「サービスを利用したことはない」(49.4%)は約5割となっている。(図表6-2-1)

図表6-2-1 利用したことがある子育て支援サービス



前回の調査と比較すると、選択肢が異なるため単純に比較はできないが、「サービスを利用したことはない」は4.2ポイント増加している。(図表6-2-2)

図表6-2-2 利用したことがある子育て支援サービス—前回の調査との比較



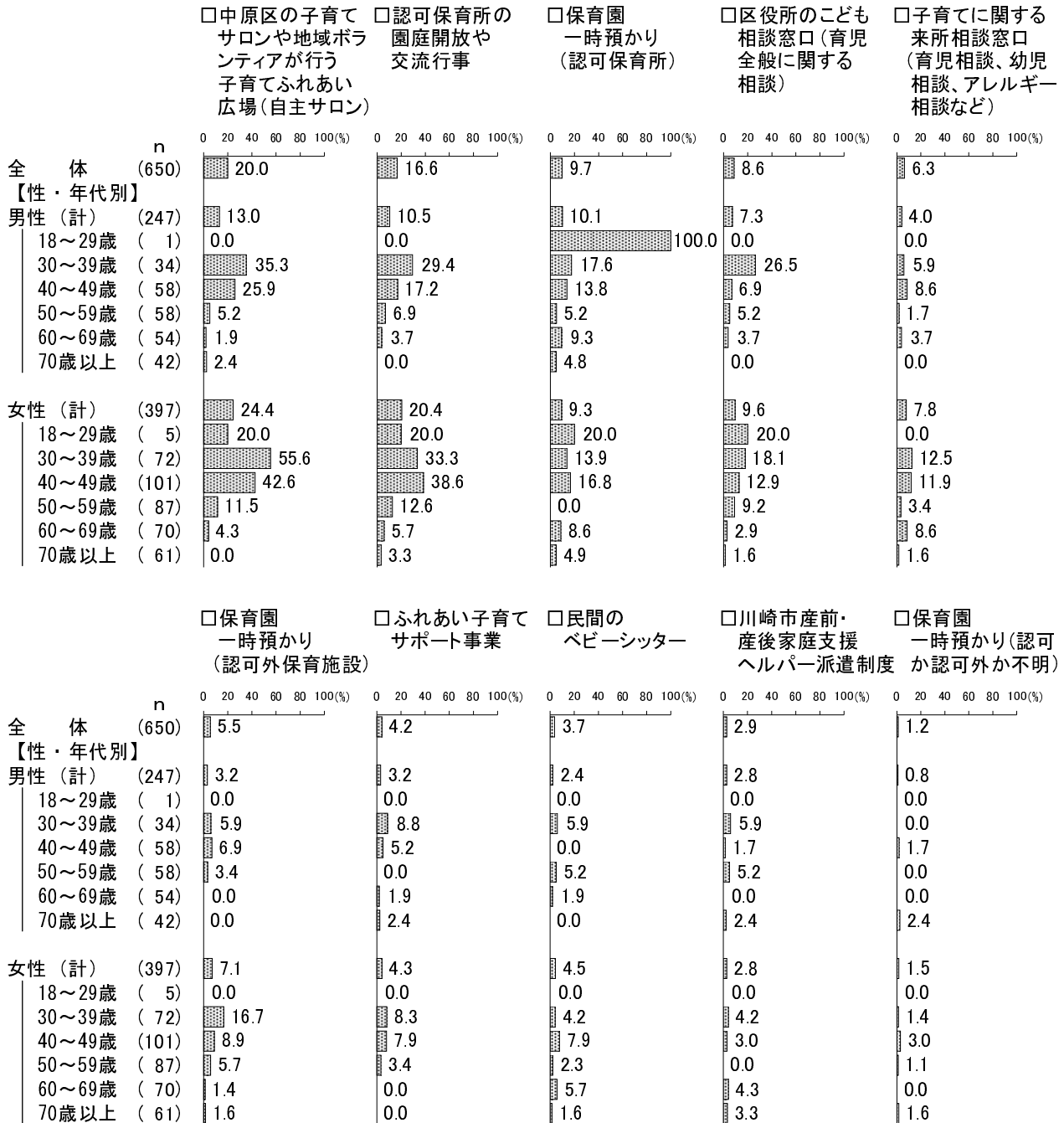
※1) 「区役所のこども相談窓口 (育児全般に関する相談)」は、平成28年調査では「こども相談窓口」としていた。

※2) 「子育てに関する来所相談窓口 (育児相談、幼児相談、アレルギー相談など)」は、平成28年調査では「子育てに関する来所相談窓口」としていた。



性・年代別にみると、「中原区の子育てサロンや地域ボランティアが行う子育てふれあい広場（自主サロン）」は女性30～39歳（55.6%）で5割半ばと高くなっている。「認可保育所の園庭開放や交流行事」は女性40～49歳（38.6%）で4割近くと高くなっている。（図表6-2-3）

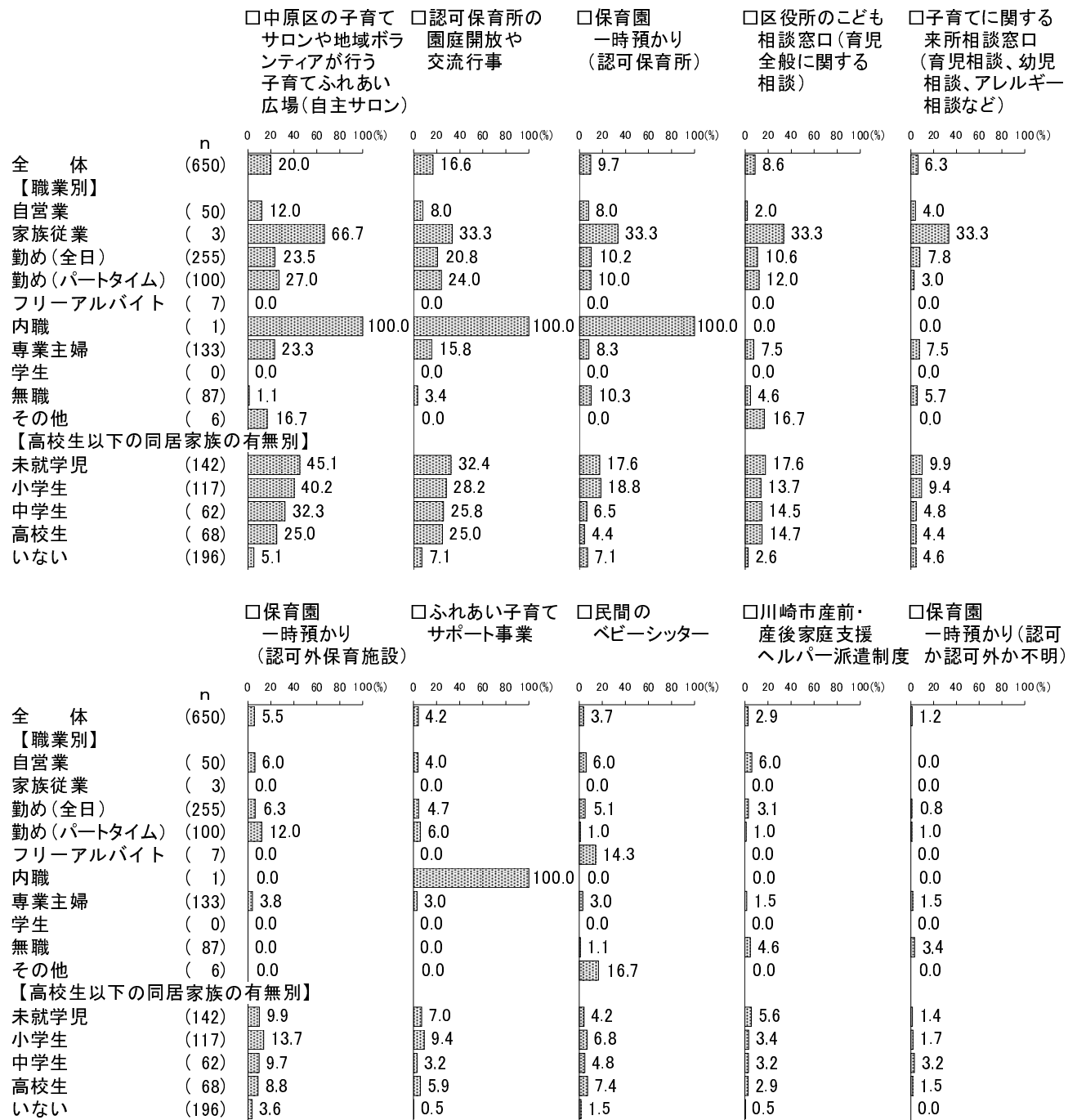
図表6-2-3 利用したことがある子育て支援サービス－性・年代別（上位10項目）



職業別にみると、「中原区の子育てサロンや地域ボランティアが行う子育てふれあい広場（自主サロン）」は勤め（パートタイム）（27.0%）で3割近くと高くなっている。

高校生以下の同居家族の有無別にみると、「中原区の子育てサロンや地域ボランティアが行う子育てふれあい広場（自主サロン）」は未就学児と同居している人（45.1%）で4割半ばと高くなっている。「認可保育所の園庭開放や交流行事」は未就学児と同居している人（32.4%）で3割を超えて高くなっている。（図表6-2-4）

図表6-2-4 利用したことがある子育て支援サービス－職業別・高校生以下の同居家族の有無別（上位10項目）

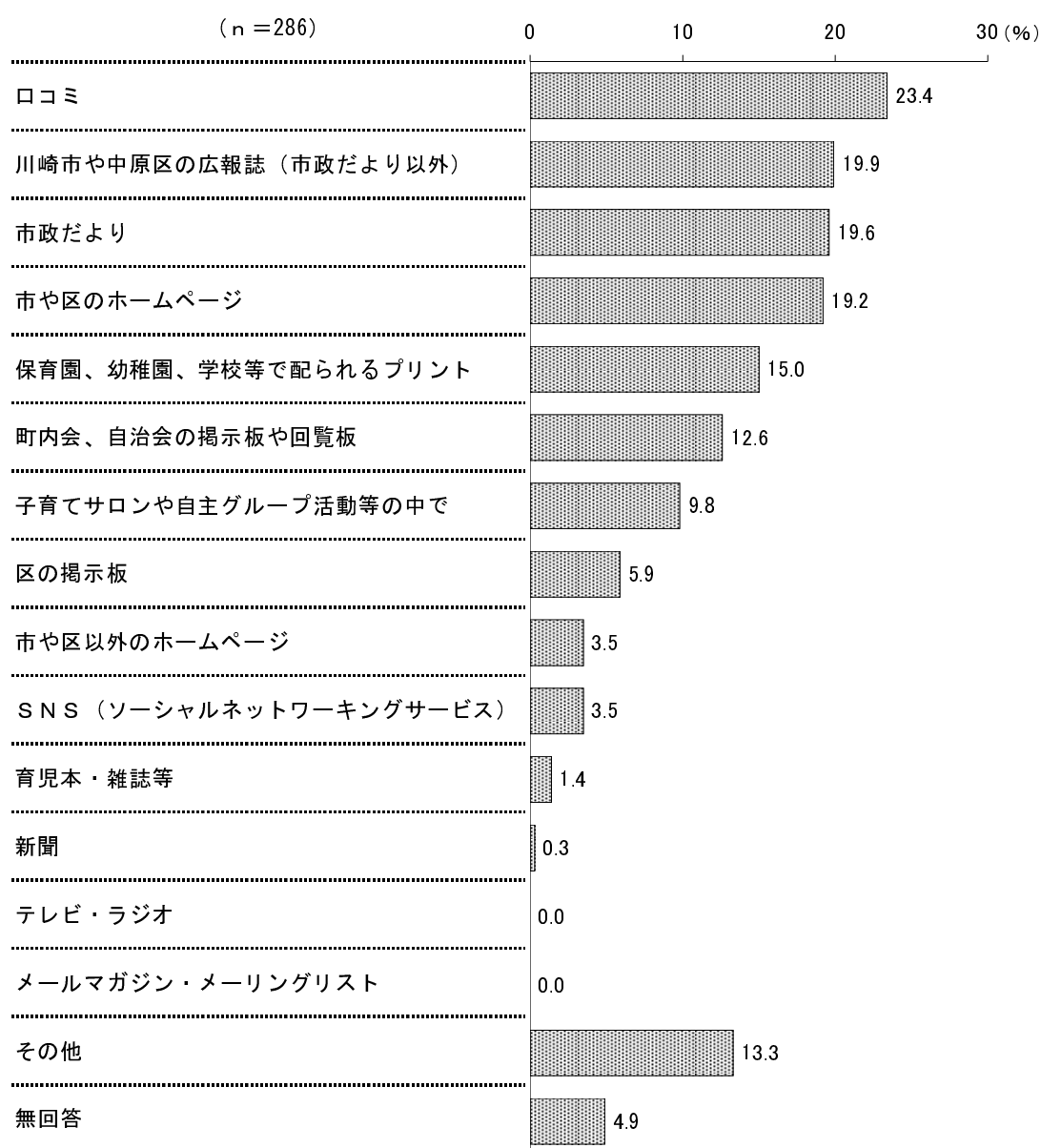


### (3) 子育て支援サービスを知ったきっかけ

(問14-1で、「サービスを利用したことはない」以外と回答した方に)  
 問14-2 これらのサービスはどちらで知りましたか。(〇は3つまで)

子育て支援の「サービスを利用したことはない」以外と回答した方(286人)に、サービスを何で知ったか聞いたところ、「口コミ」(23.4%)が2割を超えて最も高く、次いで「川崎市や中原区の広報誌(市政だより以外)」(19.9%)、「市政だより」(19.6%)、「市や区のホームページ」(19.2%)となっている。(図表6-3-1)

図表6-3-1 子育て支援サービスを知ったきっかけ



性・年代別にみると、「市政だより」は女性50～59歳（32.3%）で3割を超えて高くなっている。「市や区のホームページ」は男性30～39歳（39.1%）で約4割と高くなっている。

(図表6-3-2)

図表6-3-2 子育て支援サービスを知ったきっかけ-性・年代別（上位10項目）



## 7. 地域包括ケアシステム

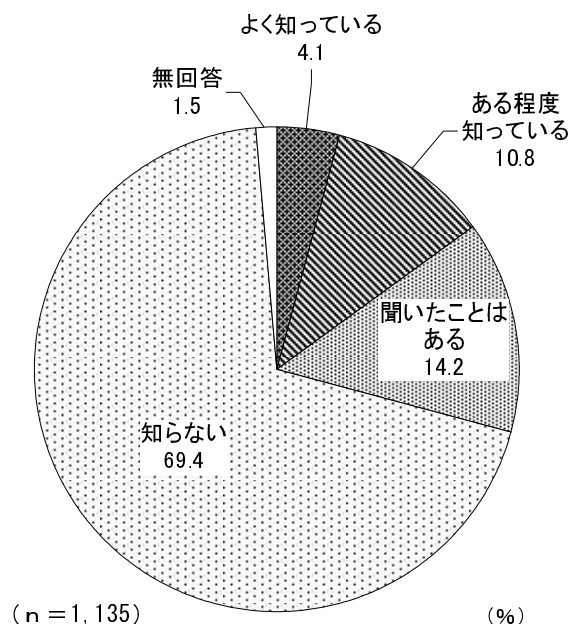
### (1) 「地域包括ケアシステム」の認知度

問15 医療、介護、介護予防、住まい、生活支援などが、地域において一体的・包括的に提供される体制づくりである「地域包括ケアシステム」を知っていますか。(○は1つだけ)

「地域包括ケアシステム」を知っているか聞いたところ、「よく知っている」(4.1%)と「ある程度知っている」(10.8%)の2つを合わせた『知っている』(14.9%)が1割半ばとなっている。「聞いたことはある」(14.2%)は1割半ばで、「知らない」(69.4%)が約7割となっている。

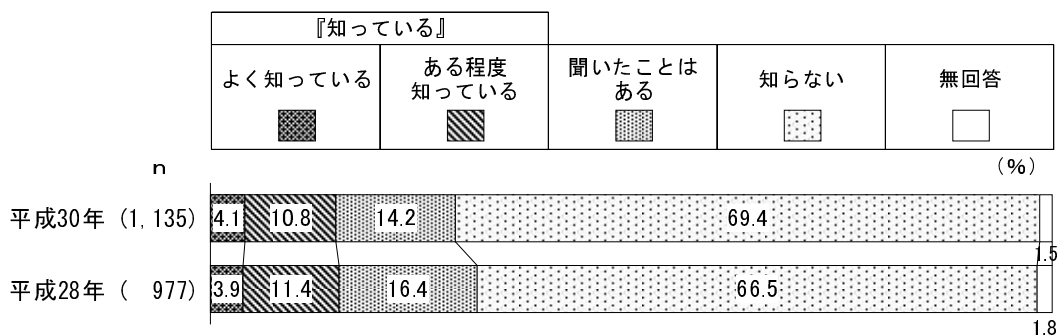
(図表7-1-1)

図表7-1-1 「地域包括ケアシステム」の認知度



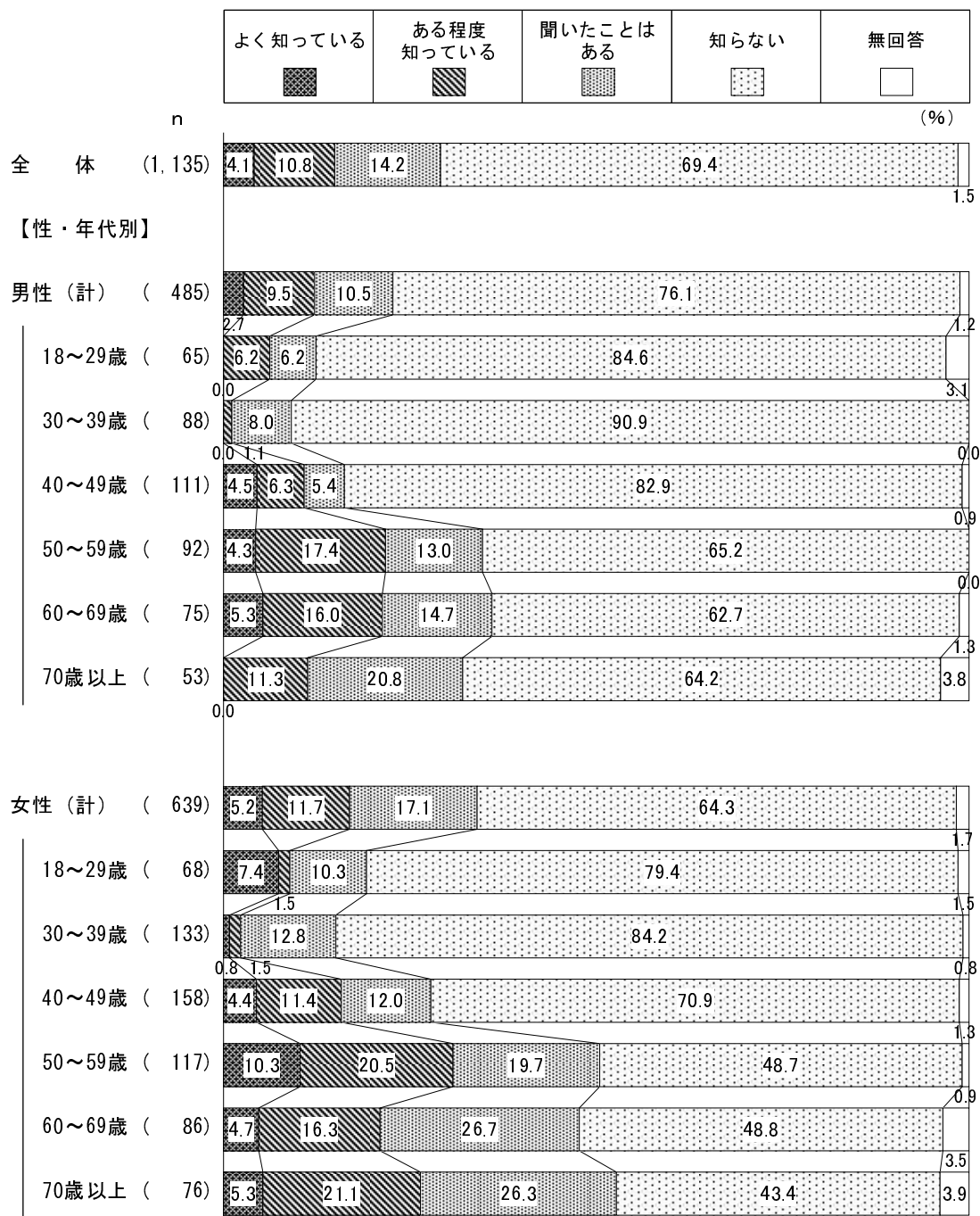
前回の調査と比較すると、大きな違いはみられない。(図表7-1-2)

図表7-1-2 「地域包括ケアシステム」の認知度—前回の調査との比較



性・年代別にみると、『知っている』は女性50～59歳（30.8%）で約3割と高くなっている。一方、「知らない」は男性30～39歳（90.9%）で約9割と高くなっている。（図表7-1-3）

図表7-1-3 「地域包括ケアシステム」の認知度一性・年代別



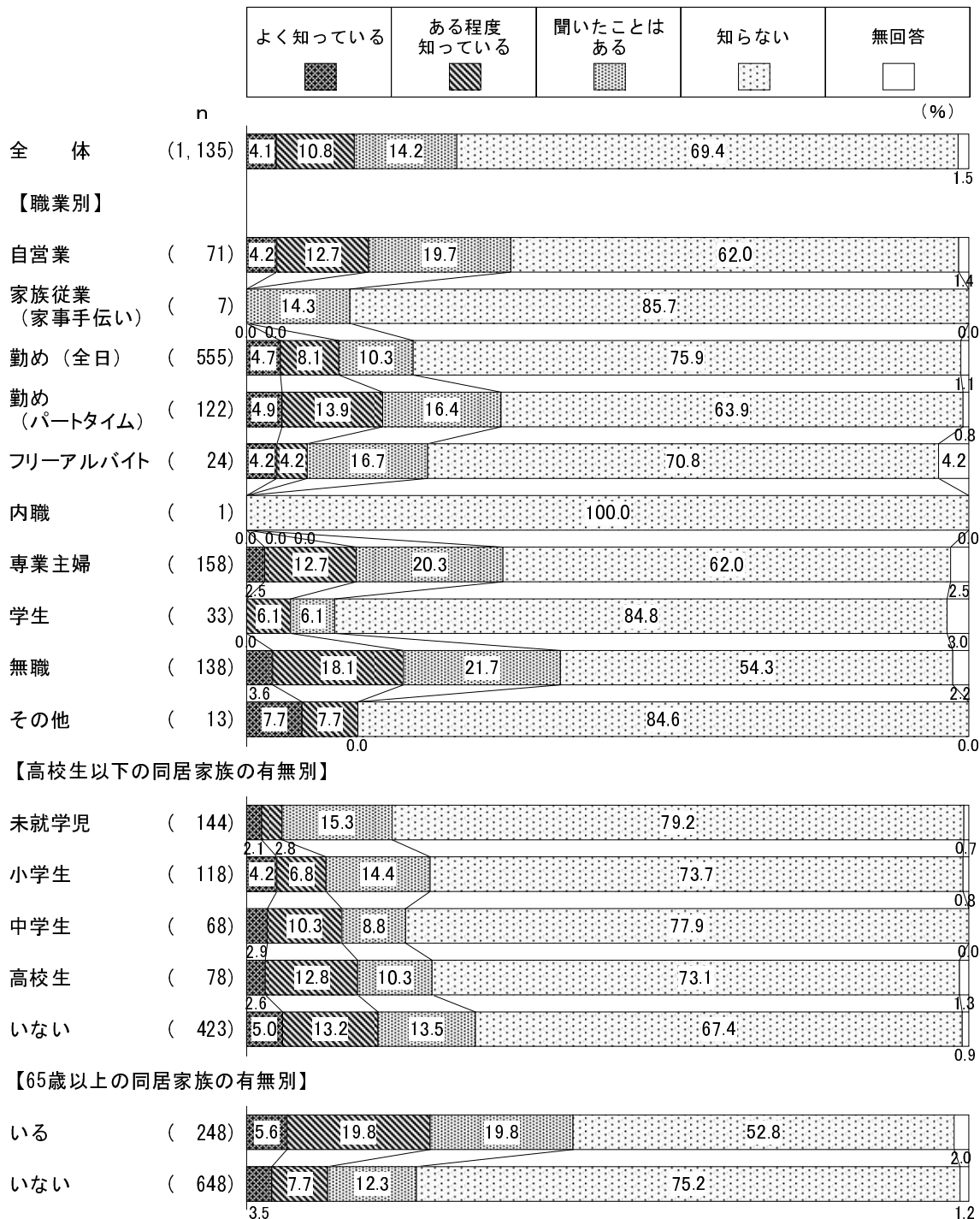
職業別にみると、『知っている』は無職（21.7%）で2割を超えて高くなっている。一方、「知らない」は学生（84.8%）で8割半ばと高くなっている。

高校生以下の同居家族の有無別にみると、『知っている』は高校生以下の同居家族がいない人（18.2%）で2割近くとなっている。

65歳以上の同居家族の有無別にみると、『知っている』は65歳以上の同居家族がいる人（25.4%）で2割半ばと高くなっている。（図表7-1-4）

図表7-1-4 「地域包括ケアシステムの認知度」

－職業別・高校生以下の同居家族の有無別・65歳以上の同居家族の有無別

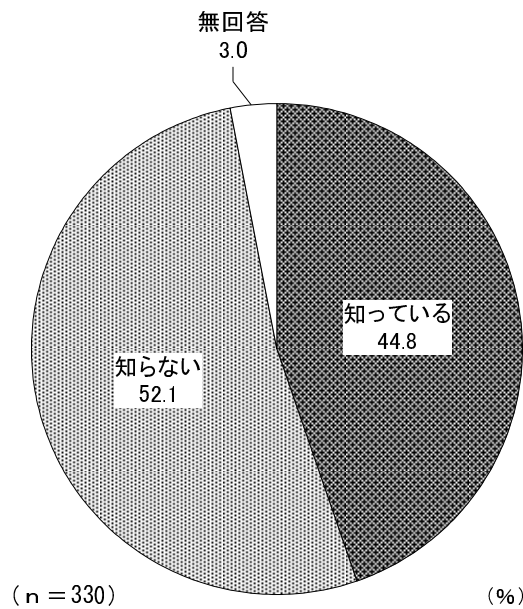


(2) 「地域包括ケアシステム」がすべての住民を対象としていることの認知度

(問15で、「よく知っている」、「ある程度知っている」、「聞いたことはある」と回答した方に)  
 問15-1 川崎市の地域包括ケアシステムは子どもから高齢者、障害者などすべての住民を対象としていることを知っていますか。(〇は1つだけ)

「地域包括ケアシステム」を「よく知っている」、「ある程度知っている」、「聞いたことはある」と回答した方(330人)に、川崎市の地域包括ケアシステムは子どもから高齢者、障害者などすべての住民を対象としているか聞いたところ、「知っている」(44.8%)が4割半ば、「知らない」(52.1%)は5割を超えている。(図表7-2-1)

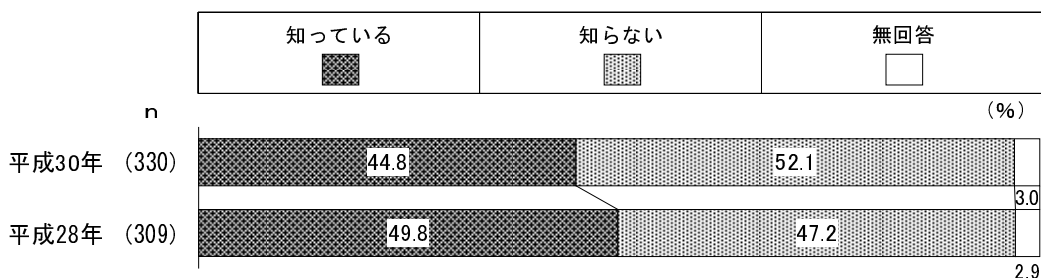
図表7-2-1 「地域包括ケアシステム」がすべての住民を対象としていることの認知度



前回の調査と比較すると、「知っている」は5.0ポイント減少している。(図表7-2-2)

図表7-2-2 「地域包括ケアシステム」がすべての住民を対象としていることの認知度

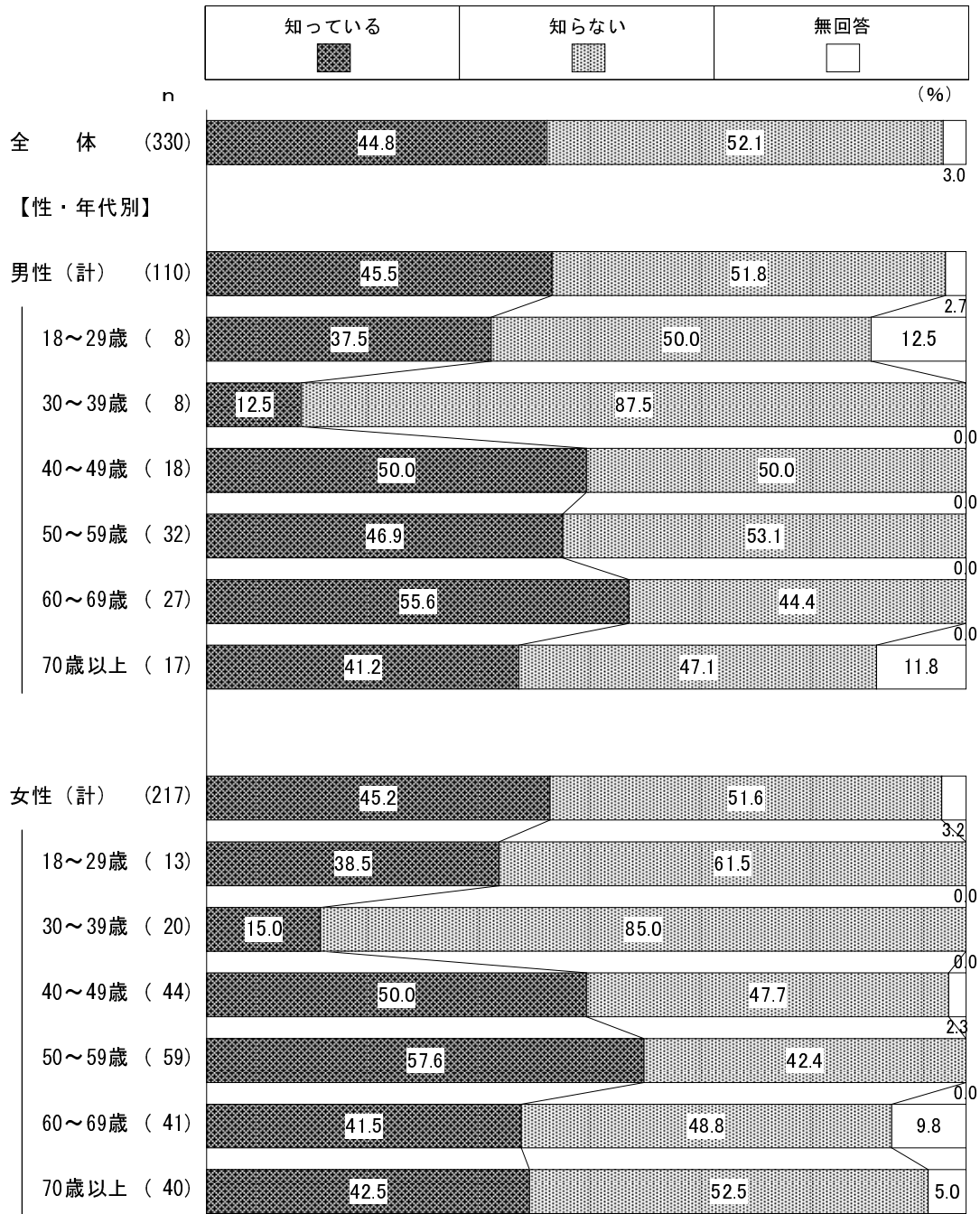
—前回の調査との比較





性・年代別にみると、「知っている」は女性50～59歳（57.6%）で6割近くと高くなっている。  
 (図表7-2-3)

図表7-2-3 「地域包括ケアシステム」がすべての住民を対象としていることの認知度—性・年代別

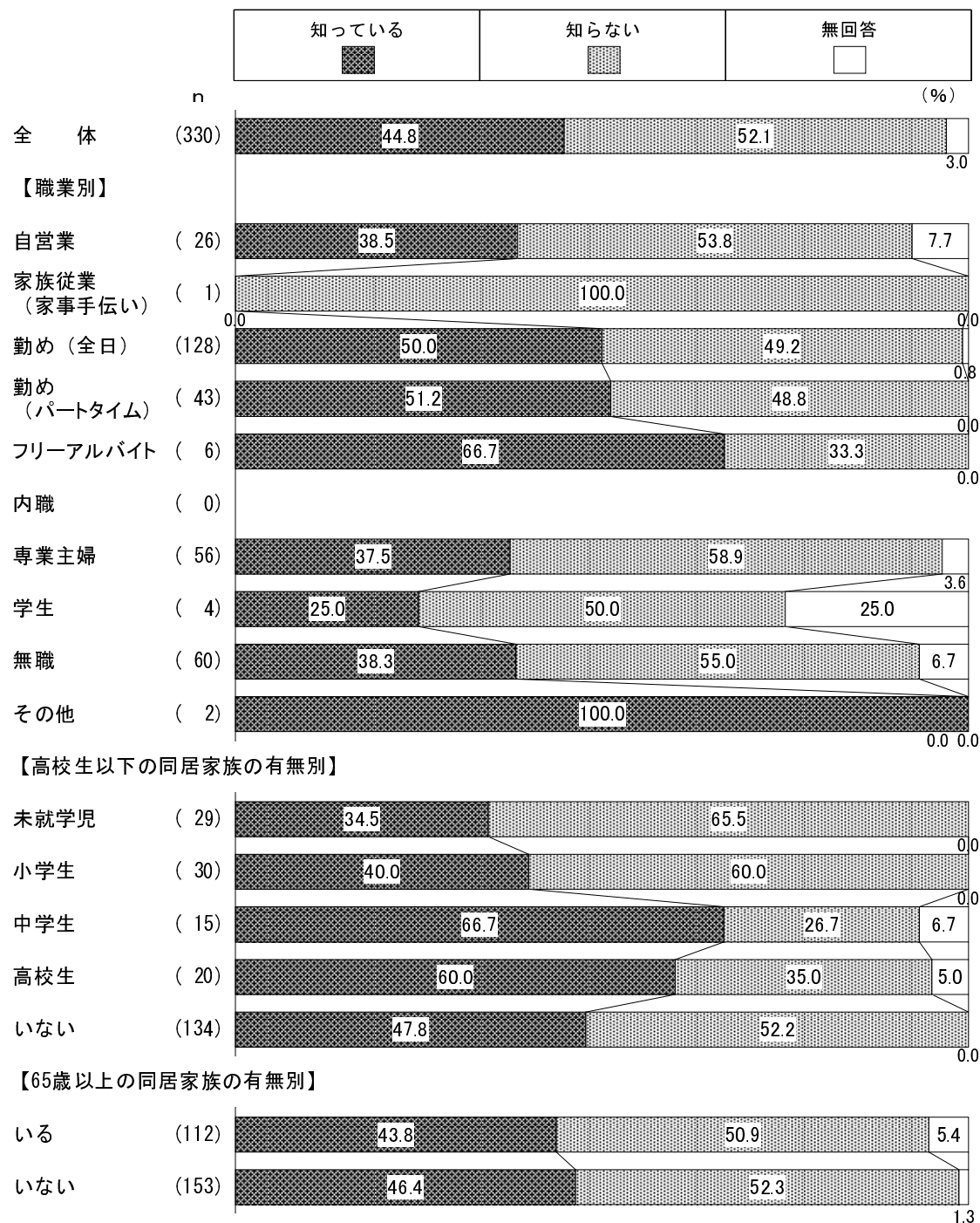


職業別にみると、「知らない」は専業主婦（58.9%）で6割近くと高くなっている。

高校生以下の同居家族の有無別にみると、「知らない」は未就学児と同居している人（65.5%）で6割半ばと高くなっている。

65歳以上の同居家族の有無別にみると、大きな違いはみられない。（図表7-2-4）

図表7-2-4 「地域包括ケアシステム」がすべての住民を対象としていることの認知度  
 -職業別・高校生以下の同居家族の有無別・65歳以上の同居家族の有無別



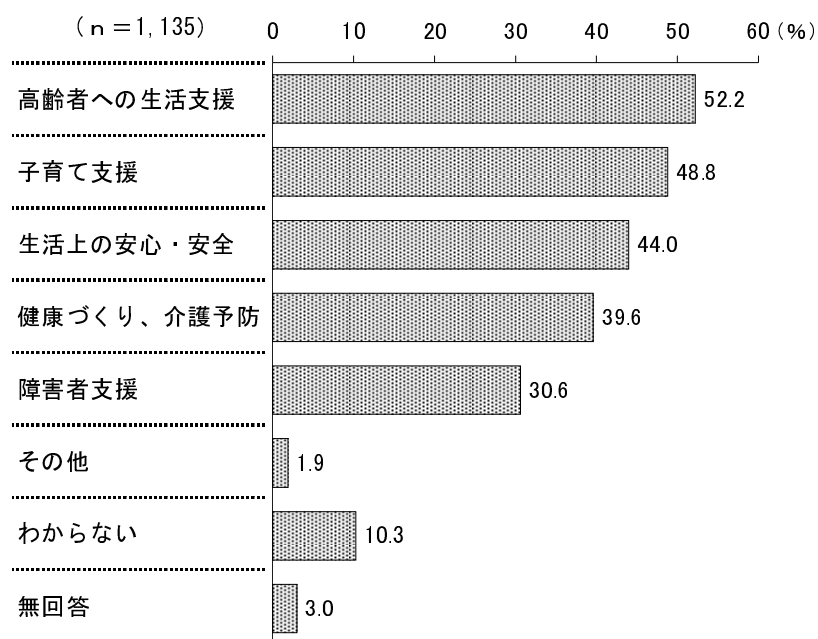
### (3) 「地域包括ケアシステム」で取り組むべきこと

問16 地域包括ケアシステムによって取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇はいくつでも)

地域包括ケアシステムによって取り組むべきだと思うものを聞いたところ、「高齢者への生活支援」(52.2%)が5割を超えて最も高く、次いで「子育て支援」(48.8%)、「生活上の安心・安全」(44.0%)、「健康づくり、介護予防」(39.6%)、「障害者支援」(30.6%)となっている。

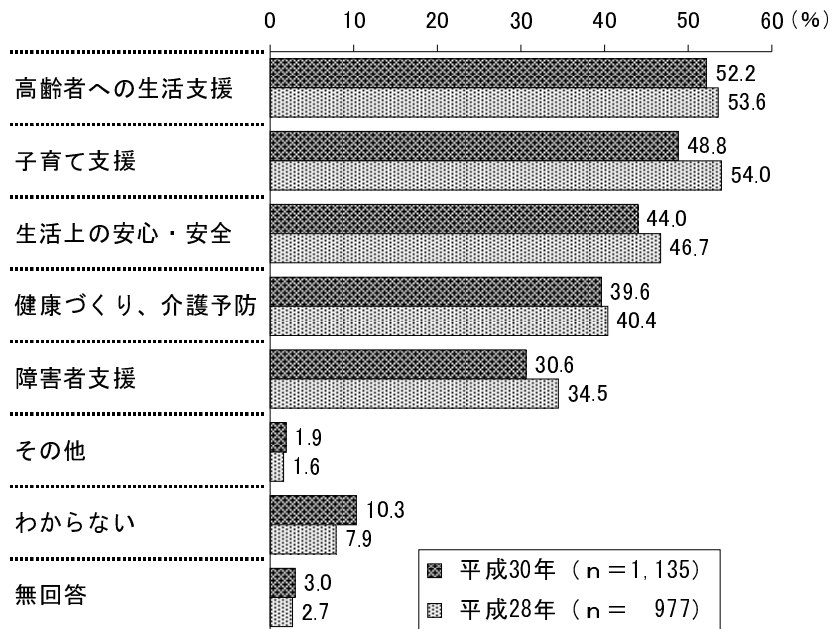
(図表7-3-1)

図表7-3-1 「地域包括ケアシステム」で取り組むべきこと



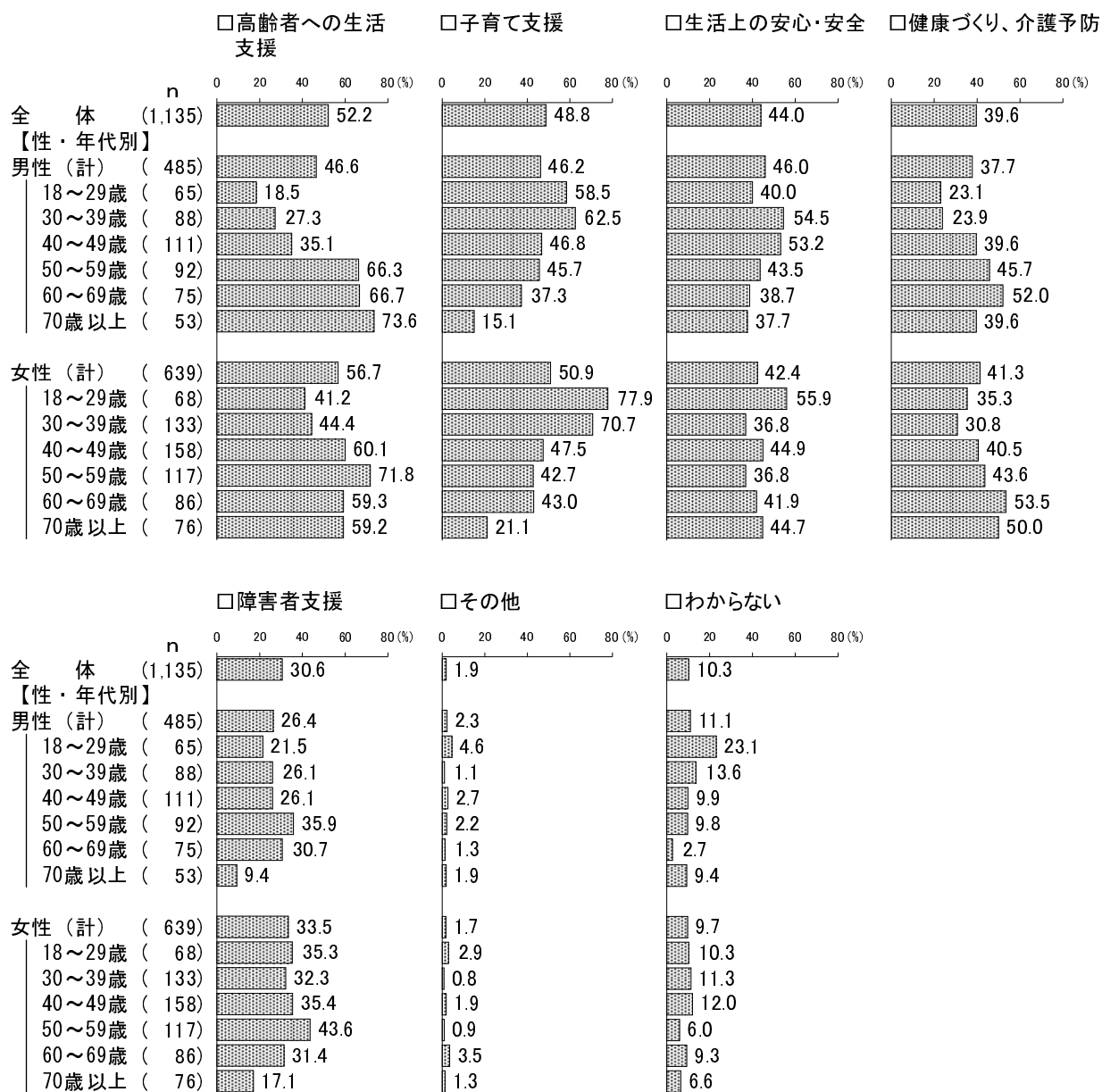
前回の調査と比較すると、「子育て支援」は5.2ポイント、「障害者支援」は3.9ポイント、それぞれ減少している。(図表7-3-2)

図表7-3-2 「地域包括ケアシステム」で取り組むべきこと—前回の調査との比較



性・年代別にみると、「高齢者への生活支援」は男性70歳以上（73.6%）と女性50～59歳（71.8%）で7割を超えて高くなっている。「子育て支援」は女性18～29歳（77.9%）で8割近くと高くなっている。「生活上の安心・安全」は女性18～29歳（55.9%）と男性30～39歳（54.5%）で5割半ばと高くなっている。（図表7-3-3）

図表7-3-3 「地域包括ケアシステム」で取り組むべきこと—性・年代別



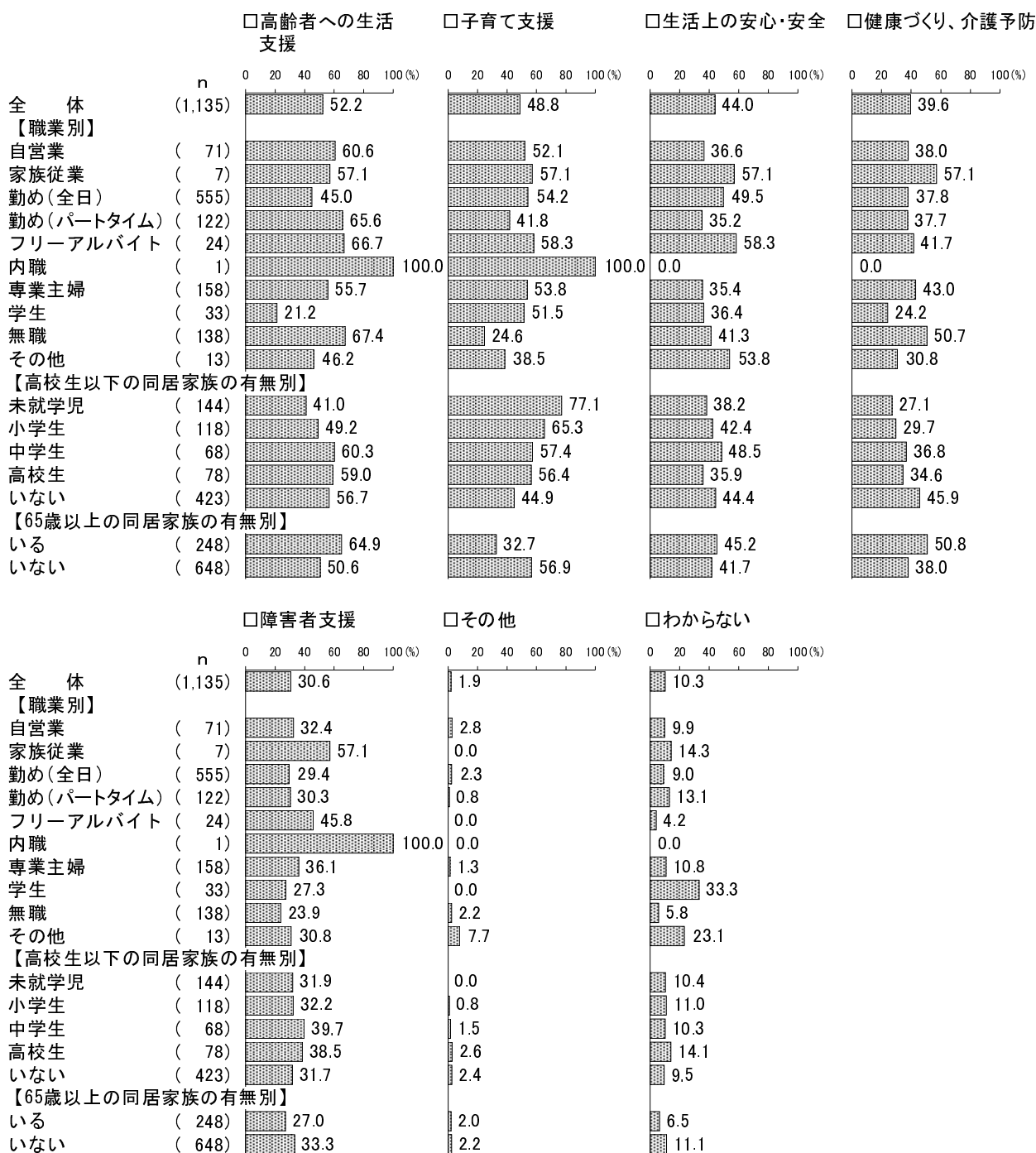
職業別にみると、「子育て支援」はフリーアルバイト（58.3%）で6割近くと高くなっている。「生活上の安心・安全」はフリーアルバイト（58.3%）で6割近くと高くなっている。

高校生以下の同居家族の有無別にみると、「高齢者への生活支援」は中学生と同居している人（60.3%）と高校生と同居している人（59.0%）で6割前後と高くなっている。「子育て支援」は未就学児と同居している人（77.1%）で8割近くと高くなっている。

65歳以上の同居家族の有無別にみると、「高齢者への生活支援」は65歳以上の同居家族がいる人（64.9%）で6割半ばと高くなっている。「子育て支援」は65歳以上の同居家族がいない人（56.9%）で6割近くと高くなっている。（図表7-3-4）

図表7-3-4 「地域包括ケアシステム」で取り組むべきこと

－職業別・高校生以下の同居家族の有無別・65歳以上の同居家族の有無別



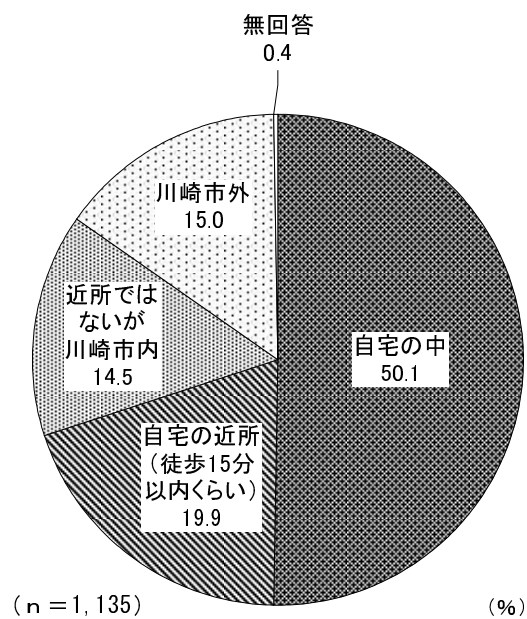
## 8. 自立的な活動

### (1) 自由な時間があるときに過ごす場所

問17 自由な時間があるときは、どこで時間を過ごすことが多いですか。(○は1つだけ)

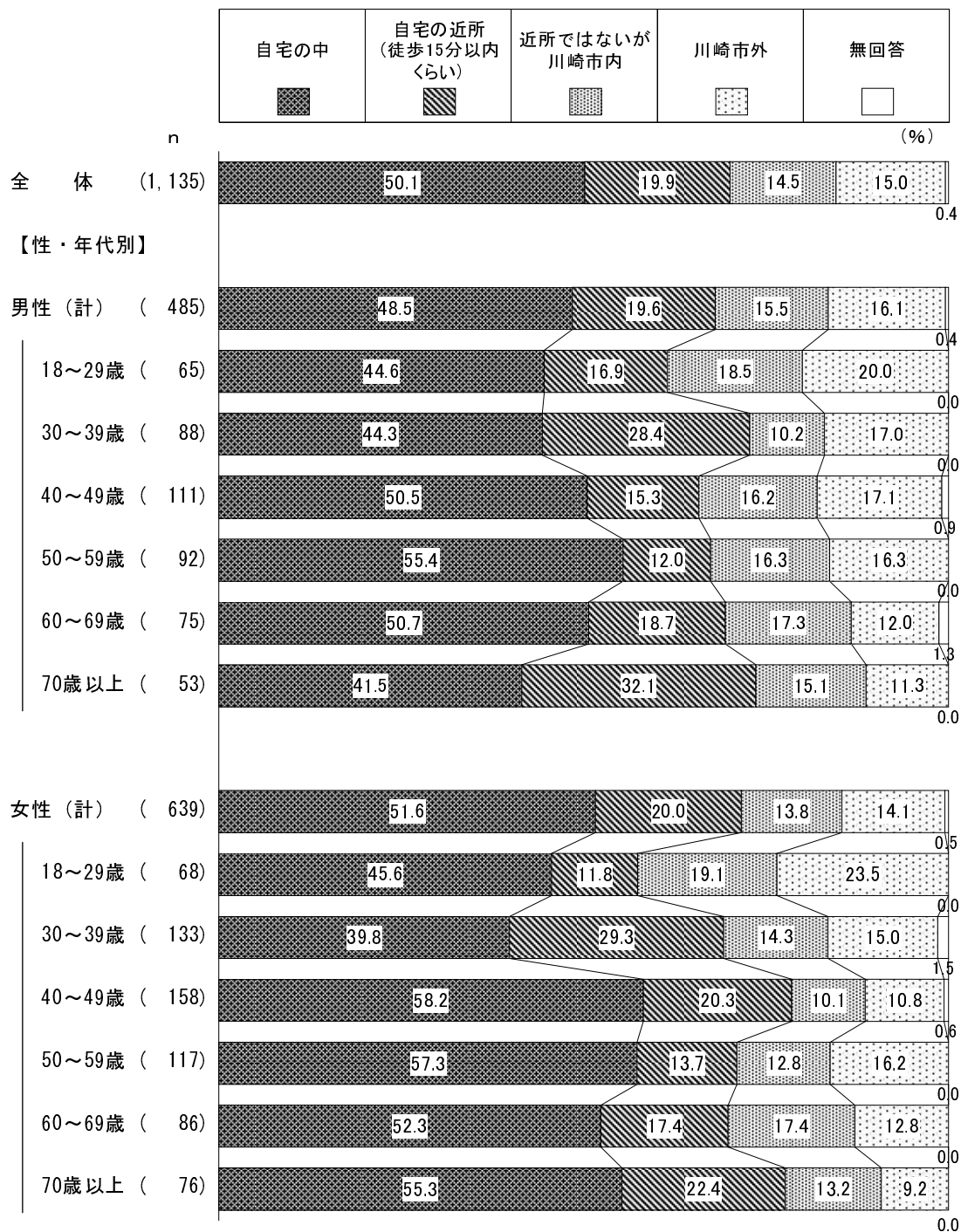
自由な時間があるときは、どこで時間を過ごすことが多いか聞いたところ、「自宅の中」(50.1%)が5割で最も高く、次いで「自宅の近所(徒歩15分以内くらい)」(19.9%)、「川崎市外」(15.0%)、「近所ではないが川崎市内」(14.5%)となっている。(図表8-1-1)

図表8-1-1 自由な時間があるときに過ごす場所



性・年代別にみると、「自宅の中」は女性40～49歳（58.2%）と女性50～59歳（57.3%）で6割近くと高くなっている。「自宅の近所（徒歩15分以内くらい）」は男性70歳以上（32.1%）で3割を超えて高くなっている。「川崎市外」は女性18～29歳（23.5%）と男性18～29歳（20.0%）で2割台と高くなっている。（図表8-1-2）

図表8-1-2 自由な時間があるときに過ごす場所一性・年代別



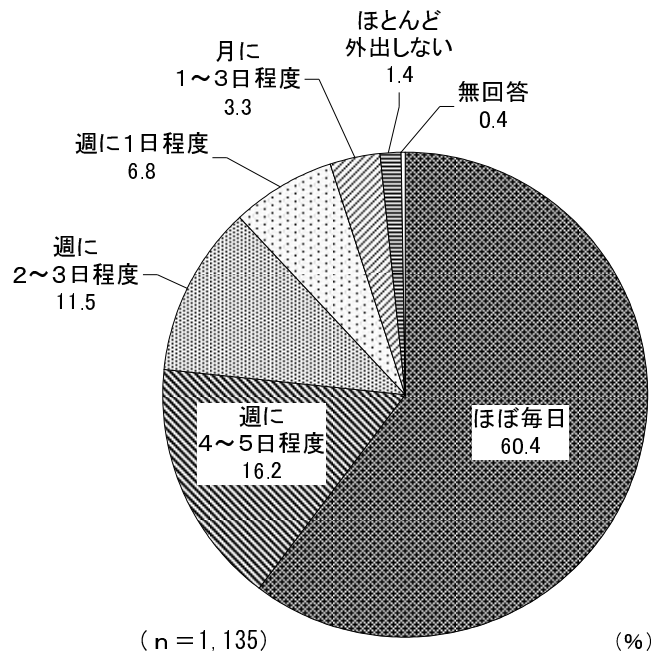


## (2) 外出する頻度

問18 様々な目的を合わせて、ふだん外出する頻度はどのくらいですか。(○は1つだけ)

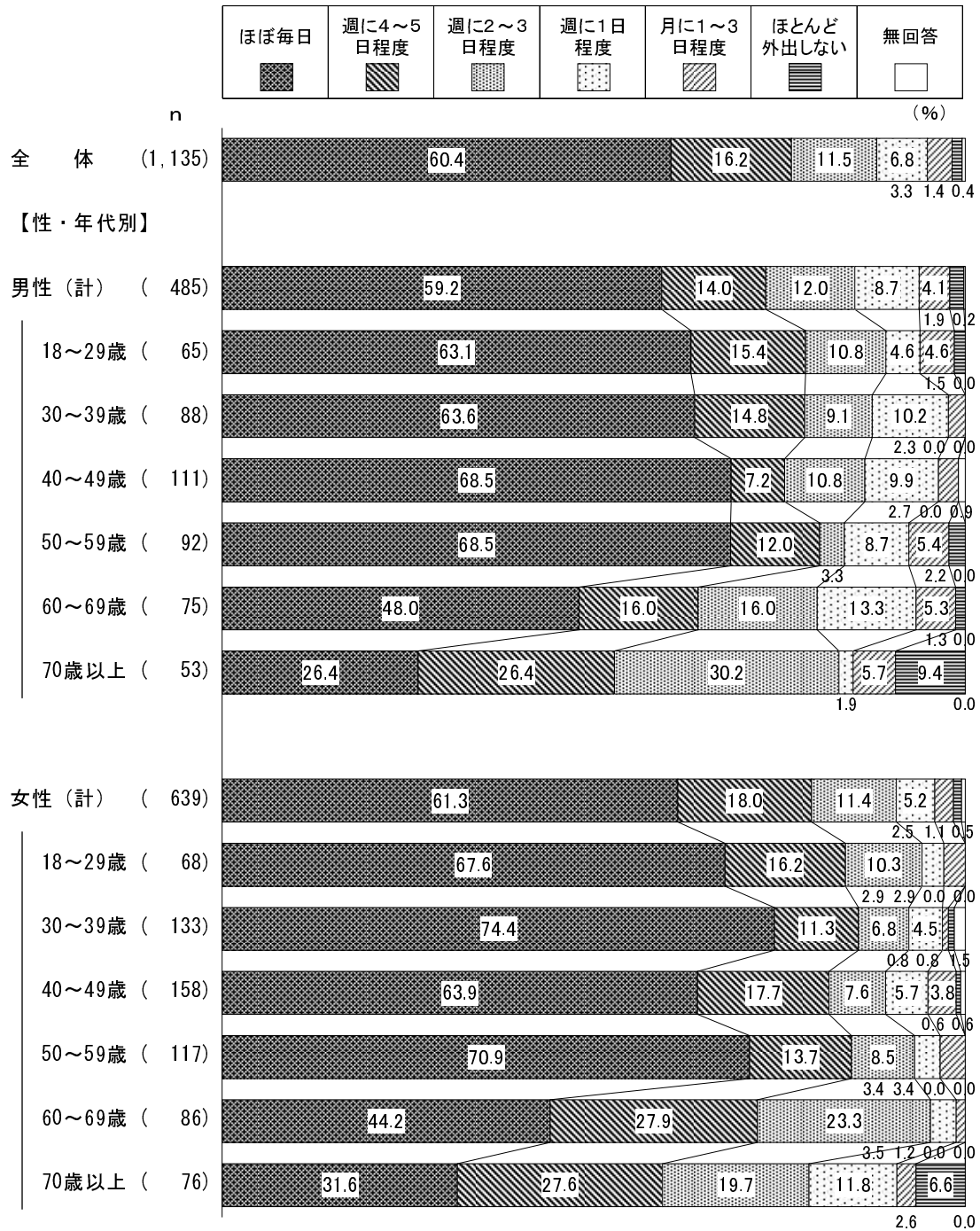
ふだん外出する頻度を聞いたところ、「ほぼ毎日」(60.4%)が6割で最も高く、次いで「週に4～5日程度」(16.2%)、「週に2～3日程度」(11.5%)となっている。(図表8-2-1)

図表8-2-1 外出する頻度



性・年代別にみると、「ほぼ毎日」は女性30～39歳（74.4%）で7割半ばと高くなっている。「週に2～3日程度」は男性70歳以上（30.2%）で3割と高くなっている。（図表8-2-2）

図表8-2-2 外出する頻度－性・年代別

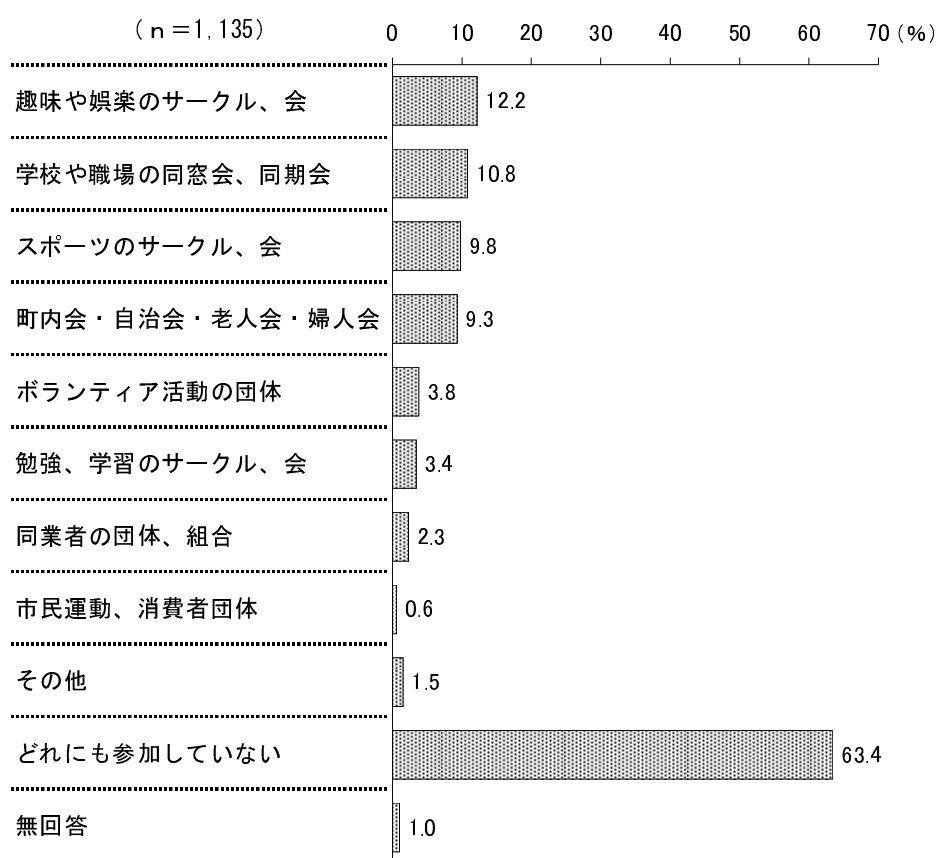


### (3) グループ活動への参加状況

問19 あなたは現在、次にあげるようなグループ活動に参加していますか。(〇はいくつでも)

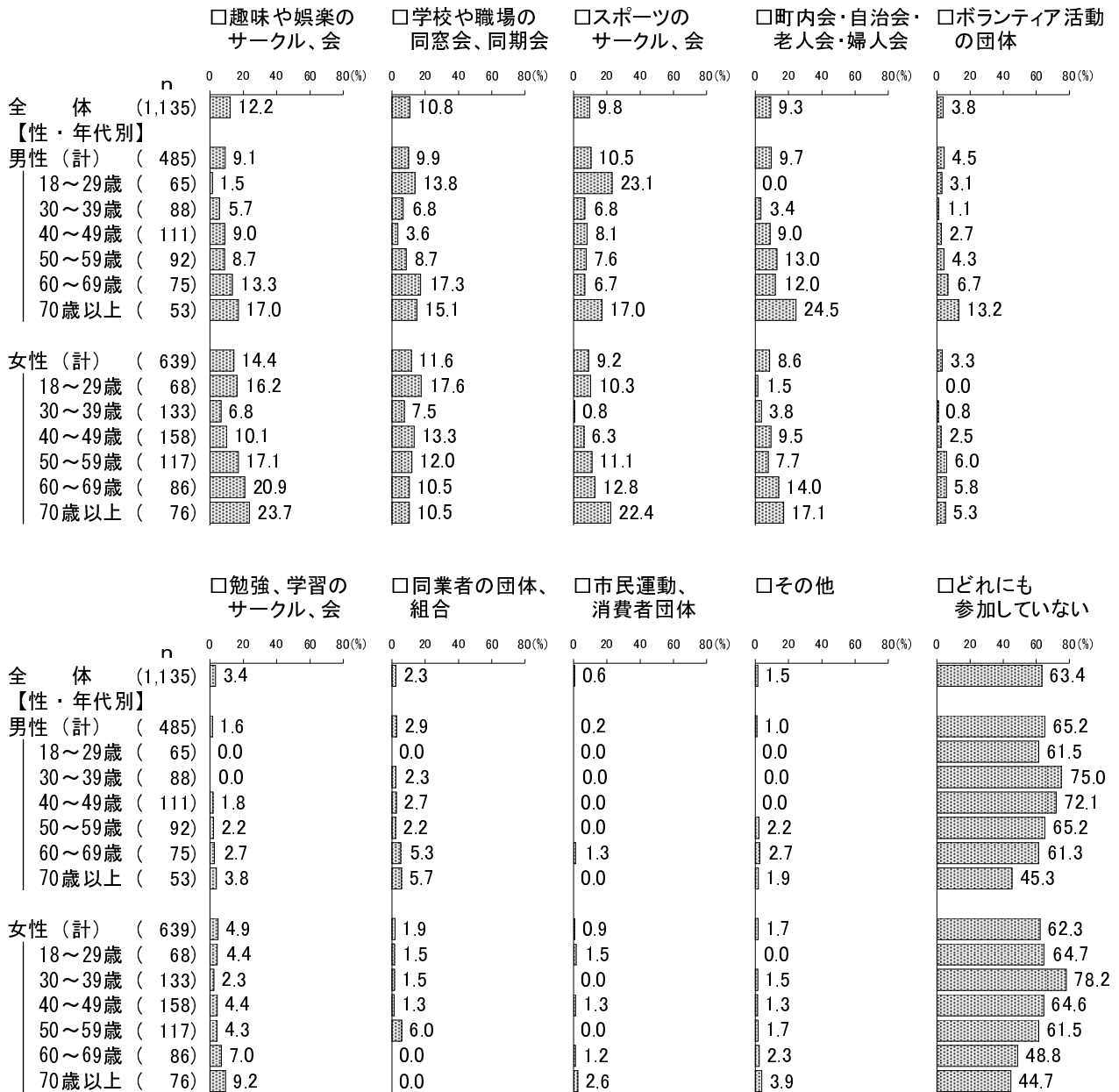
グループ活動に参加しているか聞いたところ、「趣味や娯楽のサークル、会」(12.2%)と「学校や職場の同窓会、同期会」(10.8%)が1割台となっており、次いで「スポーツのサークル、会」(9.8%)、「町内会・自治会・老人会・婦人会」(9.3%)となっている。一方、「どれにも参加していない」(63.4%)は6割を超えている。(図表8-3-1)

図表8-3-1 グループ活動への参加状況



性・年代別にみると、「趣味や娯楽のサークル、会」は女性60～69歳（20.9%）と女性70歳以上（23.7%）で2割台と高くなっている。「スポーツのサークル、会」は男性18～29歳（23.1%）と女性70歳以上（22.4%）で2割を超えて高くなっている。「町内会・自治会・老人会・婦人会」は男性70歳以上（24.5%）で2割半ばと高くなっている。（図表8-3-2）

図表8-3-2 グループ活動への参加状況一性・年代別



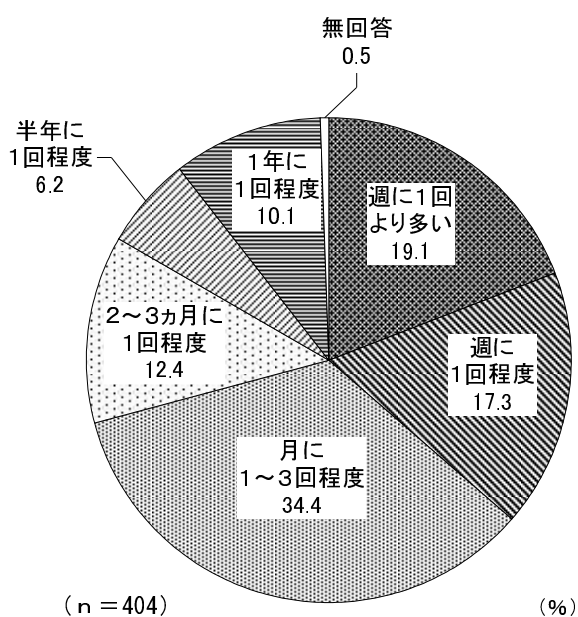
#### (4) グループ活動への参加頻度

(問19で、「どれにも参加していない」以外と回答した方に)

問19-1 グループ活動に参加する頻度はどのくらいですか。全体を合わせた頻度でお答えください。(〇は1つだけ)

グループ活動に「どれにも参加していない」以外と回答した方(404人)に、参加頻度を聞いたところ、「月に1～3回程度」(34.4%)が3割半ばで最も高く、次いで「週に1回より多い」(19.1%)、「週に1回程度」(17.3%)、「2～3カ月に1回程度」(12.4%)となっている。(図表8-4-1)

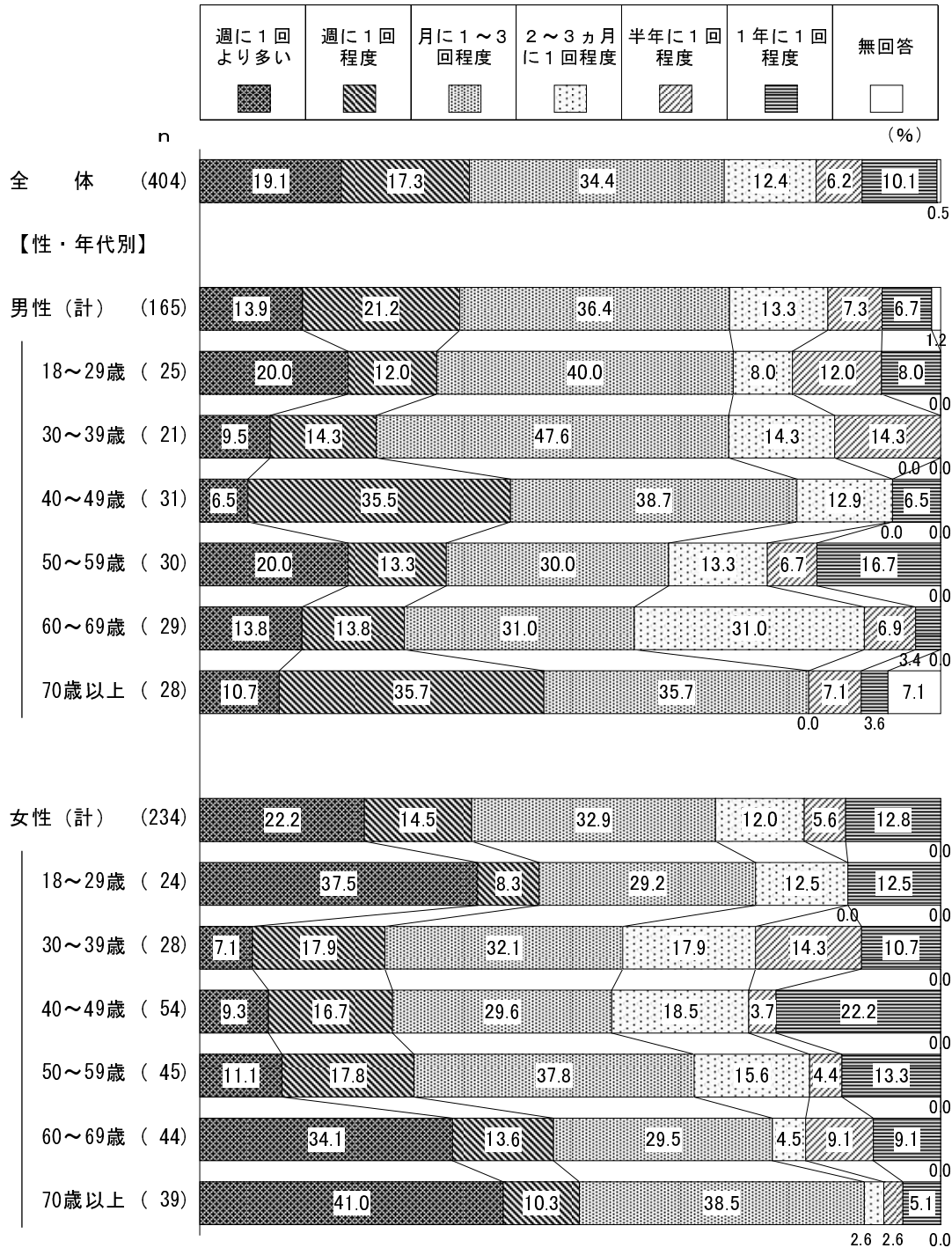
図表8-4-1 グループ活動への参加頻度



性・年代別にみると、「週に1回より多い」は女性70歳以上（41.0%）で4割を超えて高くなっている。「週に1回程度」は男性40～49歳（35.5%）と男性70歳以上（35.7%）で3割半ばと高くなっている。「月に1～3回程度」は男性30～39歳（47.6%）で5割近くと高くなっている。

(図表8-4-2)

図表8-4-2 グループ活動への参加頻度—性・年代別



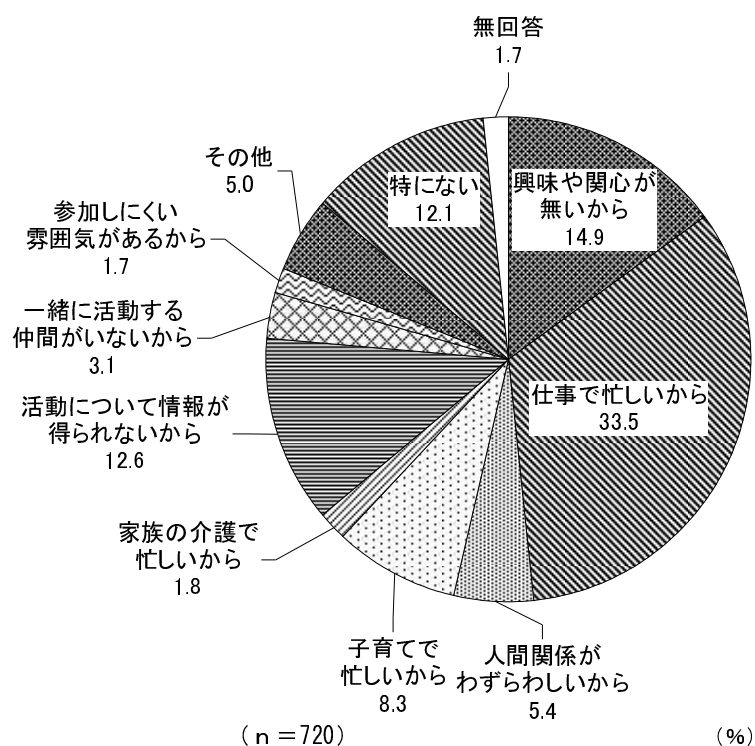
## (5) グループ活動に参加していない理由

(問19で、「どれにも参加していない」と回答した方に)

問19-2 どれにも参加していない理由をお答えください。(〇は1つだけ)

グループ活動に「どれにも参加していない」と回答した方(720人)に、その理由を聞いたところ、「仕事で忙しいから」(33.5%)が3割を超えて最も高く、次いで「興味や関心が無いから」(14.9%)、「活動について情報が得られないから」(12.6%)となっている。(図表8-5-1)

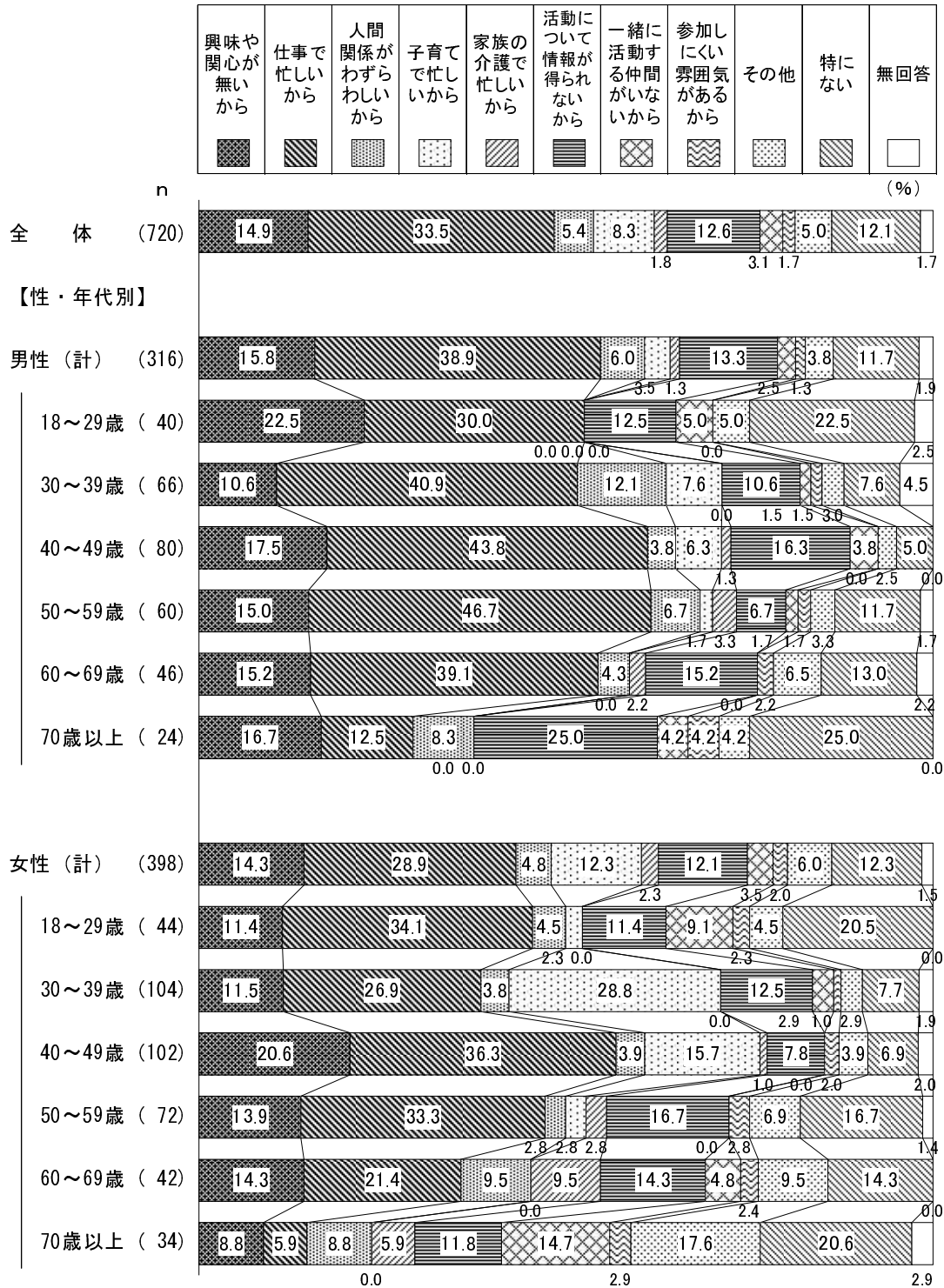
図表8-5-1 グループ活動に参加していない理由



性・年代別にみると、「興味や関心が無いから」は男性18～29歳（22.5%）と女性40～49歳（20.6%）で2割台と高くなっている。「仕事で忙しいから」は男性50～59歳（46.7%）で5割近くと高くなっている。「子育てで忙しいから」は女性30～39歳（28.8%）で3割近くと高くなっている。

（図表 8 - 5 - 2）

図表 8 - 5 - 2 グループ活動に参加していない理由—性・年代別





## 9. 地域の支え合い

### (1) 地域で支え合える人の有無

問20 あなたには次の(ア)から(エ)の項目のような人がいらっしゃいますか。各項目についてそれぞれいくつでも選んでください。(〇はそれぞれいくつでも)

地域で支え合える人がいるか、4項目に分けて聞いた。

(ア) 一緒に遊んだり楽しい時間を過ごす人を見ると、「近所以外の知人や友人にいる」(58.3%)が6割近くで最も高く、次いで「家族や親せき(同居、別居を問いません)にいる」(54.8%)、「近所にいる」(30.7%)となっており、「いない」(8.1%)は1割近くとなっている。

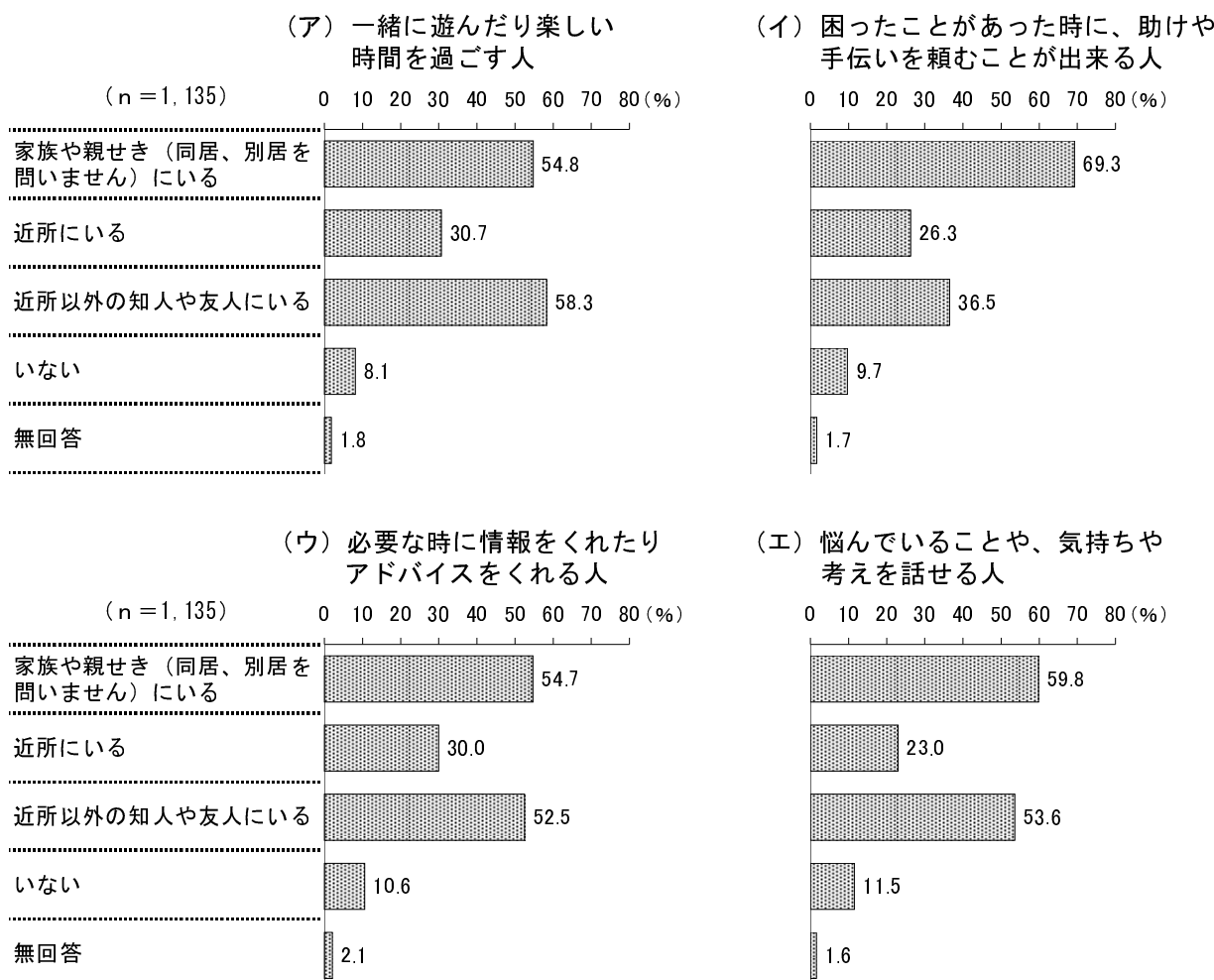
(イ) 困ったことがあった時に、助けや手伝いを頼むことが出来る人を見ると、「家族や親せき(同居、別居を問いません)にいる」(69.3%)が約7割で最も高く、次いで「近所以外の知人や友人にいる」(36.5%)、「近所にいる」(26.3%)となっており、「いない」(9.7%)は1割となっている。

(ウ) 必要な時に情報をくれたりアドバイスをくれる人を見ると、「家族や親せき(同居、別居を問いません)にいる」(54.7%)が5割半ばで最も高く、次いで「近所以外の知人や友人にいる」(52.5%)、「近所にいる」(30.0%)となっており、「いない」(10.6%)は約1割となっている。

(エ) 悩んでいることや、気持ちや考えを話せる人を見ると、「家族や親せき(同居、別居を問いません)にいる」(59.8%)が6割で最も高く、次いで「近所以外の知人や友人にいる」(53.6%)、「近所にいる」(23.0%)となっており、「いない」(11.5%)は1割を超えている。

(図表9-1-1)

図表9-1-1 地域で支え合える人の有無

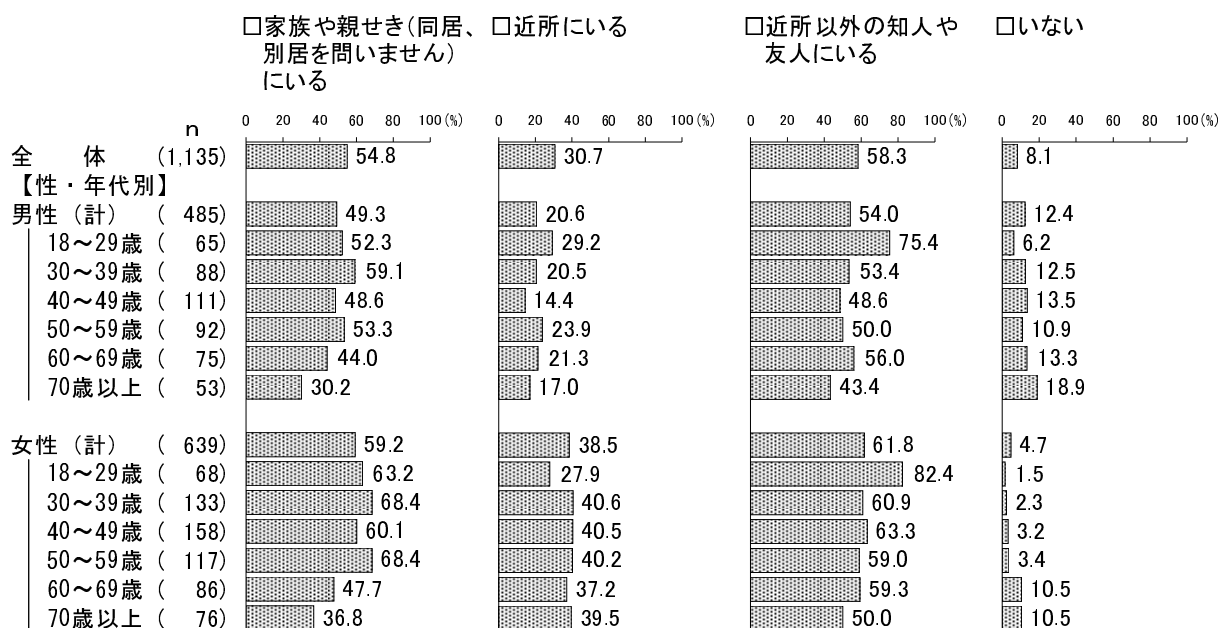


(ア) 一緒に遊んだり楽しい時間を過ごす人について性・年代別にみると、「家族や親せき（同居、別居を問いません）にいる」は女性30～39歳（68.4%）と女性50～59歳（68.4%）で7割近くと高くなっている。「近所以外の知人や友人にいる」は女性18～29歳（82.4%）で8割を超え、男性18～29歳（75.4%）で7割半ばと高くなっている。

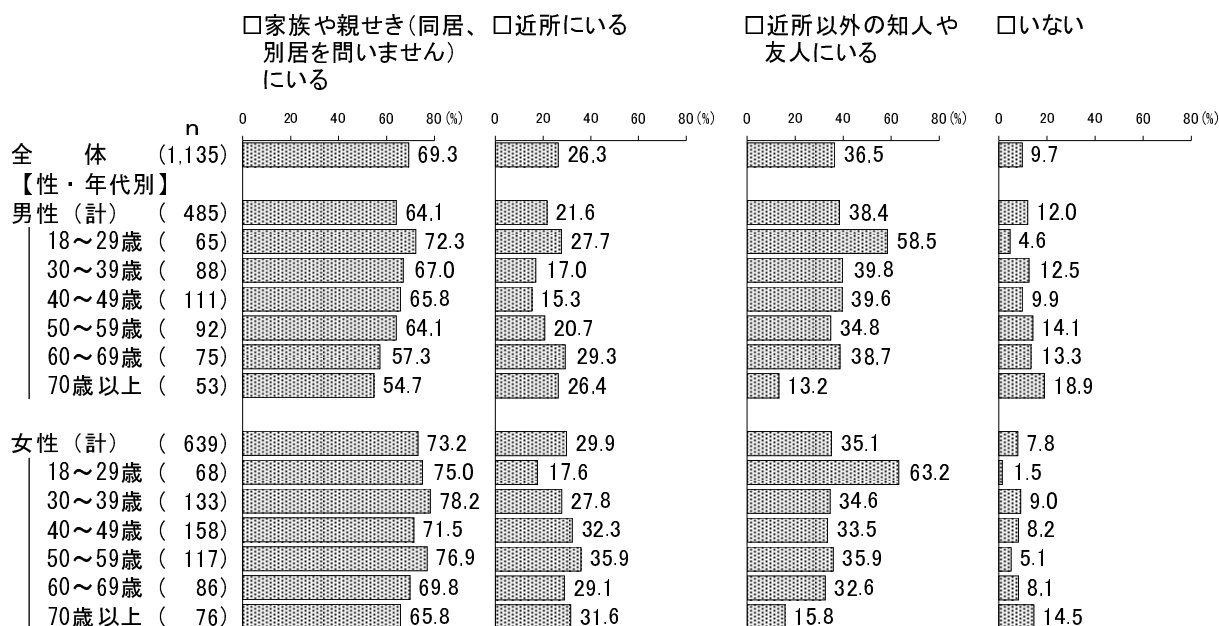
(イ) 困ったことがあった時に、助けや手伝いを頼むことができる人について性・年代別にみると、「家族や親せき（同居、別居を問いません）にいる」は女性30～39歳（78.2%）と女性50～59歳（76.9%）で8割近くと高くなっている。「近所以外の知人や友人にいる」は女性18～29歳（63.2%）で6割を超え、男性18～29歳（58.5%）で6割近くと高くなっている。（図表9－1－2）

図表9－1－2 地域で支え合える人の有無－性・年代別

(ア) 一緒に遊んだり楽しい時間を過ごす人



(イ) 困ったことがあった時に、助けや手伝いを頼むことができる人

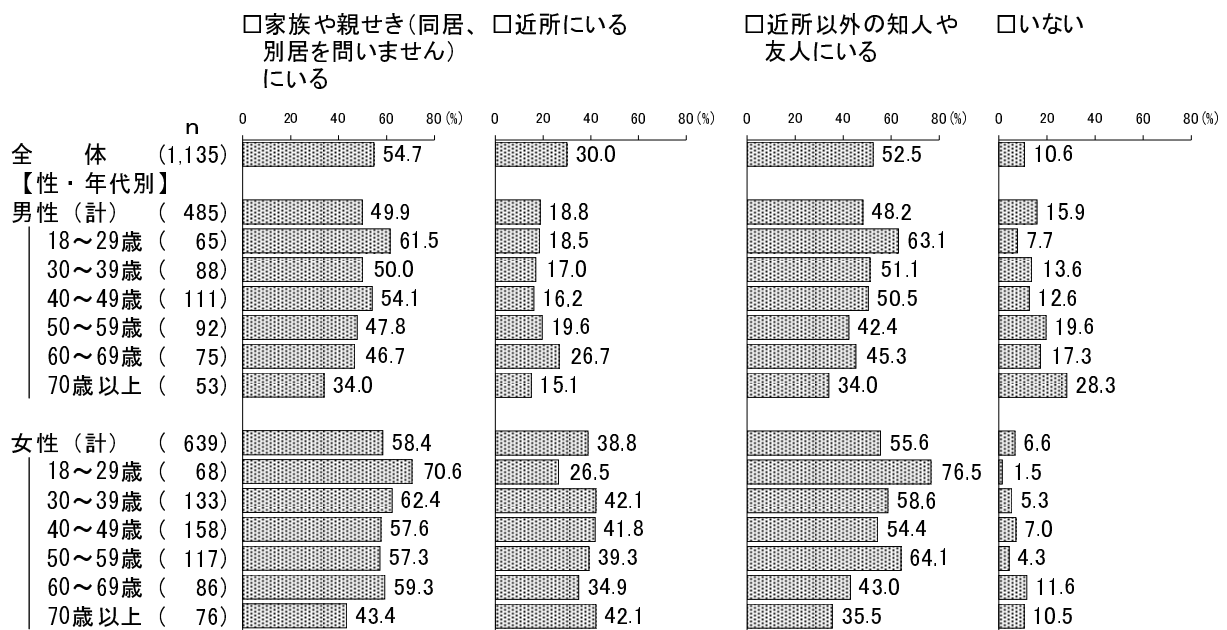


(ウ) 必要な時に情報をくれたりアドバイスをくれる人について性・年代別にみると、「家族や親せき（同居、別居を問いません）にいる」は女性18～29歳（70.6%）で約7割と高くなっている。「近所以外の知人や友人にいる」は女性18～29歳（76.5%）で8割近くと高くなっている。一方、「いない」は男性70歳以上（28.3%）で3割近くと高くなっている。

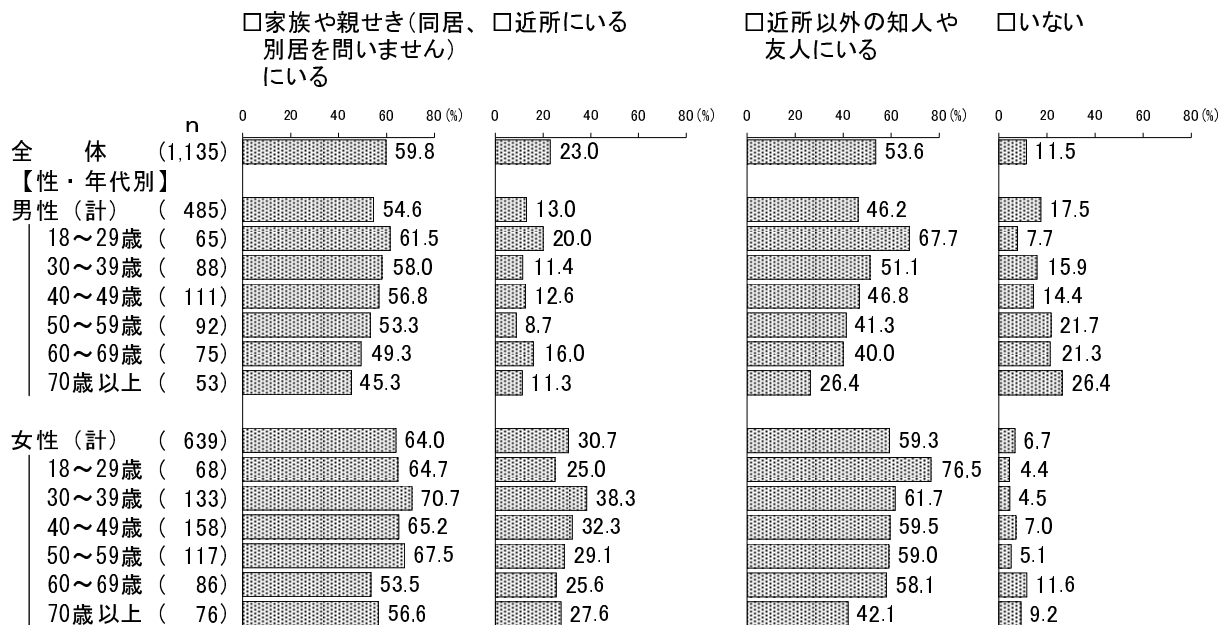
(エ) 悩んでいることや、気持ちや考えを話せる人について性・年代別にみると、「家族や親せき（同居、別居を問いません）にいる」は女性30～39歳（70.7%）で約7割と高くなっている。「近所以外の知人や友人にいる」は女性18～29歳（76.5%）で8割近く、男性18～29歳（67.7%）で7割近くと高くなっている。（図表9-1-3）

図表9-1-3 地域で支え合える人の有無一性・年代別

(ウ) 必要な時に情報をくれたりアドバイスをくれる人



(エ) 悩んでいることや、気持ちや考えを話せる人



## (2) 日常生活で困っていること、将来困るだろうと思うこと

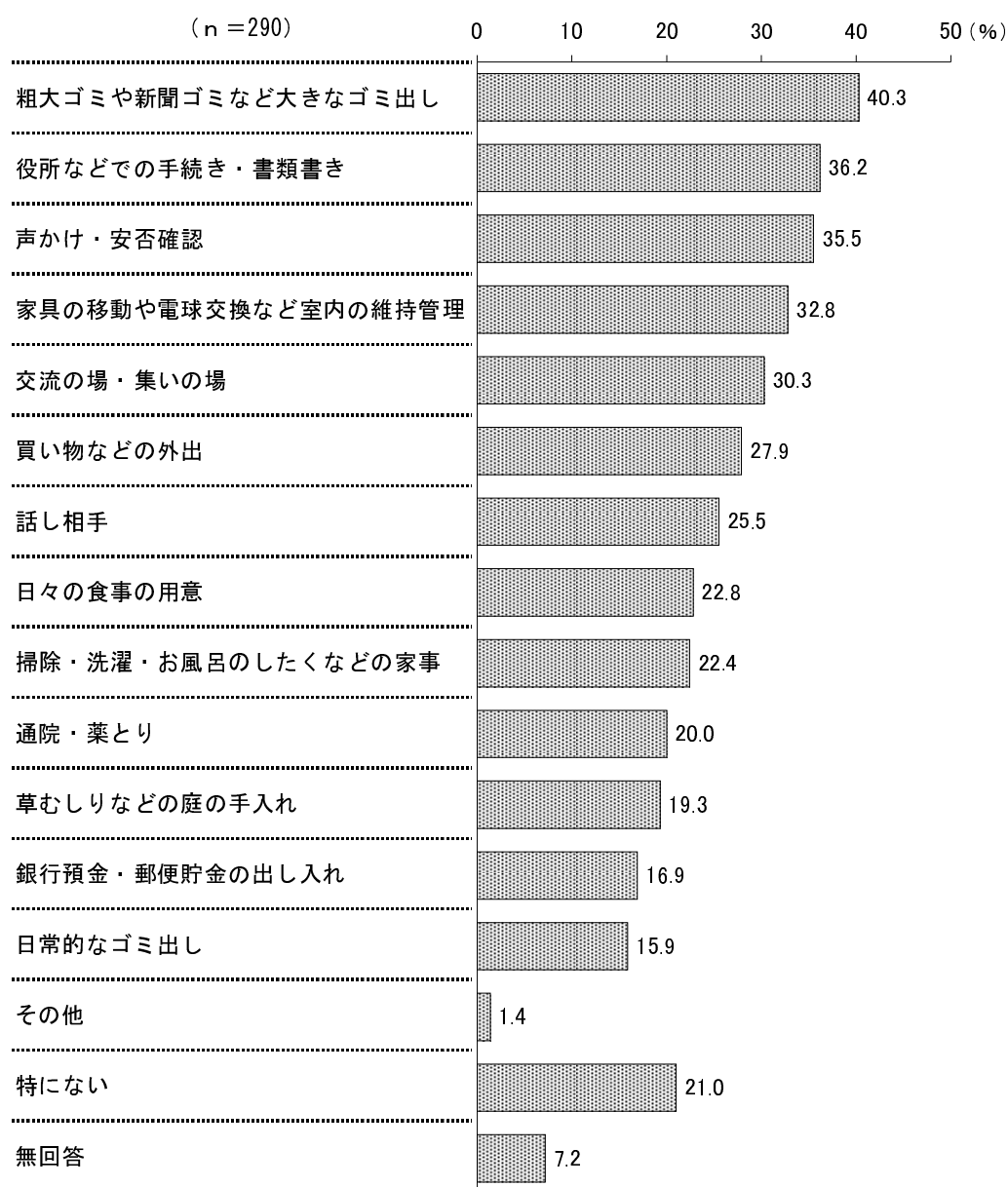
(「60歳以上の方」にお伺いします)

問21 下記であげる項目について、日常生活で困っていること、または将来困るだろうと思うことを教えてください。(〇はいくつでも)

60歳以上の方(290人)に、日常生活で困っていること、または将来困るだろうと思うことを聞いたところ、「粗大ゴミや新聞ゴミなど大きなゴミ出し」(40.3%)が4割で最も高く、次いで「役所などでの手続き・書類書き」(36.2%)、「声かけ・安否確認」(35.5%)、「家具の移動や電球交換など室内の維持管理」(32.8%)、「交流の場・集いの場」(30.3%)となっている。

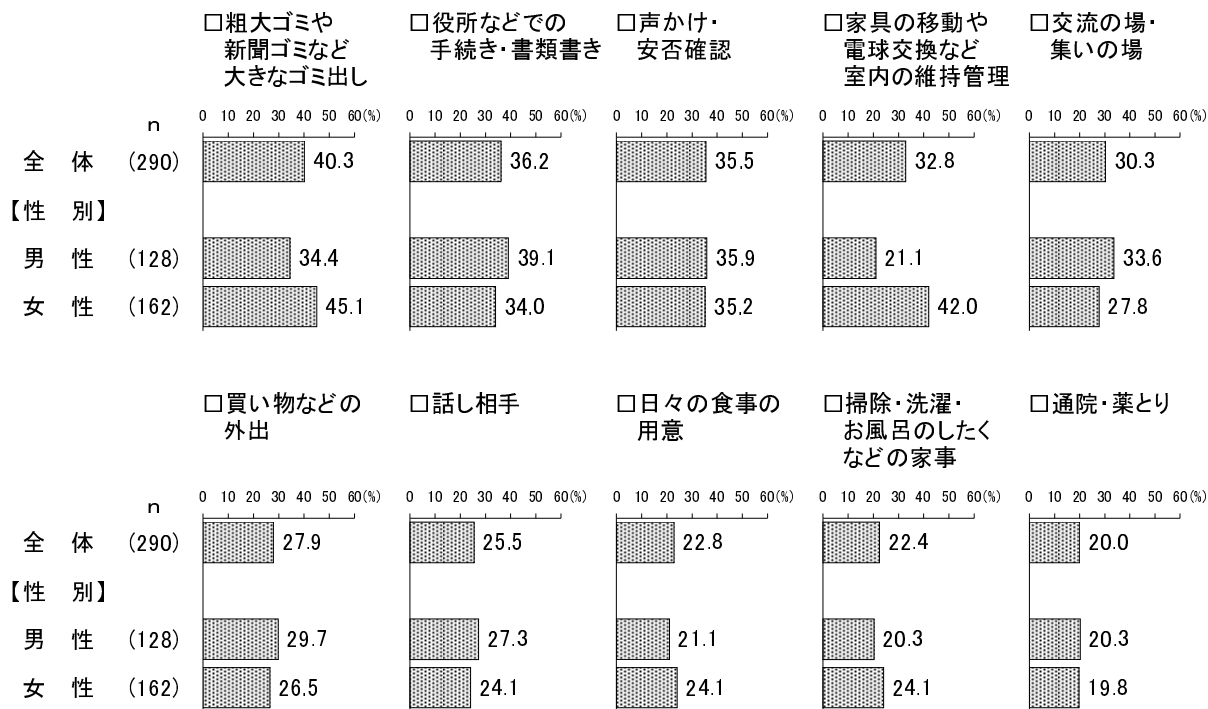
(図表9-2-1)

図表9-2-1 日常生活で困っていること、将来困るだろうと思うこと



性別にみると、女性が男性より「家具の移動や電球交換など室内の維持管理」で20.9ポイント、「粗大ゴミや新聞ゴミなど大きなゴミ出し」で10.7ポイント、それぞれ高くなっている。一方、男性が女性より「交流の場・集いの場」で5.8ポイント、「役所などでの手続き・書類書き」で5.1ポイント、それぞれ高くなっている。(図表9-2-2)

図表9-2-2 日常生活で困っていること、将来困るだろうと思うことー性別（上位10項目）



### (3) 地域で支え合いを希望すること、将来的に頼みたいと思うこと

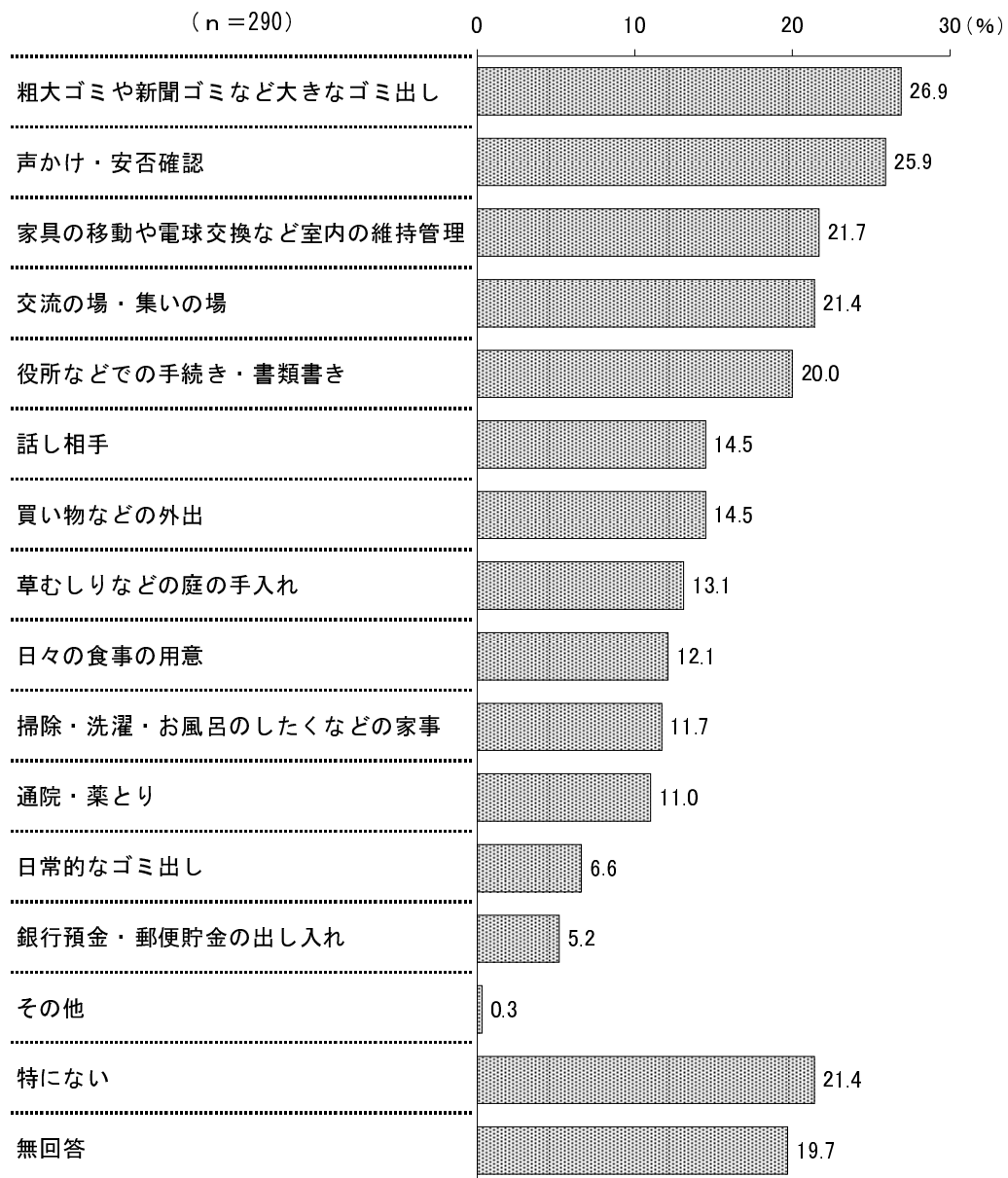
(「60歳以上の方」にお伺いします)

問22 問21 で回答した項目について、地域の支え合いを希望する、または将来的には頼みたいと思うことについて教えてください。(〇はいくつでも)

60歳以上の方(290人)に、日常生活で困っていること、または将来困るだろうと思うことで回答した項目について、地域の支え合いを希望する、または将来的には頼みたいと思うことを聞いたところ、「粗大ゴミや新聞ゴミなど大きなゴミ出し」(26.9%)が3割近くで最も高く、次いで「声かけ・安否確認」(25.9%)、「家具の移動や電球交換など室内の維持管理」(21.7%)、「交流の場・集いの場」(21.4%)、「役所などでの手続き・書類書き」(20.0%)となっている。

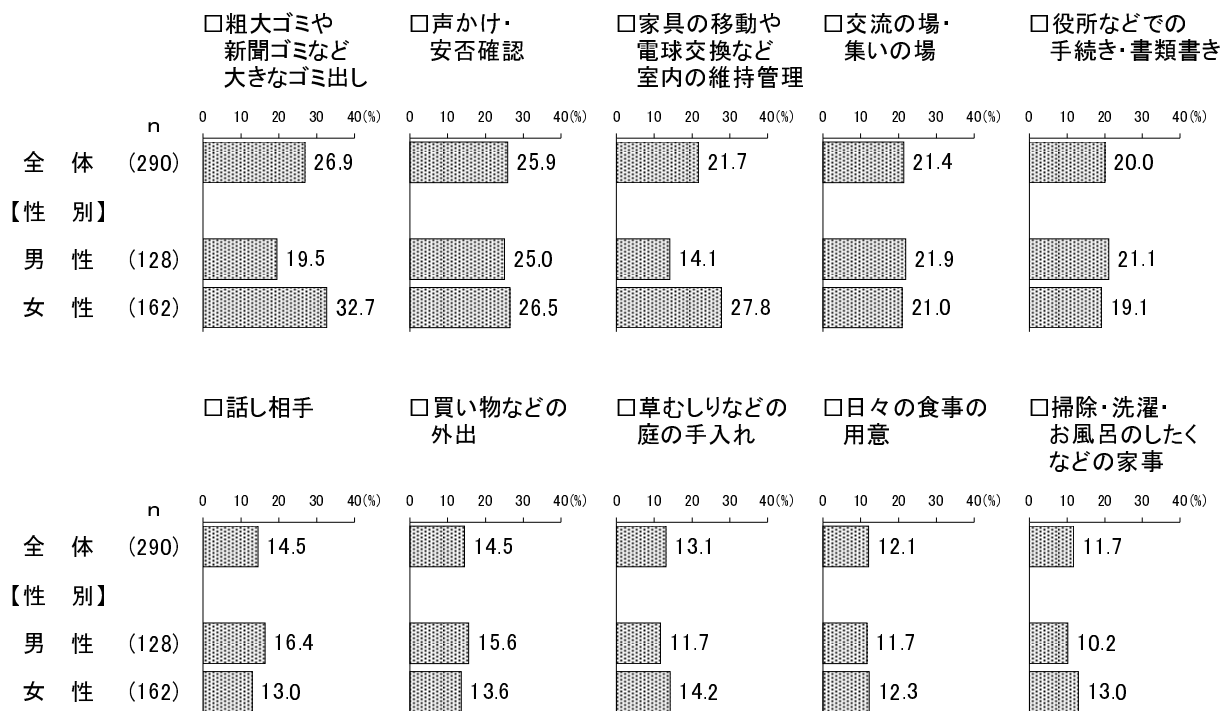
(図表9-3-1)

図表9-3-1 地域で支え合いを希望すること、将来的に頼みたいと思うこと



性別にみると、女性が男性より「家具の移動や電球交換など室内の維持管理」で13.7ポイント、「粗大ゴミや新聞ゴミなど大きなゴミ出し」で13.2ポイント、それぞれ高くなっている。一方、男性が女性より「話し相手」で3.4ポイント高くなっている。(図表9-3-2)

図表9-3-2 地域で支え合いを希望すること、将来的に頼みたいと思うこと一性別(上位10項目)



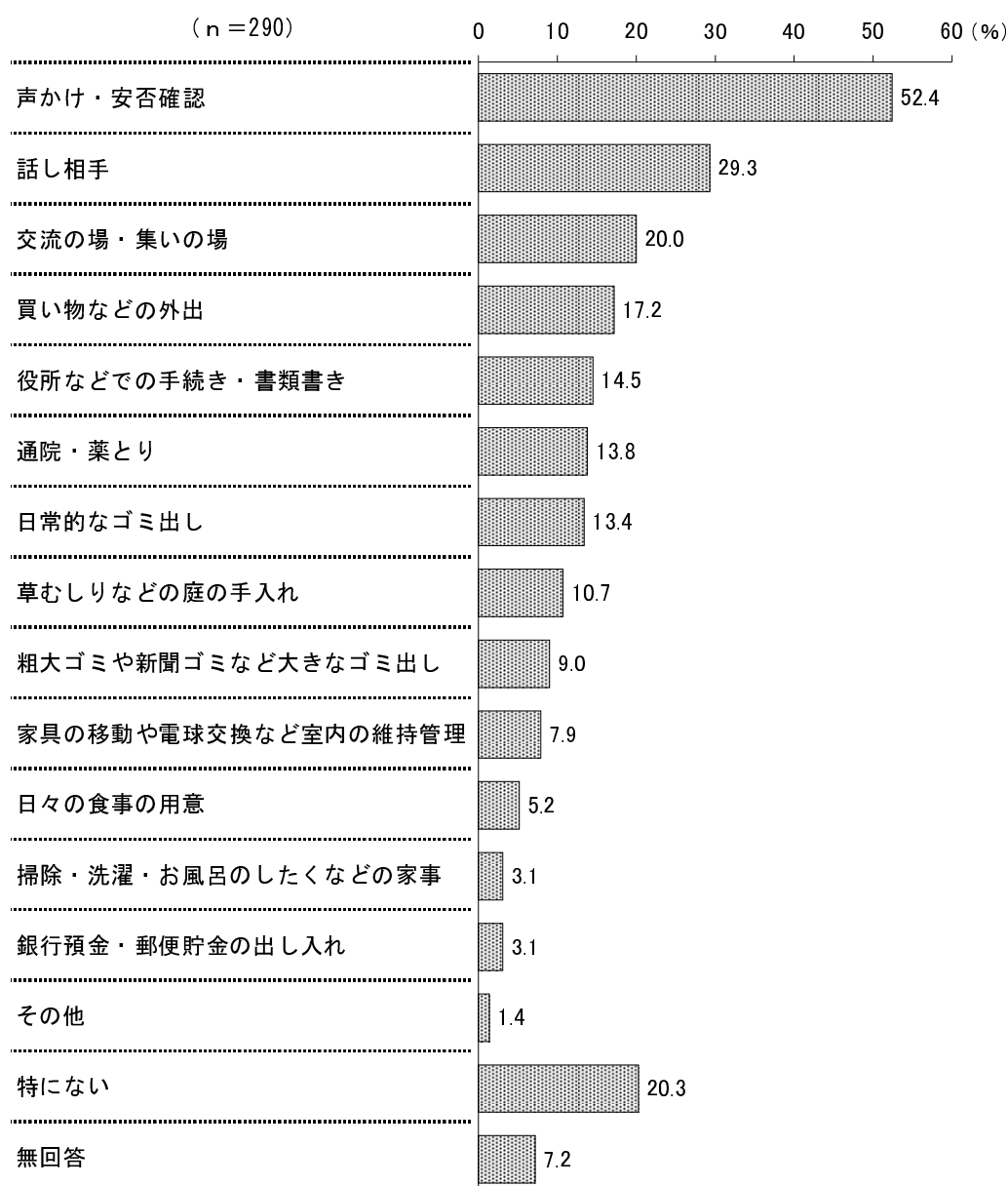
#### (4) 地域の支え合いに協力できること

(「60歳以上の方」にお伺いします)

問23 あなたが地域の支え合いに協力できることについて教えてください。(〇はいくつでも)

60歳以上の方(290人)に、地域の支え合いに協力できることについて聞いたところ、「声かけ・安否確認」(52.4%)が5割を超えて最も高く、次いで「話し相手」(29.3%)、「交流の場・集いの場」(20.0%)、「買い物などの外出」(17.2%)、「役所などでの手続き・書類書き」(14.5%)となっている。(図表9-4-1)

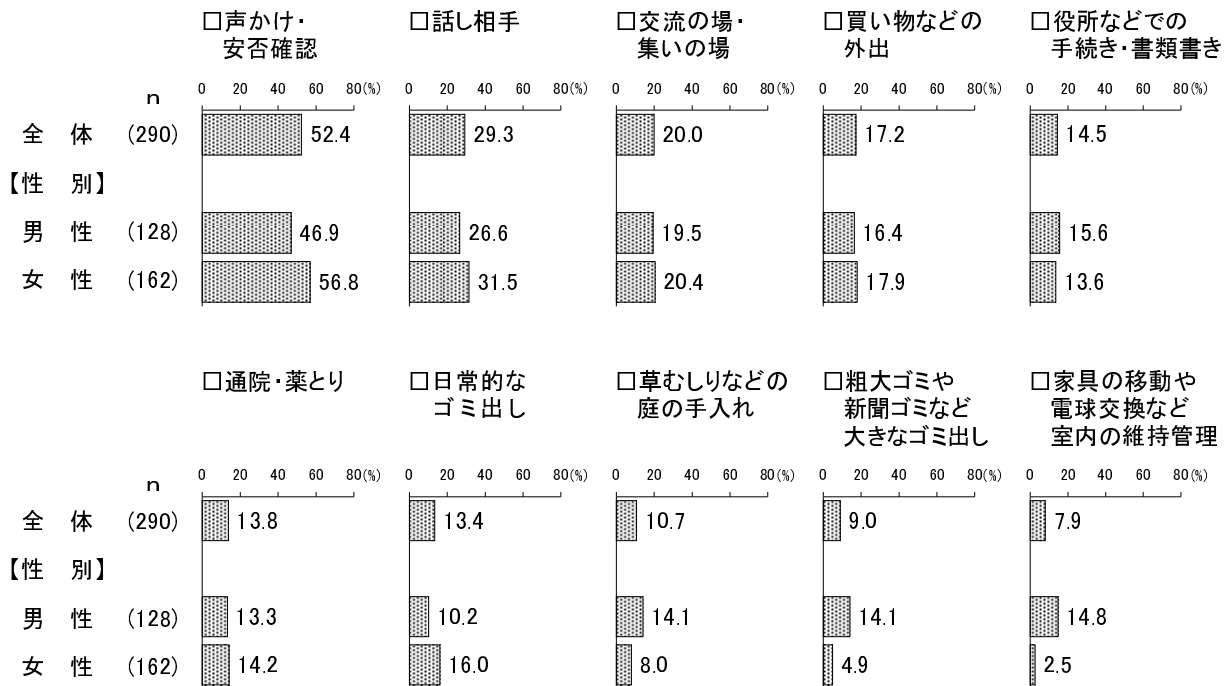
図表9-4-1 地域の支え合いに協力できること





性別にみると、男性が女性より「家具の移動や電球交換など室内の維持管理」で12.3ポイント、「粗大ゴミや新聞ゴミなど大きなゴミ出し」で9.2ポイント、それぞれ高くなっている。一方、女性が男性より「声かけ・安否確認」で9.9ポイント、「日常的なゴミ出し」で5.8ポイント、それぞれ高くなっている。(図表9-4-2)

図表9-4-2 地域の支え合いに協力できることー性別(上位10項目)



(5) 「誰もが住み慣れた地域で、安心して最期まで暮らせるよう、支えあう地域づくり」  
 についての考え

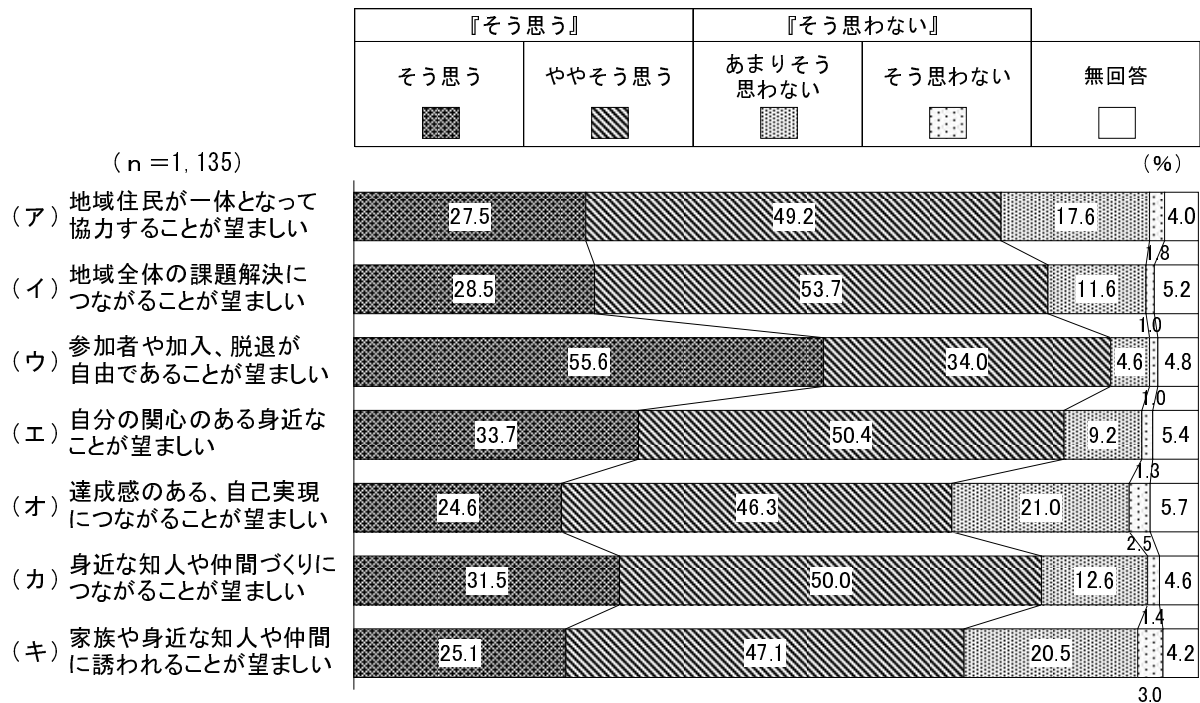
問24 中原区では「誰もが住み慣れた地域で、安心して最期まで暮らせるよう、支えあう地域づくり」を目指しています。この趣旨にそって、次にあげる(ア)から(キ)のそれぞれの項目について、あなたはどのように考えますか。各項目について1つずつ選んでください。

(○はそれぞれ1つ)

「誰もが住み慣れた地域で、安心して最期まで暮らせるよう、支えあう地域づくり」の考えについて、7項目に分けて聞いたところ、「そう思う」と「ややそう思う」の2つを合わせた『そう思う』は、(ウ)参加者や加入、脱退が自由であることが望ましい(89.6%)が9割で最も高く、次いで(エ)自分の関心のある身近なことが望ましい(84.1%)、(イ)地域全体の課題解決につながることを望ましい(82.2%)となっている。

一方、「あまりそう思わない」と「そう思わない」の2つを合わせた『そう思わない』は、(オ)達成感のある、自己実現につながることを望ましい(23.5%)と(キ)家族や身近な知人や仲間誘われることが望ましい(23.5%)が2割を超えて高く、次いで(ア)地域住民が一体となって協力することが望ましい(19.4%)となっている。(図表9-5-1)

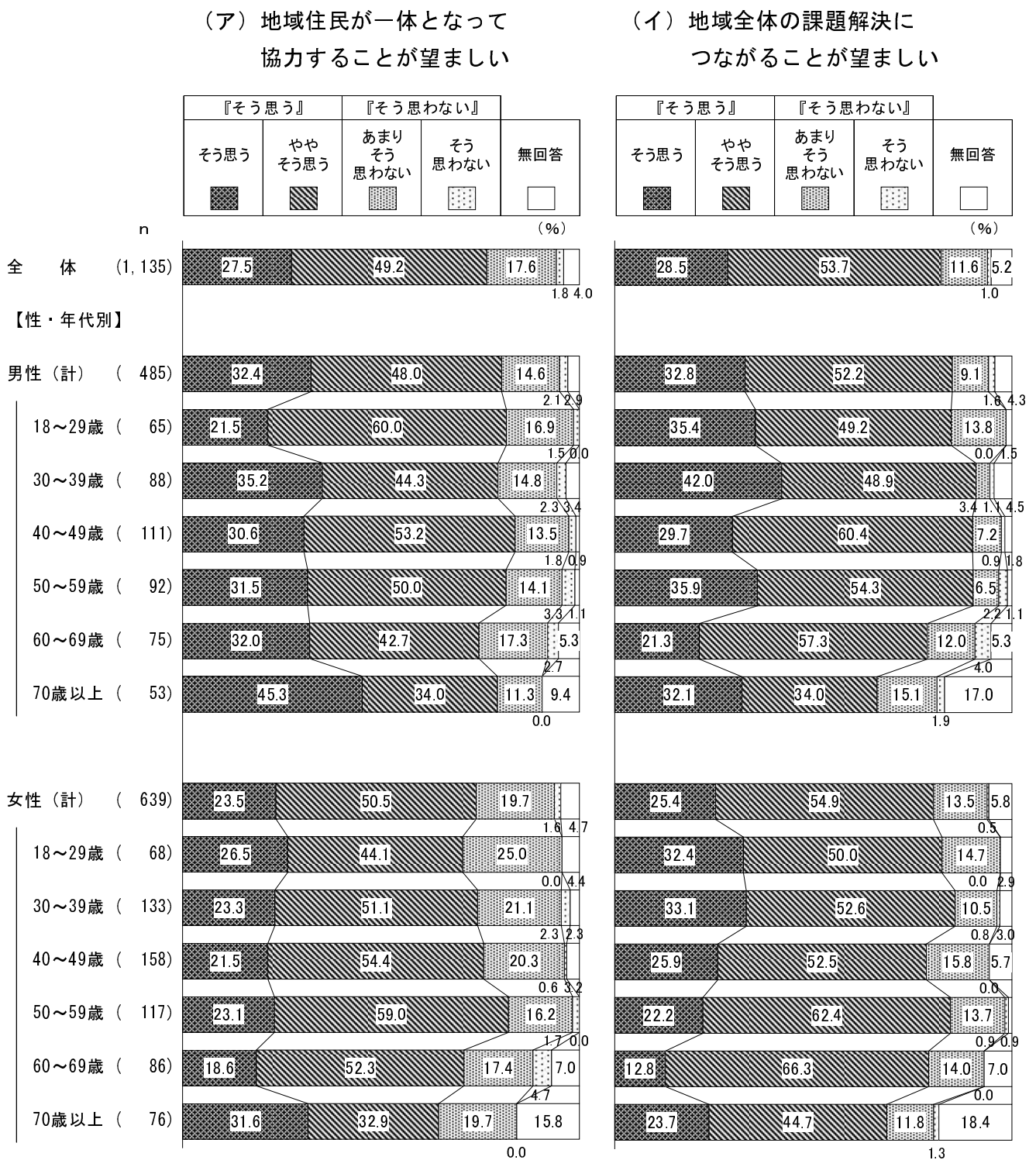
図表9-5-1 「誰もが住み慣れた地域で、安心して最期まで暮らせるよう、支えあう地域づくり」  
 についての考え



(ア) 地域住民が一体となって協力することが望ましいについて性・年代別にみると、『そう思う』は男性18～29歳（81.5%）、男性40～49歳（83.8%）、男性50～59歳（81.5%）、女性50～59歳（82.1%）で8割を超えて高くなっている。

(イ) 地域全体の課題解決につながることを望ましいについて性・年代別にみると、『そう思う』は男性30～39歳（90.9%）、男性40～49歳（90.1%）、男性50～59歳（90.2%）で9割台と高くなっている。（図表9-5-2）

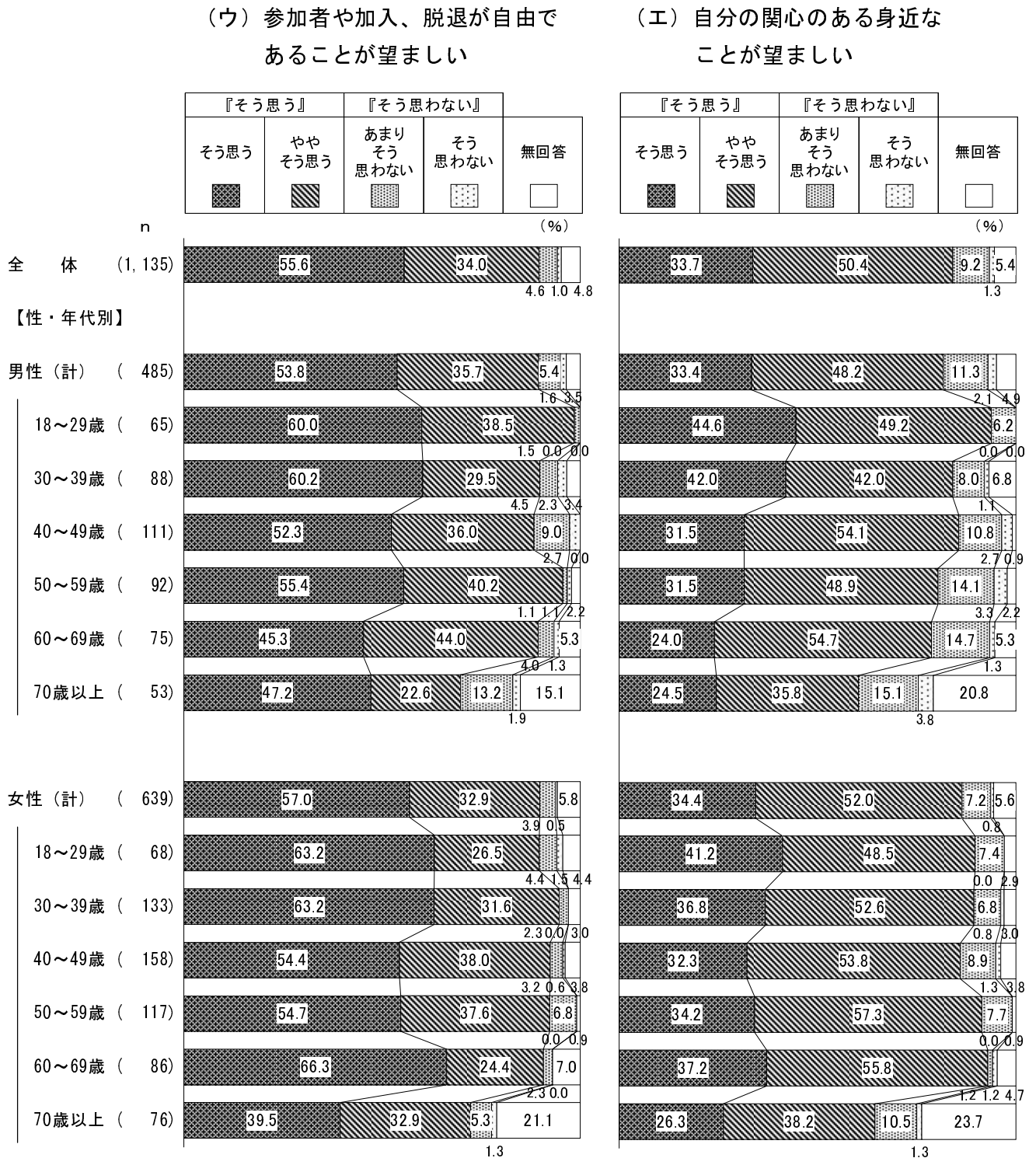
図表9-5-2 「誰もが住み慣れた地域で、安心して最期まで暮らせるよう、支えあう地域づくり」  
についての考え－性・年代別



(ウ) 参加者や加入、脱退が自由であることが望ましいについて性・年代別にみると、『そう思う』は男性18～29歳（98.5%）で10割近くと高くなっている。

(エ) 自分の関心のある身近なことが望ましいについて性・年代別にみると、『そう思う』は男性18～29歳（93.8%）、女性50～59歳（91.5%）、女性60～69歳（93.0%）で9割を超えて高くなっている。（図表9-5-3）

図表9-5-3 「誰もが住み慣れた地域で、安心して最期まで暮らせるよう、支えあう地域づくり」  
 についての考え－性・年代別



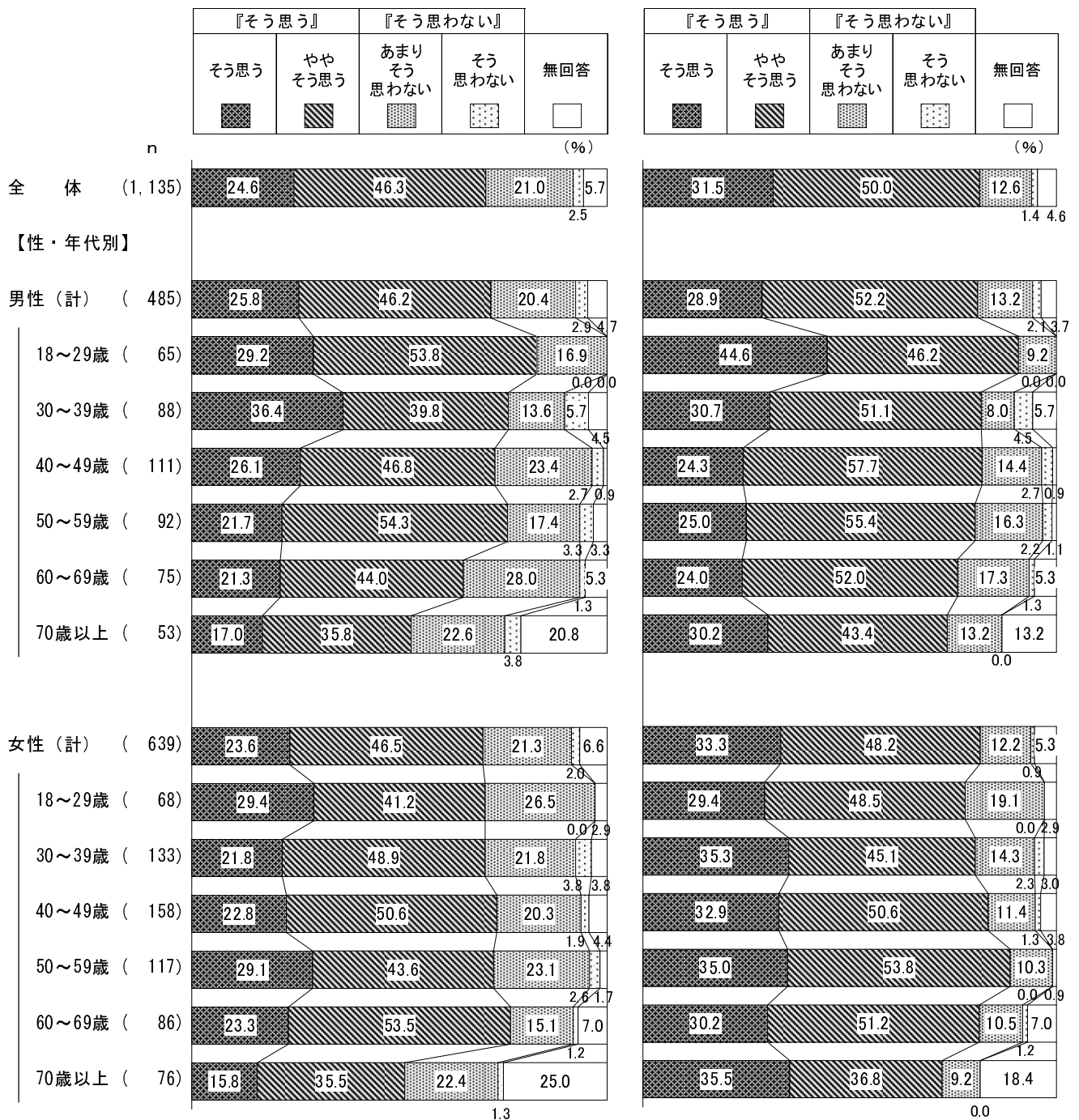
(オ) 達成感のある、自己実現につながる事が望ましいについて性・年代別にみると、『そう思う』は男性18～29歳（83.0%）で8割を超えて高くなっている。一方、『そう思わない』は男性60～69歳（29.3%）で約3割と高くなっている。

(カ) 身近な知人や仲間づくりにつながる事が望ましいについて性・年代別にみると、『そう思う』は男性18～29歳（90.8%）で約9割と高くなっている。（図表9-5-4）

図表9-5-4 「誰もが住み慣れた地域で、安心して最期まで暮らせるよう、支えあう地域づくり」  
 についての考え－性・年代別

(オ) 達成感のある、自己実現に  
 つながる事が望ましい

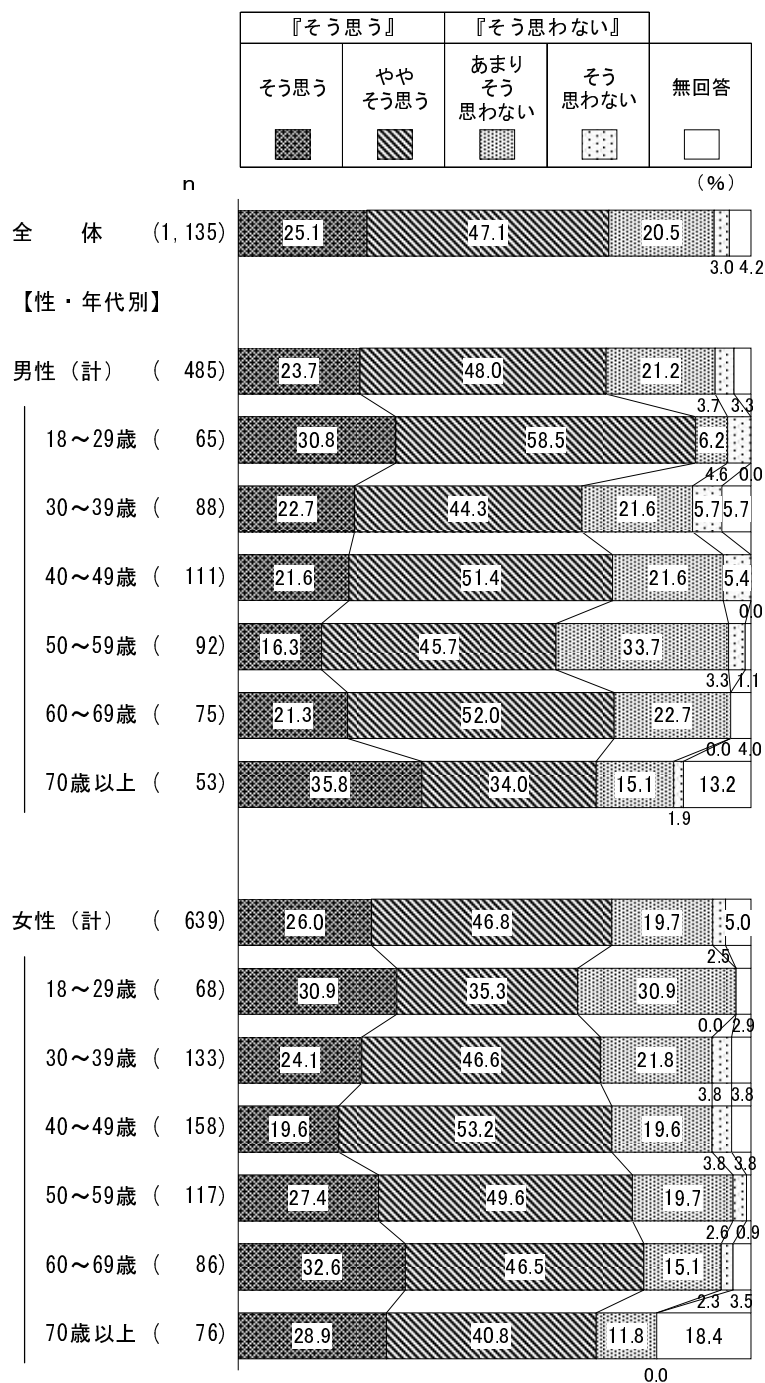
(カ) 身近な知人や仲間づくりに  
 つながる事が望ましい



(キ) 家族や身近な知人や仲間に誘われることが望ましいについて性・年代別にみると、『そう思う』は男性18～29歳（89.3%）で約9割と高くなっている。一方、『そう思わない』は男性50～59歳（37.0%）で4割近くと高くなっている。（図表9-5-5）

図表9-5-5 「誰もが住み慣れた地域で、安心して最期まで暮らせるよう、支えあう地域づくり」  
 についての考え－性・年代別

(キ) 家族や身近な知人や仲間に  
 誘われることが望ましい



## 10. 在宅療養

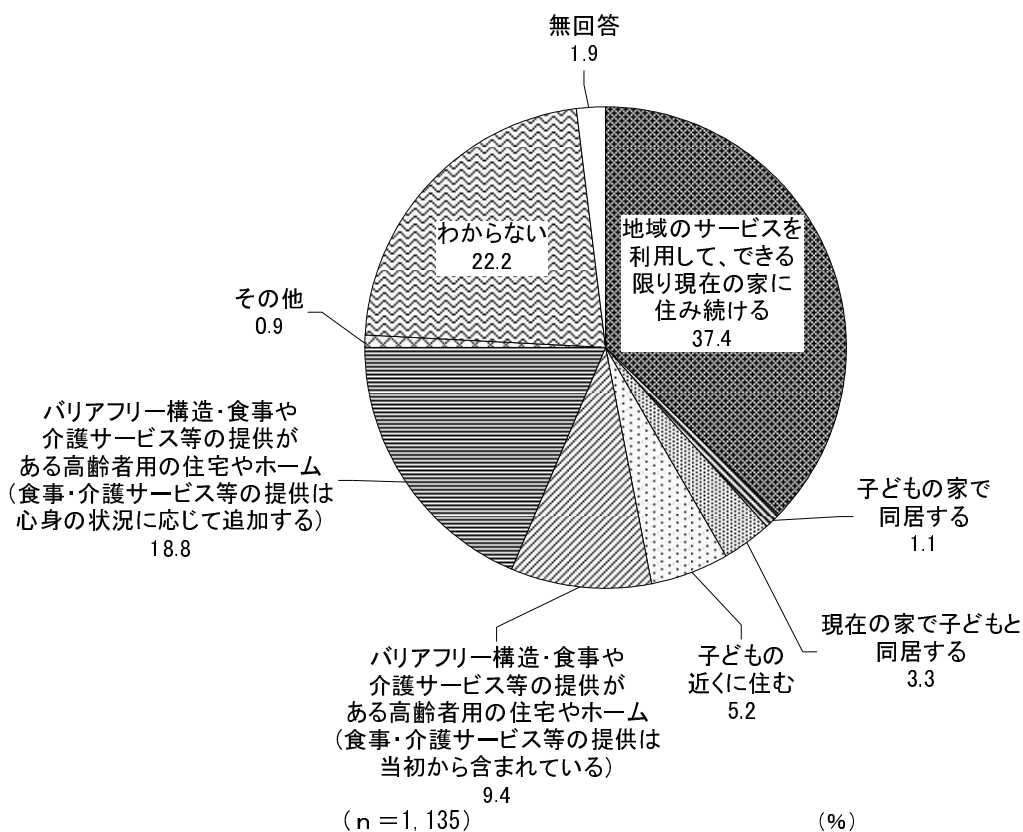
### (1) 最期までどのように住みたいか

問25 自分の健康への不安が生じたり、日常的な生活の見守り等が必要になったりした場合でも、最期までどのように住みたいと思いますか。(〇は1つだけ)

自分の健康への不安が生じたり、日常的な生活の見守り等が必要になったりした場合でも、最期までどのように住みたいと思うか聞いたところ、「地域のサービスを利用して、できる限り現在の家に住み続ける」(37.4%)が4割近くで最も高く、次いで「バリアフリー構造・食事や介護サービス等の提供がある高齢者用の住宅やホーム(食事・介護サービス等の提供は心身の状況に応じて追加する)」(18.8%)、「バリアフリー構造・食事や介護サービス等の提供がある高齢者用の住宅やホーム(食事・介護サービス等の提供は当初から含まれている)」(9.4%)となっている。

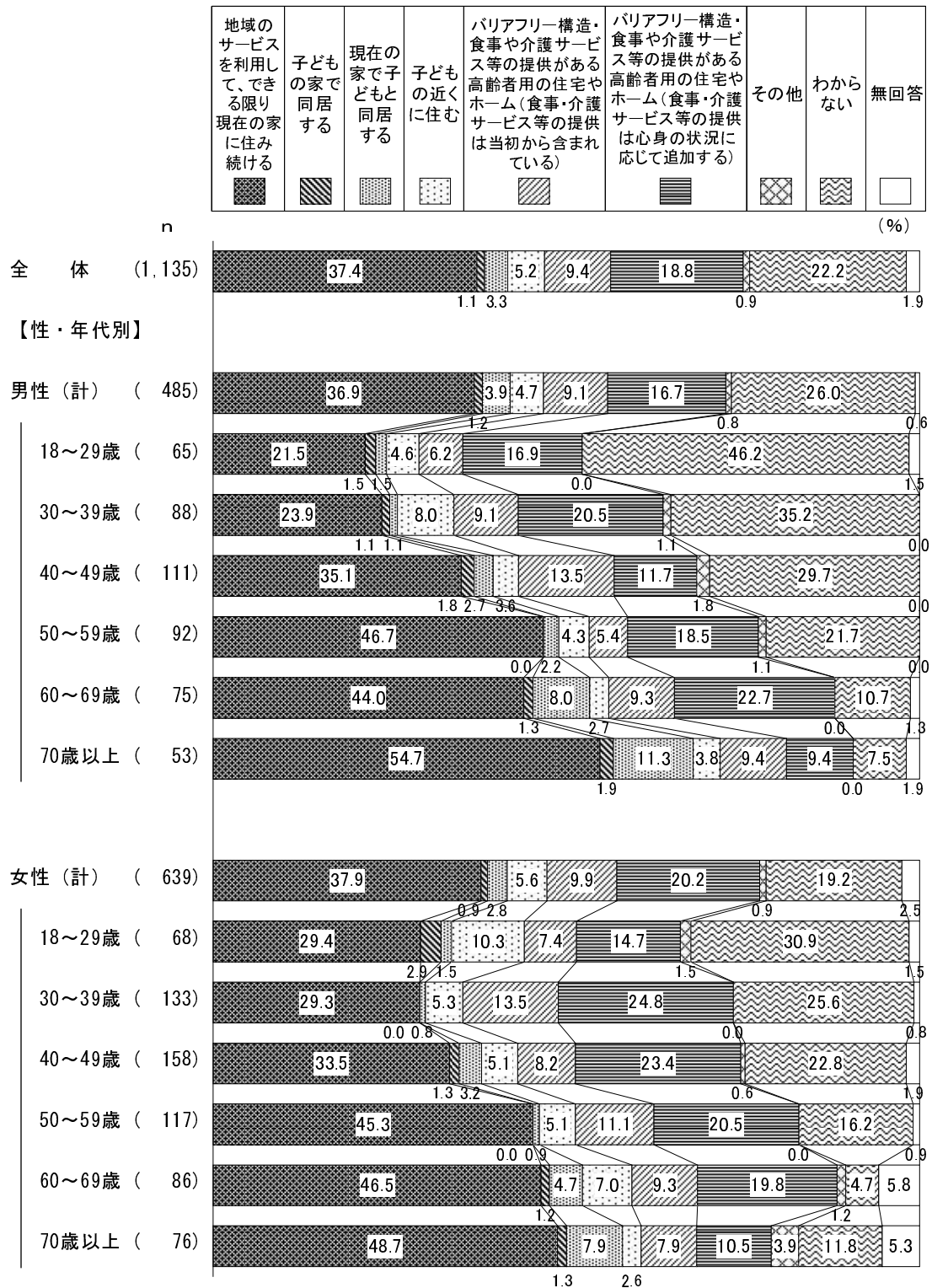
(図表10-1-1)

図表10-1-1 最期までどのように住みたいか



性・年代別にみると、「地域のサービスを利用して、できる限り現在の家に住み続ける」は男性70歳以上（54.7%）で5割半ばと高くなっている。「バリアフリー構造・食事や介護サービス等の提供がある高齢者用の住宅やホーム（食事・介護サービス等の提供は心身の状況に応じて追加する）」は女性30～39歳（24.8%）で2割半ばと高くなっている。（図表10-1-2）

図表10-1-2 最期までどのように住みたいかー性・年代別





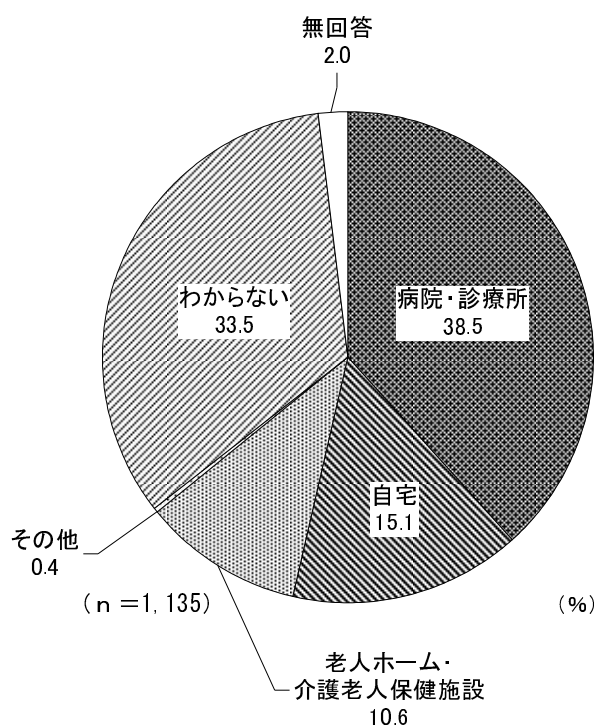
## (2) 実際に最期を迎えると思う場所

問26 実際に最期を迎えるのはどこだと思いますか。(○は1つだけ)

実際に最期を迎えるのはどこだと思うか聞いたところ、「病院・診療所」(38.5%)が4割近くで最も高く、次いで「自宅」(15.1%)、「老人ホーム・介護老人保健施設」(10.6%)となっている。

(図表10-2-1)

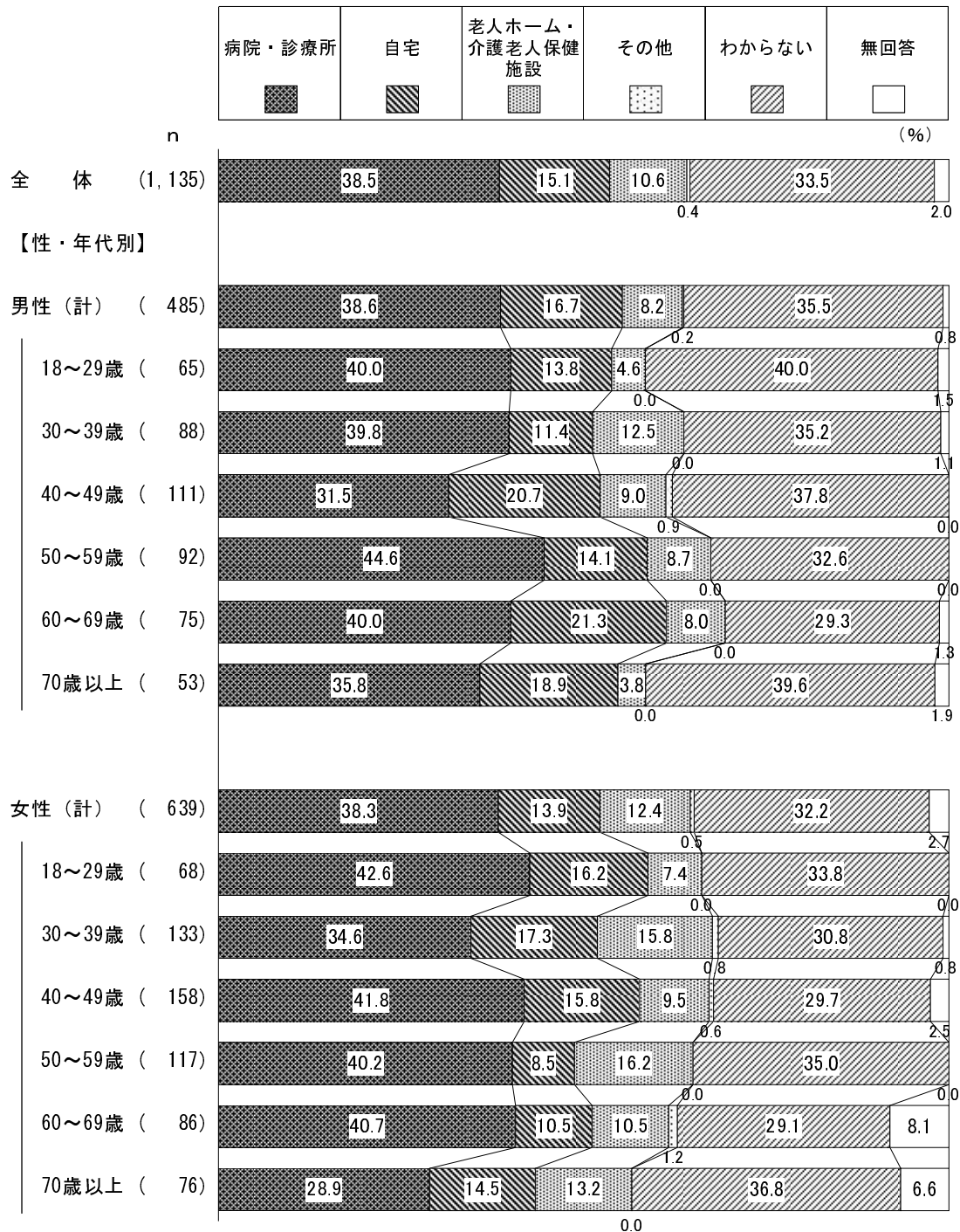
図表10-2-1 実際に最期を迎えると思う場所



性・年代別にみると、「病院・診療所」は男性50～59歳（44.6%）で4割半ばと高くなっている。「自宅」は男性40～49歳（20.7%）と男性60～69歳（21.3%）で2割台と高くなっている。

(図表10-2-2)

図表10-2-2 実際に最期を迎えると思う場所一性・年代別

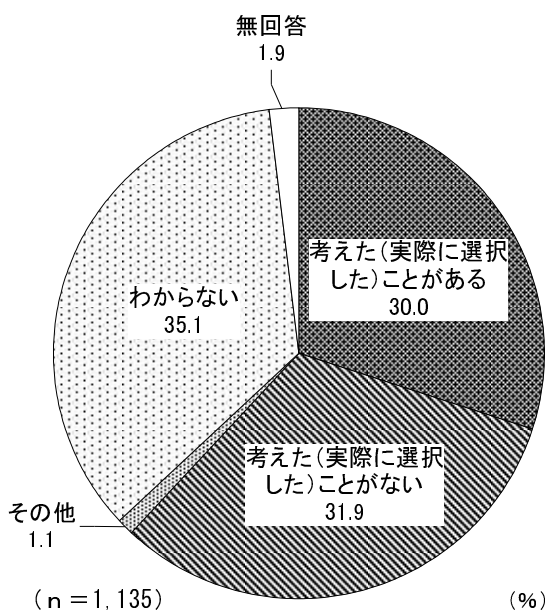


### (3) 在宅療養を考えた経験

問27 ご本人またはご家族が住み慣れた場所で最後まで過ごすために、在宅療養というのを考えた（実際に選択した）ことがありますか。（○は1つだけ）

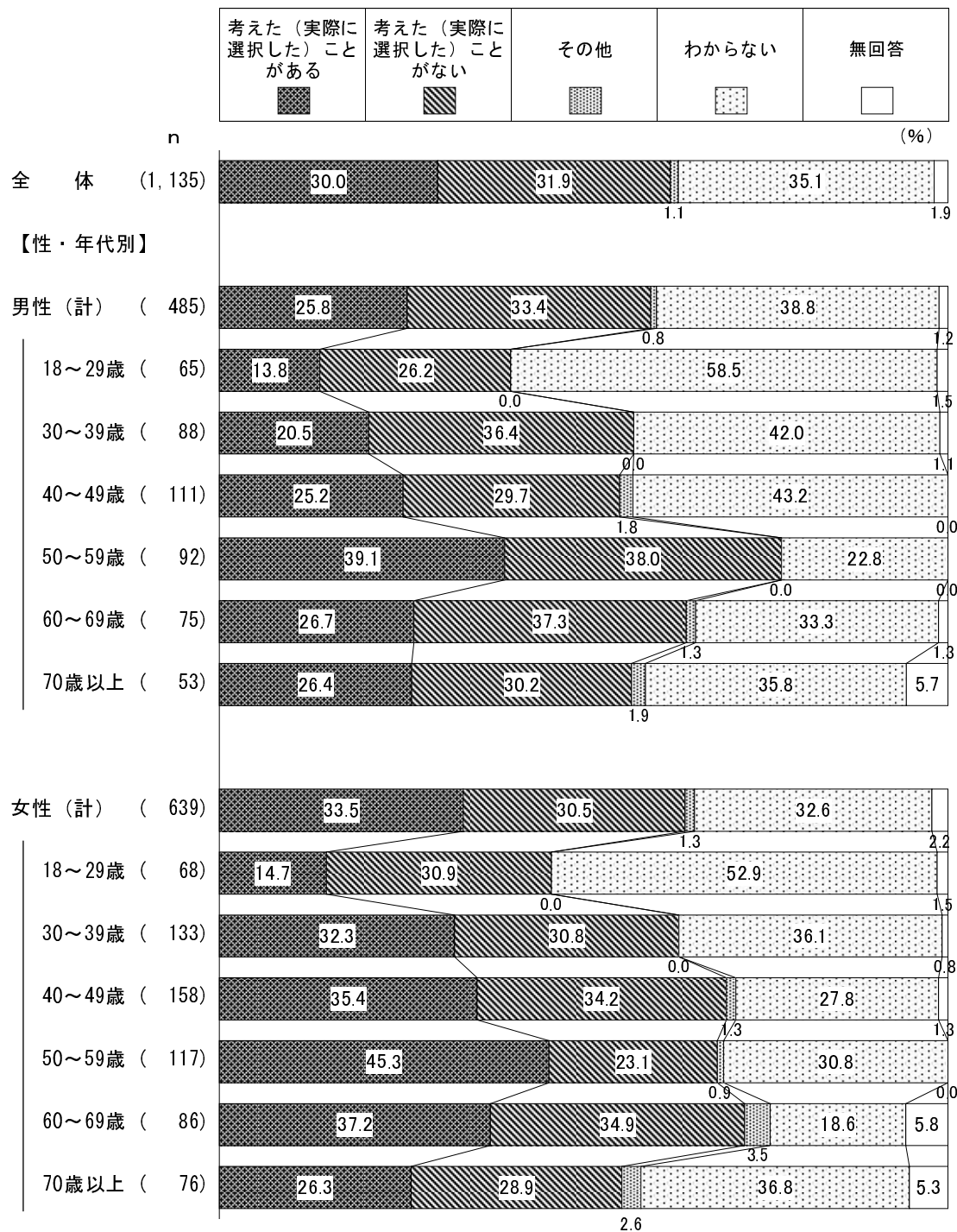
在宅療養ということを考えて（実際に選択した）ことがあるか聞いたところ、「考えた（実際に選択した）ことがある」（30.0%）が3割、「考えた（実際に選択した）ことがない」（31.9%）は3割を超えている。（図表10-3-1）

図表10-3-1 在宅療養を考えた経験



性・年代別にみると、「考えた（実際に選択した）ことがある」は女性50～59歳（45.3%）で4割半ばと高くなっている。一方、「考えた（実際に選択した）ことがない」は男性50～59歳（38.0%）と男性60～69歳（37.3%）で4割近くと高くなっている。（図表10-3-2）

図表10-3-2 在宅療養を考えた経験—性・年代別



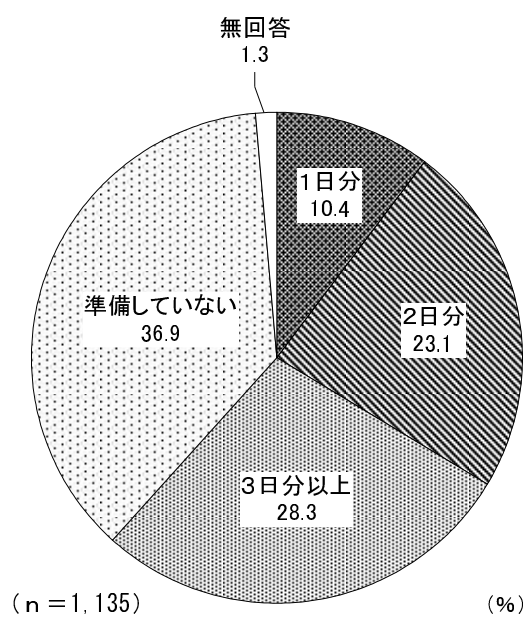
## 11. 防災対策

### (1) 食料の備蓄状況

問28 あなたのご家庭では、大震災に備えて何日分の食料を準備していますか。(○は1つだけ)

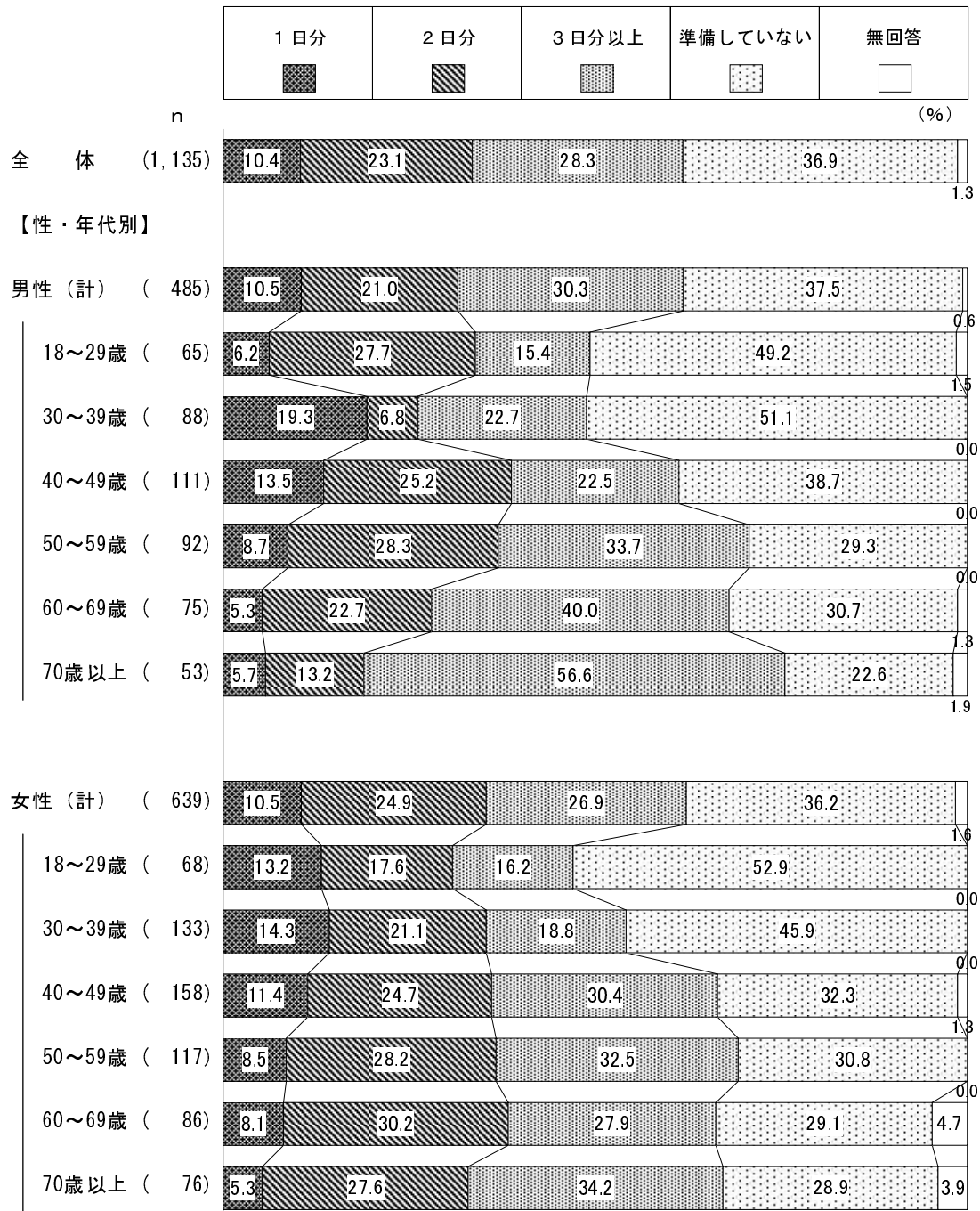
大震災に備えて何日分の食料を準備しているか聞いたところ、「1日分」(10.4%)が1割、「2日分」(23.1%)は2割を超え、「3日以上」(28.3%)は3割近くとなっている。一方、「準備していない」(36.9%)は4割近くとなっている。(図表11-1-1)

図表11-1-1 食料の備蓄状況



性・年代別にみると、「2日分」は女性60～69歳（30.2%）で3割と高くなっている。「3日以上」は男性70歳以上（56.6%）で6割近くと高くなっている。一方、「準備していない」は女性18～29歳（52.9%）と男性30～39歳（51.1%）で5割を超えて高くなっている。（図表11-1-2）

図表11-1-2 食料の備蓄状況－性・年代別



## (2) 食料を準備していない理由

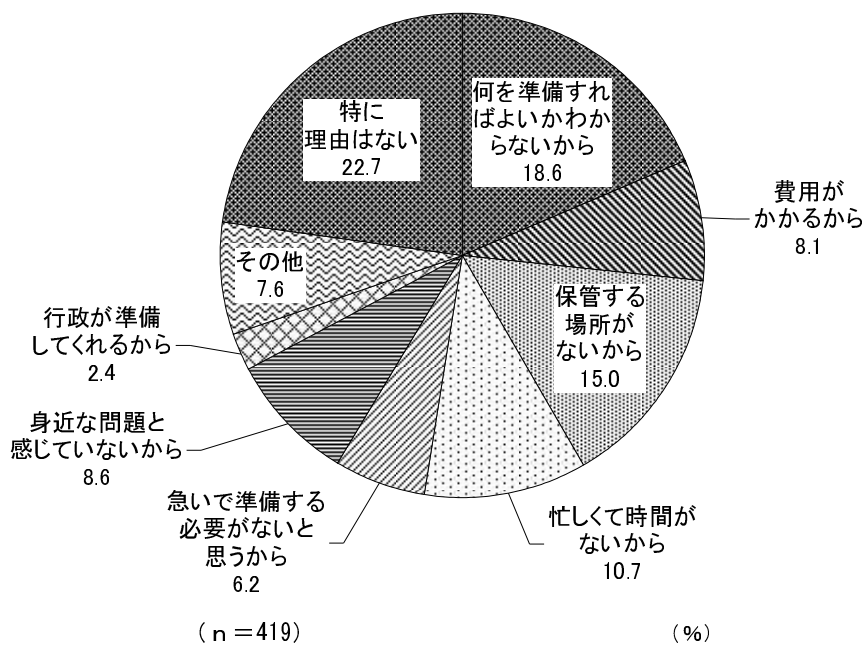
(問28で、「準備していない」と回答した方に)

問28-1 準備していない理由は何ですか。(〇は1つだけ)

食料を「準備していない」と回答した方(419人)に、その理由を聞いたところ、「特に理由はない」(22.7%)が2割を超えて最も高く、次いで「何を準備すればよいかわからないから」(18.6%)、「保管する場所がないから」(15.0%)、「忙しくて時間がないから」(10.7%)となっている。

(図表11-2-1)

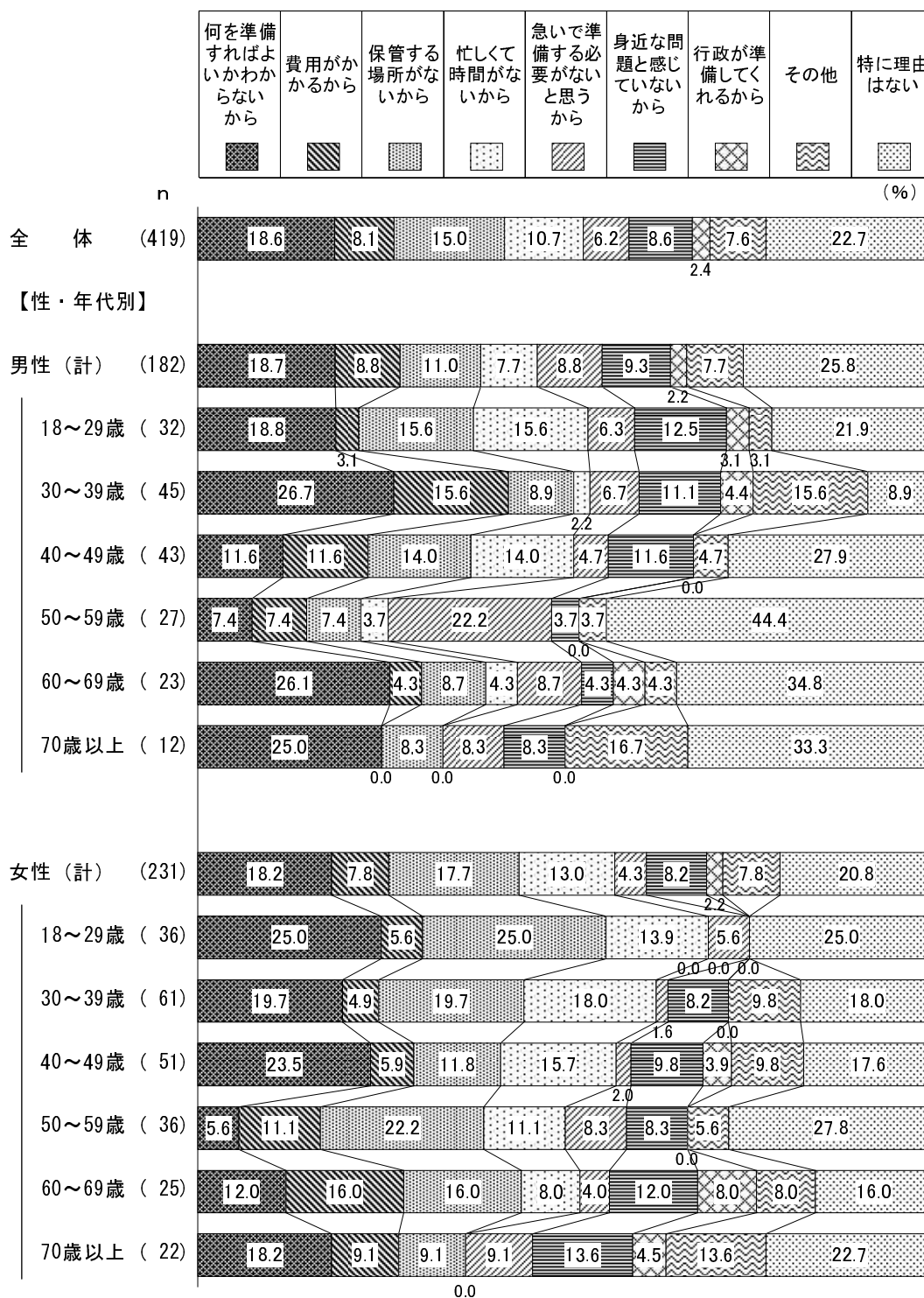
図表11-2-1 食料を準備していない理由



性・年代別にみると、「何を準備すればよいかわからないから」は男性30～39歳（26.7%）で3割近くと高くなっている。「保管する場所がないから」は女性18～29歳（25.0%）で2割半ばと高くなっている。「特に理由はない」は男性50～59歳（44.4%）で4割半ばと高くなっている。

(図表11-2-2)

図表11-2-2 食料を準備していない理由－性・年代別



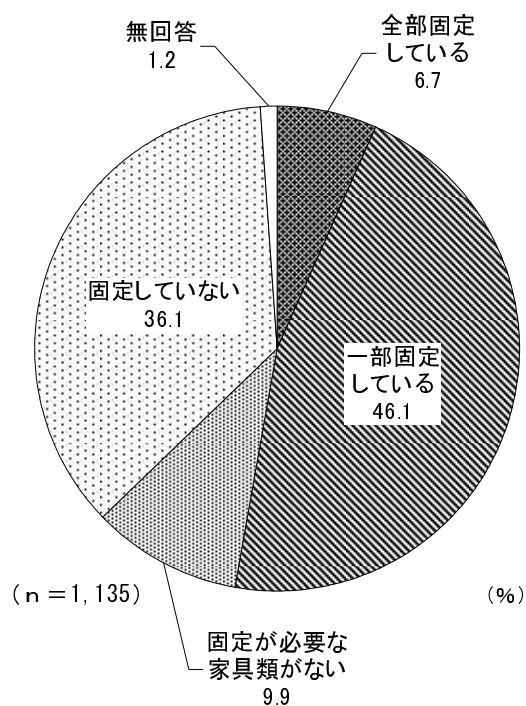


### (3) 家具類の固定状況

問29 あなたのご自宅では、地震によって転倒するおそれのある家具類（タンスや食器棚等）を固定していますか。（〇は1つだけ）

地震によって転倒するおそれのある家具類（タンスや食器棚等）を固定しているか聞いたところ、「全部固定している」（6.7%）が1割近く、「一部固定している」（46.1%）は4割半ばとなっている。一方、「固定していない」（36.1%）は3割半ばとなっている。（図表11-3-1）

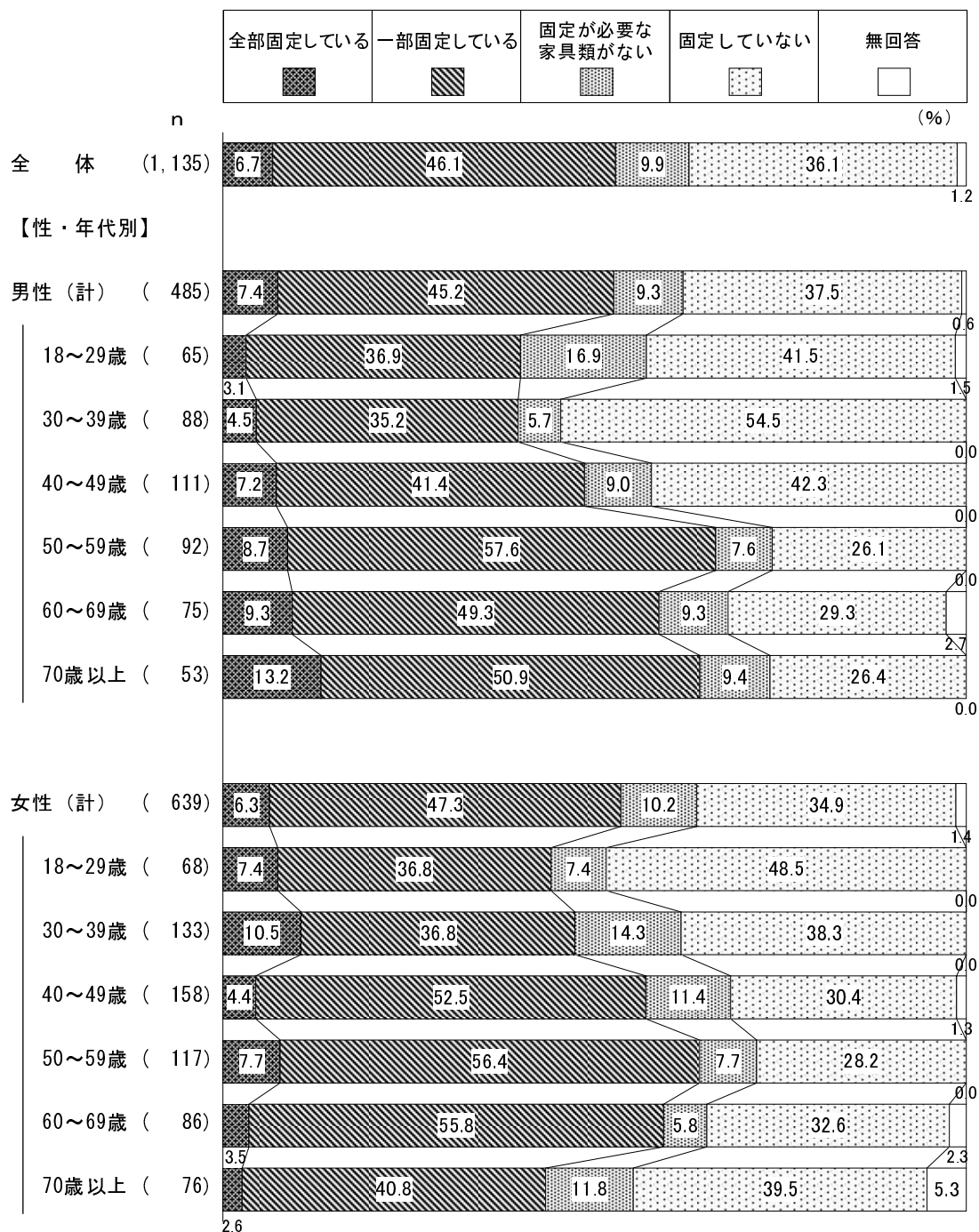
図表11-3-1 家具類の固定状況



性・年代別にみると、「一部固定している」は男性50～59歳（57.6%）で6割近くと高くなっている。一方、「固定していない」は男性30～39歳（54.5%）で5割半ばと高くなっている。

（図表11-3-2）

図表11-3-2 家具類の固定状況－性・年代別



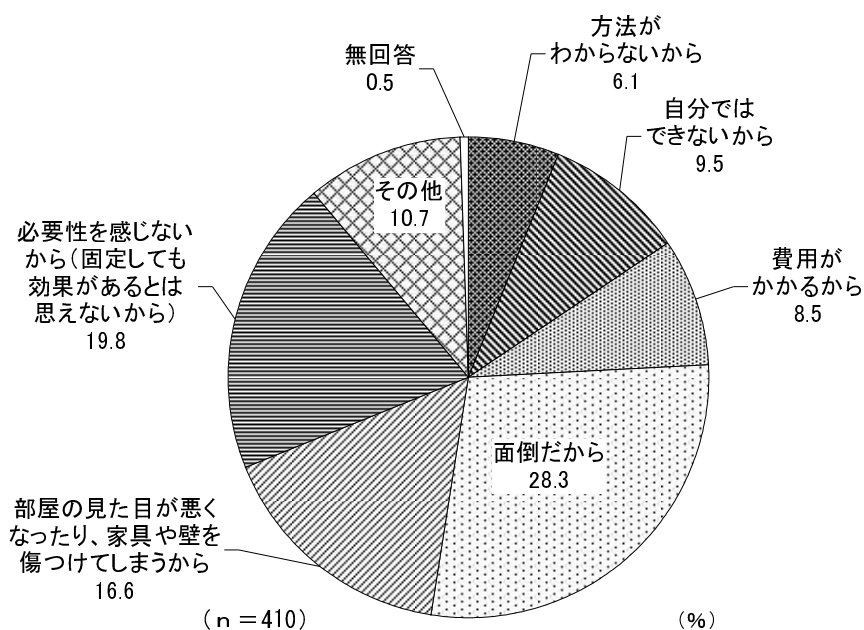
#### (4) 家具類を固定していない理由

(問29で、「固定していない」と回答した方に)

問29-1 固定していない理由は何ですか。(〇は1つだけ)

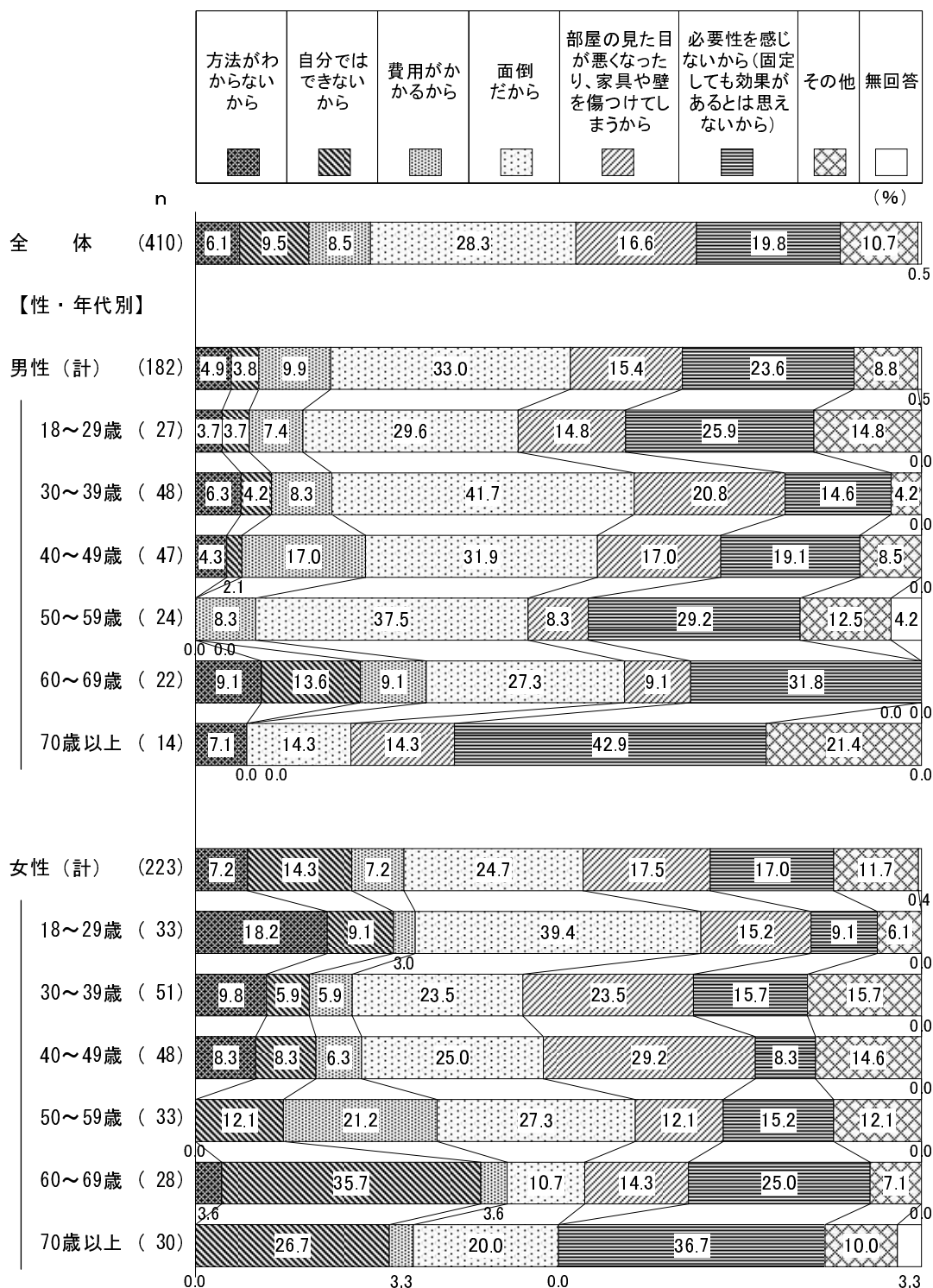
家具類を「固定していない」と回答した方(410人)に、その理由を聞いたところ、「面倒だから」(28.3%)が3割近くで最も高く、次いで「必要性を感じないから(固定しても効果があるとは思えないから)」(19.8%)、「部屋の見た目が悪くなったり、家具や壁を傷つけてしまうから」(16.6%)、「自分ではできないから」(9.5%)となっている。(図表11-4-1)

図表11-4-1 家具類を固定していない理由



性・年代別にみると、「面倒だから」は男性30～39歳（41.7%）で4割を超えて高くなっている。「部屋の見た目が悪くなったり、家具や壁を傷つけてしまうから」は女性40～49歳（29.2%）で約3割と高くなっている。「必要性を感じないから（固定しても効果があるとは思えないから）」は女性70歳以上（36.7%）で4割近くと高くなっている。（図表11-4-2）

図表11-4-2 家具類を固定していない理由—性・年代別



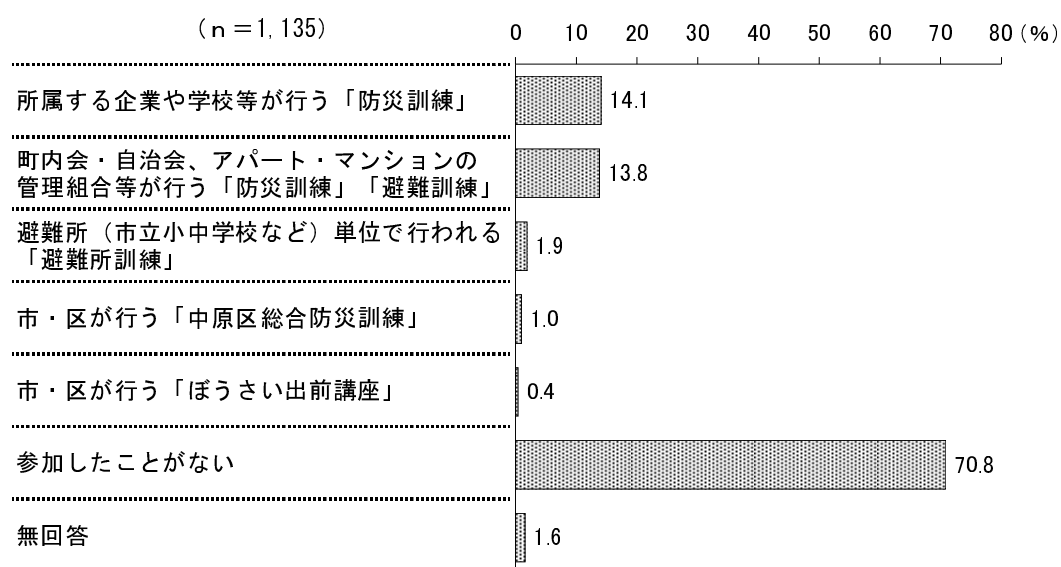
## (5) 地域で行われる訓練への参加経験

問30 あなたは、ここ1年間で地域で行われる次の訓練等に参加したことがありますか。

(○はいくつでも)

地域で行われる次の訓練等に参加したことがあるか聞いたところ、「所属する企業や学校等が行う『防災訓練』」(14.1%)が1割半ばで最も高く、次いで「町内会・自治会、アパート・マンションの管理組合等が行う『防災訓練』『避難訓練』」(13.8%)となっている。一方、「参加したことがない」(70.8%)は約7割となっている。(図表11-5-1)

図表11-5-1 地域で行われる訓練への参加経験





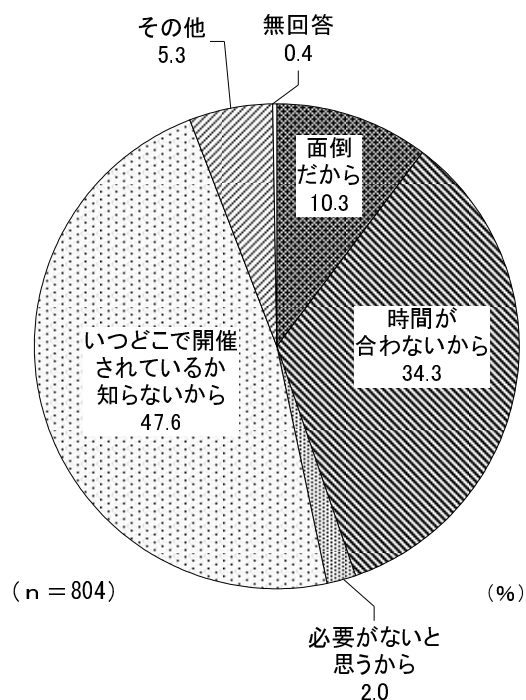
## (6) 地域で行われる訓練に参加していない理由

(問30で、「参加したことがない」と回答した方に)

問30-1 参加していない理由は何ですか。(〇は1つだけ)

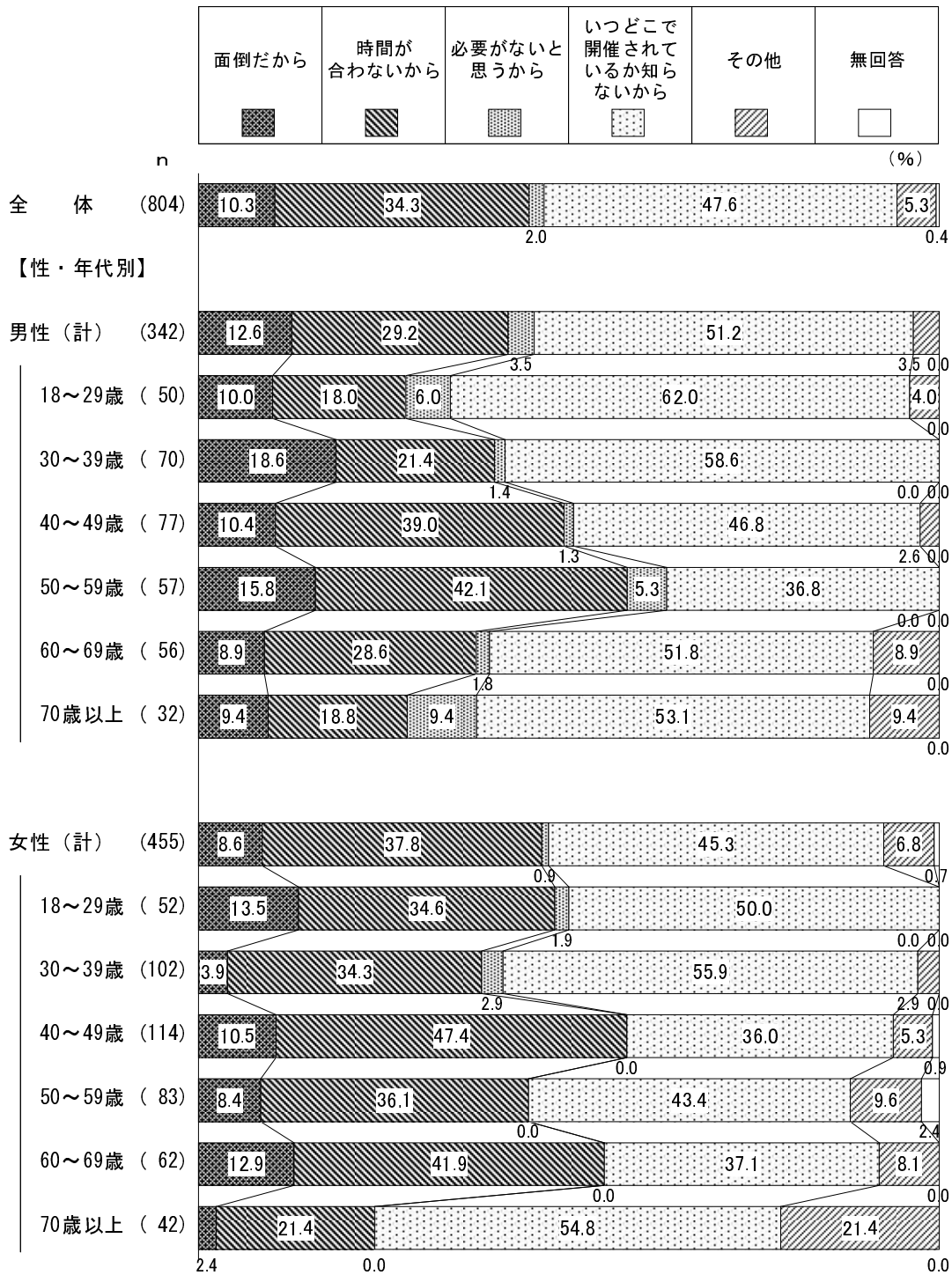
地域で行われる訓練に「参加したことがない」と回答した方(804人)に、その理由を聞いたところ、「いつどこで開催されているか知らないから」(47.6%)が5割近くで最も高く、次いで「時間が合わないから」(34.3%)、「面倒だから」(10.3%)となっている。(図表11-6-1)

図表11-6-1 地域で行われる訓練に参加していない理由



性・年代別にみると、「時間が合わないから」は女性40～49歳（47.4%）で5割近くと高くなっている。「いつどこで開催されているか知らないから」は男性18～29歳（62.0%）で6割を超えて高くなっている。（図表11-6-2）

図表11-6-2 地域で行われる訓練に参加していない理由—性・年代別





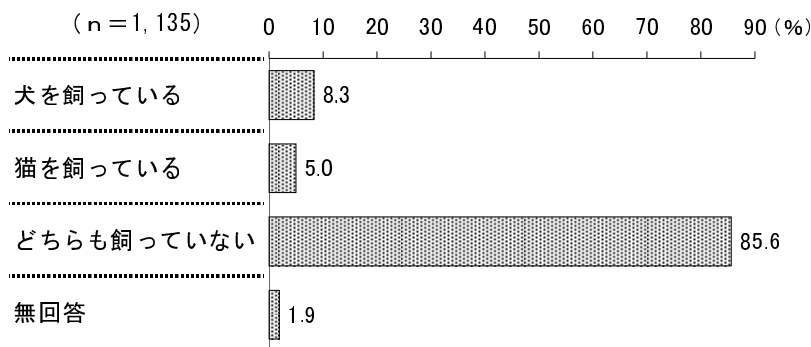
## 12. ペットに関する防災対策

### (1) 犬や猫の飼育状況

問31 あなたは現在、犬や猫を飼っていますか。(〇はいくつでも)

現在、犬や猫を飼っているか聞いたところ、「犬を飼っている」(8.3%)は1割近く、「猫を飼っている」(5.0%)はわずかとなっている。(図表12-1-1)

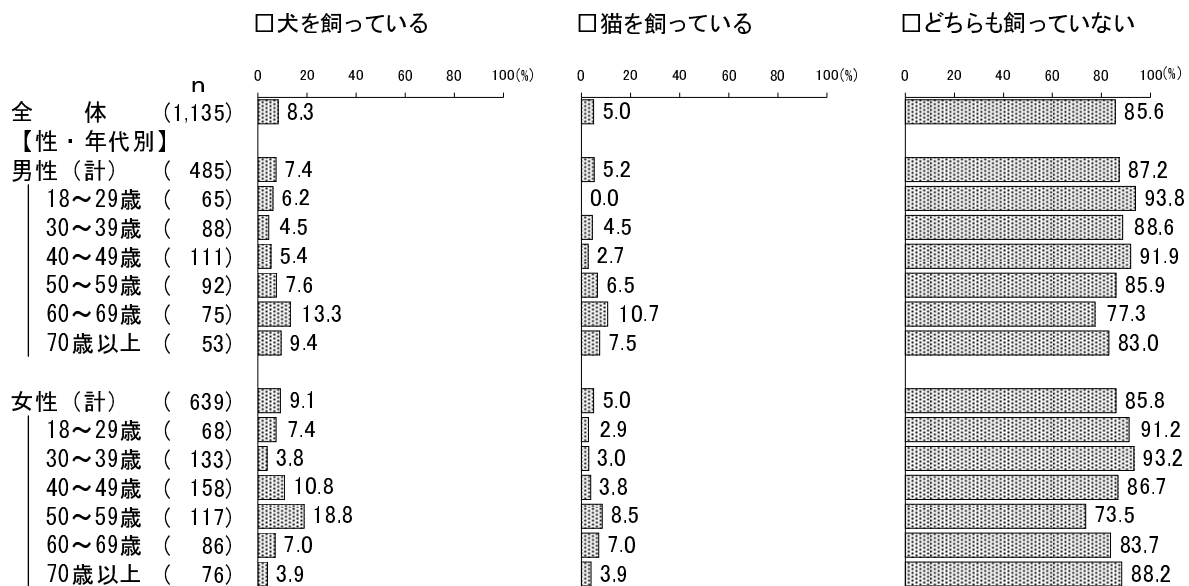
図表12-1-1 犬や猫の飼育状況



性・年代別にみると、「犬を飼っている」は女性50～59歳(18.8%)で2割近くとなっている。

(図表12-1-2)

図表12-1-2 犬や猫の飼育状況—性・年代別



## (2) 犬のための防災対策の状況

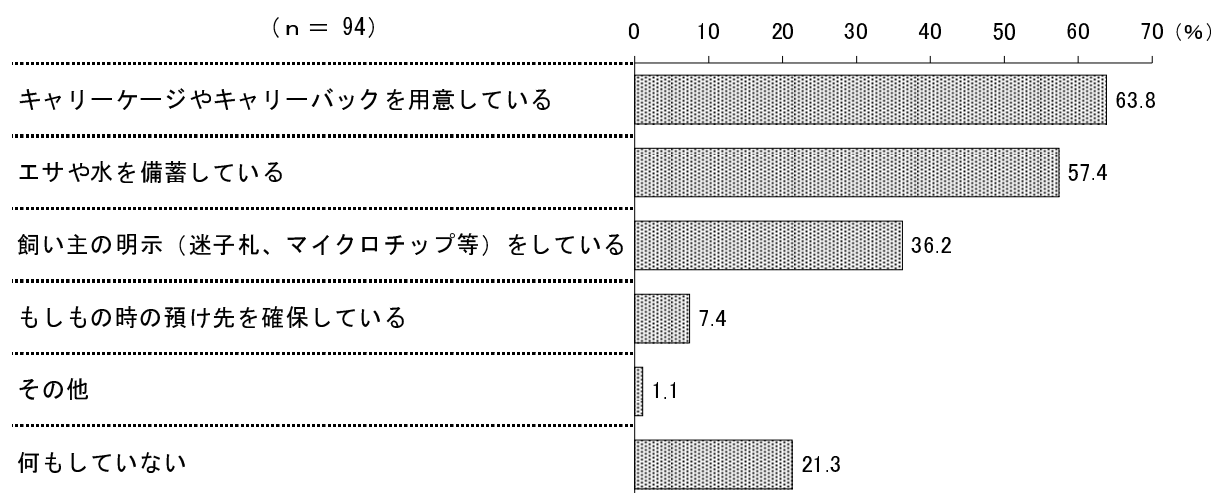
(問31で、「犬を飼っている」と回答した方に)

問31-1 大規模災害時には、ペットの防災対策について様々な課題が発生することが予想されます。地震などの災害に備えて、ペットのための対策をしていますか。

(○はいくつでも)

「犬を飼っている」と回答した方(94人)に、地震などの災害に備えて、ペットのための対策をしているか聞いたところ、「キャリーケージやキャリーバックを用意している」(63.8%)が6割を超えて最も高く、次いで「エサや水を備蓄している」(57.4%)、「飼い主の明示(迷子札、マイクロチップ等)をしている」(36.2%)となっている。(図表12-2-1)

図表12-2-1 犬のための防災対策の状況



### (3) 猫のための防災対策の状況

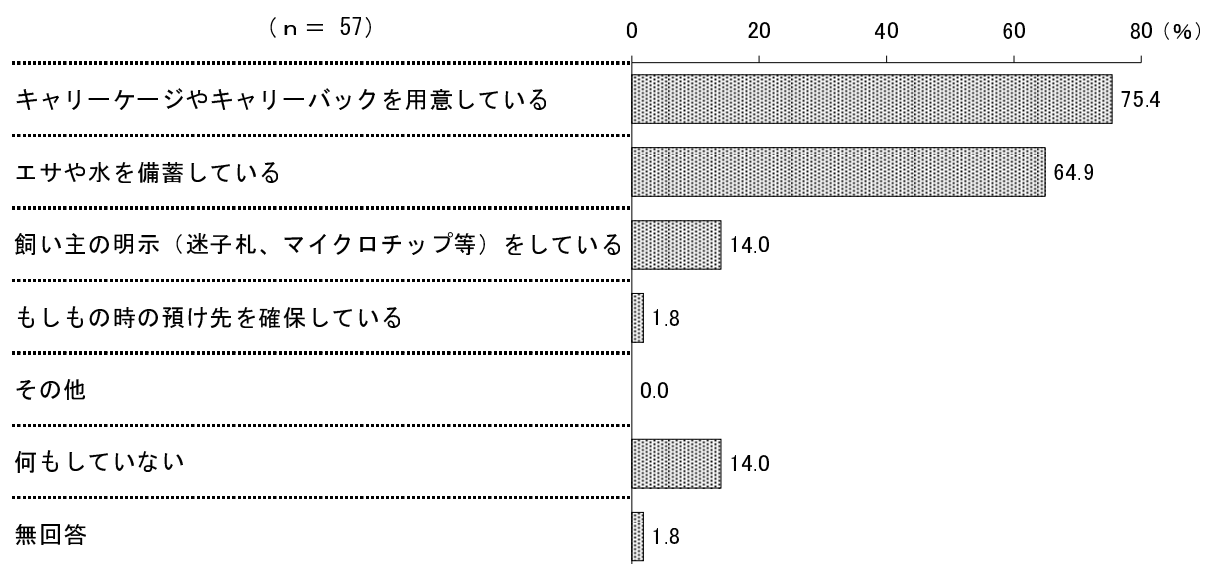
(問31で、「猫を飼っている」と回答した方に)

問31-2 大規模災害時には、ペットの防災対策について様々な課題が発生することが予想されます。地震などの災害に備えて、ペットのための対策をしていますか。

(○はいくつでも)

「猫を飼っている」と回答した方(57人)に、地震などの災害に備えて、ペットのための対策をしているか聞いたところ、「キャリーケージやキャリーバックを用意している」(75.4%)が7割半ばで最も高く、次いで「エサや水を備蓄している」(64.9%)、「飼い主の明示(迷子札、マイクロチップ等)をしている」(14.0%)となっている。(図表12-3-1)

図表12-3-1 猫のための防災対策の状況





### Ⅲ 質問と回答



# 中原区区民アンケート

平成 30 年 5 月

## <居住環境>

問 1 今の所にお住みになって何年になりますか。(○は1つだけ) n = 1, 135

1	1年未満	7.1	4	5年～10年未満	16.8	7	生まれてからずっと住んでいる	8.4
2	1年～3年未満	11.0	5	10年～20年未満	24.1		問2へ	
3	3年～5年未満	10.3	6	20年以上	21.8		(無回答)	0.5

(問1で、「1」～「6」と回答した方に)

問1-1 今の所に住む以前はどちらにお住まいでしたか。(○は1つだけ) n = 1, 034

1	市内の他の所	39.1	4	東京23区内	17.8
2	横浜市	14.5	5	東京23区外	4.7
3	神奈川県内 (川崎市、横浜市を除く)	5.8	6	その他の地域 (国外含む)	16.7
				(無回答)	1.4

問 2 これからも今の所にお住まいになる予定ですか。(○は1つだけ) n = 1, 135

1	これからも住んでいたい	73.4		
2	できれば市内の他の所へ移りたい	5.4		
3	できれば市外へ移りたい	6.0		
4	わからない ⇒ 問3へ	14.7	(無回答)	0.5

(問2で、「1 これからも住んでいたい」と回答した方に)

問2-1 今の所に住んでいたい主な理由は何ですか。(○は1つだけ) n = 833

1	通勤・通学の便が良いから	30.4	5	以前から住んでいるから	19.7
2	買い物が便利だから	9.6	6	近くに親戚や友人が住んでいるから	4.8
3	住宅を購入したから	28.5	7	その他 ( )	4.9
4	子どもの教育のため	1.0	8	特にない	1.0
				(無回答)	0.2

(問2で、「2 できれば市内の他の所へ移りたい」、「3 できれば市外へ移りたい」と回答した方に)

問2-2 今の所から移りたいという主な理由は何ですか。(○は1つだけ) n = 129

1	通勤・通学に不便だから	21.7	4	住宅事情がよくないから	17.8
2	買い物に不便だから	3.1	5	子どもの教育のため	7.8
3	まわりの環境がよくないから	11.6	6	その他 ( )	32.6
				(無回答)	5.4

<生活環境>

問3 あなたのお住まいのまわりの生活環境についてお伺いします。次にあげる(ア)から(シ)のそれぞれの項目についてどの程度満足していますか。各項目について1つずつ選んでください。  
(○はそれぞれ1つ) n=1,135

	満足	まあ満足	少し不満	不満	わからない	(無回答)
回答例 ⇒	1	2	3	4	5	
(ア) 地震・火災・風水害等の災害時の安全さ	8.0	44.1	20.6	7.6	17.7	2.0
(イ) 風紀上・防犯上の安全さ	11.9	52.5	20.7	6.8	6.7	1.4
(ウ) 交通事故・危険物からの安全さ	9.6	49.6	24.0	8.7	6.6	1.5
(エ) 空気や川のきれいさ	8.2	44.8	29.1	11.3	5.1	1.5
(オ) 家のまわりの静けさ	16.6	44.7	23.8	12.8	1.0	1.2
(カ) 公園や緑の豊かさ	17.0	50.3	20.4	9.2	1.9	1.3
(キ) 通勤・通学の便利さ	42.7	39.7	8.0	5.6	1.9	2.0
(ク) 買い物の便利さ	43.3	41.9	10.1	3.3	0.7	0.6
(ケ) 病院や医院までの近さ	35.6	49.3	8.2	3.1	2.9	0.9
(コ) 休日・夜間などの救急医療体制	11.4	41.1	17.2	5.9	22.8	1.6
(サ) 文化施設・スポーツ施設などの近さ	12.2	42.3	22.6	8.7	13.1	1.1
(シ) 区役所の窓口サービス	12.0	52.7	17.0	4.8	12.4	1.1

問4 地域の生活環境を総合的にみた場合、今住んでいる地域にどの程度満足していますか。  
(○は1つだけ) n=1,135

1 満足している	25.3	3  少し不満である	13.8	5  わからない	1.5
2 まあ満足している	56.1	4  不満である	2.3	(無回答)	1.0

問5 住みよい環境とは、どのような所だと思えますか。(○は3つまで) n=1,135

1 交通網が整い、交通の便が良い	60.4		
2 商業機能が充実していて、物価が安い	45.0		
3 役所や福祉施設・文化施設などの公共施設が整っている	14.8		
4 風紀や治安が良く、災害に対して安全である	55.5		
5 都市の基盤が整っており生活し易い	17.9		
6 近隣の人々の人間性と人情味が豊かである	10.7		
7 生き生きとした活気に満ちている	5.0		
8 緑が豊かで、公園や憩いの場が整備されている	31.0		
9 大雨でも浸水しない下水道施設が完備されている	8.7		
10 大規模病院や、休日・夜間の救急医療体制が整っている	20.4		
11 騒音・振動や交通事故の危険がない	17.4		
12 その他 ( )	1.5	(無回答)	0.3



<区役所業務の評価・区のイメージ>

問6 次にあげる区役所の仕事で、よくやっていると思うものは、どれですか。(○はいくつでも) n=1,135

問7 今後、特に力を入れてほしいと思うものは、どれですか。(○はいくつでも) n=1,135

	問6 よくやっている と思うもの (○はいくつでも)	問7 特に力を入れて ほしいと思うもの (○はいくつでも)
回答例 →	①	①
(1) 放置自転車対策	47.5	10.9
(2) 街頭犯罪の防止	13.4	30.9
(3) 地震や風水害への対策	9.5	37.8
(4) 駅周辺の環境整備	33.7	25.4
(5) 道路、歩道の整備	24.1	32.4
(6) 緑地や水辺の整備	23.8	21.5
(7) 建築、開発計画、景観ルールなどまちづくりに関する相談・支援	9.3	18.0
(8) 健康づくりに関する事業	10.6	20.4
(9) 高齢者関係の事業	9.5	28.6
(10) 子ども・子育ての支援	13.4	37.6
(11) 心身の不自由な人の支援	6.9	22.3
(12) 地域の住民同士のつながりを深める事業	8.5	15.2
(13) 市民活動の支援	9.5	7.7
(14) 区の広報・広聴の充実	13.1	6.6
(15) 文化的な催し(音楽祭、コンサートなど)の開催	18.7	13.9
(16) スポーツイベントの開催	16.2	9.8
(17) 区のイメージアップを図り、地域に愛着を持たせる事業	10.1	13.8
(18) 区民と行政が協働でまちづくりを進める仕組みづくり	6.8	10.8
(19) 区役所の窓口サービスの向上	17.6	20.4
(20) 地球温暖化対策に関する事業	5.2	12.5
(21) 区内在住の外国人に対する支援	6.9	6.9
(22) その他( )	1.1	5.8
(23) 特になし	4.7	2.0
(24) わからない	11.5	3.3
(無回答)	8.5	5.2

問8 中原区の「イメージ」として何を思い浮かべますか。(○はいくつでも)

n = 1, 135

1	先端技術・産業の集積地	6.7	11	放置自転車が 多い	8.5
2	買い物に便利	50.5	12	二ヶ領用水・渋川・矢上川・江川	30.1
3	文化と歴史がある	3.8	13	若者が多い	13.3
4	等々力緑地	54.1	14	車が多い	9.6
5	交通網の発達	45.7	15	騒音	6.9
6	保健・医療設備が充実	7.3	16	公害	2.6
7	中小企業の工場が多い	11.2	17	国際性が豊か	3.3
8	静かな住宅地	13.6	18	郷土芸能・民俗行事	0.7
9	公共施設が多い	4.1	19	その他 ( )	7.7
10	公園が多い	8.7	20	特にな い (無回答)	4.6 1.2

### <中原区役所の広報>

問9 普段、行政情報や地域情報を何から入手していますか。(○はいくつでも)

n = 1, 135

1	市政だより	55.4	7	ラジオ・テレビ	4.4
2	電話での問い合わせ	0.8	8	一般新聞	7.7
3	区役所の情報コーナー	4.0	9	地域情報誌	10.3
4	町内会・自治会の回覧	25.7	10	会社・学校・近所での口コミ	7.3
5	パソコン	15.2	11	その他 ( )	1.2
6	スマートフォン・携帯電話	22.6	12	特にな い (無回答)	16.9 1.0

問10 行政情報や地域情報を提供するためには、どのような手法がよいでしょうか。(○は3つまで)

n = 1, 135

1	市政だより中原区版を充実させる	36.7	7	スマートフォンアプリ等からも情報を得られるようにする	39.5
2	区のガイドマップを充実させる	18.6	8	メールマガジンを発行する	7.2
3	チラシを様々な施設におく	10.4	9	タウン誌や地域新聞を活用する	17.2
4	ポスターなどを掲示板に貼る	14.1	10	ラジオ・テレビを活用する	5.8
5	町内会・自治会で回覧する	14.1	11	その他 ( )	2.4
6	ホームページを充実させる	31.6		(無回答)	2.9

問11 現在、区の広報誌としては毎月1日発行の「かわさき市政だより」の中に中原区版(2ページ)がありますが、中原区版はお読みになっていますか。(○は1つだけ)

n = 1, 135

1	毎月読んでいる	18.9	4	ほとんど読んでいない	15.0
2	ほとんど毎月読んでいる	8.0	5	読んでいない	20.0
3	たまに読んでいる	37.3		(無回答)	0.8

問12 今後、区の広報を区民の皆さんの情報源として活かしていくには、どんな内容に重点をおいていくのが良いと思いますか。(〇はいくつでも) n=1,135

1	区内の文化や歴史の紹介	9.1	
2	区内の出来事やイベント情報(コミュニティ情報など)	46.0	
3	区内の施設の紹介や利用情報	44.1	
4	区内で生活していく上での便利知識	43.8	
5	区内の名所案内	15.2	
6	トピック・ニュース	7.3	
7	学習・教育情報	15.9	
8	文化情報	15.0	
9	レジャー・スポーツ・レクリエーション情報	31.5	
10	健康・福祉・医療情報	43.6	
11	道路・交通情報	13.0	
12	気象・環境・防災情報	26.0	
13	地域や身近な出来事に関する情報	21.3	
14	その他( )	0.8	
15	特になし	4.3	(無回答) 1.9

<中原区役所の環境>

問13 中原区役所をどの位の頻度で利用しますか。(〇は1つだけ) n=1,135

1	月に数回	1.1	4	半年に1回程度	23.0	7	ほとんど行かない・行ったことがない⇒問14へ	19.9
2	月に1回程度	2.6	5	1年に1回程度	28.4		(無回答)	1.7
3	3カ月に1回程度	11.0	6	3年に1回程度	12.4			

(問13で、「1」～「6」と回答した方に)

→ 問13-1 中原区役所庁舎についてお伺いします。次にあげる(ア)から(カ)のそれぞれの項目についてどの程度満足していますか。各項目について1つずつ選んでください。

(〇はそれぞれ1つ) n=890

	満足	まあ満足	少し不満	不満	わからない	(無回答)
回答例 ⇒	1	2	3	4	5	
(ア) 区役所までの経路案内	19.7	54.5	9.4	2.8	11.5	2.1
(イ) 庁舎内の窓口案内	15.4	63.4	11.6	2.8	5.4	1.5
(ウ) 待合スペースの広さ	14.4	58.2	18.4	3.6	4.0	1.3
(エ) 窓口のプライバシーへの配慮	8.5	50.3	20.6	6.9	11.8	1.9
(オ) 衛生環境	8.4	54.8	17.8	5.6	11.8	1.6
(カ) 自転車駐輪スペース	11.5	41.9	13.9	3.7	27.2	1.8

<子育て支援>

問 14 あなたは子育ての経験がありますか。(○は1つだけ)

n = 1, 135

1	ある	57.3	2	ない ⇒ 問15へ	41.1	(無回答)	1.7
---	----	------	---	-----------	------	-------	-----

(問 14 で、「1 ある」と回答した方に)

▶ 問 14-1 普段利用している、もしくは利用したことのあるサービスを教えてください。

(○はいくつでも) n = 650

1	中原区の子育てサロンや地域ボランティアが行う子育てふれあい広場(自主サロン)	20.0
2	認可保育所の園庭開放や交流行事	16.6
3	保育園一時預かり (認可保育所)	9.7
4	保育園一時預かり (認可外保育施設)	5.5
5	保育園一時預かり (認可か認可外か不明)	1.2
6	区役所のこども相談窓口 (育児全般に関する相談)	8.6
7	ふれあい子育てサポート事業	4.2
8	民間のベビーシッター	3.7
9	子育てに関する来所相談窓口 (育児相談、幼児相談、アレルギー相談など)	6.3
10	川崎市産前・産後家庭支援ヘルパー派遣制度	2.9
11	シルバー会員による子育て支援サービス	0.8
12	その他 ( )	2.8
13	サービスを利用したことはない ⇒ 問15へ	49.4
	(無回答)	6.6

(問 14-1 で、「1」～「12」と回答した方に)

▶ 問 14-2 これらのサービスはどちらで知りましたか。(○は3つまで)

n = 286

1	市政だより	19.6	8	SNS	
2	川崎市や中原区の広報誌			(ソーシャルネットワーキングサービス)	3.5
	(市政だより以外)	19.9	9	子育てサロンや自主グループ活動等の中で	9.8
3	市や区のホームページ	19.2	10	町内会、自治会の掲示板や回覧板	12.6
4	市や区以外のホームページ	3.5	11	新聞	0.3
5	保育園、幼稚園、学校等で		12	区の掲示板	5.9
	配られるプリント	15.0	13	メールマガジン・メーリングリスト	0.0
6	育児本・雑誌等	1.4	14	口コミ	23.4
7	テレビ・ラジオ	0.0	15	その他 ( )	13.3
				(無回答)	4.9

<地域包括ケアシステム>

問 15 医療、介護、介護予防、住まい、生活支援などが、地域において一体的・包括的に提供される体制づくりである「地域包括ケアシステム」を知っていますか。(○は1つだけ) n=1,135

1	よく知っている	4.1	3	聞いたことはある	14.2
2	ある程度知っている	10.8	4	知らない ⇒ 問16へ	69.4 (無回答) 1.5

(問 15 で、「1 よく知っている」、「2 ある程度知っている」、「3 聞いたことはある」と回答した方に)

▶ 問 15-1 川崎市の地域包括ケアシステムは子どもから高齢者、障害者などすべての住民を対象としていることを知っていますか。(○は1つだけ) n=330

1	知っている	44.8	2	知らない	52.1 (無回答) 3.0
---	-------	------	---	------	----------------

問 16 地域包括ケアシステムによって取り組むべきだと思うものは何ですか。(○はいくつでも) n=1,135

1	高齢者への生活支援	52.2	5	生活上の安心・安全	44.0
2	健康づくり、介護予防	39.6	6	その他 ( )	1.9
3	子育て支援	48.8	7	わからない	10.3
4	障害者支援	30.6		(無回答)	3.0

<自立的な活動について>

問 17 自由な時間があるときは、どこで時間を過ごすことが多いですか。(○は1つだけ) n=1,135

1	自宅の中	50.1	3	近所ではないが川崎市内	14.5
2	自宅の近所(徒歩15分以内くらい)	19.9	4	川崎市外	15.0
				(無回答)	0.4

問 18 様々な目的を合わせて、ふだん外出する頻度はどのくらいですか。(○は1つだけ) n=1,135

1	ほぼ毎日	60.4	4	週に1日程度	6.8
2	週に4~5日程度	16.2	5	月に1~3日程度	3.3
3	週に2~3日程度	11.5	6	ほとんど外出しない	1.4
				(無回答)	0.4

問 19 あなたは現在、次にあげるようなグループ活動に参加していますか。(○はいくつでも)

n = 1,135

1	町内会・自治会・老人会・婦人会	9.3	6	同業者の団体、組合	2.3
2	趣味や娯楽のサークル、会	12.2	7	市民運動、消費者団体	0.6
3	スポーツのサークル、会	9.8	8	ボランティア活動の団体	3.8
4	勉強、学習のサークル、会	3.4	9	その他 ( )	1.5
5	学校や職場の同窓会、同期会	10.8	10	どれにも参加していない	63.4
				(無回答)	1.0

(問 19 で、「1」～「9」と回答した方に)

▶ 問 19-1 グループ活動に参加する頻度はどのくらいですか。全体を合わせた頻度でお答えください。  
(○は1つだけ) n = 404

1	週に1回より多い	19.1	5	半年に1回程度	6.2
2	週に1回程度	17.3	6	1年に1回程度	10.1
3	月に1～3回程度	34.4		(無回答)	0.5
4	2～3か月に1回程度	12.4			

(問 19 で、「10 どれにも参加していない」と回答した方に)

▶ 問 19-2 どれにも参加していない理由をお答えください。(○は1つだけ)

n = 720

1	興味や関心が無いから	14.9	6	活動について情報が得られないから	12.6
2	仕事で忙しいから	33.5	7	一緒に活動する仲間がないから	3.1
3	人間関係がわずらわしいから	5.4	8	参加しにくい雰囲気があるから	1.7
4	子育てで忙しいから	8.3	9	その他 ( )	5.0
5	家族の介護で忙しいから	1.8	10	特にない	12.1
				(無回答)	1.7

<地域の支え合いについて>

問 20 あなたには次の（ア）から（エ）の項目のような人がいらっしゃいますか。各項目についてそれぞれいくつでも選んでください。（○はそれぞれいくつでも） n=1,135

	家族や親せき（同居、別居を問 いせん）にいる	近所にいる	近所以外の知人や友人にいる	いない	（無回答）
回答例 ⇒	1	②	③	4	
（ア）一緒に遊んだり楽しい時間を過ごす人	54.8	30.7	58.3	8.1	1.8
（イ）困ったことがあった時に、助けや手伝いを頼む ことが出来る人	69.3	26.3	36.5	9.7	1.7
（ウ）必要な時に情報をくれたりアドバイスをくれる人	54.7	30.0	52.5	10.6	2.1
（エ）悩んでいることや、気持ちや考えを話せる人	59.8	23.0	53.6	11.5	1.6

【問 21～23 は、「60 歳以上の方」にお伺いします。該当しない方は問 24 にお進みください。】

問 21 下記であげる項目について、日常生活で困っていること、または将来困るだろうと思うことを教えてください。(○はいくつでも) n=290

問 22 問 21 で回答した項目について、地域の支え合いを希望する、または将来的には頼みたいと思うことについて教えてください。(○はいくつでも) n=290

	問21	問22
	困っていること、または将来困るだろうと思うこと (○はいくつでも)	地域の支え合いを希望する、または将来的には頼みたいと思うこと(○はいくつでも)
回答例 ⇒	①	①
(1) 声かけ・安否確認	35.5	25.9
(2) 話し相手	25.5	14.5
(3) 交流の場・集いの場	30.3	21.4
(4) 買い物などの外出	27.9	14.5
(5) 日常的なゴミ出し	15.9	6.6
(6) 粗大ゴミや新聞ゴミなど大きなゴミ出し	40.3	26.9
(7) 日々の食事の用意	22.8	12.1
(8) 掃除・洗濯・お風呂のしたくなどの家事	22.4	11.7
(9) 家具の移動や電球交換など室内の維持管理	32.8	21.7
(10) 草むしりなどの庭の手入れ	19.3	13.1
(11) 通院・薬とり	20.0	11.0
(12) 役所などでの手続き・書類書き	36.2	20.0
(13) 銀行預金・郵便貯金の出し入れ	16.9	5.2
(14) その他 ( )	1.4	0.3
(15) 特にない	21.0	21.4
(無回答)	7.2	19.7



問 23 あなたが地域の支え合いに協力できることについて教えてください。(○はいくつでも)

n = 290

1	声かけ・安否確認	52.4	9	家具の移動や電球交換など室内の維持管理	7.9
2	話し相手	29.3	10	草むしりなどの庭の手入れ	10.7
3	交流の場・集いの場	20.0	11	通院・薬とり	13.8
4	買い物などの外出	17.2	12	役所などでの手続き・書類書き	14.5
5	日常的なゴミ出し	13.4	13	銀行預金・郵便貯金の出し入れ	3.1
6	粗大ゴミや新聞ゴミなど大きなゴミ出し	9.0	14	その他 ( )	1.4
7	日々の食事の用意	5.2	15	特にない	20.3
8	掃除・洗濯・お風呂のしたくなどの家事	3.1		(無回答)	7.2

問 24 中原区では「誰もが住み慣れた地域で、安心して最期まで暮らせるよう、支えあう地域づくり」を目指しています。この趣旨にそって、次にあげる(ア)から(キ)のそれぞれの項目について、あなたはどのように考えますか。各項目について1つずつ選んでください。(○はそれぞれ1つ)

n = 1,135

	そう思う	ややそう思う	あまりそう 思わない	そう思わない	(無回答)
回答例 ⇒	1	②	3	4	
(ア) 地域住民が一体となって協力することが望ましい	27.5	49.2	17.6	1.8	4.0
(イ) 地域全体の課題解決につながることを望ましい	28.5	53.7	11.6	1.0	5.2
(ウ) 参加者や加入、脱退が自由であることが望ましい	55.6	34.0	4.6	1.0	4.8
(エ) 自分の関心のある身近なことが望ましい	33.7	50.4	9.2	1.3	5.4
(オ) 達成感のある、自己実現につながることを望ましい	24.6	46.3	21.0	2.5	5.7
(カ) 身近な知人や仲間づくりにつながることを望ましい	31.5	50.0	12.6	1.4	4.6
(キ) 家族や身近な知人や仲間に誘われることが望ましい	25.1	47.1	20.5	3.0	4.2

<在宅療養について>

問 25 自分の健康への不安が生じたり、日常的な生活の見守り等が必要になったりした場合でも、最期までどのように住みたいと思いますか。(○は1つだけ) n=1,135

1	地域のサービスを利用して、できる限り現在の家に住み続ける	37.4
2	子どもの家で同居する	1.1
3	現在の家で子どもと同居する	3.3
4	子どもの近くに住む	5.2
5	バリアフリー構造・食事や介護サービス等の提供がある高齢者用の住宅やホーム (食事・介護サービス等の提供は当初から含まれている)	9.4
6	バリアフリー構造・食事や介護サービス等の提供がある高齢者用の住宅やホーム (食事・介護サービス等の提供は心身の状況に応じて追加する)	18.8
7	その他 ( )	0.9
8	わからない (無回答)	22.2 1.9

問 26 実際に最期を迎えるのはどこだと思いますか。(○は1つだけ) n=1,135

1	病院・診療所	38.5	4	その他 ( )	0.4
2	自宅	15.1	5	わからない	33.5
3	老人ホーム・介護老人保健施設	10.6		(無回答)	2.0

問 27 ご本人またはご家族が住み慣れた場所で最後まで過ごすために、在宅療養ということ考えた(実際に選択した)ことがありますか。(○は1つだけ) n=1,135

1	考えた(実際に選択した)ことがある	30.0	3	その他 ( )	1.1
2	考えた(実際に選択した)ことがない	31.9	4	わからない (無回答)	35.1 1.9

<防災対策について>

問 28 あなたのご家庭では、大震災に備えて何日分の食料を準備していますか。(○は1つだけ) n=1,135

1	1日分	10.4	3	3日分以上	28.3	(無回答)	1.3
2	2日分	23.1	4	準備していない	36.9		

(問 28 で、「4 準備していない」と回答した方に)

→ 問 28-1 準備していない理由は何ですか。(○は1つだけ) n=419

1	何を準備すればよいかわからないから	18.6	6	身近な問題と感じていないから	8.6
2	費用がかかるから	8.1	7	行政が準備してくれるから	2.4
3	保管する場所がないから	15.0	8	その他 ( )	7.6
4	忙しくて時間がないから	10.7	9	特に理由はない	22.7
5	急いで準備する必要がないと思うから	6.2			

問 29 あなたのご自宅では、地震によって転倒するおそれのある家具類（タンスや食器棚等）を固定していますか。（○は1つだけ） n = 1, 135

1	全部固定している	6.7	3	固定が必要な家具類がない	9.9
2	一部固定している	46.1	4	固定していない	36.1
				(無回答)	1.2

(問 29 で、「4 固定していない」と回答した方に)

▶ 問 29-1 固定していない理由は何ですか。（○は1つだけ） n = 410

1	方法がわからないから	6.1
2	自分ではできないから	9.5
3	費用がかかるから	8.5
4	面倒だから	28.3
5	部屋の見た目が悪くなったり、家具や壁を傷つけてしまうから	16.6
6	必要性を感じないから（固定しても効果があるとは思えないから）	19.8
7	その他（	10.7
	(無回答)	0.5

問 30 あなたは、ここ1年間で地域で行われる次の訓練等に参加したことがありますか。  
(○はいくつでも) n = 1, 135

1	町内会・自治会、アパート・マンションの管理組合等が行う「防災訓練」「避難訓練」	13.8
2	市・区が行う「中原区総合防災訓練」	1.0
3	避難所（市立小中学校など）単位で行われる「避難所訓練」	1.9
4	所属する企業や学校等が行う「防災訓練」	14.1
5	市・区が行う「ぼうさい出前講座」	0.4
6	参加したことがない	70.8
	(無回答)	1.6

(問 30 で、「6 参加したことがない」と回答した方に)

▶ 問 30-1 参加していない理由は何ですか。（○は1つだけ） n = 804

1	面倒だから	10.3	4	いつどこで開催されているか知らないから	47.6
2	時間が合わないから	34.3	5	その他（	5.3
3	必要がないと思うから	2.0		(無回答)	0.4

<ペットに関する防災対策>

問 31 あなたは現在、犬や猫を飼っていますか。(〇はいくつでも)

n = 1,135

1	犬を飼っている	8.3	3	どちらも飼っていない ⇒ F 1 へ	85.6
2	猫を飼っている	5.0		(無回答)	1.9

(問 31 で、「1 犬を飼っている」と回答した方に)

▶ 問 31-1 大規模災害時には、ペットの防災対策について様々な課題が発生することが予想されます。地震などの災害に備えて、ペットのための対策をしていますか。(〇はいくつでも)

n = 94

1	エサや水を備蓄している	57.4
2	キャリーケージやキャリーバックを用意している	63.8
3	飼い主の明示(迷子札、マイクロチップ等)をしている	36.2
4	もしもの時の預け先を確保している	7.4
5	その他 ( )	1.1
6	何もしていない	21.3

(問 31 で、「2 猫を飼っている」と回答した方に)

▶ 問 31-2 大規模災害時には、ペットの防災対策について様々な課題が発生することが予想されます。地震などの災害に備えて、ペットのための対策をしていますか。(〇はいくつでも)

n = 57

1	エサや水を備蓄している	64.9
2	キャリーケージやキャリーバックを用意している	75.4
3	飼い主の明示(迷子札、マイクロチップ等)をしている	14.0
4	もしもの時の預け先を確保している	1.8
5	その他 ( )	0.0
6	何もしていない	14.0
	(無回答)	1.8

<あなたご自身について>

F 1 あなたの性別をお聞かせください。(○は1つだけ) n=1,135

1	男性	42.7	2	女性	56.3	(無回答)	1.0
---	----	------	---	----	------	-------	-----

F 2 あなたの年齢をお聞かせください。(○は1つだけ) n=1,135

1	18～19歳	1.6	3	30～39歳	19.5	5	50～59歳	18.5	7	70歳以上	11.4
2	20～29歳	10.1	4	40～49歳	23.7	6	60～69歳	14.2	(無回答)	1.1	

F 3 あなたの現在の職業をお聞かせください。(○は1つだけ) n=1,135

1	自営業	6.3	7	専業主婦	13.9
2	家族従業(家事手伝い)	0.6	8	学生	2.9
3	勤め(全日)	48.9	9	無職	12.2
4	勤め(パートタイム)	10.7	10	その他( )	1.1
5	フリーアルバイト	2.1	(無回答)	1.1	
6	内職	0.1			

F 4 あなたのお勤め先または通学先をお聞かせください。(○は1つだけ) n=1,135

1	川崎市(中原区)	16.4	5	東京都(23区内)	32.6
2	川崎市(他の区)	8.4	6	東京都(23区外)	1.5
3	横浜市	8.7	7	その他( )	2.2
4	神奈川県内(川崎、横浜以外)	1.2	8	通勤・通学していない	18.3
			(無回答)	10.7	

F 5 あなたのお住まいをお聞かせください。(○は1つだけ) n=1,135

1	小杉地区(市ノ坪、今井上町、今井仲町、今井西町、今井南町、小杉、小杉御殿町1・2丁目、小杉陣屋町1・2丁目、小杉町1～3丁目、等々力)	19.8
2	玉川地区(上平間、北谷町、下沼部、田尻町、中丸子)	13.6
3	大戸地区(上小田中1～7丁目、上新城1・2丁目、下小田中1～6丁目、下新城1～3丁目、新城、新城1～5丁目、新城中町、宮内1～4丁目)	31.4
4	丸子地区(上丸子、上丸子山王町1・2丁目、上丸子天神町、上丸子八幡町、新丸子東1～3丁目、新丸子町、丸子通1・2丁目)	11.4
5	住吉地区(井田1～3丁目、井田三舞町、井田杉山町、井田中ノ町、大倉町、苅宿、木月1～4丁目、木月伊勢町、木月祇園町、木月住吉町、木月大町、西加瀬)	22.4
	(無回答)	1.5

F 6 普段あなたがよく利用する駅はどちらですか。(○は1つだけ) n=1,135

1	JR武蔵小杉(南武線)	7.7	5	JR向河原	1.7	9	東急元住吉	18.2
2	JR武蔵小杉(横須賀線)	9.5	6	JR平間	7.1	10	東急日吉	1.7
3	JR武蔵中原	15.5	7	東急武蔵小杉	18.3	11	その他( )	1.1
4	JR武蔵新城	8.9	8	東急新丸子	9.3	(無回答)	1.0	

F 7 普段あなたがよく利用する駅までどのような手段で行きますか。(○は1つだけ) n=1,135

1 徒歩のみ	73.8	3 バイクで	0.4	5 車で	0.7
2 自転車で	19.8	4 バスで	4.6	(無回答)	0.7

F 8 あなたのお住まいの形態は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ) n=1,135

1 持家(一戸建)	29.8	5 民間アパート	9.1
2 持家(マンション・団地)	33.7	6 社宅・寮・公務員社宅	3.3
3 借家(一戸建)	1.3	7 その他( )	0.6
4 借家(マンション・団地)	21.5	(無回答)	0.6

F 9 現在、一緒にお住まいの方はあなたを含めて何人ですか。(○は1つだけ) n=1,135

1 1人 ⇒ F10へ	17.1	3 3人	25.6	5 5人	5.9	7 7人以上	1.0
2 2人	29.0	4 4人	19.5	6 6人	1.4	(無回答)	0.6

(F 9で、「2」～「7」と回答した方に)

→ F 9-1 また、一緒にお住まいの方で次にあてはまる方は何人いますか。  
(該当する年代に○を付け、人数をお書きください) n=934

1 未就学児(平均1.26人)	15.4	3 中学生(平均1.09人)	7.3	5 いない	45.3
2 小学生(平均1.32人)	12.6	4 高校生(平均1.09人)	8.4	(無回答)	21.0

(F 9で、「2」～「7」と回答した方に)

→ F 9-2 また、一緒にお住まいの方であなたとは別に65歳以上の方はいますか。(○は1つだけ) n=934

1 はい	26.6	2 いいえ	69.4	(無回答)	4.1
------	------	-------	------	-------	-----

F 10 あなたは町内会・自治会に加入していますか。(○は1つだけ) n=1,135

1 はい	54.0	2 いいえ	44.5	(無回答)	1.5
------	------	-------	------	-------	-----

F 11 あなたはインターネットを利用していますか。(○は1つだけ) n=1,135

1 はい	82.6	2 いいえ	16.3	(無回答)	1.1
------	------	-------	------	-------	-----

以上でアンケートは終了です。

御協力大変ありがとうございました。

# 中原区区民アンケート 報告書

平成30年9月

川崎市中原区役所まちづくり推進部企画課

〒211-8570 川崎市中原区小杉町3-245

電話 (044) 744-3149

FAX (044) 744-3340